2023 年度
FD 関連研修会 活動報告書

佛教大学　教育推進部　教育推進課

2023 年度　FD 関連研修会　活動報告書発刊にあたって

教育推進機構長
斉藤　利彦

2008 年、中央教育審議会は「学士課程教育答申」を公表し、続けて 2012 年、「教育の質的転換答申」を、2018 年には「グランドデザイン答申」を発表しました。大きなインパクトを与えたこれらの答申は、現今の大学教育改革の基軸である〈学修者本位の教育〉〈学修成果の可視化〉を大学に強く求め、そのための改革を促しています。

こういった施策に対応するために、各大学は教育改革や教育環境の整備、教育内容や教育方法・手法の改善のための施策を打ち出しています。その施策に沿い、教育を行うのはひとりひとりの教員です。教員の〈アップデート〉がなされなければ、いくらよい施策を検討し実行しても、その実をあげることはできないでしょう。

教員の〈アップデート〉のために必修であるのは FD 研修会とその参加、受講しての振り返りと改善といえます。大学教育の質保証の観点からしても、学内外における FD 研修は、大学教員にとって重要な教育活動のひとつです。教員ひとりひとりは教育の質を高め、それを実践する力を向上していくことが求められています。また、そのような活動を継続することは、大学教員にとって、学生に対する責務といえます。

大学の FD 研修の内容は多岐にわたることは広く周知されています。授業デザインの方法、シラバスの作成、評価方法、教材開発、ICT を活用した授業運営、といった、比較的ポピュラーな内容に加え、近年では生成 AI と学びの関係を問うテーマが扱われるようになっています。

本学においても、具体性をもって FD 研修として取りあげ、2023 年度の一回目の FD 研修として、第 1 回佛教大学教育開発研究会「生成 AI を活用した教育の可能性」をオンライン配信形式で開催しました。

二回目の FD 研修は、本学卒業生の企業における評価を通じ、学びの成果を検討するという主旨で、第 2 回教育開発研究会「卒後 7 年、卒業生は学生生活をどのように振り返り採用企業は佛教大学へ何を求めているのか」を開催、採用企業へのアンケート調査をもとに、社会における本学の学びの成果や求められている学びを考え、教育改善に努める内容としました。

本報告書では、これらの内容だけでなく、その他の FD 関連研修会報告も併せて収載しています。学部学科独自の FD 研修会も充実する傾向であり、こういった取り組みを積み上げ、学生主体の深い学びが展開できる教育を実現していきたいと考えています。

最後となりますが、教育推進機構・教育推進部は、今後も FD 研修を積極的に推進していきます。本報告書が、先生方の授業運営や学生支援に貢献できましたら幸いです。

目次

2023 年度教員研修会

・2023 年度 FD 研修会実施一覧----------3
・第１回佛教大学教育開発研究会報告
「生成 AI を活用した教育の可能性」 ----------4
・第２回佛教大学教育開発研究会報告
「卒後 7 年、卒業生は学生生活をどのように振り返り採用企業は佛教大学へ何を求めているのか」 ----------29

2023 年度その他活動

・FD 関連研修会　参加報告書----------171

2023 年度教員研修会・学部（学科）
FD 研修会

2023年度FD研修会実施一覧

全体FD研修

日　程	時間	場所	対象	テーマ	参加者数
2023年8月24日（木）～2023年9月22日（金）	―	オンライン（オンデマンド配信）	専任教員	第1回佛教大学教育開発研究会 生成AIを活用した教育の可能性	177
2024年1月17日(水)	16：30～17：40	常照ホール (対面)	本学専任教員	第2回佛教大学教育開発研研究会 卒後7年、卒業生は学生生活をどのように振り返り、採用企業は佛教大学へ何を求めているのか	189

学部・学科研修

日程	時間	場所	対象	テーマ	参加者数
2023年10月25日（水）	16：00～16：50	オンライン	仏教学部	「2023年度基礎学力テスト」学部別報告会	12
2024年1月24日（水）	12：50～14：20	オンライン	文学部	2026年度設置　文学部新学科カリキュラム等について	23
2023年7月19日（水）	14：50～15：50	オンライン	歴史学部	合理的配慮を必要とする学生への具体的サポートについて	18
2023年11月29日（水）	15：00～16：00	オンライン	歴史学部	2023年度基礎学力テスト学部別報告会	20
2024年3月6日（水）～2024年3月17日（日）	―	オンライン	教育学部	教育現場のリアル ～ともに生きる力を育む教育とは ～	33
2023年5月24日（水）	16：00～17：00	対面	社会学部	初年次教育・少人数教育の在り方についてのワークショップ	17
2023年7月6日（木）	16：10～17：30	対面・ オンラインハイブリッド	社会学部	カリキュラム間の連携についてのワークショップ	17
2023年9月7日（木）	16：10～17：10	オンライン	社会学部	春学期入門ゼミの「緑」支援学生のサポートに関する意見交換	18
2023年10月25日（水）	16：10～17：30	対面・ オンラインハイブリット	社会学部	2022年度卒業生学習実態調査検討課題について考えるワークショップ	19
2023年11月29日（水）	16：50～17：50	対面・ オンラインハイブリット	社会学部	DP/CPの作成（見直し）についてのワークショップ	15
2024年1月24日（水）	15：00～16：00	対面・ オンラインハイブリット	社会学部	他大学社会学系学部のカリキュラムについて学ぶ	17
2024年3月21日（木）	13：00～14：10	オンライン	社会学部	秋学期「専門学修のための日本語表現」の「緑」支援学生のサポートに関する意見交換会	12
2024年3月21日（木）	16：10～17：10	オンライン	社会学部	高等学校での教科「探究活動」の指導と成果	20
2024年2月21日（水）	13：00～14：00	対面・ オンラインハイブリット	社会福祉学部 専門職キャリアサポートセンター実習指導講師	初代学科学生会の組織に向けて―学科学生会って何？	15
2023年6月10日（土）	13：00～15：00	対面・ オンラインハイブリット	保健医療技術学部	シミュレーション教育における効果的なデブリーフィングの実践	34
2024年2月21日（水）	12：50～14：00	オンライン	保健医療技術学部	2023年度基礎学力テスト 学部別報告会	44

2023 年度第 1 回　佛教大学教育開発研究会

『生成 AI を活用した教育の可能性』

実施方法：オンライン（オンデマンド）配信
日　　時：2023 年 8 月 24 日（木）14:00 ～ 9 月 22 日（金）17:00
講　　師：谷本　和也（社会学部現代社会学科 講師／情報推進室長）

【内 容】

第一章では、Chat GPT の仕組みや特徴について述べられた。

Chat GPT とは、人間のように対話・質疑応答できる AI である。事前に学習しているデータから答えを探し、人間が入力した文自体を理解するのではなく、次に続く確率が高い単語を探し、適切な答えを導くとされている。

第二章では、実際に Chat GPT に問題を解かせた実例が紹介された。

就活生の面接官役を Chat GPT が担い、ロールプレイを行った例では、プロンプト（命令文）を入力する際に、要素として、文脈（命令に関する背景やなりきってほしいキャラクターなど)、命令（実行したい内容と文字数や条件などをあわせて指示する)、入力データ（考察したいデータや要約したい文章など対象となるデータ)、出力指示（表形式での出力や、リスト形式での出力などを選択）などを具体的に指示することで、より詳細な結果が得られ、面接さながらの質疑応答が可能となった。

第三章では、生成 AI を活用した教育の可能性として、生成 AI をめぐる議論について説明された。

生成 AI について、未経験、初学者である学生が生成 AI に頼り切って、生成 AI から導き出された結果を鵜呑みにすることで、成長機会が喪失することが懸念されるとした。一方で熟練者は、生成 AI と対話することで、自身のアイデアをより深堀りできるようになる可能性があるとした。

最後に、学生が生成 AI を使用する際は、初めに基礎的な知識を学ぶことが重要であり、あくまでも生成 AI は副操縦士役であり、パイロット役である我々の知識、思考、意思決定が重要であると述べられた。

ChatGPT の仕組み、特徴

内容

- ChatGPTとは
- ChatGPTの仕組み
- ChatGPTの特徴

ChatGPTとは

「対話」できる AI

ユーザー数が、
5日で100万人、
2ヶ月で1億人

ChatGPTとは

OpenAI が
2022年11月30日
に公開

Microsoft が 1.3 兆円
を追加投資

ChatGPTとは

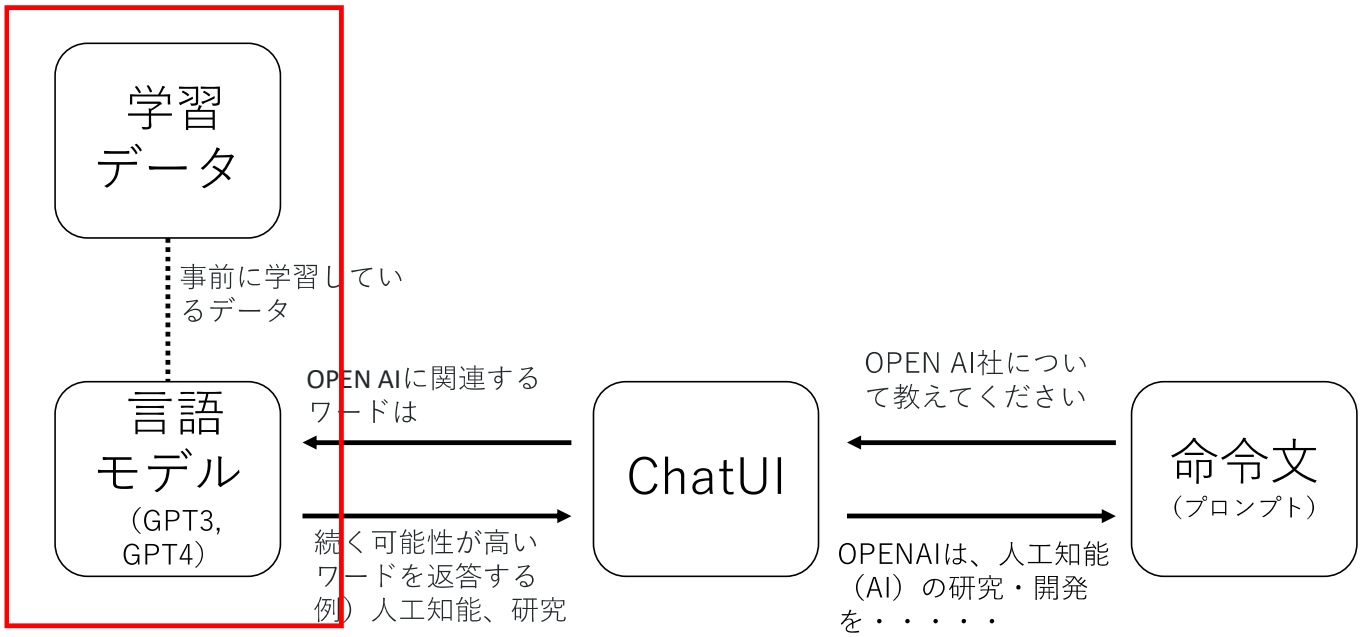
Chat ＋ GPT

リアルタイムでテキストやイラストを使っておしゃべりするためのツール

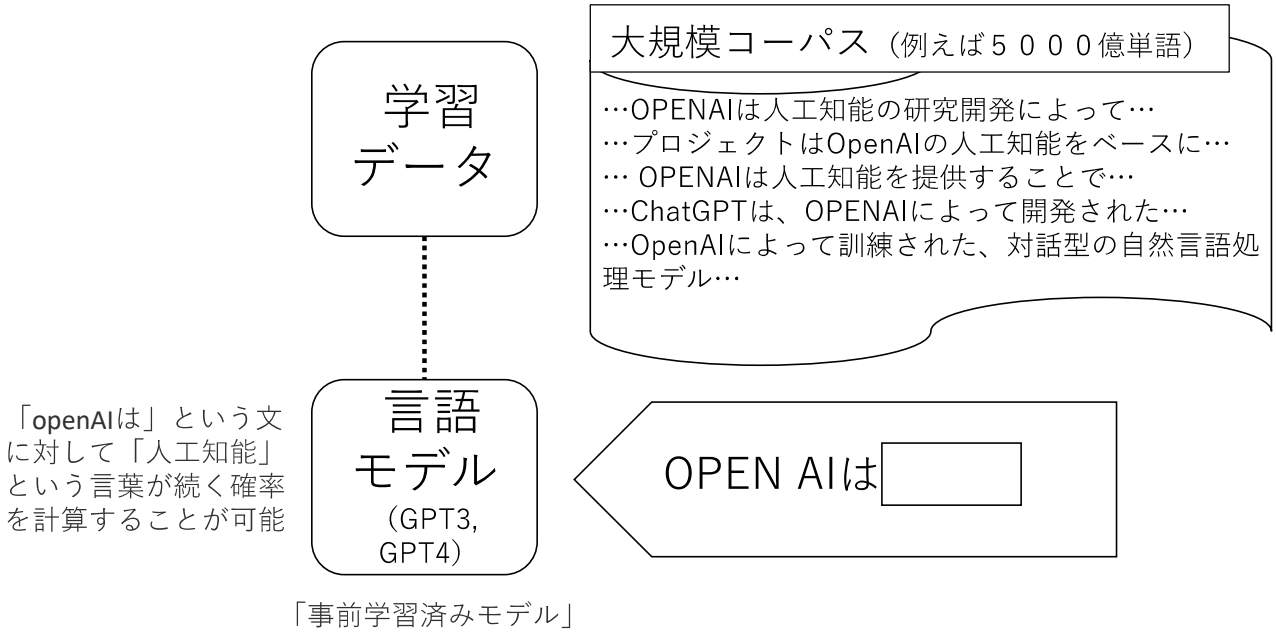
Generative Pre-trained Transformerの略語で、日本語に訳すと
「事前学習をする生成系のトランスフォーマー」

ChatGPTとは

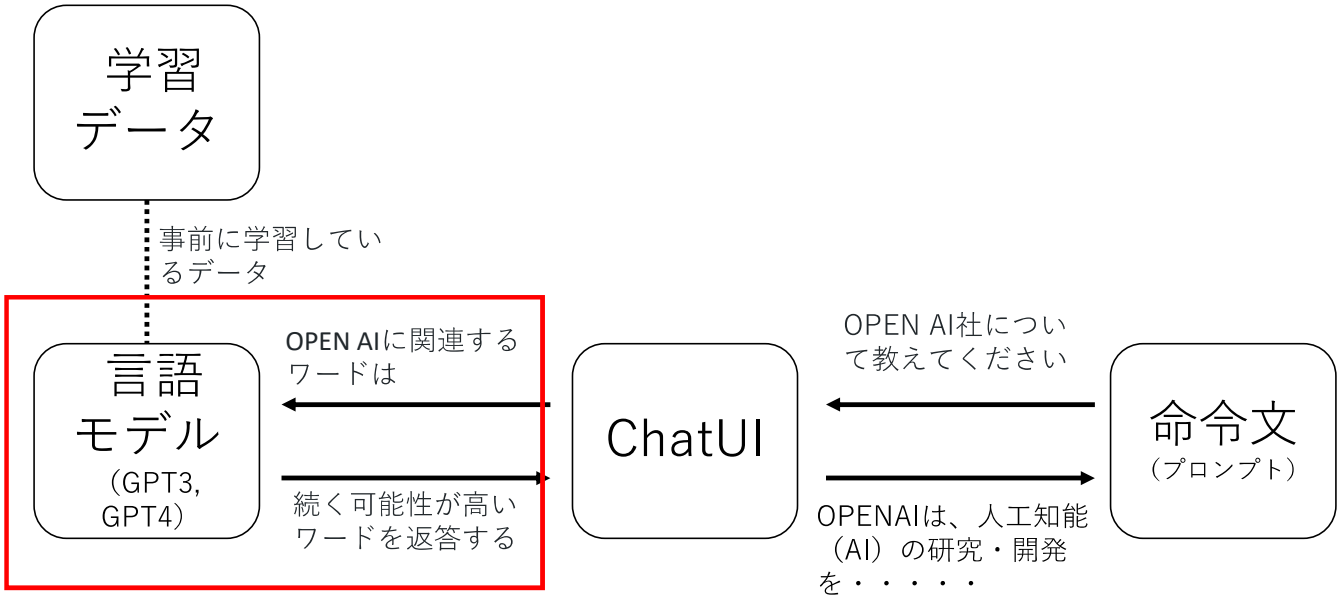
Chat GPT の仕組み



Chat GPT の仕組み

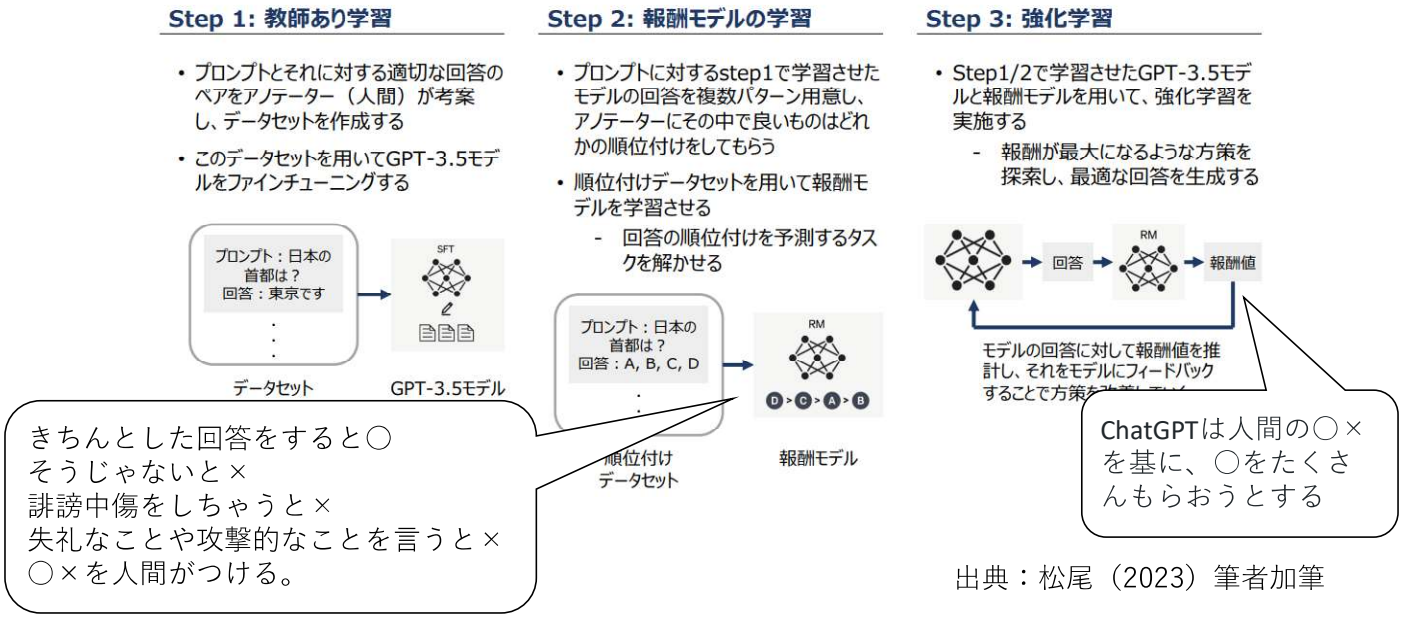


Chat GPT の仕組み



Chat GPT の仕組み

「人間のフィードバックによる強化学習(RLHF)」



出典：松尾（2023）筆者加筆

Chat GPT の仕組み

「人間のフィードバ ックに基づいた強化学習」の考え方をChatGPTでも採用

⇩

有害なテキストを生成しないようにモデルを微調整

会話データを用いてモデルのファインチューニングを行う

⇩

会話ならではの砕けた表現などでも正しく意味理解し、 適切な回答の生成が可能

ChatGPTはデータセットの品質改善や強化学習を取り入れることで従来のモデルの課題を克服し、まるで人間と会話しているかのような自然な文章を生成できるようになった

出典：松尾（2023）

ChatGPTの特徴

ChatGPT などの大規模言語モデルの可能性

○既存ツールの変化

- 検索がなくなる可能性がある。
  - 質問しても「このページを自分で読んで」と返してくるぶっきらぼう な人間 vs 答えをちゃんと教えてくれる人間、どちらがいいか?
  - 世界トップクラスの時価総額(1.44兆ドル、2023/2時点)の 会社の主力事業がなくなるかもしれないということ。
- Office製品は全部変わる(Word, Excel, Powerpoint)
  - 先述したリサーチの事例のように人間が自分で打つ時代は終わる。仕事の仕方は大幅に変わる
  - 情報の収集、要約、可視化まで自動化されていく可能性

出典：松尾（2023）

ChatGPTの特徴

ChatGPT などの大規模言語モデルの可能性

○目的に特化したChatGPTの出現

攻撃的な会話、偏った意見、予想や予測等はしないように、 強化学習で訓練。逆に言うと **「目的に特化した」学習をさせれば、専用のChatGPT**が作れる

- 法律的な見地から正しいコメントをする
- 会計的な見地から正しいコメントをする
- 医学的な見地から正しいコメントをする
- 相手をはげましたり、なぐさめたり、元気づける
- 相手の理解の程度にあわせて、分かりやすく教えてくれる
- 相手の要望を聞き出し、目的の商品を薦める
- 複数の人の希望を聞き出し、うまく妥協点を調整する…

出典：松尾（2023）

ChatGPTの特徴

ChatGPTができること

文章の添削・校正	• ほぼ完璧に添削・校正をしてくれる。
文章や概念の要約	• 内容をまとめてくれるのが上手
ブレインストーミング	• さまざまな意見を出してくれる
リサーチ、論点の洗い出し	• 複雑な制度や法律について調べなければならないような事も素早く回答してくれる
アイデアの提案	• キャッチコピーの提案等たくさん出してくれます。

ChatGPTの特徴

ChatGPT を使うときの留意点

- プロンプト（指示出し）で出力が変わる
  - 思うような出力が得られなくても対話を通して修正を促せる
- デタラメ（幻覚: hallucination）を言うことがある
  - GPT-4 で改善されているようだが、完全ではない
- 同じ問いかけに対して必ずしも同じ答えが返ってこない
  - 出力にゆらぎを与えるパラメータ（temperature）が存在
- 情報源を示さない
  - GPT-4 は文献情報に URL を付与する場合あり（必ずではない）
  - Bing AI や Perplexity AI は情報源を示してくれる
- 2021年9月までのデータを利用（最新の情報を出せない）
  - ChatGPT plugins を使うと最新情報へのアクセスが可能に
  - Bing AI や Perplexity AI は最新の情報も含めて出力
- AI 生成文の検出ツール（例: GPTZero）もあるが、完全ではない

出典：吉田（2023）

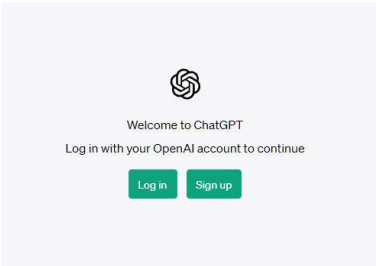
参考文献

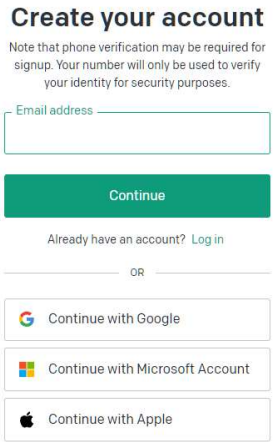
松尾豊（2023）「AIの進化と日本の戦略」

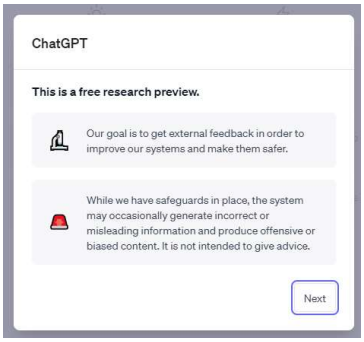
吉田累（2023）「ChatGPT を教育に取り入れる :アイデアと留意点」第63回 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革 に関するサイバーシンポジウム

02.ChatGPT に問題を解かせてみた(実例紹介)

ChatGPTの使い方



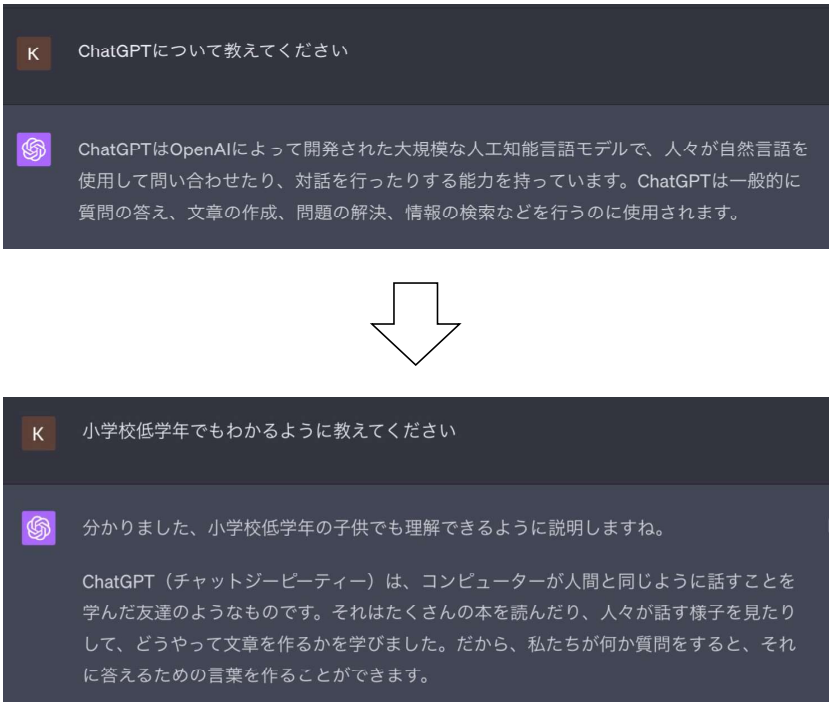




対話形式で

- Chatボットのように基本的な対話が可能

例）Chat GPT について聞いてみる



「小学校低学年でもわかるように」文章の難易度を調整することも可能

プロンプト

- プロンプト（命令文）を入力することで、ChatGPT に作業を指示することができる。
- フォーマットに沿って要素を抑えて命令文を構築することで、より詳細な作業を指示することできる。

プロンプトの要素

プロンプトには以下の要素を含むと操作が簡易に

文脈	命令	入力データ	出力指示
• より良い応答を生成するための追加情報や外部情報	• 実行させたい特定のタスクや指示	• 我々が応答を見つけることに興味を持っている入力や質問	• 出力してほしい回答の形式またはフォーマット
命令に関する背景やなりきってほしいキャラクターなど	実行したい内容と文字数や条件などを合わせて指示する	考察したいデータや要約したい文書など対象となるデータ	表形式での出力や、リスト形式での出力などを選択

すべてのプロンプトがこれら四つの要素を必要とするわけではなく、フォーマットは目的により異なります。
具体的な例についてはこれから詳しく触れていきます。

参考：Prompt Engineering Guide(2023)

プロンプト：要約

- ニュース記事の要約
- 例えば以下のニュースを要約させる
- GIZMODOで配信
- タイトル：OpenAIのサム・アルトマンの仮想通貨「Worldcoin」サービス開始
- 7/26(水) 19:00配信
- https://news.yahoo.co.jp/articles/6604ae74c9724cc2d23d0500ac3d4a099713cbad?page=3

■文脈
あなたはプロのリサーチャーです。
■命令
以下のweb記事を150字程度で要約してください。
■入力データ
OpenAIのサム・アルトマンの仮想通貨「Worldcoin」サービス開始
7/26(水) 19:00配信
GIZMODO

OpenAIのCEOサム・アルトマンが新しい仮想通貨「Worldcoin」のサービスを本日開始しました。この仮想通貨の特徴は、利用者が眼球のスキャンを必要とする点です。Worldcoinはグローバルなデジタル通貨として注目されており、今後の展望が期待されています。詳細な機能や技術については公表されていないが、既存の仮想通貨に対する競合としての存在感が議論されています。今後は企業や個人がWorldcoinの取り扱いを始めることで普及が進むでしょうが、個人情報保護やセキュリティの懸念も考慮すべきです。新たな仮想通貨の登場により市場にどのような変化がもたらされるか、今後の動向が注目されています。

プロンプト：データ分析と考察

- データをもとに考察もできる
- 例えば、京都の日本人人口推移を考察した例

■文脈
あなたはプロのリサーチャーです。
■命令
以下は京都の日本人人口です。年代に着目していくつか考察を述べてください。
■入力データ
時点,日本人人口（総数）【人】,注記
1975年,2381360,
1976年,2409000,
1977年,2431000,
1978年,2451000,
1979年,2469000,
1980年,2483007,
1981年,2495000,
1982年,2509000,
1983年,2524000,
1984年,2533000,
1985年,2540266,
1986年,2550000,
1987年,2555000

プロンプト：データ分析と考察

- データをもとに考察もできる
- 例えば、京都の日本人人口推移を考察した例
- Chat-GPT4による

まず、大まかなトレンドを見てみましょう。1975年から2022年までの期間を見ると、京都市の日本人人口は全体としてゆっくりと増加し、その後少し減少しています。1975年の人口は約238万人でしたが、2022年には約248万5千人となっており、全体で約10万5千人（約4.4%）増えています。しかし、ピークは1990年代後半から2000年代初頭の約260万人で、その後はゆっくりと減少しています。

特に注目すべきなのは、1990年代から2000年代初頭にかけての変化です。この時期に人口がピークに達した後、一時的に減少し、その後再び増加した後、2005年頃から再度減少する傾向が見られます。これは、この時期の経済的な変化や人々の生活環境の変化、さらには出生率の変動などが影響している可能性があります。

2010年代に入ると、日本人人口は一貫して減少しています。これは、日本全体の少子高齢化の傾向や、若者の都市部への流出などが影響している可能性が考えられます。特に、2020年には大きな減少が見られ、これは新型コロナウイルスのパンデミックが影響している可能性もあります。

しかし、全体的に見ると、京都の日本人人口は比較的安定しているとも言えます。これは、京都が古都としての魅力を保ちつつ、教育や観光、商業など様々な分野で活動している都市であるため、人々が引き続き住み続ける要因が多いと考えられます。

このように、人口の変化は多くの要素に影響を受けるため、さらに詳しい分析を行うためには、出生率、死亡率、経済状況、社会状況など他の関連データを考慮する必要があります。

プロンプト：ロールプレイ

- ロールプレイ
- 例えばIT企業の面接官と新卒の学生を想定して。

■命令
以下の内容でロールプレイしてください
■入力データ
IT企業における面接官とSE志望の新卒の学生のやりとりをロールプレイ

面接官: こんにちは、ようこそいらっしゃいました。初めに自己紹介をお願いします。

学生: はい、ありがとうございます。私は山田太郎と申します。〇〇大学で情報工学を学んでいて、SEとして活躍したいと思っています。

面接官: 了解しました。山田さんの学習やプロジェクトについて教えてください。

学生: はい、大学では主にJavaやPythonを学びました。最近はウェブアプリケーションの開発に興味を持ち、独自のプロジェクトを進めています。また、学外ではチームでゲーム開発にも参加しました。

面接官: 素晴らしい経験ですね。学外のゲーム開発チームでの経験はどのようなことを学びましたか？

学生: チームで協力することの重要性や、プロジェクトの進め方、コミュニケーションスキルの大切さを学びました。また、リーダーシップの必要性も実感しました。

プロンプト：メンター

- ロールプレイの応用版として
- Chat GPT をメンターとしてシステムエンジニアの仕事の相談をする

■文脈
あなたはシステムエンジニアの先輩社員のメンターとします。
■命令
私は新人のメンティとして質問しますので、アドバイスをお願いします。
■出力指示
相互に会話する形式とします。こちらからの質問を待ってください。

了解しました。それでは、質問を始めさせていただきます。

こんにちは、私はあなたのメンターとしてサポートさせていただきます。まず初めに、あなたがシステムエンジニアとしてどのようなスキルや知識を深めたいと思っているのか、または特に興味のある分野があれば教えていただけますか？

K ネットワークに関する分野に興味があります。

それは素晴らしいです。ネットワークはシステムエンジニアリングの中でも非常に重要な分野で、深く理解することが重要です。具体的には何について学びたいのでしょうか？例えば、TCP/IPプロトコルスタックやルーティング・スイッチングの基本的な原理、またはセキ

プロンプト：アイデア

- アイデアを出してもらえます。

■文脈
あなたは下記のような学術研究者です。
【研究分野・研究領域】
・情報社会学
【得意な手法や実績】
・統計分析が得意
【関心のあるトピック】
・AIとIoT
【制約条件】
・ニッチな分野にまでブレークダウンして、
・学会に大きなインパクトを与えうるような、
・あなたの得意な手法が活かせて、
・先行する研究と内容がかぶらないテーマ
■命令
研究テーマ（論文の課題）のアイデアを提案してください。
■出力指示
箇条書き

プロンプト：アイデア

- アイデアを出してもらえます。

研究テーマのアイデア提案:

1. 「AIとIoTを活用した都市交通の統計分析と改善戦略」
   - 情報社会学の観点から、都市交通における課題を特定し、AIとIoTを活用した大規模な交通データの収集・分析を行う。
   - 統計分析を用いて、交通渋滞や公共交通機関の効率性に関する洞察を得る。
   - AI技術を活用して交通制御や交通インフラの最適化を提案し、都市の持続可能な交通改善戦略を立案する。
2. 「データプライバシーとセキュリティを考慮したスマートホームの設計と運用」
   - IoT技術を用いたスマートホームの普及が進む中で、プライバシーやセキュリティ上の懸念が浮上している。
   - 情報社会学の視点から、個人データの収集・利用とセキュリティリスクを分析し、現行の法律や規制との整合性を検討する。
   - 統計分析を用いて、スマートホームシステムにおけるセキュリティ脆弱性の特定と解決策の提案を行う。
   - ユーザーのプライバシーを保護しつつ、便益を最大化するスマートホームの設計と運用ガイドラインを策定する。
3. 「AIによる自動運転技術の利用拡大に伴う社会変革の予測と調査」
   - IoTセンサーとAI技術の統合により、自動運転技術の進化が期待されているが、社会に及ぼす影響は未だ十分に理解されていない。
   - 情報社会学の領域で、自動運転技術がもたらす社会変革について予測し、そのインパクトを調査する。
   - 統計分析を用いて、自動運転車に関する事故やトラブルの原因を明らかにし、安全性向上のための施策を提案する。
   - 交通インフラや法律制度との関連性を考慮し、自動運転技術の普及に向けた社会的課題を洗い出し、解決策を提案する。

これらの研究テーマは、情報社会学の専門知識と統計分析の得意な手法を活かしつつ、AIとIoTに焦点を当て、ニッチな分野でありながら学会に大きなインパクトを与える可能性があるものです。

プロンプト：探索

- ChatGPT Plusに加入すると

「Webなどの外部と通信を行い、その情報を参考にして回答を生成する能力」

を得ます。

- するとこのような探索も可能となります。

■文脈
あなたは京都府の職員です。
■命令
以下の困っている{私の事情}を助けるために、
私が困窮しているポイントを深く洞察した上で、
公共機関や福祉機関が提供している、
私が利用できる支援制度や助成制度を、
関連するホームページから幅広く検索して、
私に案内して助けてください。
ただし、実在している情報にのみ基づいて、
無いときは創造せずに、ありませんと答えてください。
【私の事情】
・零細企業、不動産業です。
・資金繰りが厳しいです。
【居住地】
・日本、京都府、京都市
■出力指示
番号を振って箇条書き

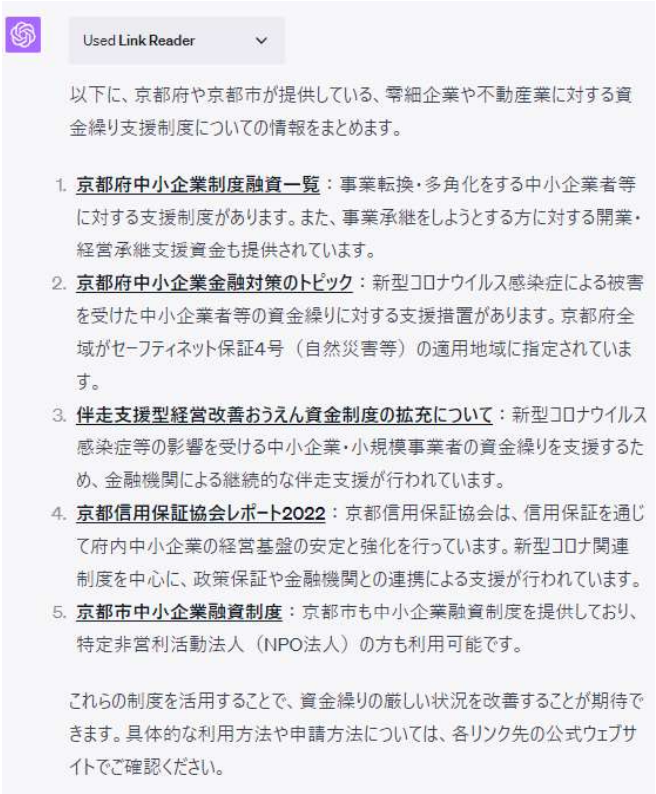
プロンプト：探索

- ChatGPT Plusに加入すると

「Webなどの外部と通信を行い、その情報を参考にして回答を生成する能力」

を得ます。

- するとこのような探索も可能となります。



Used Link Reader

以下に、京都府や京都市が提供している、零細企業や不動産業に対する資金繰り支援制度についての情報をまとめます。

1. **京都府中小企業制度融資一覧**：事業転換・多角化をする中小企業者等に対する支援制度があります。また、事業承継をしようとする方に対する開業・経営承継支援資金も提供されています。
2. **京都府中小企業金融対策のトピック**：新型コロナウイルス感染症による被害を受けた中小企業者等の資金繰りに対する支援措置があります。京都府全域がセーフティネット保証4号（自然災害等）の適用地域に指定されています。
3. **伴走支援型経営改善おうえん資金制度の拡充について**：新型コロナウイルス感染症等の影響を受ける中小企業・小規模事業者の資金繰りを支援するため、金融機関による継続的な伴走支援が行われています。
4. **京都信用保証協会レポート2022**：京都信用保証協会は、信用保証を通じて府内中小企業の経営基盤の安定と強化を行っています。新型コロナ関連制度を中心に、政策保証や金融機関との連携による支援が行われています。
5. **京都市中小企業融資制度**：京都市も中小企業融資制度を提供しており、特定非営利活動法人（NPO法人）の方も利用可能です。

これらの制度を活用することで、資金繰りの厳しい状況を改善することが期待できます。具体的な利用方法や申請方法については、各リンク先の公式ウェブサイトでご確認ください。

参考文献

松尾豊（2023）「AIの進化と日本の戦略」松尾研究室

黒橋禎夫（2023）「ChatGPTの仕組みと社会へのインパクト」教育機関DXシンポジウムアーカイブ

吉田累（2023）「ChatGPT を教育に取り入れる :アイデアと留意点」第63回 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革 に関するサイバーシンポジウム

Prompt Engineering Guide(2023)Elements of a Prompt

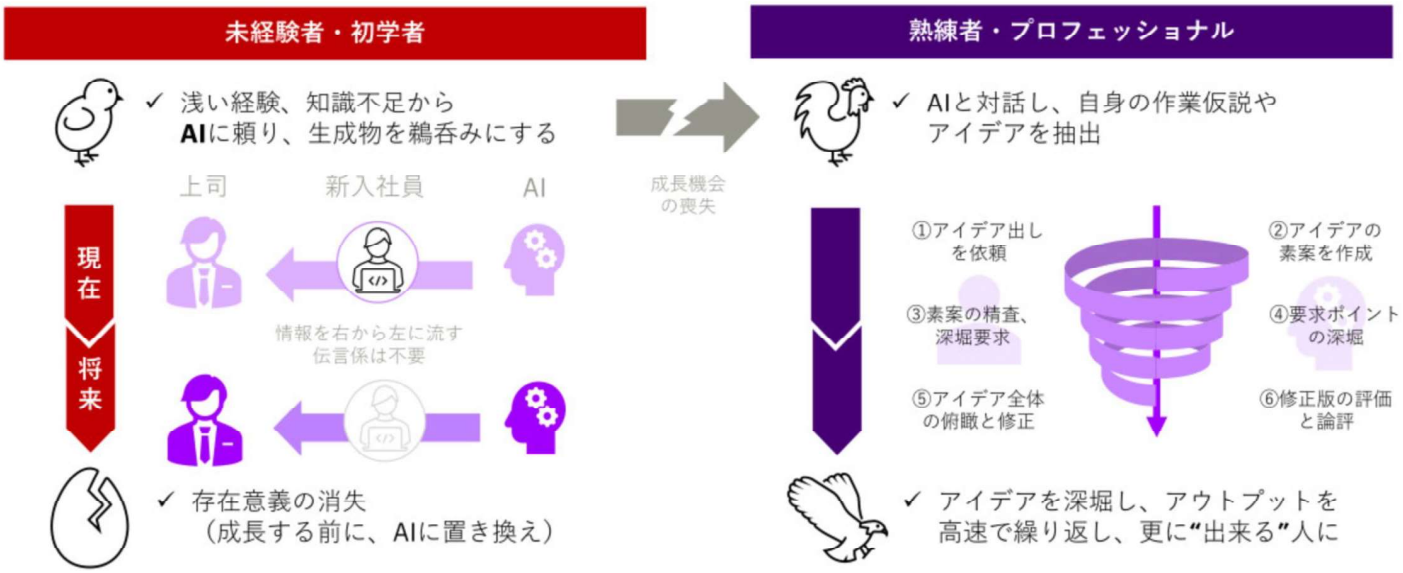
https://www.promptingguide.ai/introduction/elements

生成 AI を活用した教育の可能性

内容

- 生成系AIをめぐる議論
- 生成 AI を活用した教育の可能性
- おわりに

生成系AIをめぐる議論：二極化



参考： Accenture （2023）

生成系AIをめぐる議論：日本の戦略

- 1. 大規模言語モデルを自ら開発する
  - 数百億円あれば同じようなものは作れる(ただし、その間に相手はもっと先に行く。)
  - 今後のインパクトの大きさを考えれば、この戦いに参入するチケットとしては安い。この機会が開いているウィンドウは短い。
- 2. APIを使いサービスを作ることを奨励する
  - ChatGPTなどのAPIを使って、ローカライズした専用アプリ、専用ソフトウェアが多く出現。国内の市場になるので、最低限ここはし っかり伸ばすべき。
  - 一方Apple Store等と同じく、手数料を払い続けないといけない。
- 3. ユーザとしての活用を促進する
  - DXが進んでいない現状において、言語による指示ができることは、DXの決め手になる可能性はある - つまり、DXにおけるリープフロッグ。(アフリカに固定電話が入ってないのに携帯が入ったように。)

出典：松尾（2023）

生成系AIをめぐる議論：リスク

機能・品質面のリスク	**幻覚(Hallucination)**	特定の質問項目に関して**でっち上げの回答**をしてしまう
	無関係な回答	十分な文脈が提供されないまま、**無関係でランダムな答え**を出してしまう
	一貫性のなさ	**わずかな表現の違い**で、**まったく違う反応**が返ってくる
倫理的なリスク	**有害な出力**	過度に**暴力的、政治的、性的**な内容
	偏見のある回答	過去の回答や学習済みデータから**バイアスを増幅**させる
	排他性	入力が特定のマイナーな特性である場合に**精度が悪く**なる
セキュリティ面のリスク	**データ漏洩**	**なりすまし**による**情報元・機密情報の流出**
	プロンプト・インジェクション	プロンプトを悪意を持って操作することで、**AIが本来望まない操作を行うように誘導**する
	サプライチェーンリスク	生成AIのサプライチェーンにおける**セキュリティの抜け穴**の問題

出典：大柴（2023）

生成系AIをめぐる議論：リスク

●：特に被害や訴訟のリスクが高い
●：一定のリスクがある
※いずれも法的なリスクに限らない

分類	リスク	基盤モデル開発者	AIサービス提供者	ビジネスユーザ	消費者ユーザ	AIと直接関与していない主体への影響
学習データ	学習データに著作権のあるデータやセンシティブデータが含まれる	●	●	●	●	**創作者の著作物**や、**非ユーザの個人の情報**が開示や同意なく利用されうる
機能・品質	不正確な回答（ハルシネーション）や無関係な回答、一貫性を欠く回答	●	●	●	●	非ユーザの**個人・企業の誤情報**が（意図せず）流布される可能性
倫理	有害な出力・偏見のある回答	●	●	●	●	社会全体の価値観・文化に影響する可能性
	排他性（特定言語等で精度が落ちる）	●	●	●	●	AIを母国語で使える人と使えない人などの間に**格差・分断**を生む可能性
セキュリティ	データ漏洩	●	●	●	●	学習データ次第で、**非ユーザのデータも漏洩**する可能性あり
	プロンプト・インジェクションによる他ユーザへの危害等	●	●	●	●	攻撃の手法・内容次第で、非ユーザにも被害が及ぶ可能性あり
	生成AIのサプライチェーン中でのセキュリティホール等	●	●	●	●	
AI生成物の悪用	AI生成物を用いた詐欺やフェイクニュースの流布	AIと関わらない人含め、幅広い社会への影響が懸念される				非ユーザ含め、**幅広い権利利益の侵害や民主主義への脅威となる**可能性あり

出典：大柴（2023）

生成系AIをめぐる議論

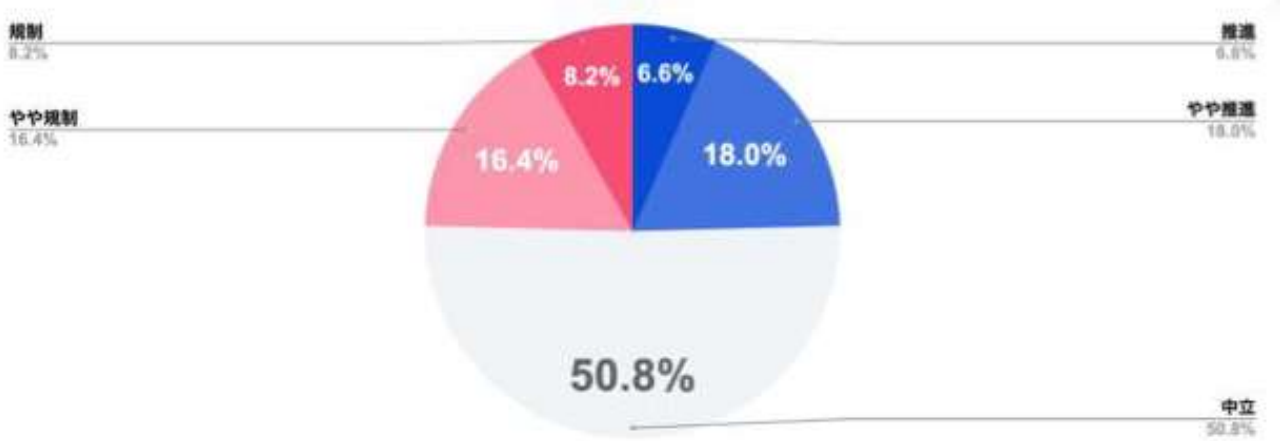
二極化の流れ

この分野での「日本語」の出遅れ

生成系AIのリスク

生成 AI を活用した教育の可能性

大学におけるAI活用のガイドライン（n=61）



出典：乗添ら（2023）

生成 AI を活用した教育の可能性

生徒・学生に対する方針【 使わせない】

- 使用禁止のポリシーを明確に伝える（利用範囲を明確化する）
- 概念地図など図の作成を取り入れる
- 講義内容や授業内の議論に特有の課題を作る
- 対面でレポートを書かせる、テストする
- 学生同士の協働を促す
- プロジェクト型学習、グループディスカッション
- 大量の引用をさせる、引用文献を指定する

出典：吉田（2023）

生成 AI を活用した教育の可能性

生徒・学生に対する方針【 使わせる】

- 利用についてのポリシーを明確に伝える（利用範囲を明確化する）
- AIが生成したレポートを修正、評価してもらう
- レポート作成の支援で使う（アイデア出し、ドラフト作成）
- 英文を添削、改善してもらう
- プログラミングの学習で使う
- 個別教材を作成してもらう（生成された回答の確認も促す）
  - 例）好きな漫画・アニメと関連させて歴史の出来事を説明してもらう（個人利用に限る）
  - 例）難しい概念を身近な例で説明してもらう
  - 例）苦手な英単語を組み込んだ物語を作ってもらう

出典：吉田（2023）

生成 AI を活用した教育の可能性

生成 AI を活用した教育の可能性

九州大学での活用事例から

- 研究や学業の効率化　本質的な学びや研究に時間を費やせるように
  - データの成形作業から解放され、効率的に実験できる
  - 論文の内容をAIに学習させ、論文探しをサポート
  - プログラム中のバグの原因特定や修正をAIにしてもらう
- スキル活用の学習コスト減　複数のスキルの使いこなしが当たり前に
  - 生成系AIを使ってプログラミングできるように
  - AI補助を受けながら専門外の分野の分析手法を活用
  - アプリのプロトタイプ作成が簡単に、実験の幅が広がる

出典：乗添ら（2023）

生成系AIはパートナー、共に勉強、研究

生成 AI を活用した教育の可能性

ゼミでの議論

「ChatGPTを研究に役立てるためにどんな使い方ができるか」

ChatGPTは条件付けをして、さまざまな個性をインプットすることができる

ChatGPTにインタビューの相手になって貰えば良いのでは

問いを生み出すための活用方法として

生成 AI を活用した教育の可能性

二極化の流れ

この分野での「日本語」の出遅れ

生成系AIのリスク

使用について「選択」するための
基礎的な知識を学ぶ必要がある

おわりに

- あたらしい技術が生まれる間隔が短く、また、技術が進化するスピードも速くなっている。
- 変化するAIを理解することの重要性が増す。
- ChatGPTは誰もが使うことができるツール。
- まず、体験してみることからはじめることが重要。
- あくまでも AI は copilot(副操縦士)であり、pilot である我々の知識、思考、意思決定が重要。

参考文献

大柴行人(2023)「AIリスクに立ち向かう「第三者検証」～AIガバナンスを日本が主導するために～」自由民主党AIプロジェクトチーム

黒橋禎夫（2023）「ChatGPTの仕組みと社会へのインパクト」 教育機関DXシンポジウムアーカイブ

乗添 凌太郎・ウン クアン イー ・池田 悠登（2023） 「 大学生の生成系AI活用実態と今後の展望」

松尾豊（2023）「AIの進化と日本の戦略」

吉田累（2023）「ChatGPT を教育に取り入れる :アイデアと留意点」第63回 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革 に関するサイバーシンポジウム

Accenture（2023）「Trend3 Generalizing AI」 Accenture Technology Vision2023

2023（令和 5 年）年度　第 2 回教育開発研究会

『卒後 7 年、卒業生は学生生活をどのように振り返り

採用企業は佛教大学へ何を求めているのか』

【内容】

株式会社リアセック様より、卒業生アンケート調査（2022 年度）の結果報告がされた。ポートフォリオを用いて学部別で比較され、「科目ごとの学習熱心度と役立ち度」や「活動ごとの取組熱心度と満足度（正課、正課外、就職活動、アルバイト）」などのアンケートでは、全学部で高い数値であったことが述べられた。

次に、卒業生に対して「社会に出てどのような力が必要であったか」の項目に関して、コンピテンシーといわれる対人基礎力や親和力・協働力が全体的に高かった。こういった力は在学中にしっかりと身に付けることができたと答えた卒業生が多く、社会でもその力を発揮できていると感じていた。一方で課題となったのは、気持ちを制御する能力、PC スキルであると述べられた。

「大学生活満足度・本学推奨度分析」の項目では、約 8 割の学生が大学生活に満足している結果で、満足度が高いほど本学推奨度も上がっていくことが示された。

また、注目すべき点は、満足していると答えた学生は、在学中に教職員へのキャリア相談などを行っており、教職員との親密度も満足度と相関関係にあると考えられることが示された。

以上のアンケート結果より、他大学と比較しても、在学中に培った能力や経験が社会に出てから役に立っていると実感している卒業生が多いことが分かった。

続いて、企業調査・結果報告書（2022 年度）では、採用企業が新卒者に求める能力とはどういったものなのか述べられた。結果は、親和力・協働力・行動力・持続力など、本学の卒業生が身に付けることができたと答えた力と合致していることが分かった。

一方で、今後のカリキュラムに期待する点に関して採用企業は、課題解決型（PBL 型）の教育であると述べられ、学生発信で課題を見つけ解決することで解決能力や実践能力を高める教育施策が重要であると述べられた。

最後に教職員からリアセック様への質疑応答があり、会議は終了となった。

佛教大学
卒業生アンケート調査
結果報告書（2022年度）

2024/1
株式会社リアセック

目次

- 調査概要　3
- 1-1．科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）
  - 1．学修熱心度と役立ち度　6
  - 2．ポートフォリオ分析　8
- 1-2．必要度と修得度（Q3）
  - 1．必要度と修得度　18
  - 2．ポートフォリオ分析　20
- 1-3．在学中の活動熱心度と満足度（Q5）
  - 1．活動熱心度と満足度　31
  - 2．ポートフォリオ分析　33
- 1-4．大学生活満足度と本学推奨度分析
  - 1．満足度・推奨度の基本集計結果　43
  - 2．満足度・推奨度と各設問との相関分析　44
  - 3．成長実感
    - 1．成長実感　基本集計結果　46
    - 2．成長実感別　修得度　47
    - 3．成長実感別　学修・取組熱心度　48
    - 4．成長実感別　ゼミ・卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義　49
    - 5．成長実感別　キャリア意識　50
- 1-4．大学生活満足度と本学推奨度分析
  - 4．教職員への親近感、キャリア相談
    - 1．教職員へのキャリア相談経験とQ6.本学での経験役立ち度(満足のいく就職、職務の遂行、キャリアプラン展望に役立った)　52
    - 2．教職員へのキャリア相談経験と教職員への親近感教職員への親近感　53
    - 3．教職員への親近感、キャリア相談経験（学部別）　54
    - 参考：大学満足度・推奨度別　教職員への親近感　55
    - 参考：コメントご紹介　56
- まとめ　60
- 巻末付録①：アンケート集計（学部別）　65
- 巻末付録②：設問一覧　174

調査概要

- 調査目的：卒業生を対象に、貴学に対する満足度、大学推奨度及び在学中に身につけた能力等についての実態把握と分析を行い、現行カリキュラムの検証と新カリキュラムの検討、大学の人材養成の目的、DPの検証と検討の材料とする
- 調査対象：佛教大学卒業生(2015年度卒、社会人7年目)
- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2022年12月27日～2023年2月1日
- 発送数：1,161人（但し、未達7人）
- 集計対象数：319人（重複回答者、「Q2-1.学修への取組熱心度」を回答せず離脱した者は集計対象から除外）
- 有効回収率：27.6%（319／1,154）
- 学部学科別件数：

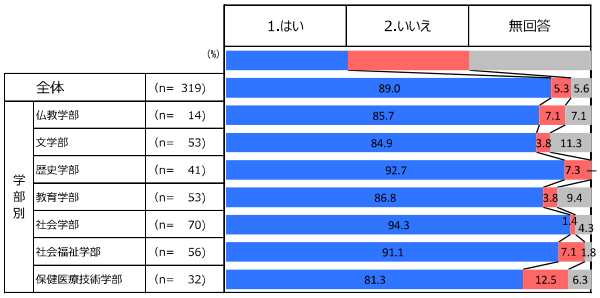
学部学科名		発送数	未達	有効回収率母数	集計対象	有効回収率
全体		1161	7	1154	319	27.6%
仏教学部		53		53	14	26.4%
	仏教学科	53		53	14	26.4%
文学部		199	1	198	53	26.8%
	日本文学科	103	1	102	30	29.4%
	中国学科	37		37	7	18.9%
	英米学科	54		54	16	29.6%
	人文学科	5		5	0	0.0%
歴史学部		157		157	41	26.1%
	歴史学科	99		99	25	25.3%
	歴史文化学科	58		58	16	27.6%
教育学部		174	2	172	53	30.8%
	教育学科	115	2	113	33	29.2%
	臨床心理学科	59		59	20	33.9%
社会学部		261	3	258	70	27.1%
	現代社会学科	171	2	169	48	28.4%
	公共政策学科	90	1	89	22	24.7%
社会福祉学部		224		224	56	25.0%
	社会福祉学科	224		224	56	25.0%
保健医療技術学部		93	1	92	32	34.8%
	理学療法学科	24		24	8	33.3%
	作業療法学科	25	1	24	8	33.3%
	看護学科	44		44	16	36.4%

※仏教学部はN数が少ないため、本報告書では参考値として掲載

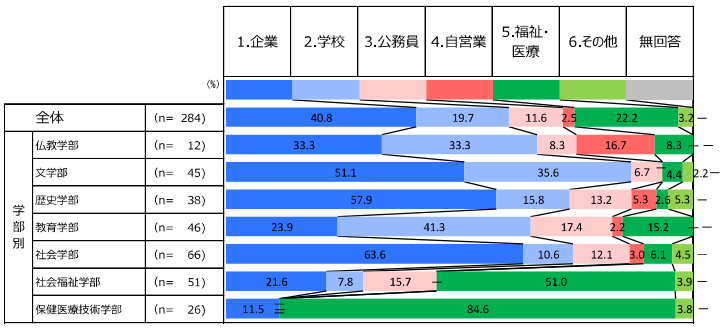
調査概要

- 回答者プロフィール：就業状況と就業先

Q12.現在就業していますか（雇用形態は問いません）。（全体／単一回答）



Q12-1.現在の就業先をお答えください。（現在就業中の方）（全体／単一回答）

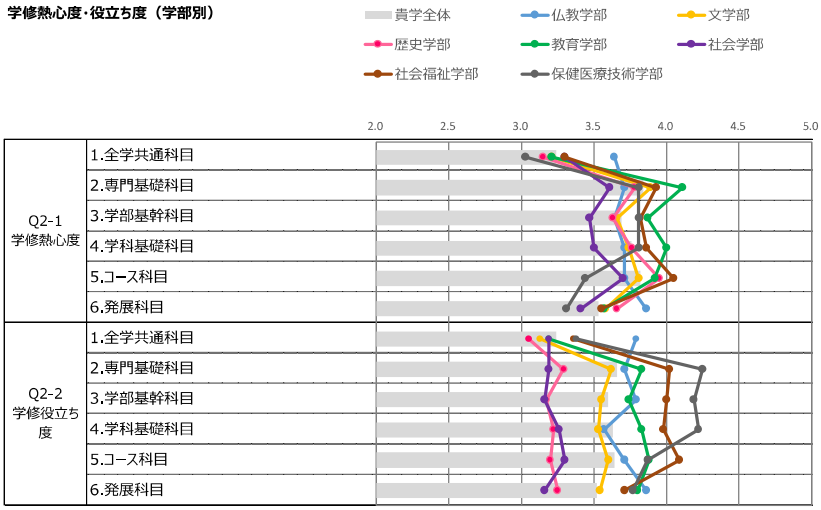


1-1.科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）

1-1-1. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）学部別比較

- ✓ 科目ごとの学修熱心度を学部別に比較してみると、「専門基礎科目」「学部基幹科目」「学科基礎科目」では教育学部がもっとも高く、社会学部でもっとも低い。その差はいずれも0.4以上あり、両学部においてはこれら科目の熱心度に差がみられる。
- ✓ 科目ごとの学修役立ち度を学部別に比較してみると、「専門基礎科目」「学部基幹科目」「学科基礎科目」では、保健医療技術学部、社会福祉学部が高く、歴史学部、社会学部は低い。これら３つの科目について、保健医療技術学部と社会学部とでは1.0以上の差があり、役立ち度に大きな差がみられる。

■ 学修熱心度・役立ち度（学部別）



学部TOP
学部BOTTOM

	平均値	学部別						
	貴学全体	仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部	社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部
	N=319	N=14	N=53	N=41	N=53	N=70	N=56	N=32
Q2-1 学修熱心度 1.全学共通科目	3.24	3.64	3.21	3.15	3.21	3.30	3.30	3.03
Q2-1 学修熱心度 2.専門基礎科目	3.84	3.71	3.89	3.78	4.11	3.61	3.93	3.81
Q2-1 学修熱心度 3.学部基幹科目	3.69	3.64	3.66	3.63	3.87	3.47	3.82	3.81
Q2-1 学修熱心度 4.学科基礎科目	3.76	3.71	3.74	3.76	4.00	3.50	3.86	3.81
Q2-1 学修熱心度 5.コース科目	3.82	3.71	3.81	3.95	3.92	3.70	4.05	3.44
Q2-1 学修熱心度 6.発展科目	3.53	3.86	3.58	3.66	3.57	3.41	3.55	3.31
Q2-2 学修役立ち度 1.全学共通科目	3.24	3.79	3.13	3.05	3.19	3.19	3.36	3.38
Q2-2 学修役立ち度 2.専門基礎科目	3.66	3.71	3.62	3.29	3.83	3.19	4.02	4.25
Q2-2 学修役立ち度 3.学部基幹科目	3.60	3.79	3.55	3.17	3.74	3.16	4.00	4.19
Q2-2 学修役立ち度 4.学科基礎科目	3.63	3.57	3.53	3.22	3.83	3.26	3.98	4.22
Q2-2 学修役立ち度 5.コース科目	3.64	3.71	3.60	3.20	3.88	3.30	4.09	3.87
Q2-2 学修役立ち度 6.発展科目	3.52	3.86	3.54	3.25	3.80	3.16	3.71	3.77

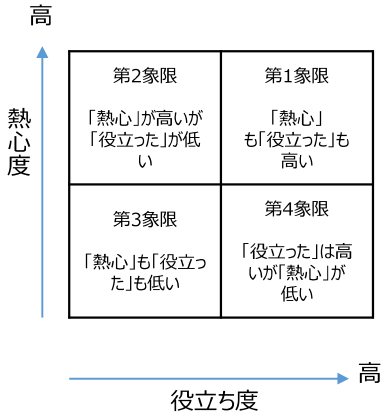
※熱心度：熱心だった：5点、どちらかというと熱心だった：4点、どちらともいえない：3点、どちらかというと熱心ではなかった：2点、熱心ではなかった：1点、履修しなかった：0点
※役立ち度：役に立っている：5点、どちらかというと役に立っている：4点、どちらともいえない：3点、どちらかというと役に立っていない：2点役に立っていない：1点、履修しなかった：除外として加重平均値を算出。（無回答は除く）

1-1-2. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　基本情報

各科目について、「熱心度」を縦軸、「役立ち度」を横軸に設定して座標軸の図を作り、その中に平均点でプロットしてポートフォリオ分析を行った。
各座標の交点は熱心度、役立ち度それぞれ全項目の平均値としている。

■熱心度：「熱心に取り組んだ度合い」
熱心だった：5点、どちらかというと熱心だった：4点、どちらともいえない：3点、
どちらかというと熱心ではなかった：2点、熱心ではなかった：1点、履修しなかった：0点
として加重平均値を算出。（無回答は除く）

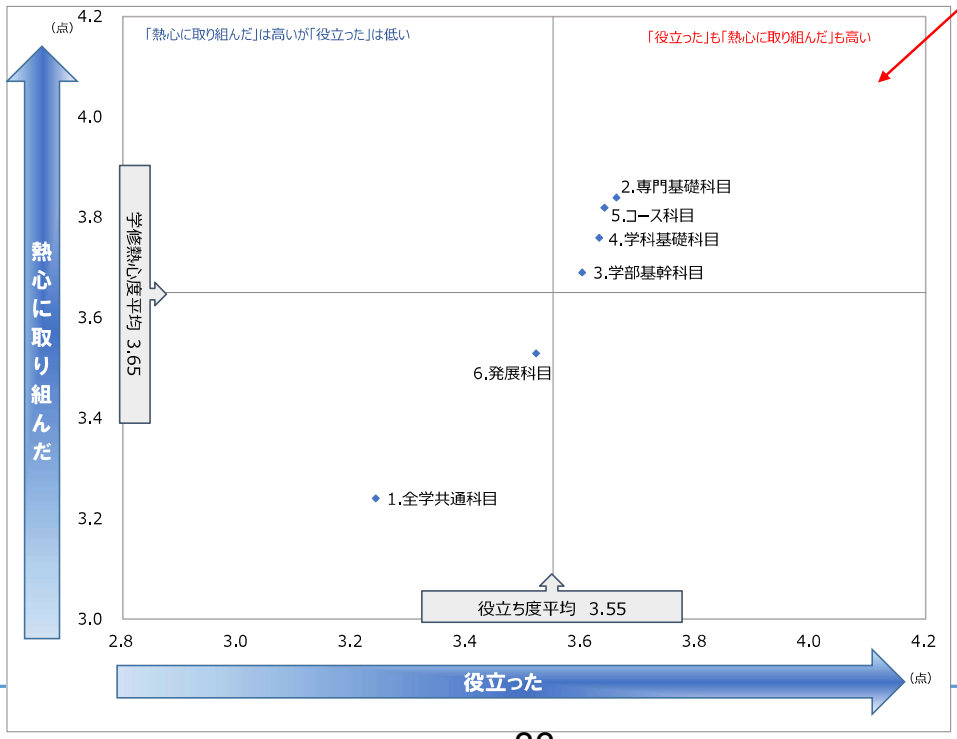
■役立ち度：「これまでの仕事に必要な知識・技術・態度にとって役立った度合い」
役に立っている：5点、どちらかというと役に立っている：4点、どちらともいえない：3点、
どちらかというと役に立っていない：2点、役に立っていない：1点、履修しなかった：除外
として加重平均値を算出。
（無回答は除く）



1-1-2. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　全体

【「役立った」も「熱心」も高い科目】
✓　2．専門基礎科目
✓　3．学部基幹科目
✓　4．学科基礎科目
✓　5．コース科目

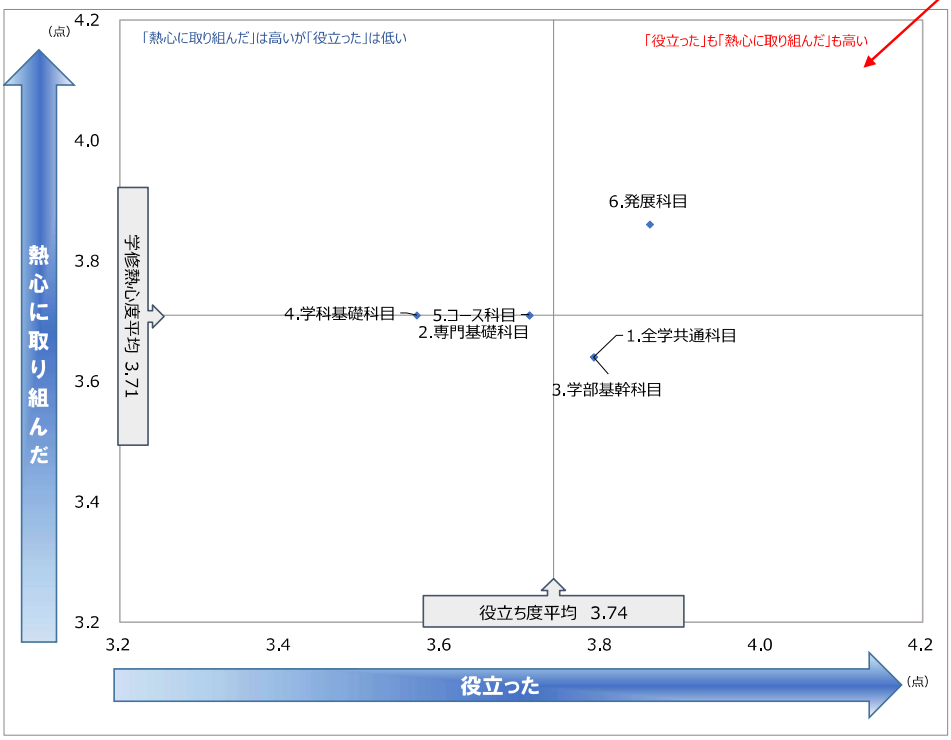
■貴学全体（N=319）



1-1-2. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　仏教学部

【「役立った」も「熱心」も高い科目】
✓　6. 発展科目

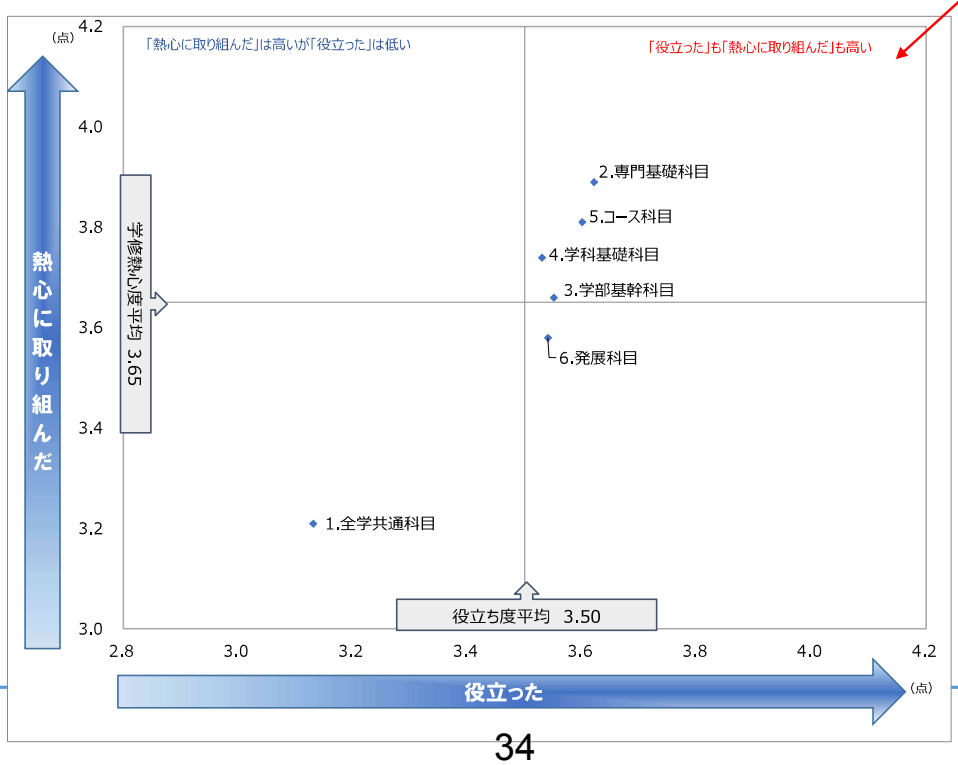
■仏教学部（N=14）



1-1-2. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　文学部

【「役立った」も「熱心」も高い科目】
✓　2. 専門基礎科目
✓　3. 学部基幹科目
✓　4. 学科基礎科目
✓　5. コース科目

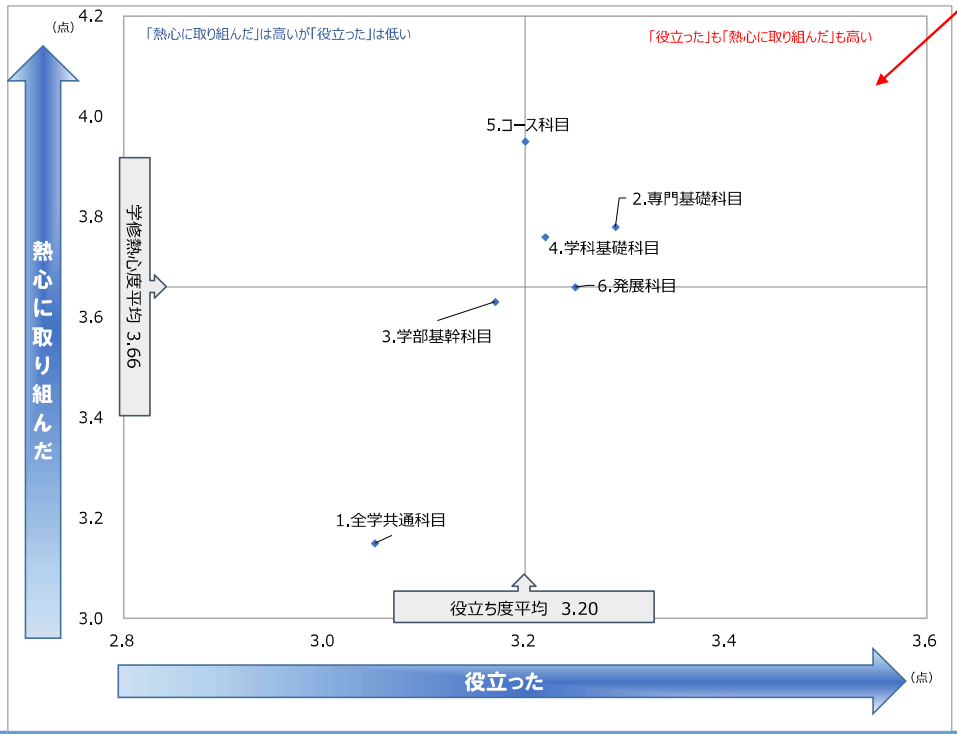
■文学部（N=53）



1-1-2．科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　歴史学部

【「役立った」も「熱心」も高い科目】
- ✓ 2．専門基礎科目
- ✓ 4．学科基礎科目

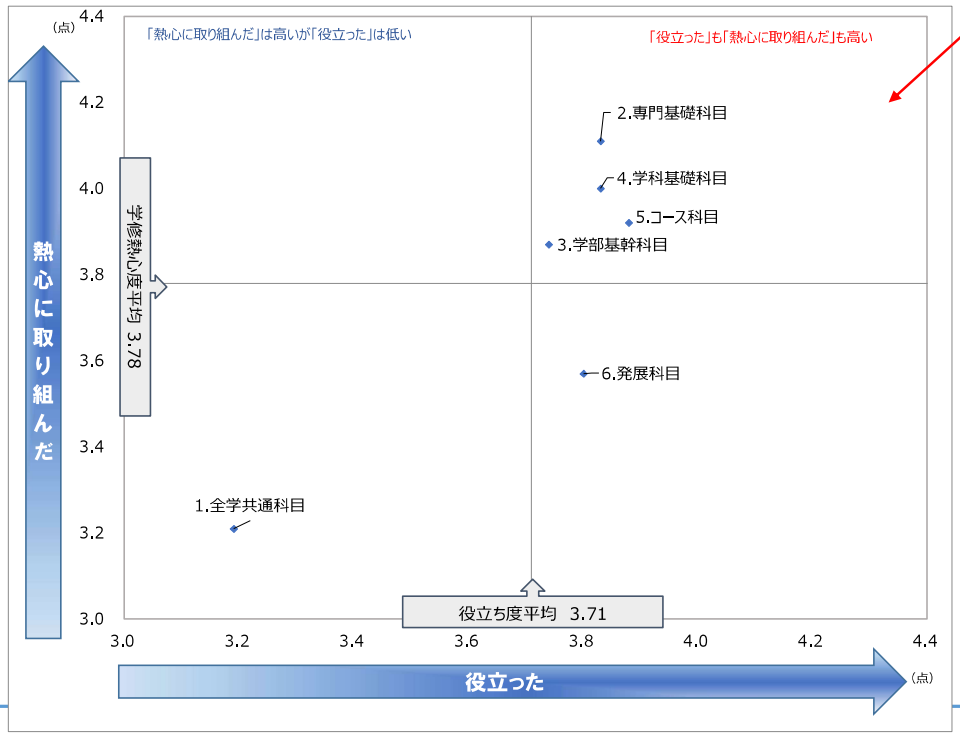
■歴史学部（N=41）



1-1-2．科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　教育学部

【「役立った」も「熱心」も高い科目】
- ✓ 2．専門基礎科目
- ✓ 3．学部基幹科目
- ✓ 4．学科基礎科目
- ✓ 5．コース科目

■教育学部（N=53）

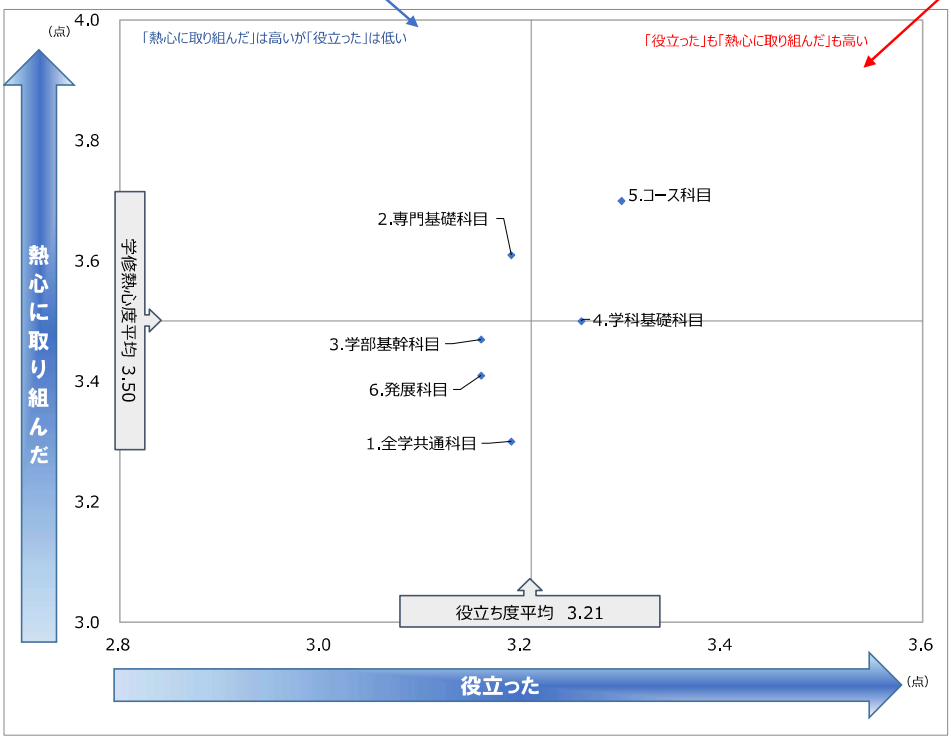


1-1-2. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　社会学部

【「熱心」は高いが「役立った」は低い科目】
✓　2. 専門基礎科目

【「役立った」も「熱心」も高い科目】
✓　5. コース科目

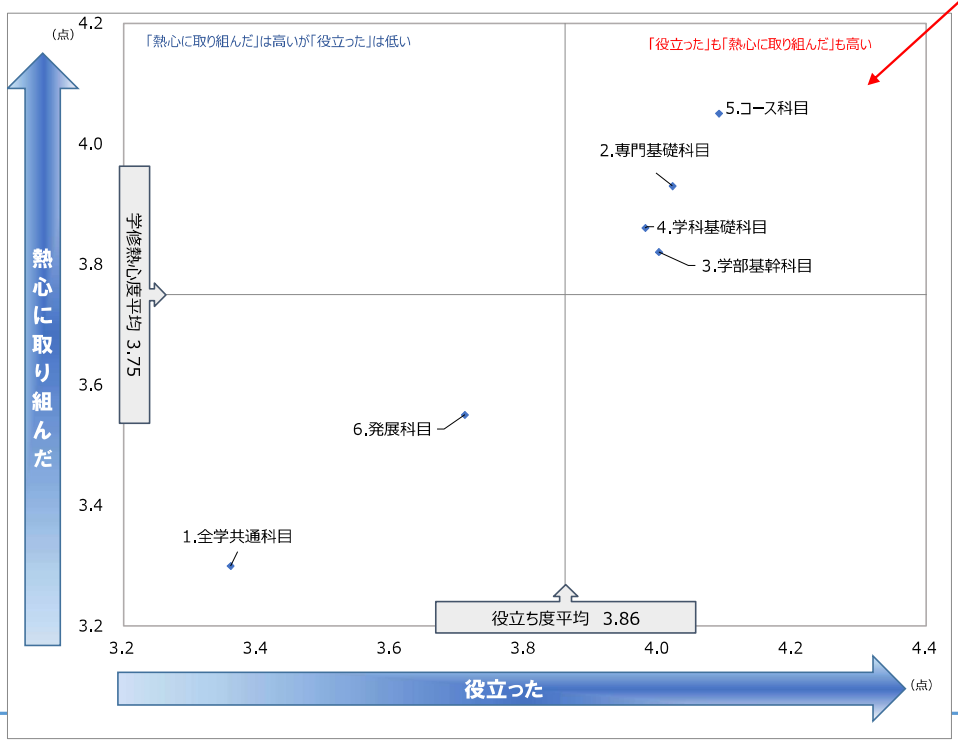
■社会学部（N=70）



1-1-2. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　社会福祉学部

【「役立った」も「熱心」も高い科目】
✓　2．専門基礎科目
✓　3．学部基幹科目
✓　4．学科基礎科目
✓　5．コース科目

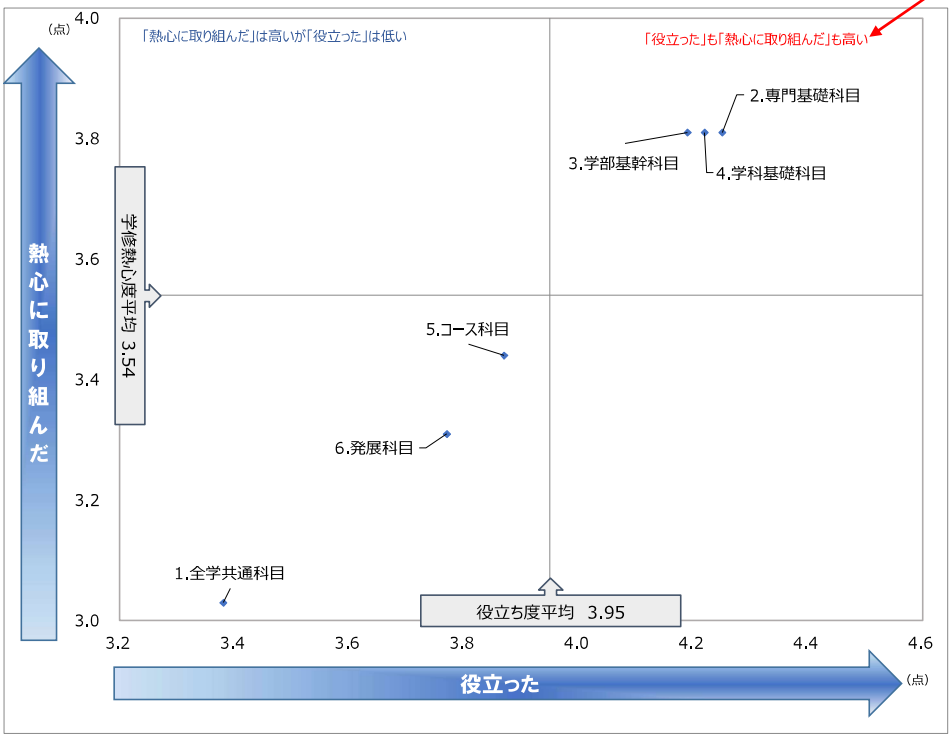
■社会福祉学部（N=56）



1-1-2. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　保健医療技術学部

【「役立った」も「熱心」も高い科目】
- ✓ 2．専門基礎科目
- ✓ 3．学部基幹科目
- ✓ 4．学科基礎科目

■保健医療技術学部（N=32）



1-1-2. 科目ごとの学修熱心度と役立ち度（Q2）ポートフォリオ分析　まとめ

- ✓ ポートフォリオ分析の結果、「熱心に取り組み役立った科目」および「熱心に取り組んだが役立ったは低い科目」を一覧にまとめた。
- ✓ 「専門基礎科目」「学部基幹科目」「学科基礎科目」「コース科目」は、文学部、教育学部、社会福祉学部で「熱心に取り組み役立った科目」となっている。
- ✓ 社会学部では、「専門基礎科目」が「熱心に取り組んだが役立ったは低い科目」となっている。

●：「熱心」も「役立った」も高い（「熱心」も「役立った」も平均より大きい項目を抽出）
▲：「熱心」は高いが、「役立った」は低い項目（「役立った」が平均より小さく、「熱心」が平均より大きい項目を抽出）

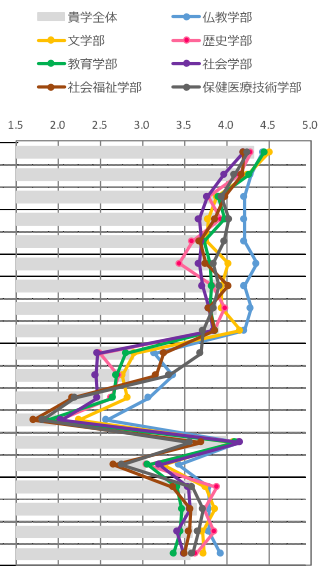
科目名	全体	学部別						
		仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部	社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部
1.全学共通科目								
2.専門基礎科目	●		●	●	●	▲	●	●
3.学部基幹科目	●		●		●		●	●
4.学科基礎科目	●		●	●	●		●	●
5.コース科目	●		●		●	●	●	
6.発展科目		●						

1-2. 必要度と修得度（Q3）

1-2-1. 必要度（学部別）

- ✓ 19項目の能力・スキルの必要度を貴学全体でみると、もっとも高いのは「1.他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）」、次いで「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）」、「14. PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）」と続く。
- ✓ 学部別にみると、「 14. PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）」は、歴史学部、教育学部、社会学部では4.10を超え上位3項目に入っているが、社会福祉学部、保健医療技術学部では4.00未満で、あまり必要度が高くない。

■ 必要度



上位3項目
下位3項目

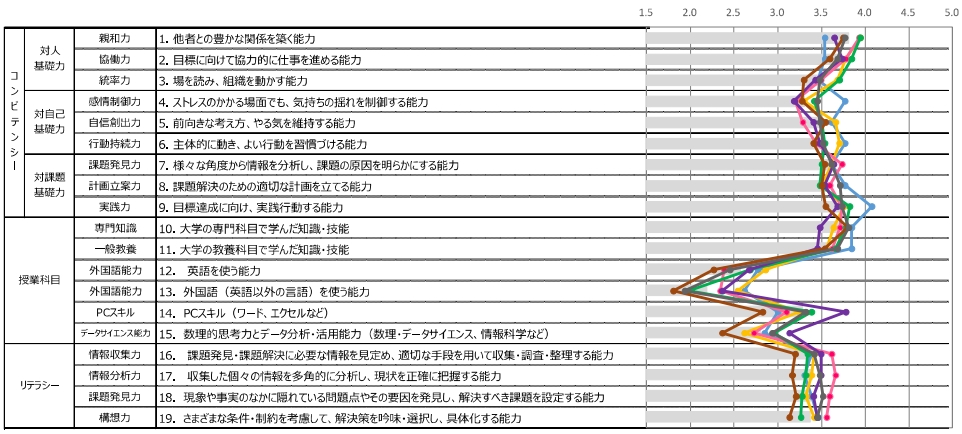
				平均値	学部別						
				貴学全体	仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部	社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部
				N=319	N=14	N=53	N=41	N=53	N=70	N=56	N=32
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	4.32	4.43	4.51	4.29	4.45	4.20	4.20	4.25
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	4.15	4.29	4.25	4.15	4.27	3.97	4.18	4.09
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力	3.89	4.21	3.88	3.78	3.90	3.77	3.98	3.94
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	3.87	4.21	3.78	3.93	3.98	3.67	3.86	4.03
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	3.75	4.21	3.76	3.59	3.73	3.70	3.68	3.97
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	3.78	4.36	4.02	3.44	3.80	3.67	3.75	3.84
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	3.88	4.21	3.94	3.83	3.82	3.71	4.02	3.91
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	3.87	4.29	3.94	3.98	3.80	3.79	3.79	3.84
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	3.90	4.21	4.16	3.85	3.86	3.84	3.86	3.72
授業科目		専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	2.89	3.14	2.90	2.49	2.80	2.46	3.25	3.69
		一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	2.83	3.36	2.76	2.71	2.69	2.44	3.16	3.31
		外国語能力	12. 英語を使う能力	2.52	3.07	2.82	2.63	2.65	2.46	2.16	2.19
		外国語能力	13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力	1.97	2.57	2.24	2.00	1.86	2.03	1.70	1.81
		PCスキル	14. PCスキル（ワード、エクセルなど）	3.99	4.14	4.08	4.15	4.10	4.16	3.70	3.56
		データサイエンス能力	15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	3.03	3.43	3.25	3.05	3.06	3.20	2.66	2.75
リテラシー		情報収集力	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	3.58	3.79	3.75	3.88	3.41	3.54	3.36	3.59
		情報分析力	17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	3.64	3.79	3.86	3.73	3.47	3.56	3.57	3.72
		課題発見力	18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	3.59	3.79	3.71	3.85	3.45	3.41	3.55	3.66
		構想力	19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	3.56	3.93	3.73	3.63	3.37	3.49	3.50	3.59

※絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

1-2-1. 修得度（学部別）

- ✓ 19項目の能力・スキルの修得度を貴学全体でみると、もっとも高いのは「1.他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）」、次いで「2.目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）」、「9.目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）」と続く。
- ✓ 学部別にみると、社会学部では「14.PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）」が、他学部と比べて高い水準にある。リテラシー領域の4項目では、歴史学部が高く、社会福祉学部が低い水準にある。

■ 修得度



上位3項目
下位3項目

平均値	学部別						
貴学全体	仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部	社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部
N=319	N=14	N=53	N=41	N=53	N=70	N=56	N=32
3.81	3.54	3.94	3.93	3.94	3.65	3.75	3.77
3.73	3.54	3.78	3.78	3.84	3.74	3.59	3.68
3.51	3.46	3.68	3.49	3.70	3.43	3.30	3.48
3.31	3.77	3.30	3.20	3.42	3.19	3.27	3.45
3.49	3.62	3.66	3.29	3.50	3.41	3.55	3.48
3.52	3.77	3.70	3.44	3.54	3.48	3.41	3.52
3.60	3.62	3.62	3.73	3.50	3.64	3.54	3.61
3.55	3.77	3.50	3.59	3.48	3.54	3.50	3.71
3.72	4.08	3.76	3.73	3.82	3.68	3.55	3.74
3.69	3.85	3.64	3.71	3.78	3.48	3.80	3.81
3.58	3.85	3.56	3.63	3.66	3.45	3.54	3.68
2.57	2.77	2.86	2.39	2.68	2.67	2.27	2.45
2.19	2.62	2.54	2.34	1.98	2.36	1.80	1.94
3.29	3.00	3.24	3.10	3.38	3.78	2.82	3.32
2.80	2.85	2.62	2.73	2.96	3.13	2.36	2.94
3.41	3.38	3.42	3.61	3.34	3.49	3.20	3.42
3.40	3.31	3.38	3.66	3.32	3.49	3.16	3.48
3.37	3.38	3.32	3.59	3.28	3.41	3.21	3.52
3.37	3.46	3.42	3.56	3.26	3.45	3.13	3.45

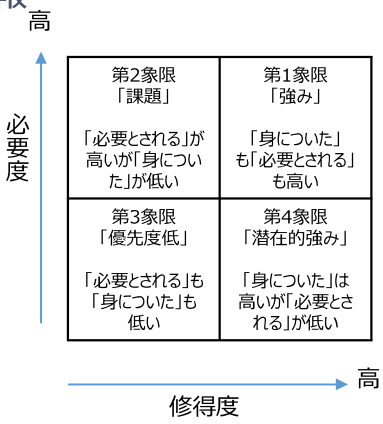
※かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

1-2-2. 必要度と修得度 ポートフォリオ分析 基本情報

各基礎力について、「必要度」を縦軸、「修得度」を横軸に設定して座標軸の図を作り、その中に平均点でプロットしてポートフォリオ分析を行った。
各座標の交点は必要度、修得度それぞれ全項目の平均値としている。

■必要度：「職場(社会)で必要とされている度合い」
絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、
少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

■修得度：「学生時代に身についた度合い」
かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、
あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点として加重平均値を算出。
（無回答は除く）



【各基礎力の凡例と項目名】

		ラベル		項目名
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	◆	1. 他者との豊かな関係を築く能力
		協働力		2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
		統率力		3. 場を読み、組織を動かす能力
	対自己基礎力	感情制御力	◆	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
		自信創出力		5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
		行動持続力		6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
	対課題基礎力	課題発見力	◆	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
		計画立案力		8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力
		実践力		9. 目標達成に向け、実践行動する能力

	ラベル		項目名
授業科目	専門知識・技能	◆	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能
	教養知識・技能		11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能
	外国語		12. 英語を使う能力
	外国語		13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力
	PCスキル		14. PCスキル（ワード、エクセルなど）
	数理的思考力		15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）
リテラシー	情報収集力	◆	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力
	情報分析力		17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力
	課題発見力		18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力
	構想力		19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力

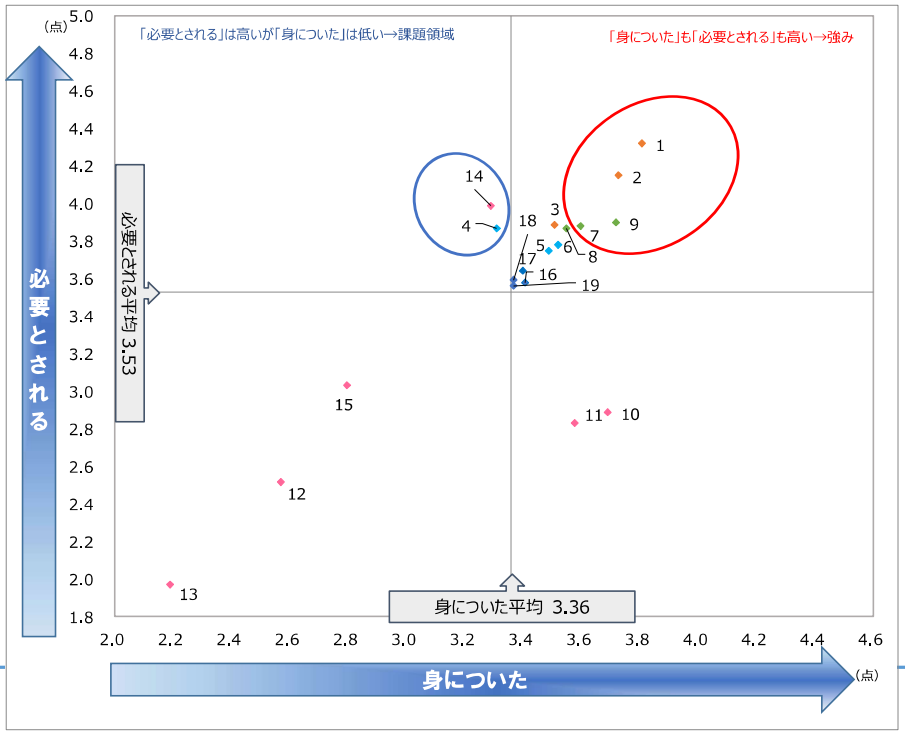
1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　全体

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
- ✓ 4．ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（対自己基礎力：感情制御力）
- ✓ 14．PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

【強みの項目】
- ✓ 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- ✓ 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- ✓ 7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
- ✓ 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

■貴学全体（N=319）



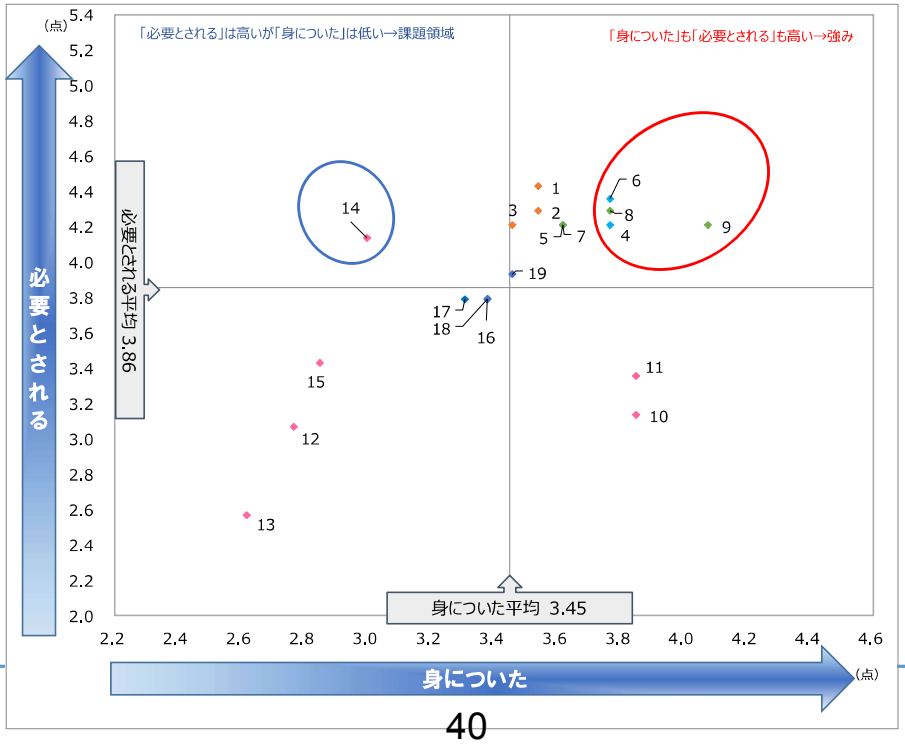
1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　仏教学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
- ✓ 14．PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

【強みの項目】
- ✓ 4．ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（対自己基礎力：感情制御力）
- ✓ 6．主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）
- ✓ 8．課題解決のための適切な計画を立てる能力（対課題基礎力：計画立案力）
- ✓ 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

■仏教学部（N=14）



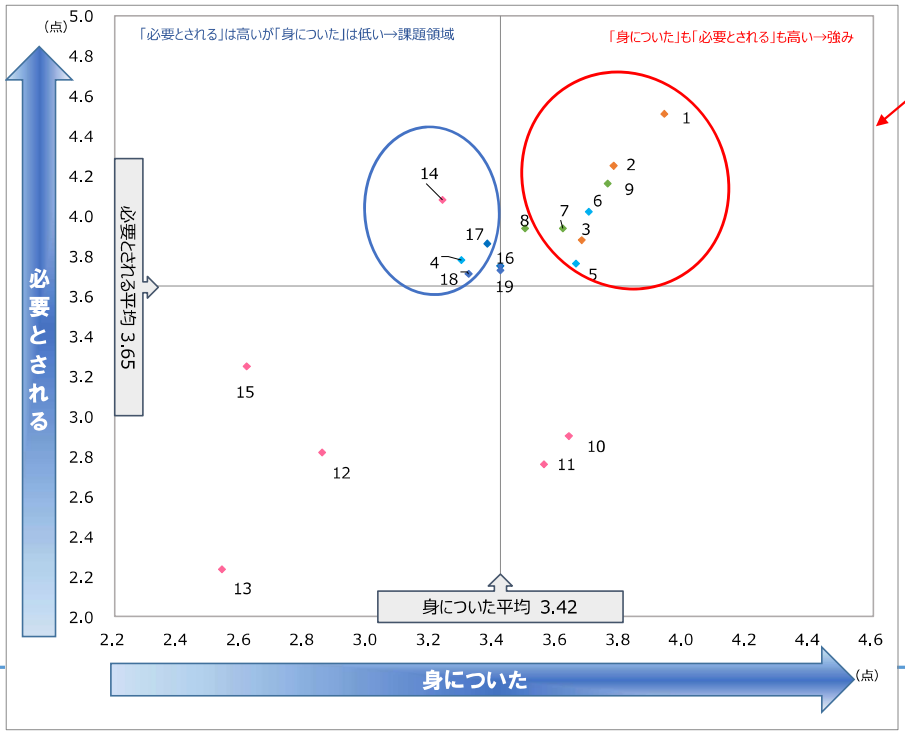
1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　文学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
- ✓ 4．ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（対自己基礎力：感情制御力）
- ✓ 14．PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）
- ✓ 17．収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（リテラシー：情報分析力）
- ✓ 18．現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（リテラシー：課題発見力）

【強みの項目】
- ✓ 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- ✓ 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- ✓ 3．場を読み、組織を動かす能力（対人基礎力：統率力）
- ✓ 5．前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）
- ✓ 6．主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）
- ✓ 7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
- ✓ 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

■文学部（N=53）



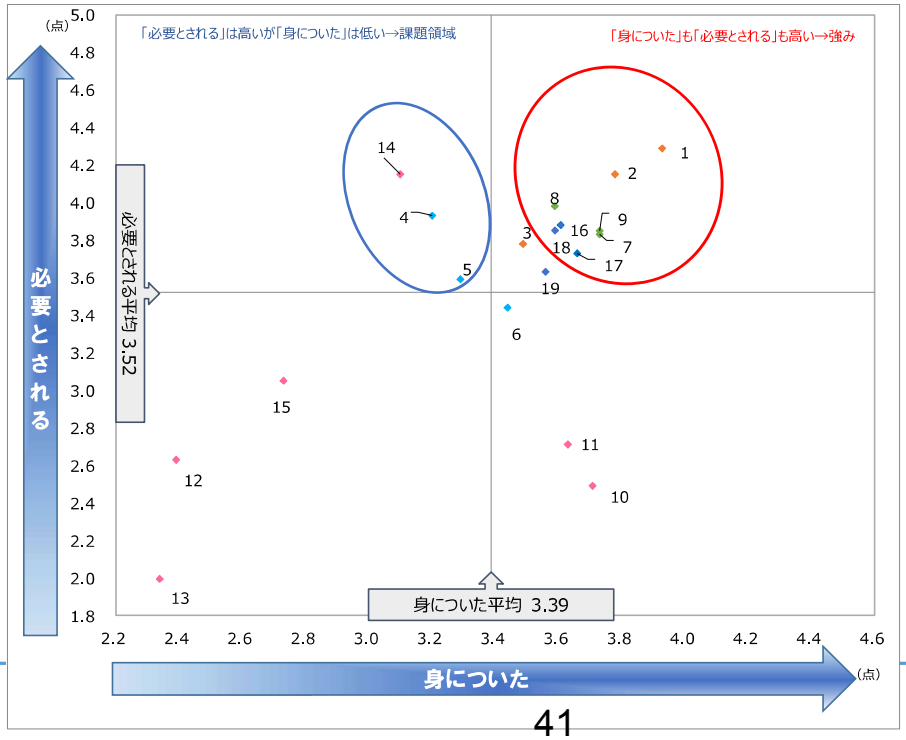
1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　歴史学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
- ✓ 4．ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（対自己基礎力：感情制御力）
- ✓ 5．前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）
- ✓ 14．PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

【強みの項目】
- ✓ 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- ✓ 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- ✓ 7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
- ✓ 8．課題解決のための適切な計画を立てる能力（対課題基礎力：計画立案力）
- ✓ 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）
- ✓ 16．課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力（リテラシー：情報収集力）
- ✓ 17．収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（リテラシー：情報分析力）
- ✓ 18．現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（リテラシー：課題発見力）

■歴史学部（N=41）



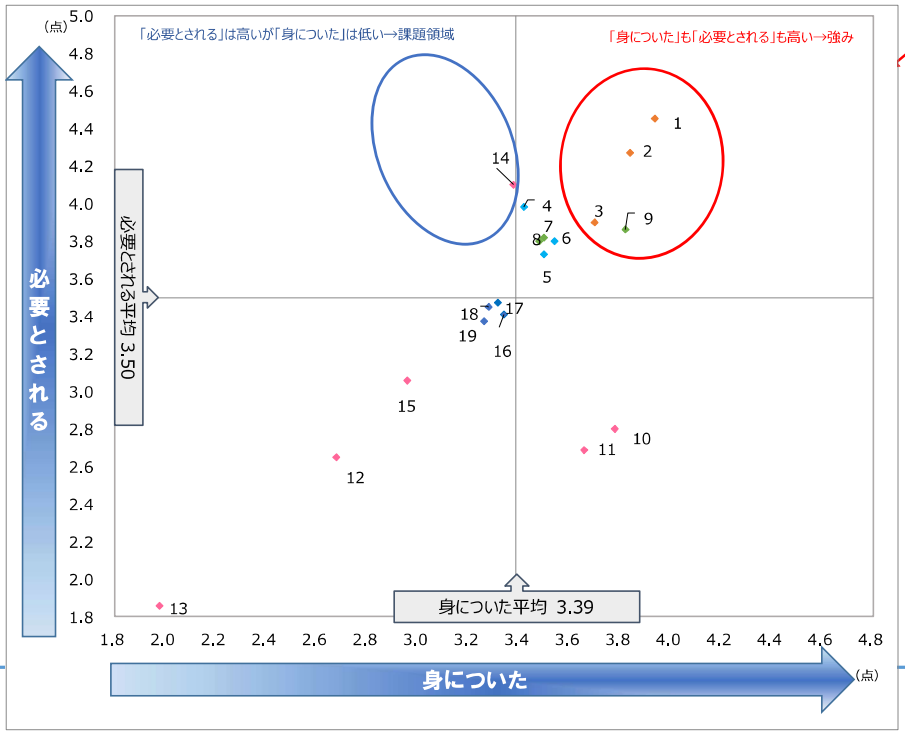
1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　教育学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
✓　14．PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

【強みの項目】
✓　1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
✓　2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
✓　3．場を読み、組織を動かす能力（対人基礎力：統率力）
✓　9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

■教育学部（N=53）



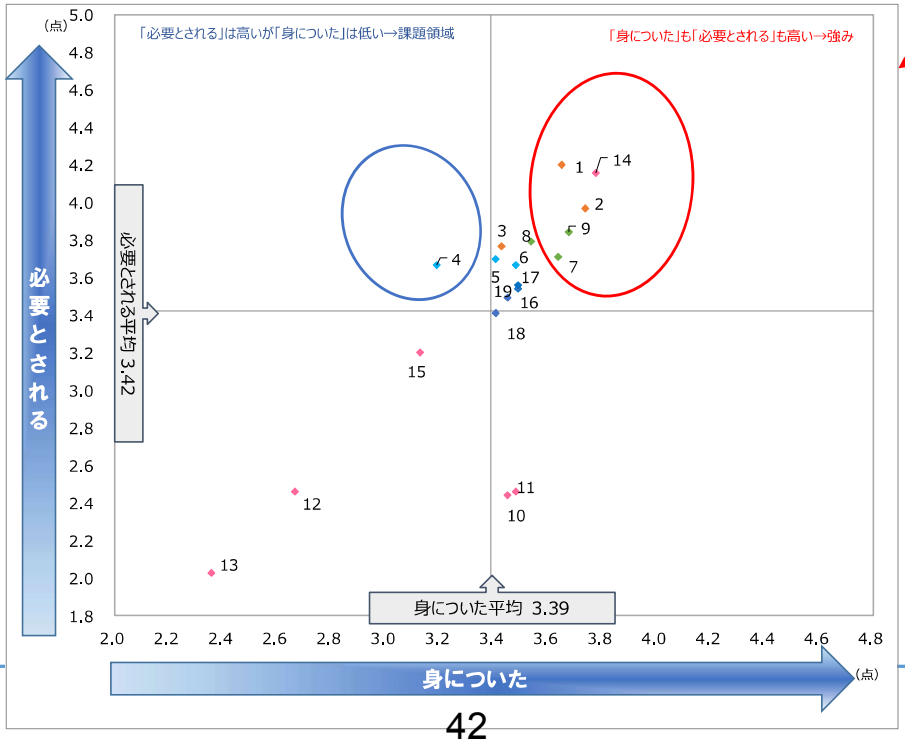
1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　社会学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
✓　4．ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（対自己基礎力：感情制御力）

【強みの項目】
✓　1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
✓　2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
✓　7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
✓　9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）
✓　14．PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

■社会学部（N=70）



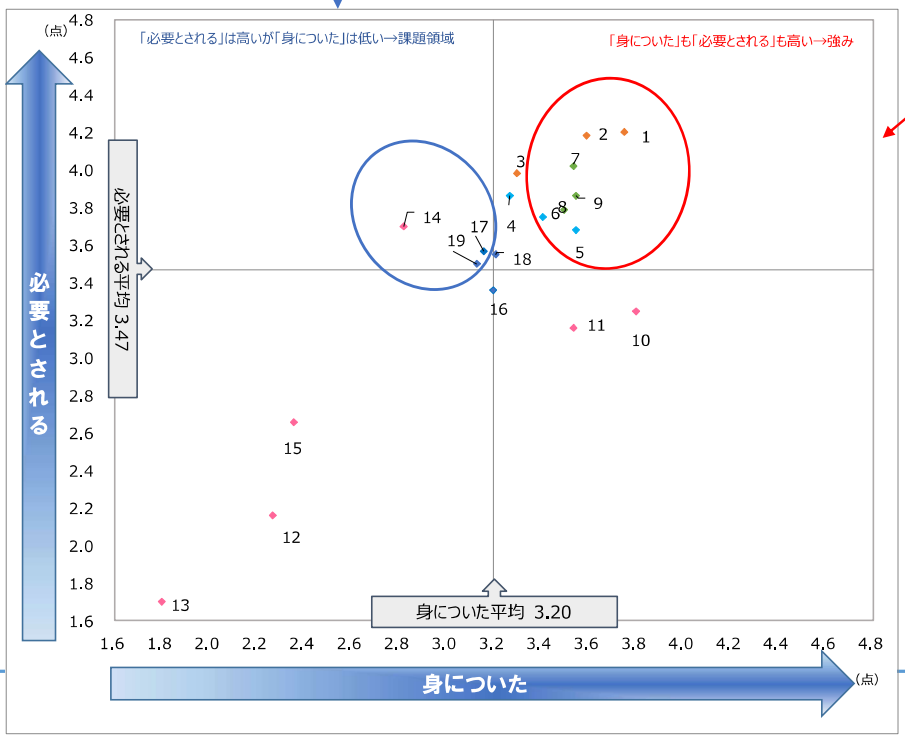
1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　社会福祉学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
- ✓ 14．PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）
- ✓ 17．収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（リテラシー：情報分析力）
- ✓ 19．さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力（リテラシー：構想力）

【強みの項目】
- ✓ 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- ✓ 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- ✓ 5．前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）
- ✓ 6．主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）
- ✓ 7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
- ✓ 8．課題解決のための適切な計画を立てる能力（対課題基礎力：計画立案力）
- ✓ 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

■社会福祉学部（N=56）



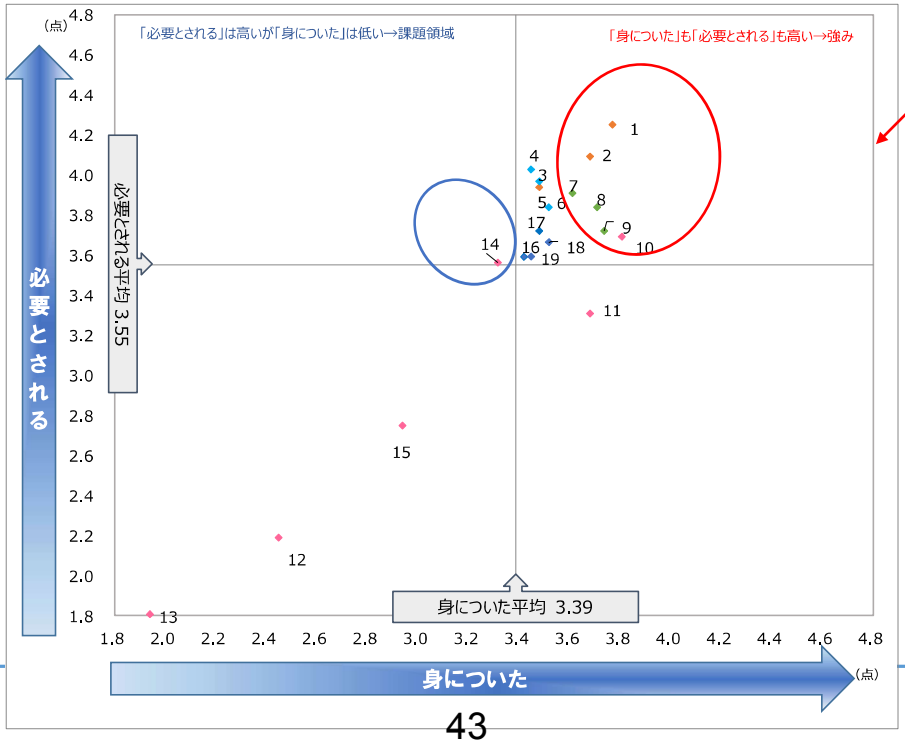
1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　保健医療技術学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
- ✓ 14．PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

【強みの項目】
- ✓ 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- ✓ 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- ✓ 7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
- ✓ 8．課題解決のための適切な計画を立てる能力（対課題基礎力：計画立案力）
- ✓ 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）
- ✓ 10．大学の専門科目で学んだ知識・技能（授業科目：専門知識・技能）

■保健医療技術学部（N=32）



1-2-2. 必要度と修得度　ポートフォリオ分析　まとめ

- ✓ ポートフォリオ分析の結果、「強み」および「課題」として抽出された項目を一覧にまとめた。
- ✓ 学部別にみて特徴的なのは、保健医療技術学部では「10.大学の専門科目で学んだ知識・技能（授業科目：専門知識・技能）」が強みに、社会学部では「14.PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）」が強みとなっている点であり、他学部との違いがみられる。
- ✓ 文学部ではリテラシー領域の「17.収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（リテラシー：情報分析力）」、「18.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（リテラシー：課題発見力）」が課題であるのに対し、歴史学部では強みとなっている。

●：「強み」の項目（「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出）
▲：「課題」の項目（「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出）

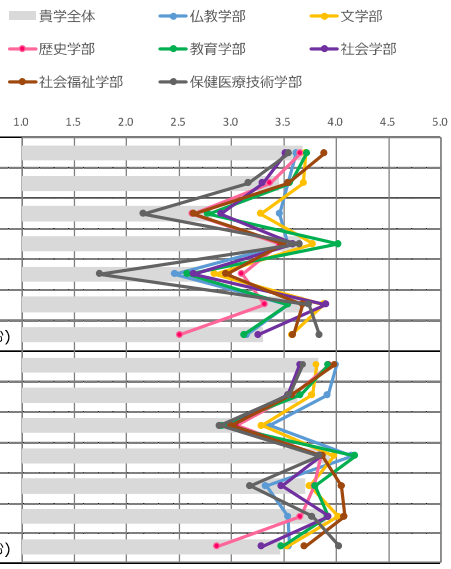
能力区分			項目名	全体	学部						
					仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部	社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1.　他者との豊かな関係を築く能力	●		●	●	●	●	●	●
		協働力	2.　目標に向けて協力的に仕事を進める能力	●		●	●	●	●	●	●
		統率力	3.　場を読み、組織を動かす能力			●		●			
	対自己基礎力	感情制御力	4.　ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	▲	●	▲	▲		▲		
		自己創出力	5.　前向きな考え方、やる気を維持する能力			●	▲			●	
		行動持続力	6.　主体的に動き、よい行動を習慣づける能力		●	●				●	
	対課題基礎力	課題発見力	7.　様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	●		●	●		●	●	●
		計画立案力	8.　課題解決のための適切な計画を立てる能力		●		●			●	●
		実践力	9.　目標達成に向け、実践行動する能力	●	●	●	●	●	●	●	●
授業項目		専門知識・技能	10.　大学の専門科目で学んだ知識・技能								●
		教養知識・技能	11.　大学の教養科目で学んだ知識・技能								
		外国語	12.　英語を使う能力								
		外国語	13.　外国語（英語以外の言語）を使う能力								
		PCスキル	14.　PCスキル（ワード、エクセルなど）	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲
		数理的思考力	15.　数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）								
リテラシー		情報収集力	16.　課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力				●				
		情報分析力	17.　収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力			▲	●			▲	
		課題発見力	18.　現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力			▲	●				
		構想力	19.　さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力							▲	

1-3.在学中の活動熱心度と満足度（Q5）

1-3-1. 活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）学部別比較

- ✓ 活動ごとの取組熱心度を学部別に比較してみると、「卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ」では教育学部がもっとも高く、熱心度の中では唯一、4.00を超えている、「外国語の学修」「部・サークル活動」では、保健医療技術学部が突出して低い。
- ✓ 活動ごとの満足度を学部別に比較してみると、熱心度と同様に「卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ」では教育学部がもっとも高く、「部・サークル活動」、「アルバイト」では、社会福祉学部が他学部と比べて高い。歴史学部では「就職活動」が他学部と比べて特に低い。

■ 取組熱心度・満足度（学部別）



学部TOP
学部BOTTOM

	平均値	学部別						
	貴学全体	仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部	社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部
	N=319	N=14	N=53	N=41	N=53	N=70	N=56	N=32
Q5-1 取組熱心度 1.専門科目の講義	3.68	3.62	3.71	3.66	3.72	**3.52**	**3.89**	3.55
2.教養科目の講義	3.45	3.54	**3.69**	3.37	3.56	3.30	3.54	**3.16**
3.外国語の学修	2.81	**3.46**	3.28	2.63	2.78	2.90	2.64	**2.16**
4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ	3.66	3.54	3.78	**3.46**	**4.02**	3.59	3.50	3.65
5.部・サークル活動	2.68	2.46	2.84	**3.10**	2.58	2.64	2.95	**1.74**
6.アルバイト	3.69	3.54	3.88	**3.32**	3.54	**3.90**	3.68	3.74
7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)	3.30	3.15	3.58	**2.51**	3.12	3.26	3.59	**3.84**
Q5-2 満足度 1.専門科目の講義	3.83	**4.00**	3.81	3.93	3.92	**3.65**	3.98	3.68
2.教養科目の講義	3.63	**3.92**	3.77	3.59	3.66	**3.54**	3.58	3.55
3.外国語の学修	3.04	**3.36**	3.29	3.05	2.91	3.00	3.00	**2.89**
4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ	3.94	4.15	3.98	3.85	**4.18**	3.85	3.87	**3.84**
5.部・サークル活動	3.70	3.33	3.75	3.79	3.80	3.48	**4.05**	**3.18**
6.アルバイト	3.90	**3.54**	4.02	3.66	3.92	3.93	**4.08**	3.77
7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)	3.47	3.55	3.53	**2.86**	3.48	3.29	3.70	**4.03**

※熱心度：熱心だった：5点、どちらかというと熱心だった：4点、どちらともいえない：3点、どちらかというと熱心ではなかった：2点、熱心ではなかった：1点、経験しなかった：0点
※満足度：とても満足している：5点、.やや満足している：4点、どちらともいえない：3点、あまり満足していない：2点、全く満足していない：1点、経験しなかった：除外
として加重平均値を算出。（無回答は除く）

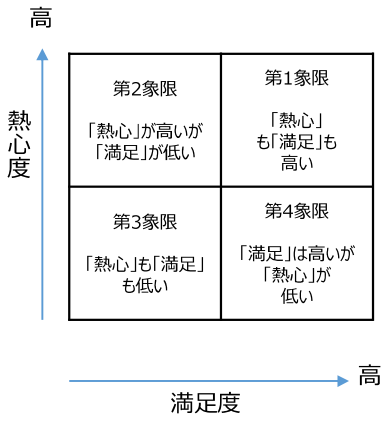
31

1-3-2.在学中の活動熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　基本情報

各活動について、「熱心度」を縦軸、「満足度」を横軸に設定して座標軸の図を作り、その中に平均点でプロットしてポートフォリオ分析を行った。
各座標の交点は熱心度、役立ち度それぞれ全項目の平均値としている。

■熱心度：「熱心に取り組んだ度合い」
とても熱心だった：5点、やや熱心だった：4点、どちらともいえない：3点、
あまり熱心ではなかった：2点、まったく熱心ではなかった：1点、経験しなかった：0点
として加重平均値を算出。（無回答は除く）

■満足度：「満足した度合い」
とても満足している：5点、.やや満足している：4点、どちらともいえない：3点、
あまり満足していない：2点、全く満足していない：1点
として加重平均値を算出。（経験しなかった、無回答は除く）



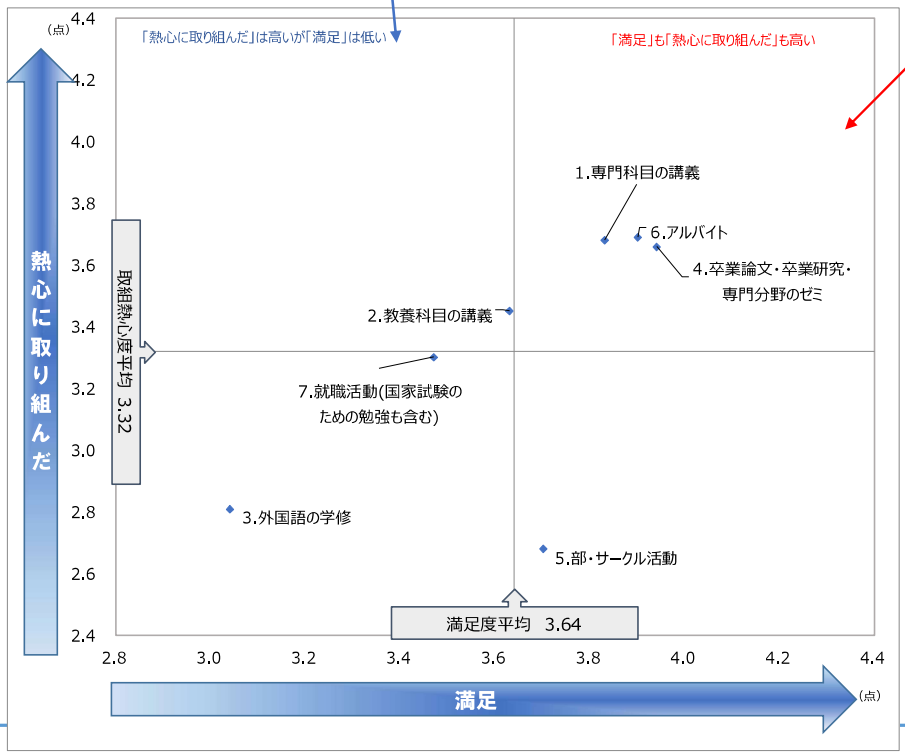
32

1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　全体

【「熱心」は高いが「満足」は低い活動】
✓　2.教養科目の講義

【「満足」も「熱心」も高い活動】
✓　1.専門科目の講義
✓　4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
✓　6.アルバイト

■貴学全体（N=319）

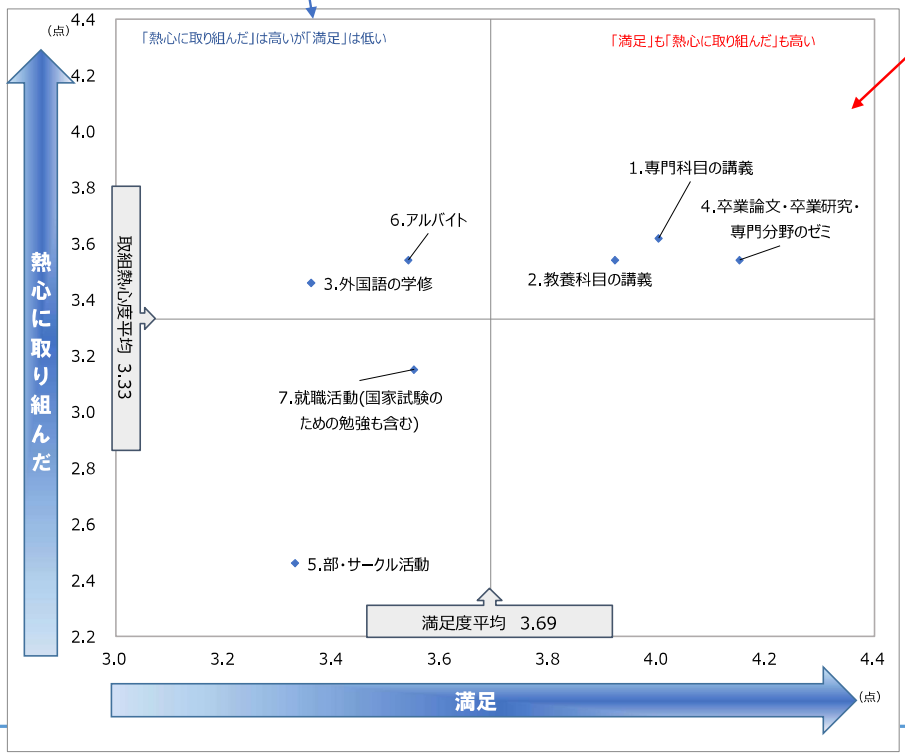


1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　仏教学部

【「熱心」は高いが「満足」は低い活動】
✓　3.外国語の学修
✓　6.アルバイト

【「満足」も「熱心」も高い活動】
✓　1.専門科目の講義
✓　2.教養科目の講義
✓　4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ

■仏教学部（N=14）

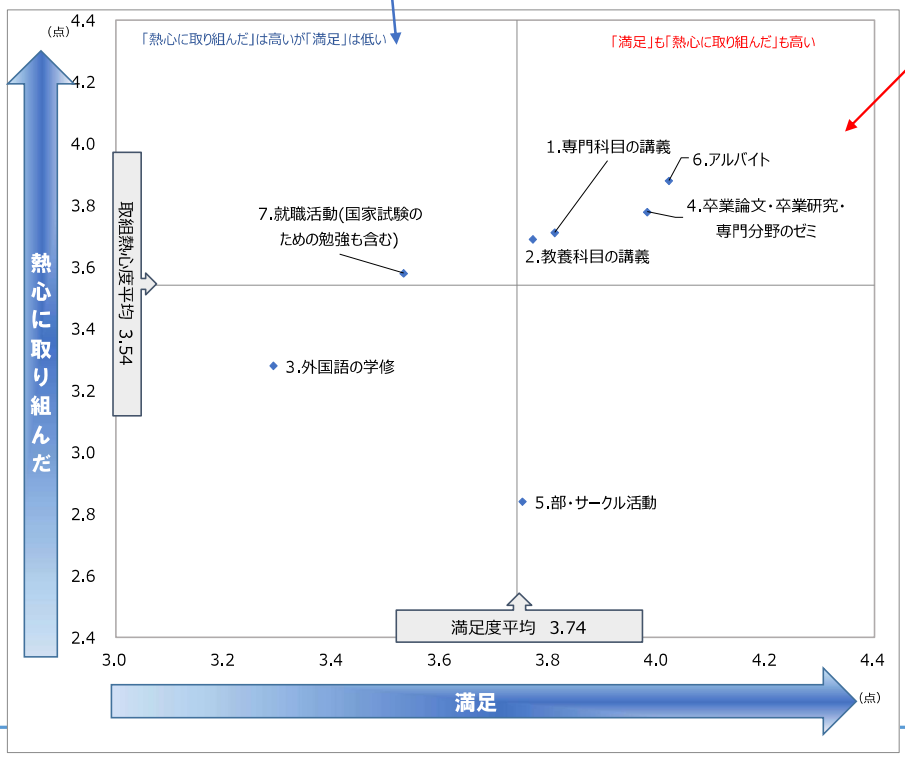


1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　文学部

【「熱心」は高いが「満足」は低い活動】
✓　7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)

【「満足」も「熱心」も高い活動】
✓　1.専門科目の講義
✓　2.教養科目の講義
✓　4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
✓　6.アルバイト

■文学部（N=53）

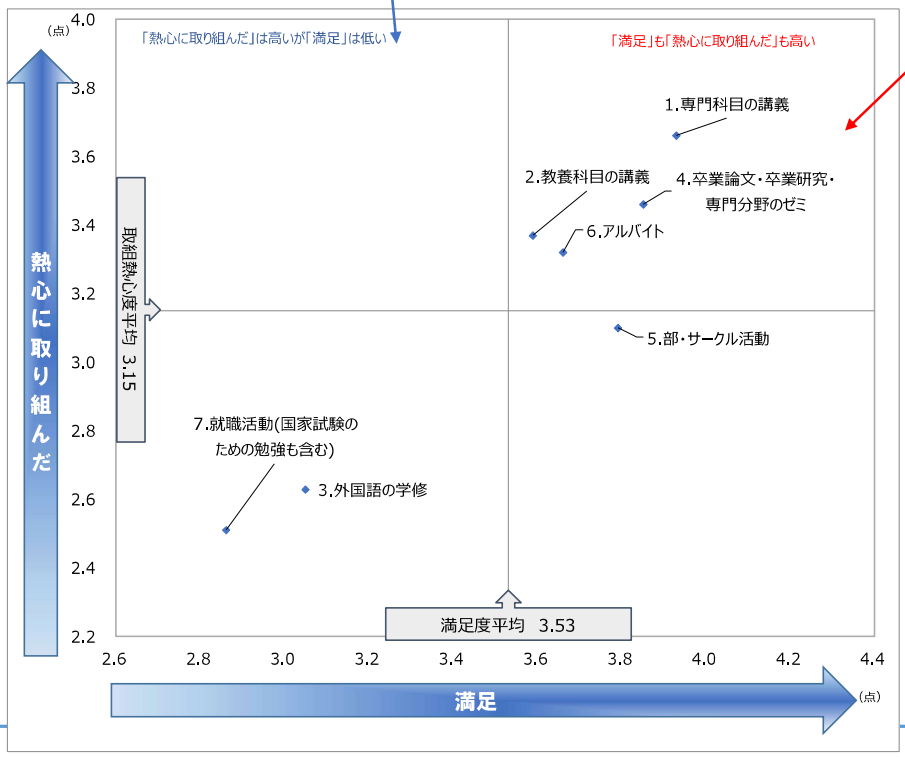


1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　歴史学部

【「熱心」は高いが「満足」は低い活動】
✓　該当なし

【「満足」も「熱心」も高い活動】
✓　1.専門科目の講義
✓　2.教養科目の講義
✓　4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
✓　6.アルバイト

■歴史学部（N=41）

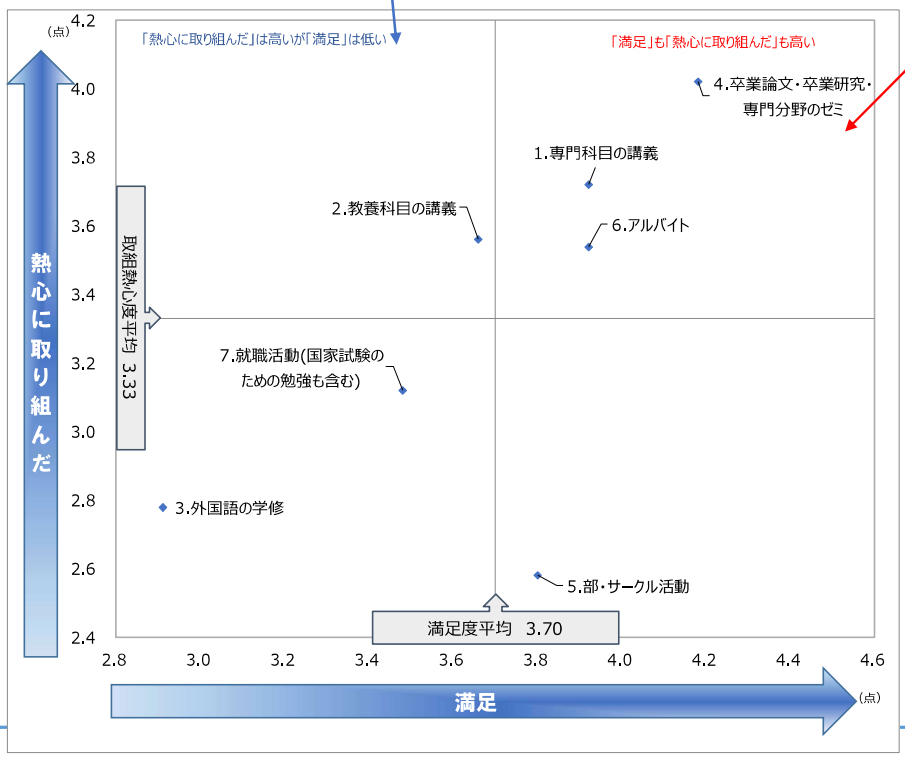


1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　教育学部

【「熱心」は高いが「満足」は低い活動】
✓　2.教養科目の講義

【「満足」も「熱心」も高い活動】
✓　1.専門科目の講義
✓　4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
✓　6.アルバイト

■教育学部（N=53）

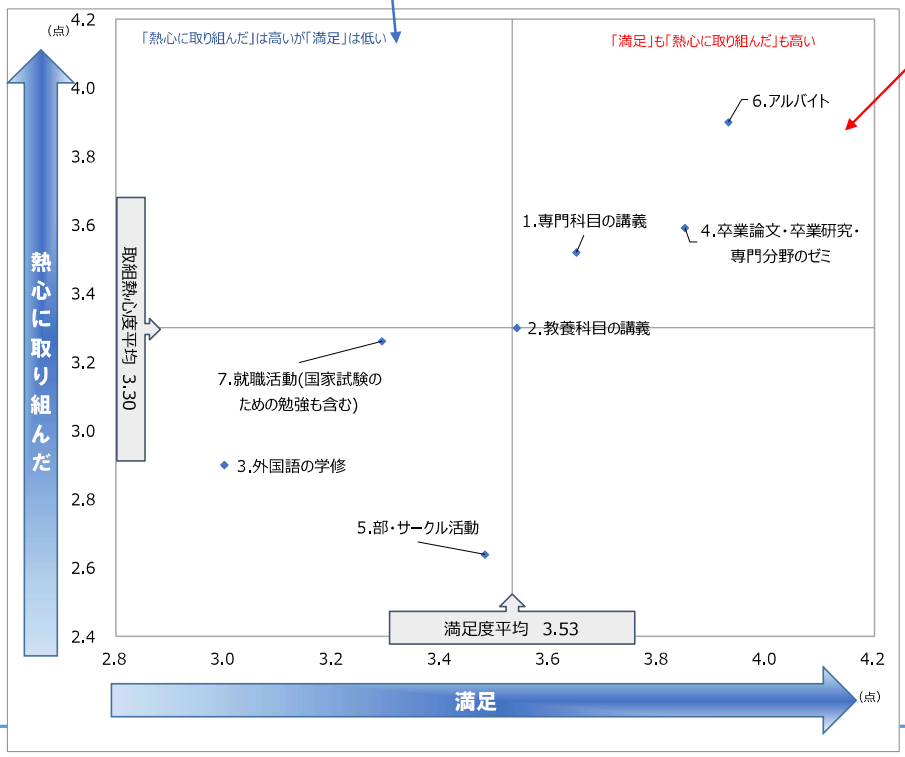


1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　社会学部

【「熱心」は高いが「満足」は低い活動】
✓　該当なし

【「満足」も「熱心」も高い活動】
✓　1.専門科目の講義
✓　4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
✓　6.アルバイト

■社会学部（N=70）

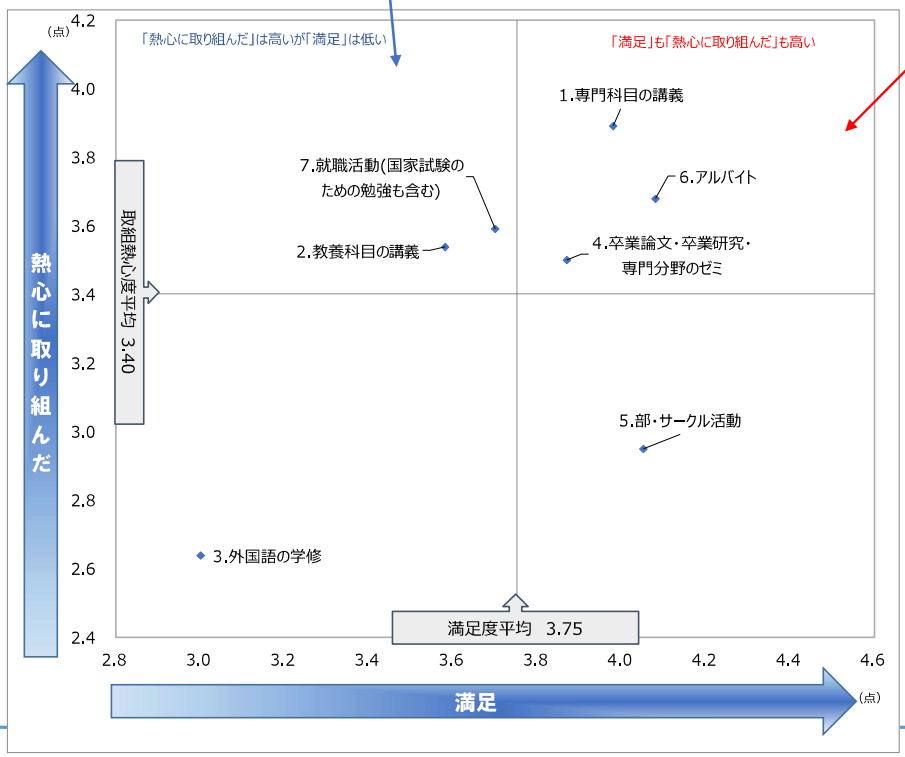


1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　社会福祉学部

【「熱心」は高いが「満足」は低い活動】
✓　2.教養科目の講義
✓　7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)

【「満足」も「熱心」も高い活動】
✓　1.専門科目の講義
✓　4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
✓　6.アルバイト

■社会福祉学部（N=56）

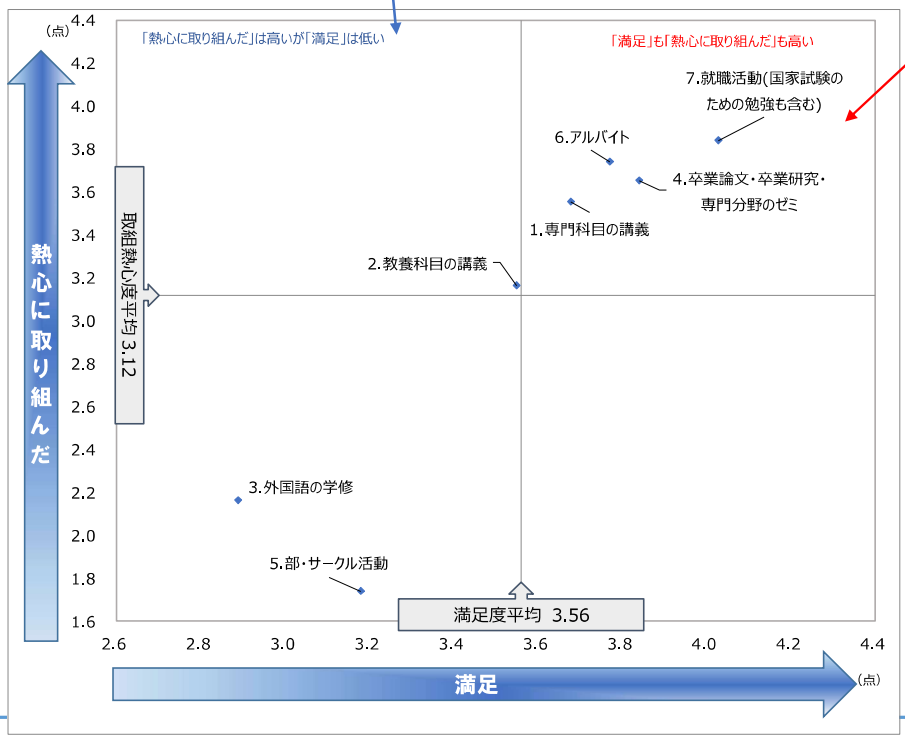


1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析　保健医療技術学部

【「熱心」は高いが「満足」は低い活動】
✓　2.教養科目の講義

【「満足」も「熱心」も高い活動】
✓　1.専門科目の講義
✓　4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
✓　6.アルバイト
✓　7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)

■保健医療技術学部（N=32）



1-3-2.活動ごとの取組熱心度と満足度（Q5）ポートフォリオ分析まとめ

- ✓ ポートフォリオ分析の結果、「熱心に取り組み満足した活動」および「熱心に取り組んだが満足は低い活動」を一覧にまとめた。
- ✓ 「教養科目の講義」は、仏教学部、文学部、歴史学部では「熱心に取り組み満足した活動」」であるが、教育学部、社会福祉学部、保健医療技術学部においては「熱心に取り組んだが満足は低い活動」となっている。
- ✓ 「就職活動（国家試験のための勉強も含む）」は、保健医療技術学部では「熱心に取り組み満足した活動」であるが、文学部、社会福祉学部では「熱心に取り組んだが満足は低い活動」となっている。

●：「熱心」も「満足」も高い（「熱心」も「満足」も平均より大きい項目を抽出）
▲：「熱心」は高いが、「満足」は低い項目（「満足」が平均より小さく、「熱心」が平均より大きい項目を抽出）

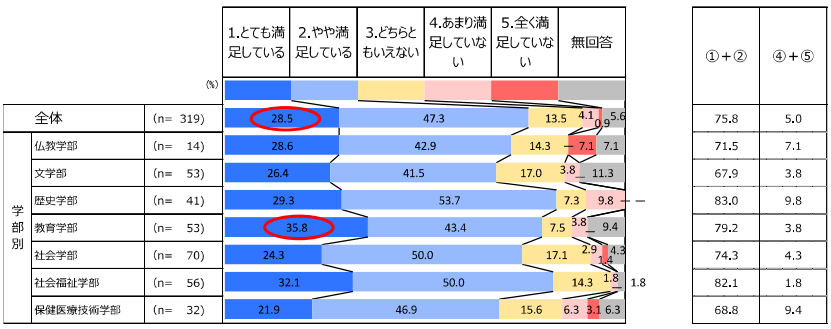
科目名	全体	学部別						
		仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部	社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部
1.専門科目の講義	●	●	●	●	●	●	●	●
2.教養科目の講義	▲	●	●	●	▲		▲	▲
3.外国語の学修		▲						
4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ	●	●	●	●	●	●	●	●
5.部・サークル活動								
6.アルバイト	●	▲	●	●	●	●	●	●
7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)			▲				▲	●

1-4.大学生活満足度・本学推奨度分析

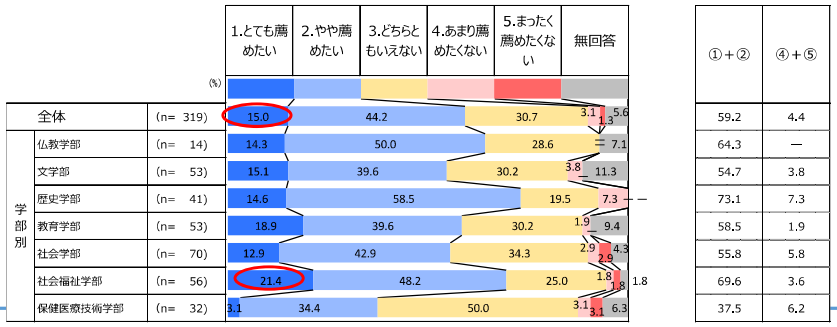
1-4-1.満足度と推奨度　基本集計結果

- ✓ 大学生活満足度では29%が「とても満足している」、対して本学推奨度では「とても薦めたい」は15%にとどまる。
- ✓ 学部別にみると、満足度「とても満足している」がもっとも高いのは教育学部、推奨度「とても薦めたい」がもっとも高いのは社会福祉学部。

Q9.大学生活に対する総合的な満足度（全体／単一回答）



Q10.後輩へ本学を薦めたいですか。（全体／単一回答）



1-4-2.満足度・推奨度と各設問との相関分析（１）

- ✓ 満足度・推奨度と関連のある項目を明らかにするため、各設問との相関関係を網羅的にみた。満足度・推奨度ともに+0.3以上の相関関係が見られた項目は以下のとおり。（赤字は満足度・推奨度ともに+0.4以上）

- ✓ Q2-1【学修熱心度】
  2.専門基礎科目
  3.学部基幹科目
  4.学科基礎科目

- ✓ Q3-2【修得度】
  1.他者との豊かな関係を築く能力
  2.目標に向けて協力的に仕事を進める能力
  3.場を読み、組織を動かす能力
  5.前向きな考え方、やる気を維持する能力
  6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
  10.大学の専門科目で学んだ知識・技能

- ✓ ●Q4-1.学生生活を通して、全体的に成長した実感を得られましたか？

- ✓ Q5-1【取組熱心度】
  1.専門科目の講義

相関係数

【全体】N=319（ただし各設問無回答は除く）

0.2以上 0.3未満　0.3以上 0.4未満　0.4以上

** 相関係数は１%水準で有意
*　相関係数は5%水準で有意

項目名		満足度・推奨度 Q9. 大学生活に対する総合的な満足度	満足度・推奨度 Q10. 本学推奨度
学修熱心度 Q2-1	1.全学共通科目	0.31**	0.27**
	2.専門基礎科目	**0.42****	0.34**
	3.学部基幹科目	**0.43****	0.37**
	4.学科基礎科目	**0.42****	0.36**
	5.コース科目	0.39**	0.3**
	6.発展科目	0.33**	0.27**
学修役立ち度 Q2-2	1.全学共通科目	0.29**	0.26**
	2.専門基礎科目	0.36**	0.29**
	3.学部基幹科目	0.34**	0.29**
	4.学科基礎科目	0.36**	0.3**
	5.コース科目	0.37**	0.28**
	6.発展科目	0.27**	0.24**
修得度 Q3-2	1.他者との豊かな関係を築く能力	**0.42****	0.38**
	2.目標に向けて協力的に仕事を進める能力	0.35**	0.36**
	3.場を読み、組織を動かす能力	0.31**	0.3**
	4.ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	0.24**	0.23**
	5.前向きな考え方、やる気を維持する能力	0.32**	0.35**
	6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	0.31**	0.31**
	7.様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	0.3**	0.26**
	8.課題解決のための適切な計画を立てる能力	0.28**	0.22**
	9.目標達成に向け、実践行動する能力	0.32**	0.28**
	10.大学の専門科目で学んだ知識・技能	**0.42****	0.34**
	11.大学の教養科目で学んだ知識・技能	0.32**	0.28**
	12.英語を使う能力	0.08	0.12*
	13.外国語（英語以外の言語）を使う能力	0.06	0.11
	14.PCスキル（ワード、エクセルなど）	0.19**	0.18**
	15.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	0.11	0.03
	16.課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	0.22**	0.19**
	17.収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	0.24**	0.19**
	18.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	0.26**	0.2**
	19.さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	0.22**	0.19**
Q4-1.学生生活を通して、全体的に成長した実感を得られましたか？		**0.6****	**0.45****
Q4-2.自分の強みを意識して、学生生活を過ごせましたか？		0.38**	0.25**
Q4-3.学生生活の中で、自分の強みを開発する機会がどれくらいありましたか？		**0.43****	0.29**
取組熱心度 Q5-1	1.専門科目の講義	**0.42****	0.31**
	2.教養科目の講義	0.33**	0.23**
	3.外国語の学修	0.17**	0.12*
	4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ	0.31**	0.24**
	5.部・サークル活動	0.07	0.03
	6.アルバイト	0.19**	0.13*
	7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)	0.21**	0.26**

1-4-2.満足度・推奨度と各設問との相関分析（２）

- 満足度・推奨度と関連のある項目を明らかにするため、各設問との相関関係を網羅的にみた。満足度・推奨度ともに+0.3以上の相関関係が見られた項目は以下のとおり。（赤字は満足度・推奨度ともに+0.4以上）

- Q5-2【満足度】
  1.専門科目の講義
  2.教養科目の講義
  4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ

- Q6【本学での経験】
  1.満足のいく就職をするのに役に立った
  2.仕事で職務を遂行するのに役に立った・役に立っている
  3.キャリアプランやライフプランを展望するのに役に立った・役に立っている
  5.私生活（家族や友人との交流、趣味、ボランティア、地域活動への参加等）の充実に役に立った・役に立っている

- Q7-1【学修経験】
  4.大学の教職員に親近感を感じた
  6.在学中を通じて自分は成長できたと実感できる

- Q7-2【ゼミの意義】
  1.専門教育の総仕上げ
  2.教養的知識の必要性を知る経験
  3.色々な人と議論する経験
  4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験
  5.困難なことを最後までやり遂げる経験
  6.主体的な学習態度を養う経験

- Q7-4【卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義】
  2.教養的知識の必要性を知る経験
  4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験

- Q7-5．あなたにとって、卒業論文・卒業研究・卒業レポートの執筆経験は、社会で役立っていますか？

0.2以上 0.3未満　0.3以上 0.4未満　0.4以上

相関係数

【全体】N=319 (ただし各設問無回答は除く)

** 相関係数は１%水準で有意
*　相関係数は5%水準で有意

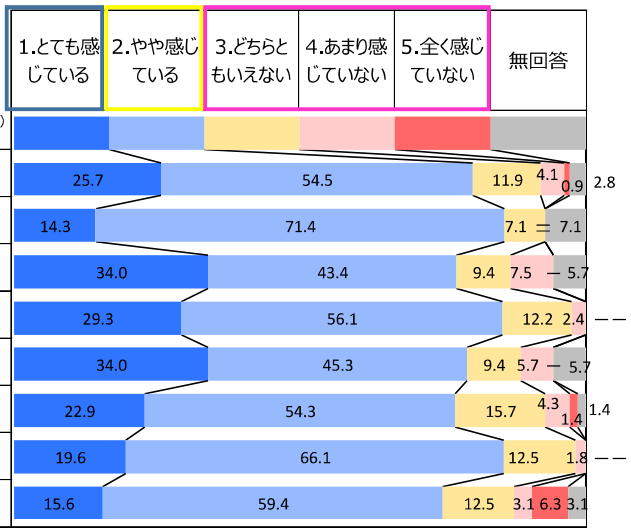
項目名		満足度・推奨度 Q9．大学生活に対する総合的な満足度	満足度・推奨度 Q10．本学推奨度
Q5-2 満足度	1.専門科目の講義	0.48**	0.34**
	2.教養科目の講義	0.41**	0.32**
	3.外国語の学修	0.22**	0.19**
	4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ	0.4**	0.31**
	5.部・サークル活動	0.41**	0.22**
	6.アルバイト	0.3**	0.26**
	7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)	0.28**	0.26**
Q6 本学での経験	1.満足のいく就職をするのに役に立った	0.42**	0.39**
	2.仕事で職務を遂行するのに役に立った・役に立っている	0.5**	0.44**
	3.キャリアプランやライフプランを展望するのに役に立った・役に立っている	0.39**	0.35**
	4.社会の問題について考えたり、自分がそのような問題に直面した際に適切に対処したり、するのに役に立った・役に立っている	0.37**	0.29**
	5.私生活（家族や友人との交流、趣味、ボランティア、地域活動への参加等）の充実に役に立った・役に立っている	0.45**	0.32**
Q7-1 学修経験	1.授業中に自分から発言した	0.19**	0.09
	2.授業の内容について他の学生と議論した	0.29**	0.25**
	3.自主的な勉強会や研究会に参加した	0.19**	0.18**
	4.大学の教職員に親近感を感じた	0.31**	0.32**
	5.大学の教職員に将来のキャリアの相談をした	0.25**	0.25**
	6.在学中を通じて自分は成長できたと実感できる	0.58**	0.44**
	7.授業についていけなかった	-0.19**	-0.14*
Q7-2 ゼミの意義	1.専門教育の総仕上げ	0.45**	0.35**
	2.教養的知識の必要性を知る経験	0.46**	0.36**
	3.色々な人と議論する経験	0.35**	0.35**
	4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験	0.37**	0.34**
	5.困難なことを最後までやり遂げる経験	0.44**	0.35**
	6.主体的な学習態度を養う経験	0.42**	0.33**
Q7-4 卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義	1.専門教育の総仕上げ	0.34**	0.25**
	2.教養的知識の必要性を知る経験	0.4**	0.34**
	3.色々な人と議論する経験	0.3**	0.28**
	4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験	0.36**	0.31**
	5.困難なことを最後までやり遂げる経験	0.38**	0.29**
	6.主体的な学習態度を養う経験	0.37**	0.28**
Q7-5. あなたにとって、卒業論文・卒業研究・卒業レポートの執筆経験は、社会で役立っていますか？		0.36**	0.33**
Q13 キャリア意識	1.仕事に必要なスキルを、職場外で自主的に学んでいる（学んでいた）	0.13*	0.07
	2.職場での仕事を通じた成長実感を得ている（得ていた）	0.35**	0.24**
	3.仕事には意欲的に取り組むことができる（できていた）	0.34**	0.26**
	4.キャリアや人生を自分で切り開いている（切り開いていた）	0.26**	0.17**
	5.現在の職場で評価されている（評価されていた）	0.37**	0.26**
	6.職場での仕事に対して満足している（満足していた）	0.31**	0.22**

45

1-4-3-1．成長実感　基本集計結果

- ✓ 満足度・推奨度ともに、もっとも相関関係が強かった「成長実感」についてみていく。
- ✓ 「成長実感」の学部別集計結果は以下のとおり。成長実感を「とても感じている」卒業生は26%、「やや感じている」は55%で、合わせると8割の学生は成長実感を感じている結果となった。
- ✓ 学部別にみると、「とても感じている」がもっとも高いのは教育学部と文学部（ともに34%）であった。
- ✓ ここから「１.とても感じている」「２.やや感じている」「３＋４＋５.それ以外」の3つのグループに分けて、それぞれの特徴をみていく。

Q4-1.学生生活を通して、全体的に成長した実感を得られましたか？（全体／単一回答）



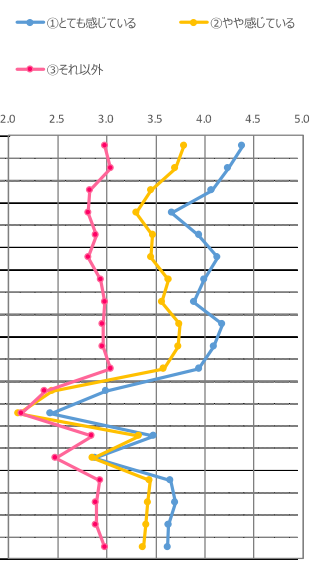
			1.とても感じている	2.やや感じている	3.どちらともいえない	4.あまり感じていない	5.全く感じていない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	25.7	54.5	11.9	4.1	0.9	2.8	80.2	5.0
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	71.4	7.1	—	7.1		85.7	—
	文学部	(n= 53)	34.0	43.4	9.4	7.5	—	5.7	77.4	7.5
	歴史学部	(n= 41)	29.3	56.1	12.2	2.4	—	—	85.4	2.4
	教育学部	(n= 53)	34.0	45.3	9.4	5.7	—	5.7	79.3	5.7
	社会学部	(n= 70)	22.9	54.3	15.7	4.3	1.4	1.4	77.2	5.7
	社会福祉学部	(n= 56)	19.6	66.1	12.5	1.8	—	—	85.7	1.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	15.6	59.4	12.5	3.1	6.3	3.1	75.0	9.4

46

1-4-3-2. 成長実感別　修得度

- ✓ 成長実感を「①とても感じている」、「②やや感じている」、「③それ以外」の３つのグループ別に分けて、修得度を比較した。
- ✓ 全体的に成長実感が高いグループほど修得度が高い傾向がみられるが、グループ①と③の差が大きい修得度項目は成長実感を得るために、特に伸ばすべき能力であるといえる。（以下は①と③の差が大きい上位5項目）
  1. 他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
  6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）
  3. 場を読み、組織を動かす能力（対人基礎力：統率力）
  9. 目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）
  2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）

■ 修得度（成長実感別）



上位5項目

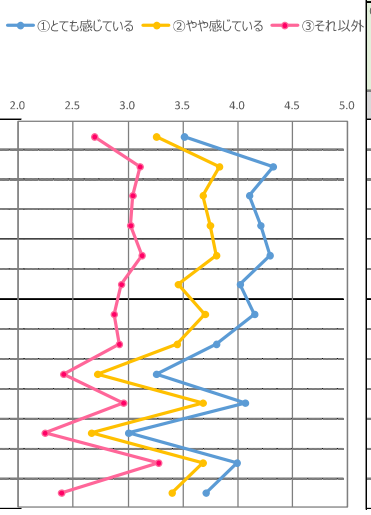
				学部別 ①とても感じている N=82	②やや感じている N=174	③それ以外 N=54	①と③の差（①-③）
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	4.38	3.79	2.98	**1.40**
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	4.24	3.70	3.04	**1.20**
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力	4.07	3.45	2.83	**1.24**
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	3.66	3.30	2.81	0.85
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	3.94	3.47	2.89	1.05
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	4.13	3.45	2.81	**1.32**
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	3.99	3.63	2.94	1.05
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	3.89	3.56	2.98	0.91
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	4.18	3.74	2.96	**1.22**
授業科目		専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	4.09	3.73	2.96	1.13
		一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	3.94	3.58	3.04	0.90
		外国語能力	12.　英語を使う能力	2.99	2.44	2.37	0.62
		外国語能力	13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力	2.43	2.10	2.13	0.30
		PCスキル	14. PCスキル（ワード、エクセルなど）	3.48	3.33	2.85	0.63
		データサイエンス能力	15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	2.88	2.86	2.48	0.40
リテラシー		情報収集力	16.　課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	3.65	3.44	2.93	0.72
		情報分析力	17.　収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	3.70	3.42	2.89	0.81
		課題発見力	18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	3.63	3.40	2.89	0.74
		構想力	19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	3.62	3.37	2.98	0.64

※かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

1-4-3-3. 成長実感別　学修・取組熱心度

- ✓ 成長実感を「①とても感じている」、「②やや感じている」、「③それ以外」の３つのグループ別に分けて、学修・活動取組熱心度を比較した。
- ✓ 全項目の中で、グループ①と③の差がもっとも大きいのは「就職活動（国家試験のための勉強を含む）」であった。また、「専門基礎科目」および「専門科目の講義」でもグループ①と③との差が大きく、就職活動に熱心に取り組んだ学生、専門科目を熱心に学修した学生は成長実感が得られていることがわかる。

■ 学修・取組熱心度（成長実感別）



上位3項目

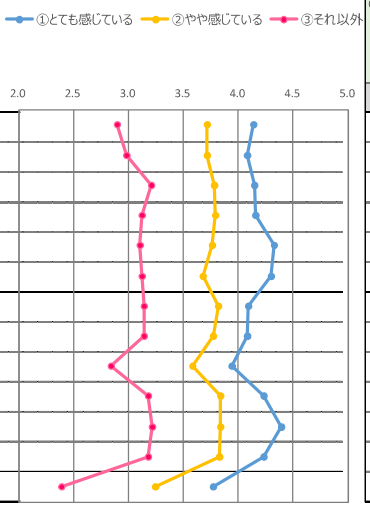
		成長実感別 ①とても感じている N=82	②やや感じている N=174	③それ以外 N=54	①と③の差（①-③）
Q2-1 学修熱心度	1.全学共通科目	3.51	3.26	2.69	0.82
	2.専門基礎科目	4.32	3.83	3.11	**1.21**
	3.学部基幹科目	4.10	3.68	3.04	1.06
	4.学科基礎科目	4.21	3.75	3.02	**1.19**
	5.コース科目	4.29	3.80	3.13	**1.16**
	6.発展科目	4.02	3.46	2.94	1.08
Q5-1 取組熱心度	1.専門科目の講義	4.15	3.70	2.87	**1.28**
	2.教養科目の講義	3.80	3.45	2.92	0.88
	3.外国語の学修	3.26	2.72	2.41	0.85
	4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ	4.07	3.68	2.96	**1.11**
	5.部・サークル活動	3.00	2.67	2.24	0.76
	6.アルバイト	3.99	3.68	3.28	0.71
	7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)	3.71	3.40	2.39	**1.32**

※熱心度：熱心だった：5点、どちらかというと熱心だった：4点、どちらともいえない：3点、どちらかというと熱心ではなかった：2点、熱心ではなかった：1点、履修しなかった・経験しなかった：0点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

1-4-3-4. 成長実感別　ゼミ・卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義

- ✓ 成長実感を「①とても感じている」、「②やや感じている」、「③それ以外」の３つのグループ別に分けて、ゼミ・卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義を比較した。
- ✓ すべての項目について、成長実感を感じているグループほどゼミや卒業論文・卒業研究・卒業レポートに意義を感じている。グループ①と③の差はほぼ同じ水準にあり、いずれも項目についても、成長実感との関係が強いことがわかる。その中でも、ゼミ・卒業論文等いずれにおいても共通してグループ①と③の差が大きいのは、「困難なことを最後までやり遂げる経験」であった。ゼミや卒業論文等をやり遂げた経験が自信へとつながり、成長実感が得られていると考えられる。

■ ゼミ・卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義（成長実感別）



上位3項目

		成長実感別 ①とても感じている N=82	②やや感じている N=174	③それ以外 N=54	①と③の差（①-③）
Q7-2 ゼミの意義	1.専門教育の総仕上げ	4.14	3.72	2.90	**1.24**
	2.教養的知識の必要性を知る経験	4.08	3.72	2.98	1.10
	3.色々な人と議論する経験	4.15	3.78	3.21	0.94
	4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験	4.16	3.79	3.12	1.04
	5.困難なことを最後までやり遂げる経験	4.33	3.76	3.10	**1.23**
	6.主体的な学習態度を養う経験	4.30	3.68	3.12	**1.18**
Q7-4 卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義	1.専門教育の総仕上げ	4.09	3.82	3.14	0.95
	2.教養的知識の必要性を知る経験	4.08	3.77	3.14	0.94
	3.色々な人と議論する経験	3.94	3.58	2.84	**1.10**
	4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験	4.23	3.84	3.18	1.05
	5.困難なことを最後までやり遂げる経験	4.39	3.84	3.22	**1.17**
	6.主体的な学習態度を養う経験	4.23	3.83	3.18	1.05
Q7-5	卒業論文・卒業研究・卒業レポートの執筆経験は、社会で役立っていますか？	3.77	3.25	2.39	**1.38**

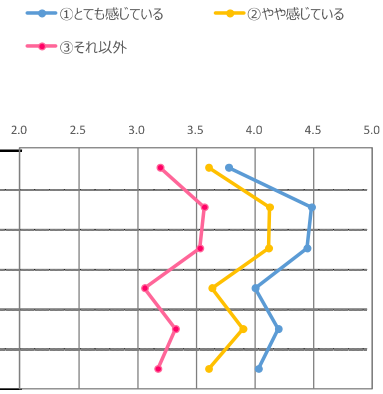
※意義　とてもあてはまる：5点、ややあてはまる：4点、どちらともいえない：3点、あまりあてはまらない：2点、まったくあてはまらない：1点、経験しなかった：除外
※役立ち度：役に立っている：5点、どちらかというと役に立っている：4点、どちらともいえない：3点、どちらかというと役に立っていない：2点役に立っていない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

49

1-4-3-5. 成長実感別　仕事満足度とキャリア意識

- ✓ 成長実感を「①とても感じている」、「②やや感じている」、「③それ以外」の３つのグループ別に分けて、仕事満足度とキャリア意識を比較した。
- ✓ 成長実感を感じているグループは、現在の職場においても仕事を通じた成長実感を得られており、職場での評価、仕事への満足度も高い。

■ 仕事満足度とキャリア意識（成長実感別）



上位3項目

		成長実感別 ①とても感じている N=82	②やや感じている N=174	③それ以外 N=54	①と③の差（①-③）
Q13 仕事満足度とキャリア意識	1.仕事に必要なスキルを、職場外で自主的に学んでいる（学んでいた）	3.77	3.60	3.19	0.58
	2.職場での仕事を通じた成長実感を得ている（得ていた）	4.48	4.12	3.57	**0.91**
	3.仕事には意欲的に取り組むことができる（できていた）	4.44	4.11	3.53	**0.91**
	4.キャリアや人生を自分で切り開いている（切り開いていた）	4.00	3.63	3.06	**0.94**
	5.現在の職場で評価されている（評価されていた）	4.20	3.90	3.32	0.88
	6.職場での仕事に対して満足している（満足していた）	4.03	3.60	3.17	0.86

※とてもあてはまる：5点、ややあてはまる：4点、どちらともいえない：3点、あまりあてはまらない：2点、まったくあてはまらない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

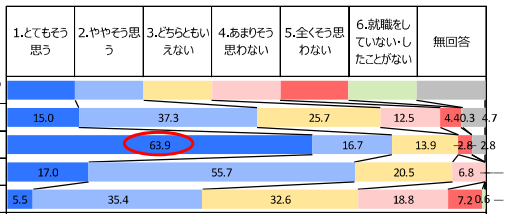
50

1-4-4. 教職員へのキャリア相談経験とQ6.本学での経験役立ち度(満足のいく就職、職務の遂行、キャリアプラン展望に役立った)

- ✓ 相関分析によって、大学満足度・推奨度とQ6.本学での経験役立ち度(満足のいく就職、職務の遂行、キャリアプラン展望に役立った）との間には、+0.3以上の有意な相関関係が確認されている。ここでは、「 Q6.就職、職務遂行、キャリアプラン展望の役立ち度」と「 Q7-1-5. 教職員への相談経験」がどのような関係にあるのかをみていく。

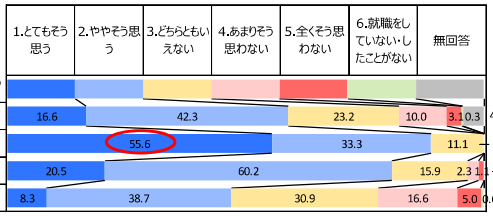
- ✓ 「Q7-1-5. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした」について、「①とてもあてはまる」「②ややあてはまる」「③それ以外」の3つのグループに分けて、キャリア相談経験別に、Q6.本学での経験役立ち度(満足のいく就職、職務の遂行、キャリアプラン展望に役立った）の違いを確認した。
- ✓ 大学の教職員へのキャリアの相談経験がもっとも多い「とてもあてはまる」卒業生は、満足のいく就職、職務の遂行、キャリアプラン展望への役立ち度が大幅に高い。
- ✓ 教職員が積極的に学生とキャリア相談の機会をもつことが、満足のいく就職、職務の遂行、キャリアプラン展望への役立ち度を高め、満足度や推奨度の向上へとつながる。

Q6【本学での経験】1.満足のいく就職をするのに役に立った
（全体／単一回答）



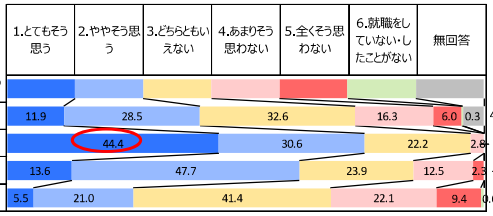
	①＋②	④＋⑤
全体	52.3	16.9
とてもあてはまる	80.6	2.8
ややあてはまる	72.7	6.8
それ以外	40.9	26.0

Q6【本学での経験】2.仕事で職務を遂行するのに役に立った・役に立っている
（全体／単一回答）



	①＋②	④＋⑤
全体	58.9	13.1
とてもあてはまる	88.9	—
ややあてはまる	80.7	3.4
それ以外	47.0	21.6

Q6【本学での経験】3.キャリアプランやライフプランを展望するのに役に立った・役に立っている
（全体／単一回答）

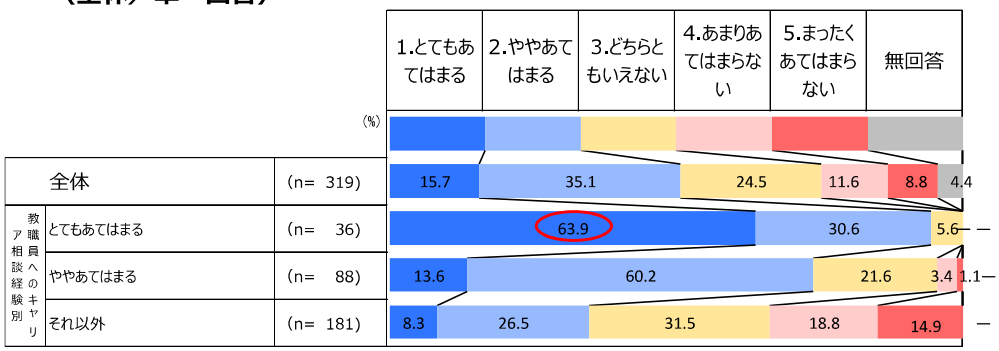


	①＋②	④＋⑤
全体	40.4	22.3
とてもあてはまる	75.0	2.8
ややあてはまる	61.3	14.8
それ以外	26.5	31.5

1-4-4. 教職員へのキャリア相談経験と教職員への親近感

- ✓ 「Q7-1-5. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした」について、「①とてもあてはまる」「②ややあてはまる」「③それ以外」の3つのグループに分けて、キャリア相談経験別に、「Q7-1-4. 大学の教職員に親近感を感じた」の違いを確認した。
- ✓ 大学の教職員へのキャリアの相談経験がもっとも多い「とてもあてはまる」卒業生のうち、6割以上は教員への親近感を「とても」感じており、親近感を「とても」感じたと「やや」感じたを合計すると9割を超える。学生の教職員への親近感は、キャリア相談のしやすさにもつながると考えられる。

Q7-1【学修経験】4.大学の教職員に親近感を感じた
（全体／単一回答）



	①＋②	④＋⑤
全体	50.8	20.4
とてもあてはまる	94.5	—
ややあてはまる	73.8	4.5
それ以外	34.8	33.7

1-4-4. 教職員への親近感、キャリア相談経験（学部別）

- ✓ 教職員への親近感「とてもあてはまる」がもっとも高いのは、仏教学部（参考値）、次いで歴史学部。
- ✓ 教職員へのキャリア相談経験「とてもあてはまる」がもっとも高いのは、社会福祉学部。

Q7-1【学修経験】4.大学の教職員に親近感を感じた（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	15.7	35.1	24.5	11.6	8.8	4.4	50.8	20.4
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	35.7	21.4	7.1	—	7.1	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	18.9	34.0	15.1	15.1	9.4	7.5	52.9	24.5
	歴史学部	(n= 41)	19.5	24.4	22.0	22.0	12.2	—	43.9	34.2
	教育学部	(n= 53)	17.0	43.4	24.5	3.8	3.8	7.5	60.4	7.6
	社会学部	(n= 70)	11.4	34.3	27.1	12.9	11.4	2.9	45.7	24.3
	社会福祉学部	(n= 56)	12.5	39.3	26.8	8.9	10.7	1.8	51.8	19.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	31.3	34.4	9.4	6.3	6.3	43.8	15.7

Q7-1【学修経験】5.大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	11.3	27.6	17.9	18.5	20.4	4.4	38.9	38.9
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	21.4	42.9	7.1	14.3	7.1	28.5	21.4
	文学部	(n= 53)	9.4	24.5	15.1	22.6	20.8	7.5	33.9	43.4
	歴史学部	(n= 41)	4.9	14.6	24.4	26.8	29.3	—	19.5	56.1
	教育学部	(n= 53)	17.0	32.1	15.1	13.2	15.1	7.5	49.1	28.3
	社会学部	(n= 70)	4.3	35.7	14.3	15.7	27.1	2.9	40.0	42.8
	社会福祉学部	(n= 56)	21.4	23.2	14.3	25.0	14.3	1.8	44.6	39.3
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	34.4	21.9	9.4	15.6	6.3	46.9	25.0

参考：大学満足度・推奨度別　教職員への親近感

Q7-1【学修経験】4.大学の教職員に親近感を感じた（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	15.7	35.1	24.5	11.6	8.8	4.4	50.8	20.4
満足度別	とても満足している	(n= 91)	30.8	40.7	17.6	5.5	5.5	—	71.5	11.0
	やや満足している	(n= 151)	11.9	37.1	28.5	15.2	7.3	—	49.0	22.5
	それ以外	(n= 59)	5.1	28.8	30.5	15.3	20.3	—	33.9	35.6
推奨度別	とても薦めたい	(n= 48)	47.9	37.5	10.4	2.1	2.1	—	85.4	4.2
	やや薦めたい	(n= 141)	9.9	41.8	28.4	13.5	6.4	—	51.7	19.9
	それ以外	(n= 112)	10.7	29.5	28.6	15.2	16.1	—	40.2	31.3

参考：コメントご紹介（※一部抜粋）

Q7-5	Q 7-5あなたにとって、卒業論文・卒業研究・卒業レポートの執筆経験は、社会で役立っていますか？ Q 7-6. Q 7-5の理由
1.とても役立っている	私は日々の何気ない子どものつぶやきについての卒業論文を作成しました。佛大を卒業して、現在幼稚園教諭として7年目ですが、正直日々の余裕のなさや、7年間の慣れに飲み込まれてしまう時もあります。でも、そんな毎日の中でも今もかわらず出会える子どものつぶやきを発見するたびに、大学時代に先生を目指していた純粋な自分に戻ったような気持ちになっています。卒業論文は、そんな私のお守りのような存在です。
1.とても役立っている	自分の考えを論理的に伝えるための、情報収集・選別・組み立て、それらをまとめ上げる訓練となった。 また、ゼミ内でフィードバックや質疑応答をすることで、同じ事柄等についてであっても、自分の視点や意見と他者からの視点や意見が異なることも多いことに気付く機会になった。
1.とても役立っている	授業案や教育論文の執筆の際の言葉選びや論の展開の仕方に役立っているから。また、古典分野で当時の学びが生かせた授業を行えるから。
1.とても役立っている	就活の時の自己アピールとして、研究した内容だけでは難しいと思い、論文を書く上で必要なスキルをアピールのひとつとした。また誰にでも分かるように文章を書くことは、社会に出て改めて難しいことであると実感したので学生のうちに身につけることは大切であると思う。
1.とても役立っている	困難な仕事があっても、卒論をあきらめずに書いた粘り強さを生かし、最後までやり遂げることができた。
2.やや役立っている	自分の興味関心に従って、課題を深掘りし情報を集め編集できる力が身についた。そのため、現在の販売業で商品を学びお客様に話す際の基礎的な力になっている。
2.やや役立っている	ひとつのことについて突き詰めて考えた経験が、役に立っていると思います。 担当業務に関して課題が絶えないなか、食事中も移動中もつい考える、ひらめくのは就業時間内とは限らない、プライベートで得た経験からヒントが見つかることもある、という感覚は、大学時代に身につけたように感じます。
2.やや役立っている	自身でテーマや課題を決めて主体的に考え、またその考えをレポートにまとめるという経験によって得た、思考力や達成感は社会に出てからも役立っていると思う。
2.やや役立っている	レポートを根気強く執筆する力は何事も真面目に取り組み、考えるチカラを養えたと思います。
2.やや役立っている	研究テーマ自体は、現在の仕事と直接的な関係性はないが、文章の書き方や表現の仕方、自分の知らない事・分からない事を質問したり、文献で調べたりと、あらゆる角度から物事を考える力が役立っていると思う。

参考：コメントご紹介（※一部抜粋）

Q9	Q9．大学生活に対する総合的な満足度として、最も近いものを1つお選びください。 Q9の理由
1.とても満足している	勉学に、アルバイトに、就職活動に、充実した学生生活を送れ、大変満足しております。 歴史を勉強したくて、歴史学部に進学しました。 授業がとても楽しかったですし、図書館にも充実した資料が揃っていますので、卒論も納得いく形のものを完成させることができました。 お寺でのアルバイトや大学情報誌への掲載など、なかなかできない経験ができました。 就活のときも就職課の方や、キャリアアドバイザーの方に模擬面接や履歴書添削もして頂き、無事に内定を獲得できました。 佛大で良かったと心から思います!!
1.とても満足している	学業とアルバイトやサークル活動等のバランスがとりやすく、専門科目の獲得と友人作りなど、他者とのコミュニティをゆったりと広げられる余裕がある。生徒の熱意に対しても教授、職員共に柔軟に対応できているように感じたため、自主性の少ない生徒でも卒業までの道のりが分かりやすく感じた。
2.やや満足している	留学の選択肢をもっと増やして欲しい。 トビタテ留学ジャパンの情報がもっと欲しかった（特に二次面接）。 英語圏の留学生を増やして欲しい。 イングリッシュカフェを常設して欲しい。
2.やや満足している	文系だったため取得する資格に対して講義を詰めて受講すれば3・4回生になると講義数が減り、かなり学外での活動に時間を当てることができたから。3回生の時に海外に行くプログラムに参加したり、半年間という長期受け入れが可能な企業でインターンシップを経験することで学内では得られない知見や経験を得ることができたから。 夏休みの前に案内されたインターンシップがどれも短期だったのが個人的にマイナスだった。
2.やや満足している	教職課程については満足しているが、それ以外の能力をもう少しつけたいと思った。

参考：コメントご紹介（※一部抜粋）

Q10	Q10．後輩へ本学を薦めたいですか。 Q10の理由
1.とても薦めたい	歴史が大好きな方は、是非歴史学部へ！　日本唯一の歴史学部がある佛大では、　専門的に歴史を学べます。　図書館には数十万冊の資料がありますし、　パソコン付き個室もあるので、レポート執筆に便利です。　就職課では、セミナーが頻繁に開催されており、就活のマナーから、企業の方の講演も聞くことができます。　相談にものってもらえますよ！　学生と教職員の距離が近いこともおすすめポイントのひとつです！　是非、佛教大学へ！
1.とても薦めたい	教員を目指すならいろいろなサポートのある佛大がいいと思うから。
1.とても薦めたい	サークル活動も授業も両立して頑張ることができる学校であるため。将来に向けて自分に必要な資格、履修が必要な科目がわかりやすく、主体的に学べた気がするから。
2.やや薦めたい	あまり大きな規模の大学ではないので、アットホームな環境で大学4年間を過ごしたいと考えている後輩たちに勧めたいです。
2.やや薦めたい	目的を持って生きる人には良い大学だと思う。
2.やや薦めたい	資格取得の面においての充実度が推薦理由である。　しかし、他大学に見られるような豊富なサークルや部活動、また、その他の学生生活の充実度は確実に劣っている。
2.やや薦めたい	学問的には興味深い内容が多かった。しかし、学生自身の学習に向かう態度（特に必修科目）には一部いただけないものもあったため、目的意識をもって学生生活を送ることのできない者は堕落していくと思う。
3.どちらとも言えない	教育学部などのレベルの高い授業を受けられることや、教員免許やその他資格取得率が高いことは非常に良い点ではあるが、全体的なレベルやキャンパスの立地場所を見ると、良いところも悪いところも理解した上で大学を決めてほしいから。
3.どちらとも言えない	専門的な知識を学ぶことは出来たが、社会に出てから必要な実践的な実技の学習機会は他の学校と比較しても少ないように感じる。就職活動の際の専門的なサポートももっと必要だと思う。

参考：コメントご紹介（※一部抜粋）

Q15．本学に期待する事
学生生活で留学生と交流する機会を用意していただけたおかげで、自分も留学に行きたいと思うようになり、人生が変わりました。是非とも留学生をもっとたくさん受け入れる、多様な大学になることを期待します。
これからはグローバルな視点を持った人材が必要だと思う。　現在グローバルな場で働いているが、日本のことをよく知って初めてグローバルの場で活躍できると感じる。　京都にあり仏教のことについても学べる場で、国際的な面にももっと触れることができれば、幅広い柔軟な視点と思考をもった学生をもっと育てていけると思った。
より知名度やレベルが上がっていけば、卒業生としては嬉しいです
特に教員志望の学生については、教員として就職して以降はその業界しか知らないという視野の狭さを感じました。教育学部以外にも多数の学部をもつ佛教大学の強みを生かし、教員としての視点だけではなく、人間として幅のある考え方ができる人材を輩出してほしいです。
正直、大学で学んだことが保育の現場で生かせたかというと、うまくいかないことばかりで、大学の何百倍も就職してからの方が学びがあり、心が折れることもたくんありました。だけど、そんな時支えてくれた、佛大で出会った友達、先輩、先生のおかげで、この７年間乗り越えられてきました。勉強だけじゃなく、そんな大切な人達と出会い、今もつながっているそんな素敵な出会いがたくさんつまった佛大です。幼稚園にも毎年佛大から実習生が来てくれて、その度に嬉しくなります。そして学生さんから、新しいアイデアや保育の情報を聞いて、私も刺激をもらっています。今後も楽しみにしています。ありがとうございました！
個人的には、社会に出た時に必要となるリーダーシップやマネジメント等のスキルを身につける機会もあれば良いなと思います。

まとめ

まとめ

- 1-1．ポートフォリオ分析（科目ごとの学修熱心度×役立ち度）全体と特徴的な学部

全体 【熱心に取り組んだが役立ったは低い】科目

該当なし

社会学部【熱心に取り組んだが役立ったは低い】科目

2.専門基礎科目

全体 【熱心も役立ったも高い】科目

2.専門基礎科目
3.学部基幹科目
4.学科基礎科目
5.コース科目

文学部、教育学部、社会福祉学部も全体と同様

- 1-2．ポートフォリオ分析（必要度×修得度）全体と特徴的な学部

全体 【課題】の項目

4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（対自己基礎力：感情制御力）
14. PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

文学部 【課題】の項目

17.収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（リテラシー：情報分析力）
18.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（リテラシー：課題発見力）

社会学部以外【課題】の項目

14.PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

全体 【強み】の項目

1. 他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
9. 目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

歴史学部 【強み】の項目

17.収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（リテラシー：情報分析力）
18.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（リテラシー：課題発見力）

社会学部【強み】の項目

14.PCスキル（ワード、エクセルなど）（授業科目：PCスキル）

保健医療技術学部【強み】の項目

10.大学の専門科目で学んだ知識･技能（授業科目：専門知識･技能）

まとめ

- 1-3．ポートフォリオ分析（活動ごとの取組熱心度×満足度）全体と特徴的な学部

全体【熱心に取り組んだが満足は低い】活動

2.教養科目の講義

全体 【熱心も満足度も高い】活動

1.専門科目の講義
4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
6.アルバイト

教育学部、社会福祉学部、保健医療技術学部【熱心に取り組んだが満足は低い】活動

2.教養科目の講義

文学部 歴史学部【熱心も満足度も高い】活動

2.教養科目の講義

文学部、社会福祉学部【熱心に取り組んだが満足は低い】活動

7.就職活動（国家試験のための勉強も含む）

保健医療技術学部 【熱心も満足度も高い】活動

7.就職活動（国家試験のための勉強も含む）

まとめ

- 満足度・推奨度と各設問との相関分析
- ✓ 満足度・推奨度ともに+0.3以上の相関関係が見られた項目（赤字は満足度・推奨度ともに+0.4以上）

Q2-1【学修熱心度】
2.専門基礎科目
3.学部基幹科目
4.学科基礎科目

Q3-2【修得度】
1.他者との豊かな関係を築く能力
2.目標に向けて協力的に仕事を進める能力
3.場を読み、組織を動かす能力
5.前向きな考え方、やる気を維持する能力
6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
10.大学の専門科目で学んだ知識・技能

Q4-1.学生生活を通して、全体的に成長した実感を得られましたか？

Q5-1【取組熱心度】
1.専門科目の講義

Q5-2【満足度】
1.専門科目の講義
2.教養科目の講義
4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ

Q6【本学での経験】
1.満足のいく就職をするのに役に立った
2.仕事で職務を遂行するのに役に立った・役に立っている
3.キャリアプランやライフプランを展望するのに役に立った・役に立っている
5.私生活（家族や友人との交流、趣味、ボランティア、地域活動への参加等）の充実に役に立った・役に立っている

Q7-1【学修経験】
4.大学の教職員に親近感を感じた
6.在学中を通じて自分は成長できたと実感できる

Q7-2【ゼミの意義】
1.専門教育の総仕上げ
2.教養的知識の必要性を知る経験
3.色々な人と議論する経験
4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験
5.困難なことを最後までやり遂げる経験
6.主体的な学習態度を養う経験

Q7-4【卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義】
2.教養的知識の必要性を知る経験
4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験

Q7-5．あなたにとって、卒業論文・卒業研究・卒業レポートの執筆経験は、社会で役立っていますか？

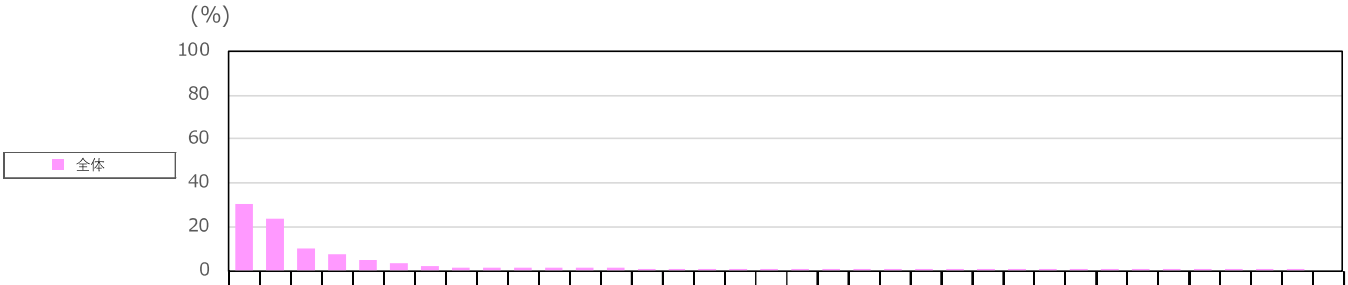
まとめ

- 満足度・推奨度と相関の強い項目① **Q4成長実感**
- 成長実感を「①とても感じている」、「②やや感じている」、「③それ以外」の３つのグループ別に分けて分析
  - 修得度：グループ①と③の差が大きい修得度項目＝特に伸ばすべき能力（①と③の差が大きい上位5項目）
    1. 他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
    6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）
    3. 場を読み、組織を動かす能力（対人基礎力：統率力）
    9. 目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）
    2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
  - 学修・取組熱心度
    就職活動に熱心に取り組んだ学生、専門科目を熱心に学修した学生は成長実感が得られている。
  - ゼミ・卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義
    ゼミや卒業論文等をやり遂げた経験が自信へとつながり、成長実感が得られていると考えられる。
  - キャリア意識
    成長実感を感じているグループは、現在の職場においても仕事を通じた成長実感を得られており、職場での評価、仕事への満足度も高い。

- 満足度・推奨度と相関の強い項目② **Q6本学での経験（就職やキャリアプランへの役立ち度）**
  - 大学の教職員へ将来のキャリアの相談をした経験が多い卒業生は、就職やキャリアプランへの役立ち度が大幅に高い。
  - 大学の教職員へ将来のキャリアの相談をした経験が多い卒業生は、教職員への親近感を感じている。
  - 教職員が積極的に学生とキャリア相談の機会をもつことが、満足のいく就職、職務の遂行、キャリアプラン展望への役立ち度を高める。また、学生の教職員への親近感は、キャリア相談のしやすさにもつながると考えられる。教職員の学生との関わりは、学生の満足度、推奨度の向上のために重要な要素であるということがわかる。

巻末付録①：アンケート集計（学部別）

Q1. 現在お住まいの都道府県

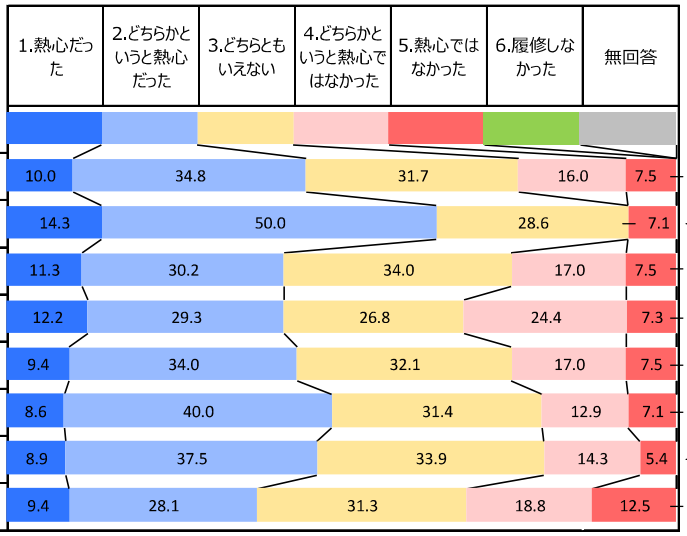


n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

		n数	京都府	大阪府	滋賀県	兵庫県	奈良県	和歌山県	福井県	埼玉県	東京都	石川県	静岡県	香川県	福岡県	愛知県	広島県	高知県	大分県	茨城県	千葉県	鳥取県	岡山県	北海道	福島県	神奈川県	富山県	長野県	岐阜県	三重県	島根県	山口県	徳島県	愛媛県	佐賀県	熊本県	鹿児島県	無回答
全体		319	30.1	23.8	10.0	7.2	4.7	3.8	1.9	1.6	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	–
学部別	仏教学部	14	14.3	28.6	–	7.1	21.4	–	–	–	–	–	–	–	7.1	7.1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7.1	–	–	–	–	–	–	–	–	7.1	–	–	–
	文学部	53	34.0	18.9	15.1	9.4	3.8	3.8	–	1.9	1.9	–	1.9	1.9	1.9	1.9	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.9	–	–	–	–	–	–	–	–	1.9	–	–
	歴史学部	41	29.3	14.6	4.9	9.8	4.9	2.4	–	2.4	–	–	4.9	2.4	4.9	2.4	4.9	–	4.9	–	–	–	–	2.4	–	–	–	–	–	–	2.4	–	–	–	–	–	2.4	–
	教育学部	53	24.5	26.4	9.4	5.7	7.5	7.5	1.9	3.8	–	1.9	1.9	–	–	–	–	1.9	–	1.9	–	1.9	1.9	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.9	–	–	–	–
	社会学部	70	34.3	18.6	8.6	7.1	4.3	2.9	2.9	–	2.9	4.3	–	1.4	–	–	1.4	1.4	1.4	1.4	–	–	1.4	–	1.4	–	–	–	1.4	–	–	1.4	1.4	–	–	–	–	–
	社会福祉学部	56	26.8	28.6	12.5	7.1	1.8	5.4	3.6	–	1.8	–	–	1.8	–	–	–	1.8	–	–	3.6	1.8	–	–	–	–	–	1.8	–	1.8	–	–	–	–	–	–	–	–
	保健医療技術学部	32	37.5	40.6	12.5	3.1	–	–	3.1	3.1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

※全体の多い順にソート（回答のなかった都道府県は非表示）

Q2-1【学修熱心度】1.全学共通科目（全体／単一回答）



			1.熱心だった	2.どちらかというと熱心だった	3.どちらともいえない	4.どちらかというと熱心ではなかった	5.熱心ではなかった	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	10.0	34.8	31.7	16.0	7.5	–	–	44.8	23.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	50.0	28.6	–	7.1	–	–	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	11.3	30.2	34.0	17.0	7.5	–	–	41.5	24.5
	歴史学部	(n= 41)	12.2	29.3	26.8	24.4	7.3	–	–	41.5	31.7
	教育学部	(n= 53)	9.4	34.0	32.1	17.0	7.5	–	–	43.4	24.5
	社会学部	(n= 70)	8.6	40.0	31.4	12.9	7.1	–	–	48.6	20.0
	社会福祉学部	(n= 56)	8.9	37.5	33.9	14.3	5.4	–	–	46.4	19.7
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	28.1	31.3	18.8	12.5	–	–	37.5	31.3

Q2-1【学修熱心度】2.専門基礎科目（全体／単一回答）

			1.熱心だった	2.どちらかというと熱心だった	3.どちらともいえない	4.どちらかというと熱心ではなかった	5.熱心ではなかった	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	23.5	47.6	21.3	4.7	2.8			71.1	7.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	42.9	28.6		7.1			64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	28.3	45.3	17.0	5.7	3.8			73.6	9.5
	歴史学部	(n= 41)	19.5	53.7	17.1	4.9	4.9			73.2	9.8
	教育学部	(n= 53)	34.0	47.2	15.1		3.8			81.2	3.8
	社会学部	(n= 70)	15.7	47.1	24.3	8.6	4.3			62.8	12.9
	社会福祉学部	(n= 56)	21.4	51.8	25.0		1.8			73.2	1.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	25.0	40.6	28.1	3.1	3.1			65.6	6.2

Q2-1【学修熱心度】3.学部基幹科目（全体／単一回答）

			1.熱心だった	2.どちらかというと熱心だった	3.どちらともいえない	4.どちらかというと熱心ではなかった	5.熱心ではなかった	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	17.6	47.6	25.1	6.0	3.8			65.2	9.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	50.0	28.6		7.1			64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	22.6	39.6	22.6	11.3	3.8			62.2	15.1
	歴史学部	(n= 41)	14.6	48.8	26.8	4.9	4.9			63.4	9.8
	教育学部	(n= 53)	24.5	47.2	20.8	5.7	1.9			71.7	7.6
	社会学部	(n= 70)	8.6	52.9	22.9	8.6	7.1			61.5	15.7
	社会福祉学部	(n= 56)	19.6	46.4	30.4		3.6			66.0	3.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	50.0	28.1		3.1			68.8	3.1

Q2-1【学修熱心度】4.学科基礎科目（全体／単一回答）

			1.熱心だった	2.どちらかというと熱心だった	3.どちらともいえない	4.どちらかというと熱心ではなかった	5.熱心ではなかった	6.履修しなかった	無回答			①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	18.8	51.4		20.7		5.3	3.4	0.3	—	70.2	8.7
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	57.1		21.4		—	7.1	—	—	71.4	7.1
学部別	文学部	(n= 53)	22.6	43.4		22.6		7.5	3.8	—	—	66.0	11.3
学部別	歴史学部	(n= 41)	14.6	61.0		14.6		4.9	4.9	—	—	75.6	9.8
学部別	教育学部	(n= 53)	30.2	45.3		20.8		1.9	1.9	—	—	75.5	3.8
学部別	社会学部	(n= 70)	11.4	51.4		21.4		8.6	5.7	1.4	—	62.8	14.3
学部別	社会福祉学部	(n= 56)	17.9	57.1		17.9		7.1	—	—	—	75.0	7.1
学部別	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	50.0		28.1		—	3.1	—	—	68.8	3.1

Q2-1【学修熱心度】5.コース科目（全体／単一回答）

			1.熱心だった	2.どちらかというと熱心だった	3.どちらともいえない	4.どちらかというと熱心ではなかった	5.熱心ではなかった	6.履修しなかった	無回答			①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	27.0	43.9		20.1		4.4	3.1	1.6	—	70.9	7.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	57.1		21.4		—	7.1	—	—	71.4	7.1
学部別	文学部	(n= 53)	28.3	43.4		17.0		5.7	3.8	1.9	—	71.7	9.5
学部別	歴史学部	(n= 41)	29.3	48.8		14.6		2.4	4.9	—	—	78.1	7.3
学部別	教育学部	(n= 53)	32.1	41.5		20.8		1.9	3.8	—	—	73.6	1.9
学部別	社会学部	(n= 70)	21.4	45.7		20.0		7.1	5.7	—	—	67.1	12.8
学部別	社会福祉学部	(n= 56)	32.1	44.6		19.6			3.6	—	—	76.7	3.6
学部別	保健医療技術学部	(n= 32)	21.9	31.3		31.3		6.3	3.1	6.3	—	53.2	9.4

Q2-1【学修熱心度】6.発展科目（全体／単一回答）

			1.熱心だった	2.どちらかというと熱心だった	3.どちらともいえない	4.どちらかというと熱心ではなかった	5.熱心ではなかった	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	19.1	37.6	29.5	7.5	3.8	2.5	—	56.7	11.3
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	42.9	21.4	—	7.1	—	—	71.5	7.1
	文学部	(n= 53)	24.5	32.1	28.3	9.4	3.8	1.9	—	56.6	13.2
	歴史学部	(n= 41)	22.0	41.5	24.4	7.3	2.4	2.4	—	63.5	9.7
	教育学部	(n= 53)	18.9	41.5	28.3	5.7	—	5.7	—	60.4	5.7
	社会学部	(n= 70)	14.3	35.7	35.7	5.7	8.6	—	—	50.0	14.3
	社会福祉学部	(n= 56)	17.9	37.5	30.4	12.5	—	1.8	—	55.4	12.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	15.6	37.5	28.1	6.3	6.3	6.3	—	53.1	12.6

Q2-2【学修役立ち度】1.全学共通科目（全体／単一回答）

			1.役に立っている	2.どちらかというと役に立っている	3.どちらともいえない	4.どちらかというと役に立っていない	5.役に立っていない	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	13.2	26.6	38.2	14.4	7.5	—	—	39.8	21.9
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	50.0	21.4	—	7.1	—	—	71.4	7.1
	文学部	(n= 53)	15.1	17.0	43.4	15.1	9.4	—	—	32.1	24.5
	歴史学部	(n= 41)	17.1	12.2	36.6	26.8	7.3	—	—	29.3	34.1
	教育学部	(n= 53)	11.3	26.4	37.7	18.9	5.7	—	—	37.7	24.6
	社会学部	(n= 70)	8.6	34.3	35.7	10.0	11.4	—	—	42.9	21.4
	社会福祉学部	(n= 56)	7.1	39.3	41.1	7.1	5.4	—	—	46.4	12.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	25.0	12.5	40.6	18.8	3.1	—	—	37.5	21.9

Q2-2【学修役立ち度】2.専門基礎科目（全体／単一回答）

			1.役に立っている	2.どちらかというと役に立っている	3.どちらともいえない	4.どちらかというと役に立っていない	5.役に立っていない	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
			(%)								
全体		(n= 319)	24.5	36.1	25.7	8.2	5.6			60.6	13.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	28.6	35.7		7.1			57.2	7.1
	文学部	(n= 53)	24.5	34.0	26.4	9.4	5.7			58.5	15.1
	歴史学部	(n= 41)	14.6	29.3	34.1	14.6	7.3			43.9	21.9
	教育学部	(n= 53)	26.4	41.5	22.6	7.5	1.9			67.9	9.4
	社会学部	(n= 70)	10.0	37.1	25.7	15.7	11.4			47.1	27.1
	社会福祉学部	(n= 56)	30.4	44.6	23.2		1.8			75.0	1.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	53.1	25.0	18.8		3.1			78.1	3.1

Q2-2【学修役立ち度】3.学部基幹科目（全体／単一回答）

			1.役に立っている	2.どちらかというと役に立っている	3.どちらともいえない	4.どちらかというと役に立っていない	5.役に立っていない	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
			(%)								
全体		(n= 319)	22.6	36.4	25.4	9.7	6.0			59.0	15.7
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	35.7	28.6		7.1			64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	20.8	34.0	30.2	9.4	5.7			54.8	15.1
	歴史学部	(n= 41)	14.6	24.4	31.7	22.0	7.3			39.0	29.3
	教育学部	(n= 53)	22.6	43.4	22.6	7.5	3.8			66.0	11.3
	社会学部	(n= 70)	11.4	32.9	27.1	17.1	11.4			44.3	28.5
	社会福祉学部	(n= 56)	26.8	50.0	21.4		1.8			76.8	1.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	50.0	28.1	15.6	3.1	3.1			78.1	6.2

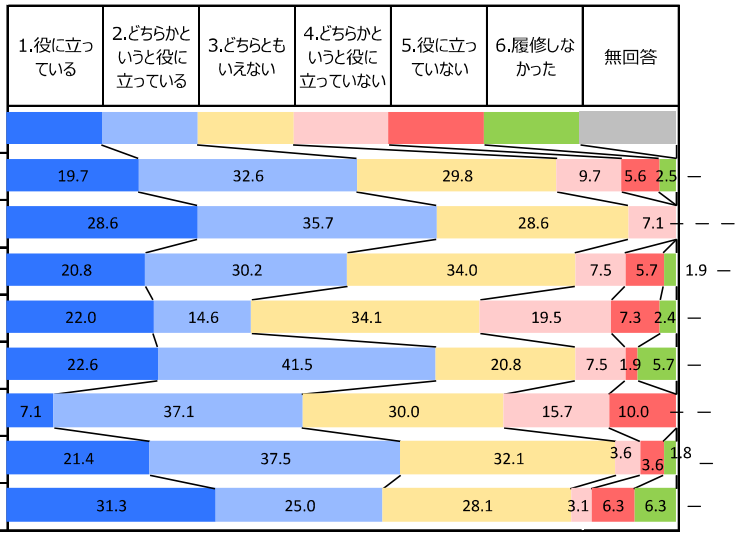
Q2-2【学修役立ち度】4.学科基礎科目（全体／単一回答）

			1.役に立っている	2.どちらかというと役に立っている	3.どちらともいえない	4.どちらかというと役に立っていない	5.役に立っていない	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
			(%)								
全体		(n= 319)	23.5	37.0	24.8	7.8	6.6	0.3	—	60.5	14.4
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	28.6	28.6	—	14.3	—	—	57.2	14.3
	文学部	(n= 53)	20.8	32.1	32.1	9.4	5.7	—	—	52.9	15.1
	歴史学部	(n= 41)	17.1	24.4	31.7	17.1	9.8	—	—	41.5	26.9
	教育学部	(n= 53)	26.4	45.3	17.0	7.5	3.8	—	—	71.7	11.3
	社会学部	(n= 70)	12.9	34.3	28.6	11.4	11.4	1.4	—	47.2	22.8
	社会福祉学部	(n= 56)	26.8	48.2	23.2	—	1.8	—	—	75.0	1.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	46.9	37.5	9.4	3.1	3.1	—	—	84.4	6.2

Q2-2【学修役立ち度】5.コース科目（全体／単一回答）

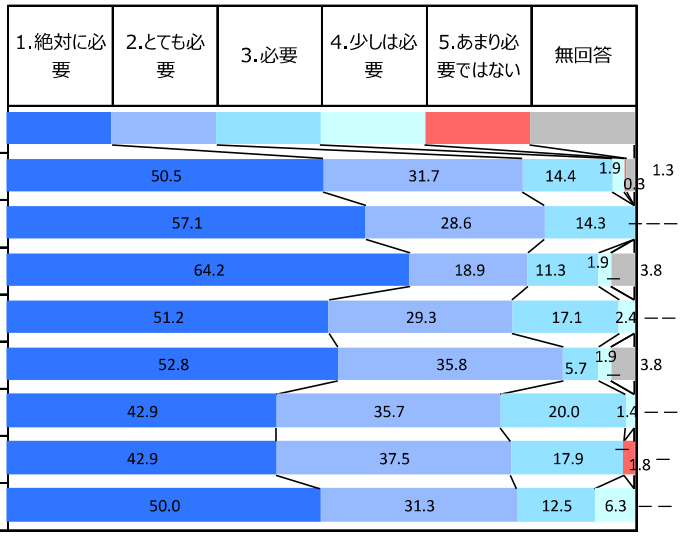
			1.役に立っている	2.どちらかというと役に立っている	3.どちらともいえない	4.どちらかというと役に立っていない	5.役に立っていない	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
			(%)								
全体		(n= 319)	24.8	34.5	24.5	8.8	6.0	1.6	—	59.3	14.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	42.9	28.6	—	7.1	—	—	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	24.5	28.3	32.1	7.5	5.7	1.9	—	52.8	13.2
	歴史学部	(n= 41)	19.5	19.5	31.7	19.5	9.8	—	—	39.0	29.3
	教育学部	(n= 53)	30.2	37.7	18.9	5.7	3.8	3.8	—	67.9	9.5
	社会学部	(n= 70)	10.0	44.3	21.4	14.3	10.0	—	—	54.3	24.3
	社会福祉学部	(n= 56)	37.5	37.5	23.2	—	1.8	—	—	75.0	1.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	34.4	28.1	18.8	9.4	3.1	6.3	—	62.5	12.5

Q2-2【学修役立ち度】6.発展科目（全体／単一回答）



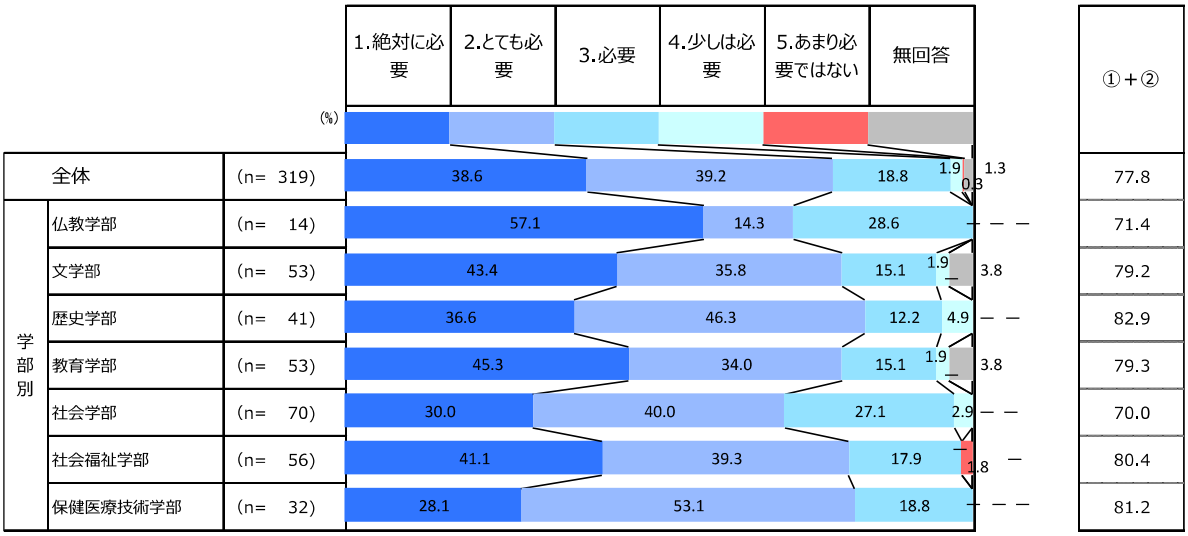
			1.役に立っている	2.どちらかというと役に立っている	3.どちらともいえない	4.どちらかというと役に立っていない	5.役に立っていない	6.履修しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	19.7	32.6	29.8	9.7	5.6	2.5	—	52.3	15.3
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	35.7	28.6	7.1	—	—	—	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	20.8	30.2	34.0	7.5	5.7	1.9	—	51.0	13.2
	歴史学部	(n= 41)	22.0	14.6	34.1	19.5	7.3	2.4	—	36.6	26.8
	教育学部	(n= 53)	22.6	41.5	20.8	7.5	1.9	5.7	—	64.1	9.4
	社会学部	(n= 70)	7.1	37.1	30.0	15.7	10.0	—	—	44.2	25.7
	社会福祉学部	(n= 56)	21.4	37.5	32.1	3.6	3.6	1.8	—	58.9	7.2
	保健医療技術学部	(n= 32)	31.3	25.0	28.1	3.1	6.3	6.3	—	56.3	9.4

Q3-1【必要度】1.他者との豊かな関係を築く能力（全体／単一回答）

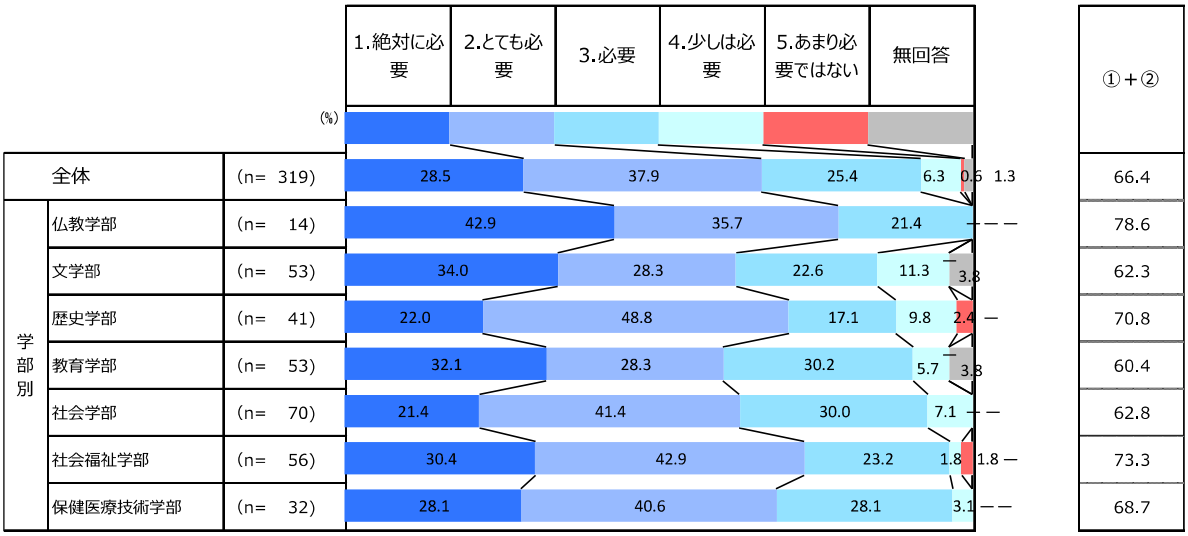


			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
全体		(n= 319)	50.5	31.7	14.4	1.9	0.3	1.3	82.2
学部別	仏教学部	(n= 14)	57.1	28.6	14.3	—	—	—	85.7
	文学部	(n= 53)	64.2	18.9	11.3	1.9	—	3.8	83.1
	歴史学部	(n= 41)	51.2	29.3	17.1	2.4	—	—	80.5
	教育学部	(n= 53)	52.8	35.8	5.7	1.9	—	3.8	88.6
	社会学部	(n= 70)	42.9	35.7	20.0	1.4	—	—	78.6
	社会福祉学部	(n= 56)	42.9	37.5	17.9	—	1.8	—	80.4
	保健医療技術学部	(n= 32)	50.0	31.3	12.5	6.3	—	—	81.3

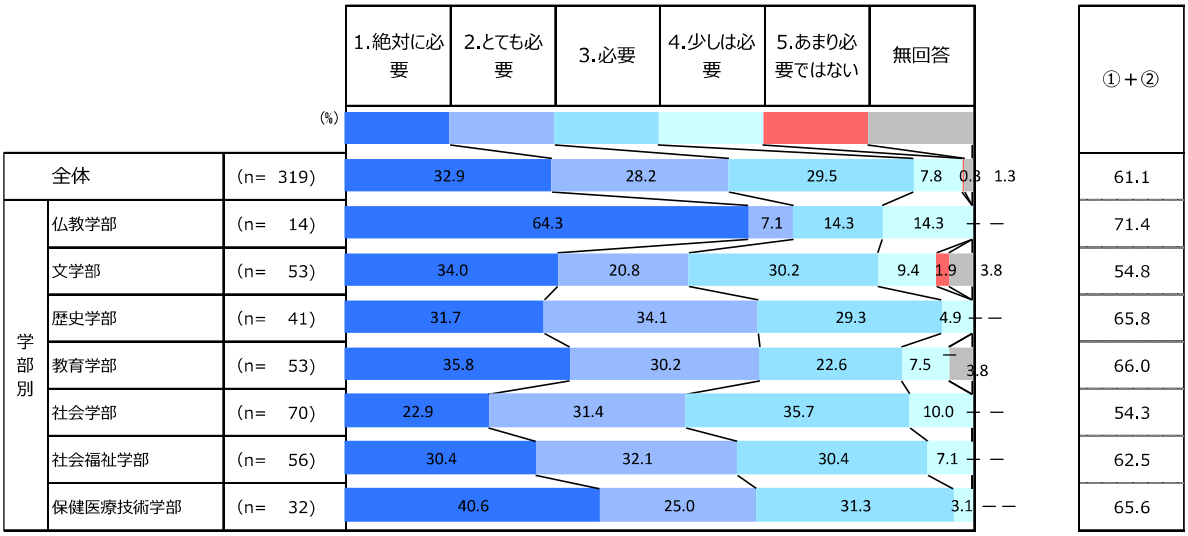
Q3-1【必要度】2.目標に向けて協力的に仕事を進める能力（全体／単一回答）



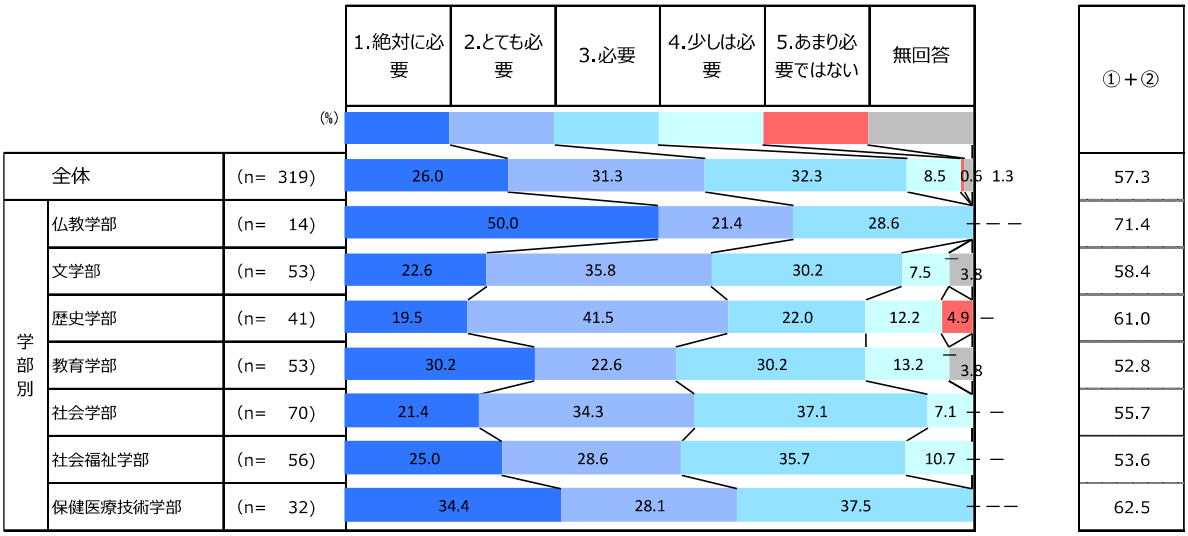
Q3-1【必要度】3.場を読み、組織を動かす能力（全体／単一回答）



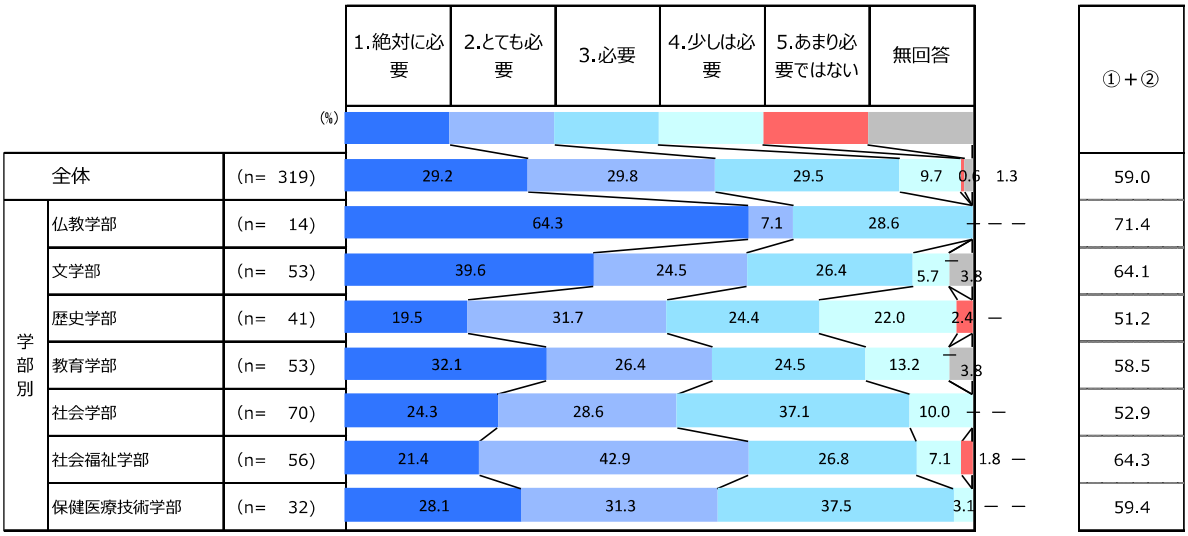
Q3-1【必要度】4.ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（全体／単一回答）



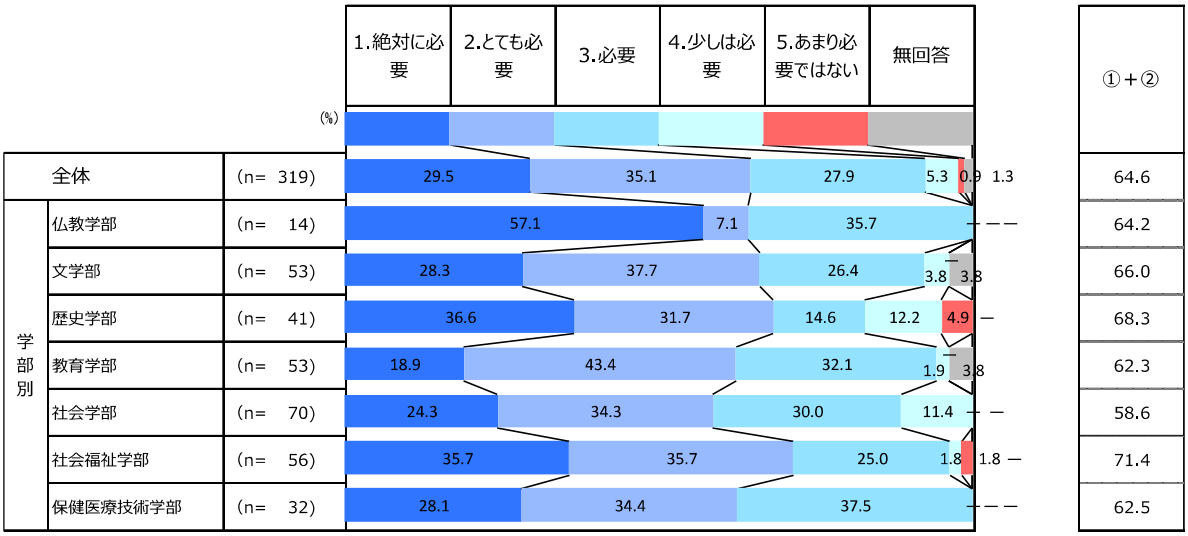
Q3-1【必要度】5.前向きな考え方、やる気を維持する能力（全体／単一回答）



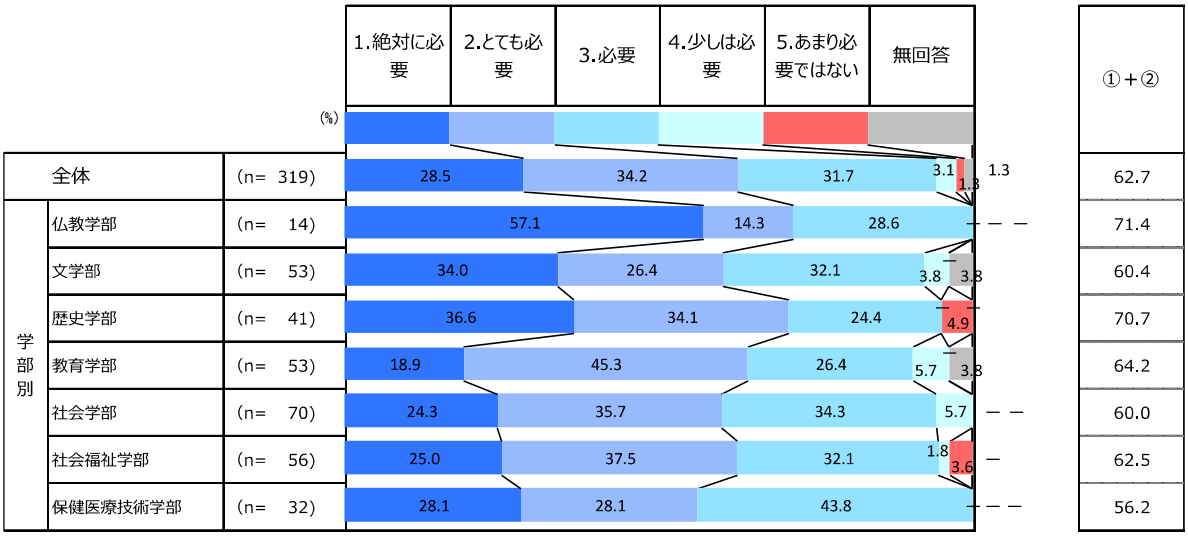
Q3-1【必要度】6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（全体／単一回答）



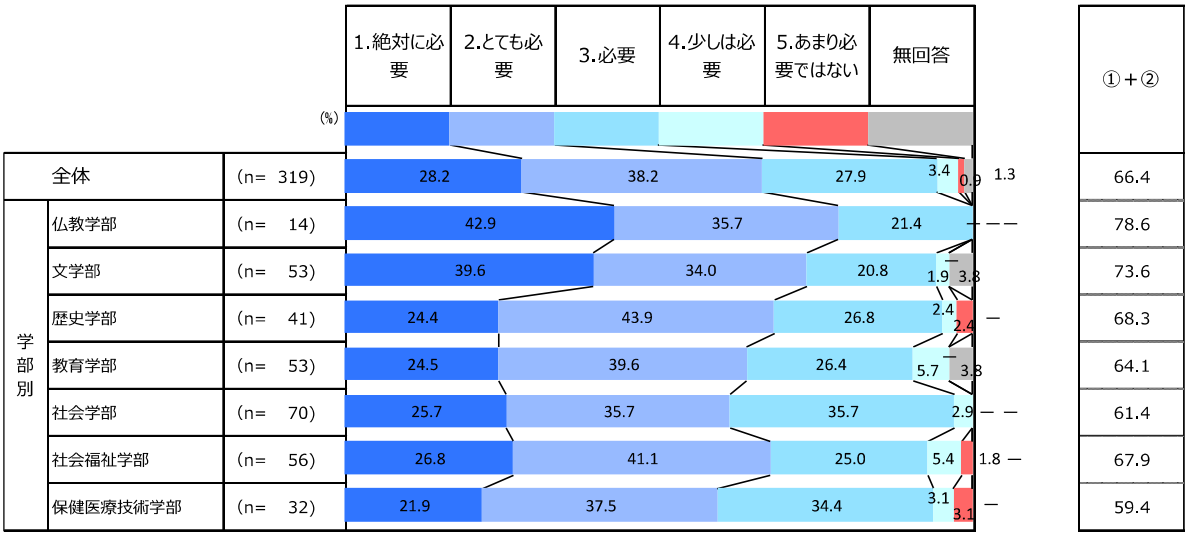
Q3-1【必要度】7.様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（全体／単一回答）



Q3-1【必要度】8.課題解決のための適切な計画を立てる能力（全体／単一回答）



Q3-1【必要度】9.目標達成に向け、実践行動する能力（全体／単一回答）



Q3-1【必要度】10.大学の専門科目で学んだ知識・技能（全体／単一回答）

			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
	全体	(n= 319)	12.2	15.4	31.3	28.5	11.3	1.3	27.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	14.3	50.0	14.3	7.1	–	28.6
	文学部	(n= 53)	15.1	13.2	26.4	30.2	11.3	3.8	28.3
	歴史学部	(n= 41)	12.2	2.4	22.0	48.8	14.6	–	14.6
	教育学部	(n= 53)	7.5	20.8	24.5	32.1	11.3	3.8	28.3
	社会学部	(n= 70)	5.7	8.6	32.9	31.4	21.4	–	14.3
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	26.8	42.9	16.1	3.6	–	37.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	31.3	21.9	31.3	15.6	–	–	53.2

Q3-1【必要度】11.大学の教養科目で学んだ知識・技能（全体／単一回答）

			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
	全体	(n= 319)	10.3	12.9	35.4	29.5	10.7	1.3	23.2
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	21.4	50.0	14.3	–	–	35.7
	文学部	(n= 53)	9.4	13.2	32.1	28.3	13.2	3.8	22.6
	歴史学部	(n= 41)	12.2	9.8	24.4	43.9	9.8	–	22.0
	教育学部	(n= 53)	5.7	15.1	28.3	37.7	9.4	3.8	20.8
	社会学部	(n= 70)	5.7	7.1	34.3	31.4	21.4	–	12.8
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	19.6	48.2	17.9	3.6	–	30.3
	保健医療技術学部	(n= 32)	25.0	9.4	40.6	21.9	3.1	–	34.4

Q3-1【必要度】12.英語を使う能力（全体／単一回答）

			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
		(%)							
全体		(n= 319)	8.8	12.2	21.3	35.4	21.0	1.3	21.0
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	21.4	14.3	28.6	14.3	–	42.8
	文学部	(n= 53)	7.5	20.8	24.5	34.0	9.4	3.8	28.3
	歴史学部	(n= 41)	12.2	12.2	24.4	29.3	22.0	–	24.4
	教育学部	(n= 53)	7.5	15.1	22.6	37.7	13.2	3.8	22.6
	社会学部	(n= 70)	10.0	8.6	20.0	40.0	21.4	–	18.6
	社会福祉学部	(n= 56)	5.4	10.7	16.1	30.4	37.5	–	16.1
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	–	25.0	43.8	25.0	–	6.3

Q3-1【必要度】13.外国語（英語以外の言語）を使う能力（全体／単一回答）

			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
		(%)							
全体		(n= 319)	4.7	5.0	16.6	29.2	43.3	1.3	9.7
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	14.3	21.4	14.3	35.7	–	28.6
	文学部	(n= 53)	5.7	7.5	20.8	32.1	30.2	3.8	13.2
	歴史学部	(n= 41)	4.9	4.9	14.6	36.6	39.0	–	9.8
	教育学部	(n= 53)	3.8	3.8	11.3	34.0	43.4	3.8	7.6
	社会学部	(n= 70)	8.6	4.3	14.3	27.1	45.7	–	12.9
	社会福祉学部	(n= 56)	– 3.6	19.6	19.6		57.1	–	3.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	– 3.1	18.8	34.4		43.8	–	3.1

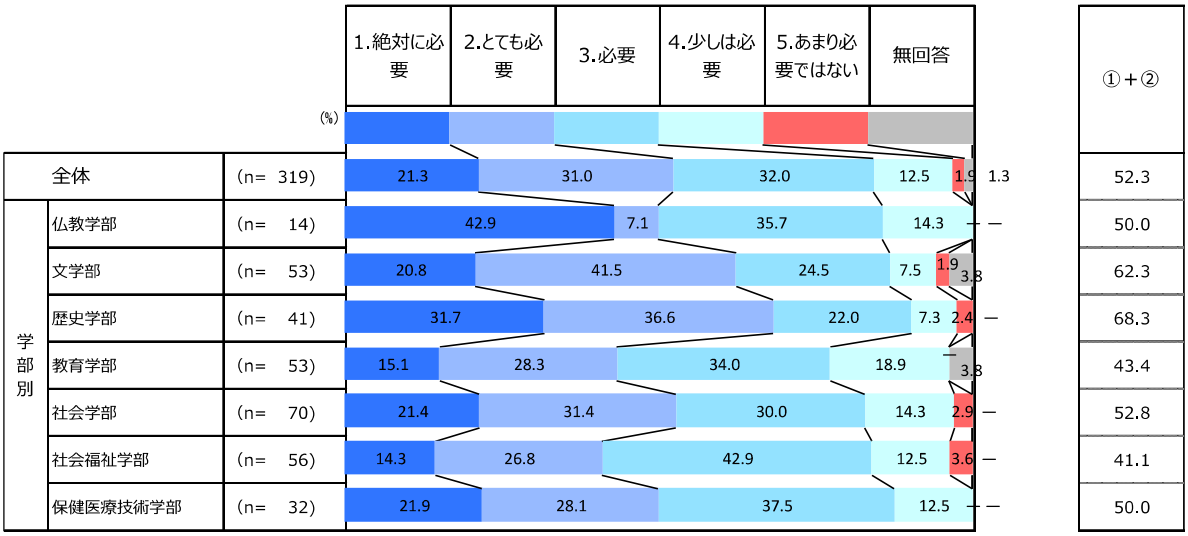
Q3-1【必要度】14.PCスキル（ワード、エクセルなど）（全体／単一回答）

			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
	全体	(n= 319)	39.2	27.9	24.1	6.6	0.9	1.3	67.1
学部別	仏教学部	(n= 14)	50.0	14.3	35.7	—	—	—	64.3
	文学部	(n= 53)	39.6	30.2	20.8	5.7	—	3.8	69.8
	歴史学部	(n= 41)	46.3	29.3	19.5	2.4	2.4	—	75.6
	教育学部	(n= 53)	41.5	28.3	20.8	5.7	—	3.8	69.8
	社会学部	(n= 70)	48.6	28.6	14.3	7.1	1.4	—	77.2
	社会福祉学部	(n= 56)	26.8	28.6	33.9	8.9	1.8	—	55.4
	保健医療技術学部	(n= 32)	21.9	25.0	40.6	12.5	—	—	46.9

Q3-1【必要度】15.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）（全体／単一回答）

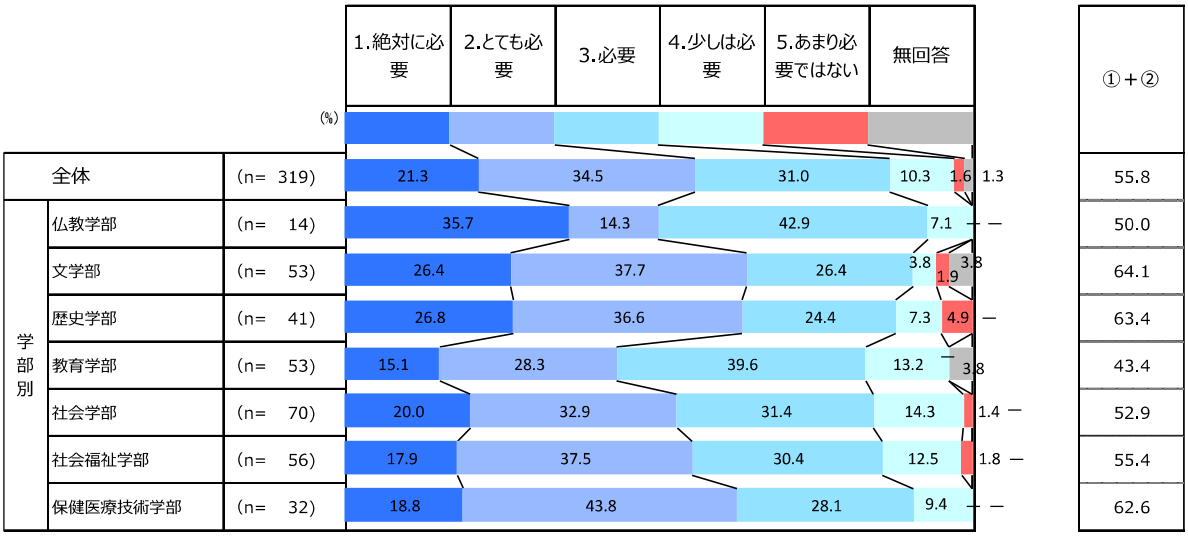
			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
	全体	(n= 319)	11.9	21.9	33.2	21.0	10.7	1.3	33.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	28.6	28.6	14.3	7.1	—	50.0
	文学部	(n= 53)	9.4	32.1	35.8	11.3	7.5	3.8	41.5
	歴史学部	(n= 41)	17.1	17.1	36.6	12.2	17.1	—	34.2
	教育学部	(n= 53)	11.3	15.1	41.5	24.5	3.8	3.8	26.4
	社会学部	(n= 70)	17.1	27.1	24.3	21.4	10.0	—	44.2
	社会福祉学部	(n= 56)	3.6	17.9	35.7	26.8	16.1	—	21.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	15.6	28.1	34.4	12.5	—	25.0

Q3-1【必要度】16.課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力（全体／単一回答）



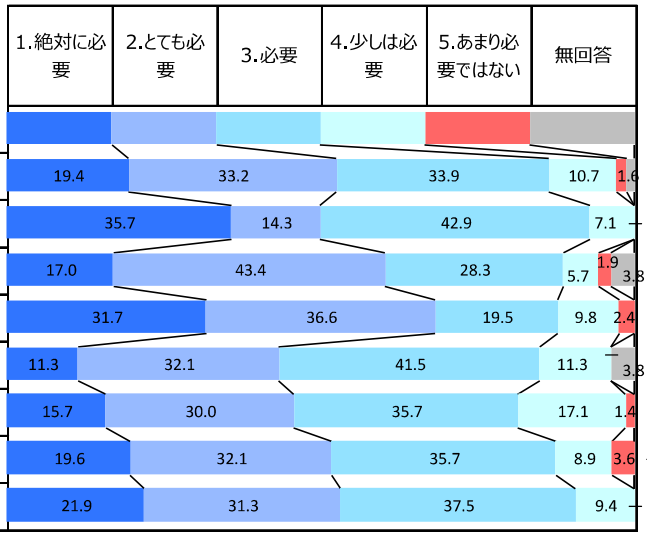
			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
全体		(n= 319)	21.3	31.0	32.0	12.5	1.9	1.3	52.3
学部別	仏教学部	(n= 14)	42.9	7.1	35.7	14.3	—	—	50.0
	文学部	(n= 53)	20.8	41.5	24.5	7.5	1.9	3.8	62.3
	歴史学部	(n= 41)	31.7	36.6	22.0	7.3	2.4	—	68.3
	教育学部	(n= 53)	15.1	28.3	34.0	18.9	—	3.8	43.4
	社会学部	(n= 70)	21.4	31.4	30.0	14.3	2.9	—	52.8
	社会福祉学部	(n= 56)	14.3	26.8	42.9	12.5	3.6	—	41.1
	保健医療技術学部	(n= 32)	21.9	28.1	37.5	12.5	—	—	50.0

Q3-1【必要度】17.収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（全体／単一回答）



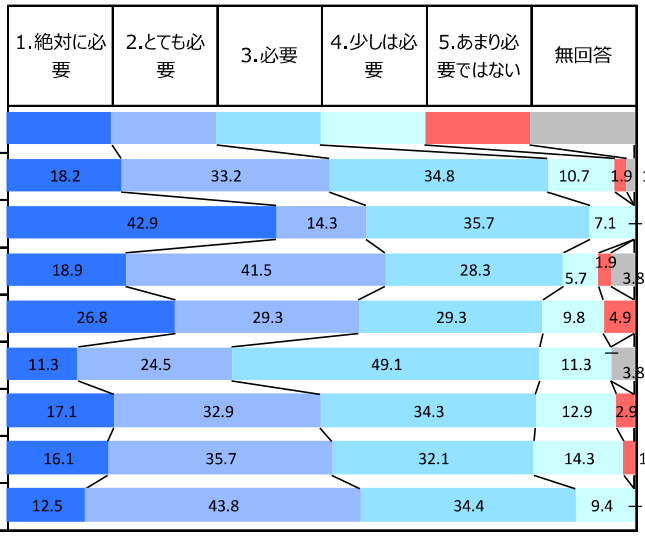
			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
全体		(n= 319)	21.3	34.5	31.0	10.3	1.6	1.3	55.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	35.7	14.3	42.9	7.1	—	—	50.0
	文学部	(n= 53)	26.4	37.7	26.4	3.8	1.9	3.8	64.1
	歴史学部	(n= 41)	26.8	36.6	24.4	7.3	4.9	—	63.4
	教育学部	(n= 53)	15.1	28.3	39.6	13.2	—	3.8	43.4
	社会学部	(n= 70)	20.0	32.9	31.4	14.3	1.4	—	52.9
	社会福祉学部	(n= 56)	17.9	37.5	30.4	12.5	1.8	—	55.4
	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	43.8	28.1	9.4	—	—	62.6

Q3-1【必要度】18.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（全体／単一回答）



			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
全体		(n= 319)	19.4	33.2	33.9	10.7	1.6	1.3	52.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	35.7	14.3	42.9	7.1	—	—	50.0
	文学部	(n= 53)	17.0	43.4	28.3	5.7	1.9	3.8	60.4
	歴史学部	(n= 41)	31.7	36.6	19.5	9.8	2.4	—	68.3
	教育学部	(n= 53)	11.3	32.1	41.5	11.3	—	3.8	43.4
	社会学部	(n= 70)	15.7	30.0	35.7	17.1	1.4	—	45.7
	社会福祉学部	(n= 56)	19.6	32.1	35.7	8.9	3.6	—	51.7
	保健医療技術学部	(n= 32)	21.9	31.3	37.5	9.4	—	—	53.2

Q3-1【必要度】19.さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力（全体／単一回答）



			1.絶対に必要	2.とても必要	3.必要	4.少しは必要	5.あまり必要ではない	無回答	①＋②
全体		(n= 319)	18.2	33.2	34.8	10.7	1.9	1.3	51.4
学部別	仏教学部	(n= 14)	42.9	14.3	35.7	7.1	—	—	57.2
	文学部	(n= 53)	18.9	41.5	28.3	5.7	1.9	3.8	60.4
	歴史学部	(n= 41)	26.8	29.3	29.3	9.8	4.9	—	56.1
	教育学部	(n= 53)	11.3	24.5	49.1	11.3	—	3.8	35.8
	社会学部	(n= 70)	17.1	32.9	34.3	12.9	2.9	—	50.0
	社会福祉学部	(n= 56)	16.1	35.7	32.1	14.3	1.8	—	51.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	43.8	34.4	9.4	—	—	56.3

Q3-2【修得度】1.他者との豊かな関係を築く能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	19.4	50.2	18.8	6.9	1.9	2.8	69.6	8.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	64.3	7.1	—	14.3	7.1	71.4	14.3
	文学部	(n= 53)	26.4	39.6	24.5	3.8	—	5.7	66.0	3.8
	歴史学部	(n= 41)	22.0	61.0	9.8	2.4	4.9	—	83.0	7.3
	教育学部	(n= 53)	24.5	47.2	15.1	7.5	—	5.7	71.7	7.5
	社会学部	(n= 70)	18.6	42.9	22.9	12.9	1.4	1.4	61.5	14.3
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	62.5	17.9	8.9	—	—	73.2	8.9
	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	46.9	25.0	3.1	3.1	3.1	65.7	6.2

Q3-2【修得度】2.目標に向けて協力的に仕事を進める能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	15.7	50.5	21.3	8.2	1.6	2.8	66.2	9.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	50.0	14.3	—	14.3	7.1	64.3	14.3
	文学部	(n= 53)	15.1	50.9	20.8	7.5	—	5.7	66.0	7.5
	歴史学部	(n= 41)	14.6	56.1	24.4	2.4	2.4	—	70.7	4.8
	教育学部	(n= 53)	20.8	47.2	17.0	9.4	—	5.7	68.0	9.4
	社会学部	(n= 70)	21.4	42.9	22.9	10.0	1.4	1.4	64.3	11.4
	社会福祉学部	(n= 56)	7.1	58.9	21.4	10.7	1.8	—	66.0	12.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	50.0	25.0	9.4	—	3.1	62.5	9.4

Q3-2【修得度】3.場を読み、組織を動かす能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	11.6	41.7	30.1	11.9	1.9	2.8	53.3	13.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	50.0	21.4	7.1	7.1	7.1	57.1	14.2
	文学部	(n= 53)	15.1	41.5	30.2	7.5	—	5.7	56.6	7.5
	歴史学部	(n= 41)	12.2	41.5	31.7	12.2	2.4	—	53.7	14.6
	教育学部	(n= 53)	11.3	49.1	28.3	5.7	—	5.7	60.4	5.7
	社会学部	(n= 70)	15.7	34.3	27.1	20.0	1.4	1.4	50.0	21.4
	社会福祉学部	(n= 56)	5.4	39.3	39.3	12.5	3.6	—	44.7	16.1
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	46.9	25.0	12.5	3.1	3.1	56.3	15.6

Q3-2【修得度】4.ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	9.4	35.1	32.3	16.9	3.4	2.8	44.5	20.3
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	42.9	21.4	—	7.1	7.1	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	9.4	28.3	41.5	11.3	3.8	5.7	37.7	15.1
	歴史学部	(n= 41)	9.8	29.3	34.1	24.4	2.4	—	39.1	26.8
	教育学部	(n= 53)	5.7	47.2	24.5	15.1	1.9	5.7	52.9	17.0
	社会学部	(n= 70)	8.6	28.6	37.1	21.4	2.9	1.4	37.2	24.3
	社会福祉学部	(n= 56)	8.9	33.9	37.5	14.3	5.4	—	42.8	19.7
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	46.9	12.5	21.9	3.1	3.1	59.4	25.0

Q3-2【修得度】5.前向きな考え方、やる気を維持する能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	11.9	39.8	31.3	12.2	1.9	2.8	51.7	14.1
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	42.9	28.6	7.1	—	7.1	57.2	7.1
	文学部	(n= 53)	17.0	37.7	30.2	9.4	—	5.7	54.7	9.4
	歴史学部	(n= 41)	9.8	34.1	36.6	14.6	4.9	—	43.9	19.5
	教育学部	(n= 53)	13.2	37.7	26.4	17.0	—	5.7	50.9	17.0
	社会学部	(n= 70)	10.0	38.6	32.9	15.7	1.4	1.4	48.6	17.1
	社会福祉学部	(n= 56)	12.5	42.9	35.7	5.4	3.6	—	55.4	9.0
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	50.0	25.0	15.6	—	3.1	56.3	15.6

Q3-2【修得度】6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	15.4	36.4	30.4	13.8	1.3	2.8	51.8	15.1
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	42.9	21.4	7.1	—	7.1	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	26.4	24.5	32.1	11.3	—	5.7	50.9	11.3
	歴史学部	(n= 41)	17.1	31.7	31.7	17.1	2.4	—	48.8	19.5
	教育学部	(n= 53)	17.0	32.1	30.2	15.1	—	5.7	49.1	15.1
	社会学部	(n= 70)	11.4	42.9	27.1	15.7	1.4	1.4	54.3	17.1
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	37.5	35.7	14.3	1.8	—	48.2	16.1
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	50.0	28.1	12.5	—	3.1	56.3	12.5

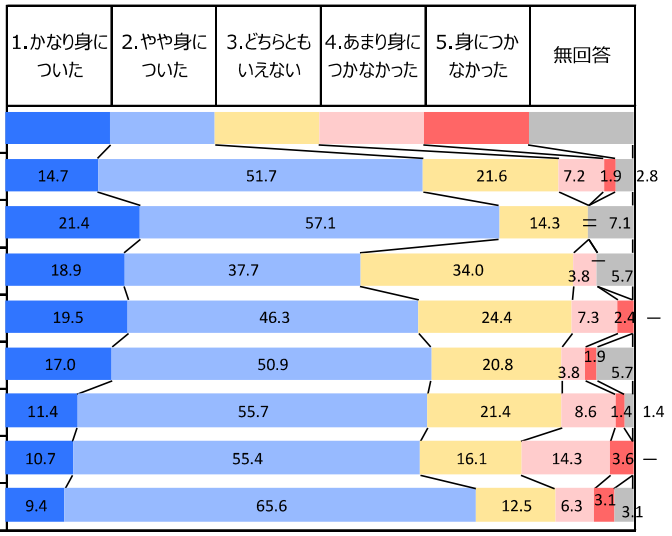
Q3-2【修得度】7.様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	11.3	48.9	25.4	10.3	1.3	2.8	60.2	11.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	50.0	28.6	7.1	—	7.1	57.1	7.1
	文学部	(n= 53)	15.1	35.8	35.8	7.5	—	5.7	50.9	7.5
	歴史学部	(n= 41)	14.6	56.1	19.5	7.3	2.4	—	70.7	9.7
	教育学部	(n= 53)	9.4	45.3	24.5	13.2	1.9	5.7	54.7	15.1
	社会学部	(n= 70)	12.9	50.0	24.3	10.0	1.4	1.4	62.9	11.4
	社会福祉学部	(n= 56)	8.9	50.0	26.8	14.3	—	—	58.9	14.3
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	62.5	15.6	9.4	3.1	3.1	68.8	12.5

Q3-2【修得度】8.課題解決のための適切な計画を立てる能力（全体／単一回答）

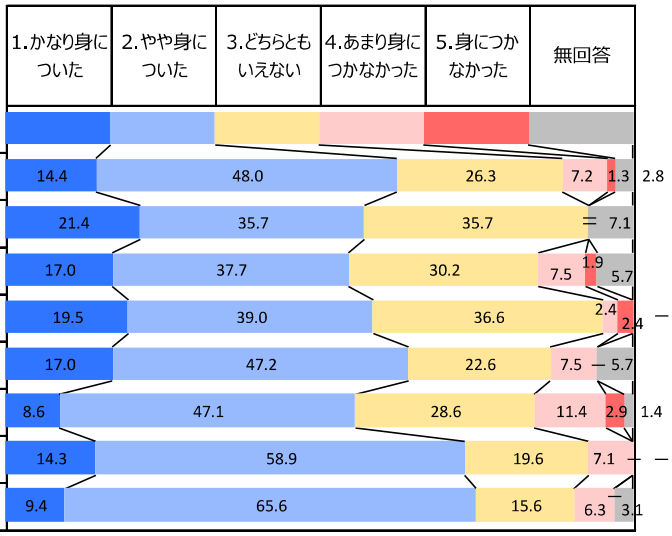
			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	10.3	45.5	29.8	10.3	1.3	2.8	55.8	11.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	64.3	14.3	7.1	—	7.1	71.4	7.1
	文学部	(n= 53)	11.3	39.6	30.2	11.3	1.9	5.7	50.9	13.2
	歴史学部	(n= 41)	19.5	36.6	29.3	12.2	2.4	—	56.1	14.6
	教育学部	(n= 53)	5.7	47.2	30.2	9.4	1.9	5.7	52.9	11.3
	社会学部	(n= 70)	11.4	47.1	24.3	14.3	1.4	1.4	58.5	15.7
	社会福祉学部	(n= 56)	7.1	44.6	39.3	8.9	—	—	51.7	8.9
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	53.1	31.3	3.1	—	3.1	62.5	3.1

Q3-2【修得度】9.目標達成に向け、実践行動する能力（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	66.4	9.1
学部別 仏教学部	(n= 14)	78.5	—
文学部	(n= 53)	56.6	3.8
歴史学部	(n= 41)	65.8	9.7
教育学部	(n= 53)	67.9	5.7
社会学部	(n= 70)	67.1	10.0
社会福祉学部	(n= 56)	66.1	17.9
保健医療技術学部	(n= 32)	75.0	9.4

Q3-2【修得度】10.大学の専門科目で学んだ知識・技能（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	62.4	8.5
学部別 仏教学部	(n= 14)	57.1	—
文学部	(n= 53)	54.7	9.4
歴史学部	(n= 41)	58.5	4.8
教育学部	(n= 53)	64.2	7.5
社会学部	(n= 70)	55.7	14.3
社会福祉学部	(n= 56)	73.2	7.1
保健医療技術学部	(n= 32)	75.0	6.3

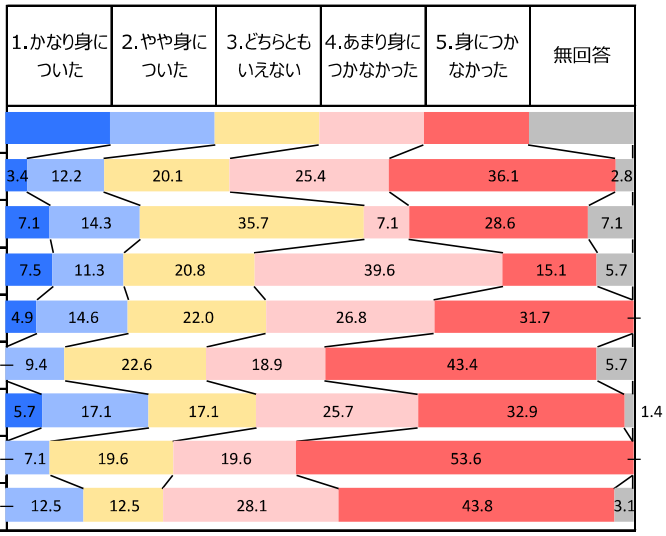
Q3-2【修得度】11.大学の教養科目で学んだ知識・技能（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	8.2	50.2	30.4	6.9	1.6	2.8	58.4	8.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	35.7	35.7	—	7.1		57.1	—
	文学部	(n= 53)	3.8	54.7	28.3	5.7	1.9	5.7	58.5	7.6
	歴史学部	(n= 41)	14.6	43.9	34.1	4.9	2.4	—	58.5	7.3
	教育学部	(n= 53)	11.3	47.2	28.3	7.5	—	5.7	58.5	7.5
	社会学部	(n= 70)	7.1	47.1	30.0	11.4	2.9	1.4	54.2	14.3
	社会福祉学部	(n= 56)	1.8	57.1	35.7	3.6	1.8	—	58.9	5.4
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	56.3	21.9	9.4	—	3.1	65.7	9.4

Q3-2【修得度】12.英語を使う能力（全体／単一回答）

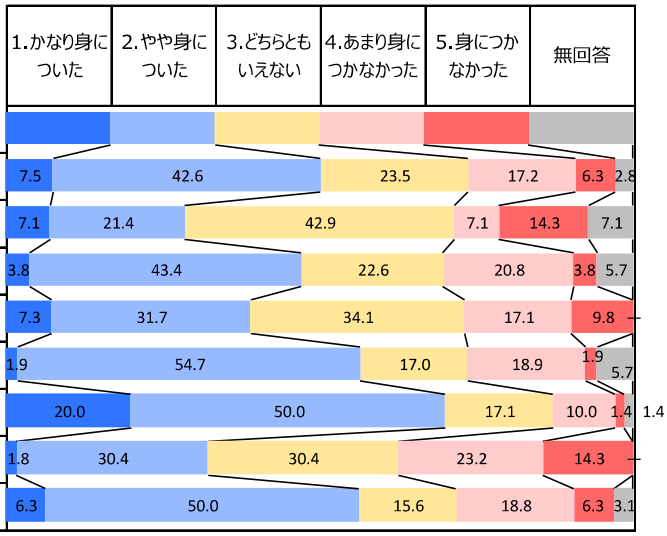
			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	3.8	18.2	26.6	30.1	18.5	2.8	22.0	48.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	21.4	28.6	14.3	21.4	7.1	28.5	35.7
	文学部	(n= 53)	5.7	24.5	24.5	30.2	9.4	5.7	30.2	39.6
	歴史学部	(n= 41)	4.9	7.3	29.3	39.0	19.5	—	12.2	58.5
	教育学部	(n= 53)	3.8	24.5	24.5	20.8	20.8	5.7	28.3	41.6
	社会学部	(n= 70)	4.3	22.9	27.1	24.3	20.0	1.4	27.2	44.3
	社会福祉学部	(n= 56)	—	8.9	30.4	39.3	21.4	—	8.9	60.7
	保健医療技術学部	(n= 32)	3.1	15.6	21.9	37.5	18.8	3.1	18.7	56.3

Q3-2【修得度】13.外国語（英語以外の言語）を使う能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	15.6	61.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	35.7
	文学部	(n= 53)	18.8	54.7
	歴史学部	(n= 41)	19.5	58.5
	教育学部	(n= 53)	9.4	62.3
	社会学部	(n= 70)	22.8	58.6
	社会福祉学部	(n= 56)	7.1	73.2
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	71.9

Q3-2【修得度】14.PCスキル（ワード、エクセルなど）（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	50.1	23.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.5	21.4
	文学部	(n= 53)	47.2	24.6
	歴史学部	(n= 41)	39.0	26.9
	教育学部	(n= 53)	56.6	20.8
	社会学部	(n= 70)	70.0	11.4
	社会福祉学部	(n= 56)	32.2	37.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	56.3	25.1

Q3-2【修得度】15.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	4.1	25.1	31.0	21.0	16.0	2.8	29.2	37.0
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	28.6	21.4	14.3	21.4	7.1	35.7	35.7
	文学部	(n= 53)	1.9	22.6	28.3	20.8	20.8	5.7	24.5	41.6
	歴史学部	(n= 41)	7.3	19.5	26.8	31.7	14.6	—	26.8	46.3
	教育学部	(n= 53)	3.8	26.4	37.7	15.1	11.3	5.7	30.2	26.4
	社会学部	(n= 70)	7.1	35.7	28.6	17.1	10.0	1.4	42.8	27.1
	社会福祉学部	(n= 56)	—	16.1	28.6	30.4	25.0	—	16.1	55.4
	保健医療技術学部	(n= 32)	3.1	25.0	43.8	12.5	12.5	3.1	28.1	25.0

Q3-2【修得度】16.課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	8.5	41.7	32.0	11.0	4.1	2.8	50.2	15.1
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	50.0	14.3	14.3	7.1	7.1	57.1	21.4
	文学部	(n= 53)	9.4	35.8	35.8	11.3	1.9	5.7	45.2	13.2
	歴史学部	(n= 41)	14.6	48.8	24.4	7.3	4.9	—	63.4	12.2
	教育学部	(n= 53)	1.9	43.4	34.0	15.1	—	5.7	45.3	15.1
	社会学部	(n= 70)	14.3	38.6	30.0	12.9	2.9	1.4	52.9	15.8
	社会福祉学部	(n= 56)	3.6	35.7	44.6	8.9	7.1	—	39.3	16.0
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	53.1	21.9	6.3	9.4	3.1	59.4	15.7

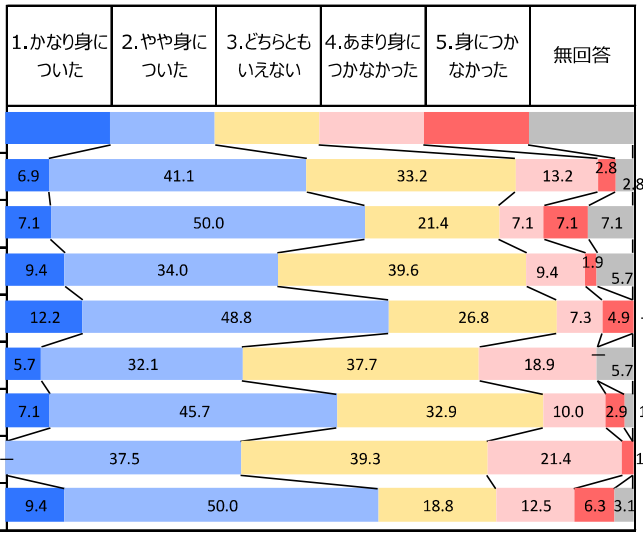
Q3-2【修得度】17.収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（全体／単一回答）

			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	7.8	40.8	34.5	10.7	3.4	2.8	48.6	14.1
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	42.9	21.4	14.3	7.1	7.1	50.0	21.4
	文学部	(n= 53)	7.5	34.0	41.5	9.4	1.9	5.7	41.5	11.3
	歴史学部	(n= 41)	14.6	51.2	24.4	4.9	4.9	—	65.8	9.8
	教育学部	(n= 53)	5.7	32.1	43.4	13.2	—	5.7	37.8	13.2
	社会学部	(n= 70)	10.0	44.3	31.4	10.0	2.9	1.4	54.3	12.9
	社会福祉学部	(n= 56)	—	39.3	42.9	12.5	5.4	—	39.3	17.9
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	46.9	18.8	12.5	6.3	3.1	59.4	18.8

Q3-2【修得度】18.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（全体／単一回答）

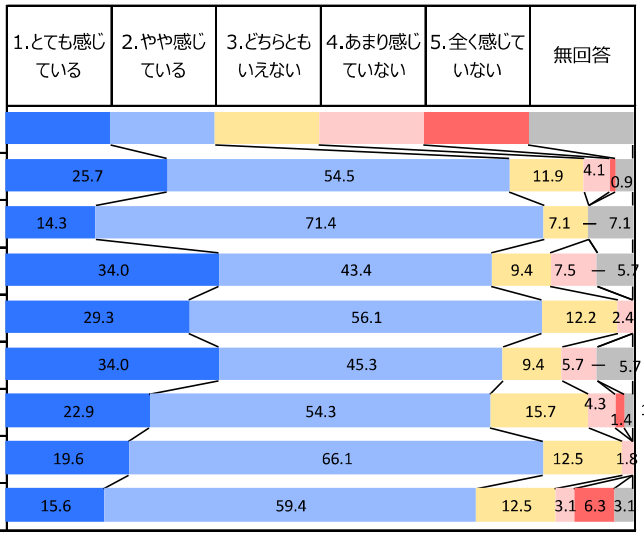
			1.かなり身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	7.8	39.5	34.2	12.2	3.4	2.8	47.3	15.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	42.9	28.6	7.1	7.1	7.1	50.0	14.2
	文学部	(n= 53)	7.5	30.2	43.4	11.3	1.9	5.7	37.7	13.2
	歴史学部	(n= 41)	14.6	43.9	29.3	9.8	2.4	—	58.5	12.2
	教育学部	(n= 53)	3.8	35.8	39.6	13.2	1.9	5.7	39.6	15.1
	社会学部	(n= 70)	10.0	41.4	30.0	12.9	4.3	1.4	51.4	17.2
	社会福祉学部	(n= 56)	1.8	37.5	42.9	16.1	1.8	—	39.3	17.9
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	53.1	12.5	9.4	9.4	3.1	65.6	18.8

Q3-2【修得度】19.さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	48.0	16.0
学部別 仏教学部	(n= 14)	57.1	14.2
文学部	(n= 53)	43.4	11.3
歴史学部	(n= 41)	61.0	12.2
教育学部	(n= 53)	37.8	18.9
社会学部	(n= 70)	52.8	12.9
社会福祉学部	(n= 56)	37.5	23.2
保健医療技術学部	(n= 32)	59.4	18.8

Q4-1.学生生活を通して、全体的に成長した実感を得られましたか？（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	80.2	5.0
学部別 仏教学部	(n= 14)	85.7	—
文学部	(n= 53)	77.4	7.5
歴史学部	(n= 41)	85.4	2.4
教育学部	(n= 53)	79.3	5.7
社会学部	(n= 70)	77.2	5.7
社会福祉学部	(n= 56)	85.7	1.8
保健医療技術学部	(n= 32)	75.0	9.4

Q4-2.自分の強みを意識して、学生生活を過ごせましたか？（全体／単一回答）

			1.強く意識して過ごした	2.やや意識して過ごした	3.どちらともいえない	4.あまり意識せず過ごした	5.全く意識せず過ごした	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	10.7	34.2	29.8	17.6	5.0	2.8	44.9	22.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	35.7	28.6	7.1	—	7.1	57.1	7.1
	文学部	(n= 53)	13.2	43.4	22.6	9.4	5.7	5.7	56.6	15.1
	歴史学部	(n= 41)	12.2	24.4	26.8	29.3	7.3	—	36.6	36.6
	教育学部	(n= 53)	15.1	35.8	24.5	17.0	1.9	5.7	50.9	18.9
	社会学部	(n= 70)	5.7	31.4	34.3	21.4	5.7	1.4	37.1	27.1
	社会福祉学部	(n= 56)	7.1	39.3	37.5	14.3	1.8	—	46.4	16.1
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	25.0	31.3	18.8	12.5	3.1	34.4	31.3

Q4-3.学生生活の中で、自分の強みを開発する機会がどれくらいありましたか？（全体／単一回答）

			1.よくあった	2.あった	3.どちらともいえない	4.あまりなかった	5.なかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	8.5	35.7	35.7	14.4	2.8	2.8	44.2	17.2
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	35.7	42.9	—	—	7.1	50.0	—
	文学部	(n= 53)	7.5	49.1	28.3	7.5	1.9	5.7	56.6	9.4
	歴史学部	(n= 41)	4.9	39.0	39.0	12.2	4.9	—	43.9	17.1
	教育学部	(n= 53)	17.0	30.2	32.1	15.1	—	5.7	47.2	15.1
	社会学部	(n= 70)	8.6	32.9	31.4	20.0	5.7	1.4	41.5	25.7
	社会福祉学部	(n= 56)	3.6	33.9	44.6	17.9	—	—	37.5	17.9
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	28.1	40.6	15.6	6.3	3.1	34.4	21.9

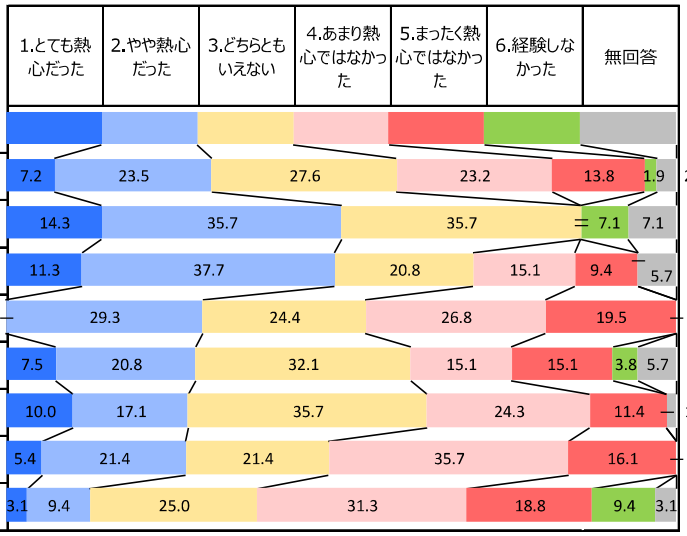
Q5-1【取組熱心度】1.専門科目の講義（全体／単一回答）

			1.とても熱心だった	2.やや熱心だった	3.どちらともいえない	4.あまり熱心ではなかった	5.まったく熱心ではなかった	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
			(%)								
全体		(n= 319)	17.2	45.1	22.3	10.3	1.9	—	3.1	62.3	12.2
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	28.6	35.7	7.1	—	—	7.1	50.0	7.1
	文学部	(n= 53)	20.8	35.8	26.4	7.5	1.9	—	7.5	56.6	9.4
	歴史学部	(n= 41)	14.6	46.3	31.7	4.9	2.4	—	—	60.9	7.3
	教育学部	(n= 53)	22.6	39.6	17.0	13.2	1.9	—	5.7	62.2	15.1
	社会学部	(n= 70)	11.4	47.1	22.9	15.7	1.4	—	1.4	58.5	17.1
	社会福祉学部	(n= 56)	19.6	58.9	12.5	8.9	—	—	—	78.5	8.9
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	46.9	21.9	12.5	3.1	—	3.1	59.4	15.6

Q5-1【取組熱心度】2.教養科目の講義（全体／単一回答）

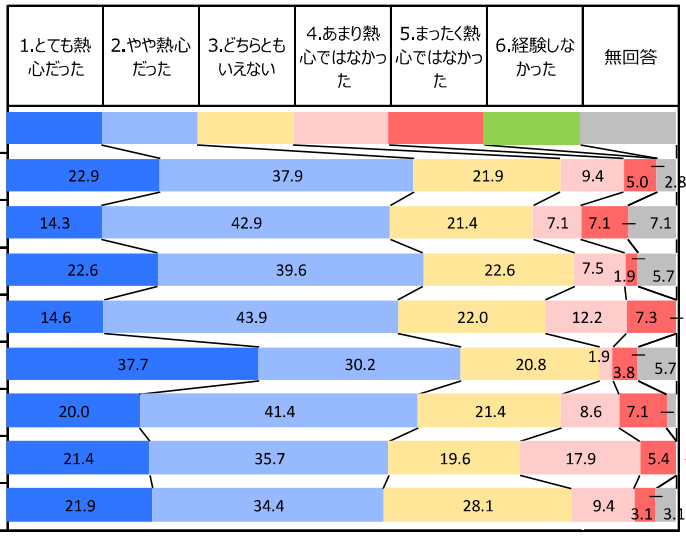
			1.とても熱心だった	2.やや熱心だった	3.どちらともいえない	4.あまり熱心ではなかった	5.まったく熱心ではなかった	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
			(%)								
全体		(n= 319)	10.3	38.9	33.9	11.0	2.5	—	3.4	49.2	13.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	35.7	35.7	7.1	—	—	7.1	50.0	7.1
	文学部	(n= 53)	13.2	41.5	32.1	1.9	1.9	—	9.4	54.7	3.8
	歴史学部	(n= 41)	9.8	31.7	46.3	9.8	2.4	—	—	41.5	12.2
	教育学部	(n= 53)	11.3	45.3	24.5	11.3	1.9	—	5.7	56.6	13.2
	社会学部	(n= 70)	7.1	38.6	34.3	14.3	4.3	—	1.4	45.7	18.6
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	44.6	32.1	12.5	—	—	—	55.3	12.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	25.0	37.5	21.9	3.1	—	3.1	34.4	25.0

Q5-1【取組熱心度】3.外国語の学修（全体／単一回答）



			1.とても熱心だった	2.やや熱心だった	3.どちらともいえない	4.あまり熱心ではなかった	5.まったく熱心ではなかった	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	7.2	23.5	27.6	23.2	13.8	1.9	2.8	30.7	37.0
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	35.7	35.7	—	7.1	7.1	—	50.0	—
	文学部	(n= 53)	11.3	37.7	20.8	15.1	9.4	—	5.7	49.0	24.5
	歴史学部	(n= 41)	—	29.3	24.4	26.8	19.5	—	—	29.3	46.3
	教育学部	(n= 53)	7.5	20.8	32.1	15.1	15.1	3.8	5.7	28.3	30.2
	社会学部	(n= 70)	10.0	17.1	35.7	24.3	11.4	—	1.4	27.1	35.7
	社会福祉学部	(n= 56)	5.4	21.4	21.4	35.7	16.1	—	—	26.8	51.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	3.1	9.4	25.0	31.3	18.8	9.4	3.1	12.5	50.1

Q5-1【取組熱心度】4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ（全体／単一回答）



			1.とても熱心だった	2.やや熱心だった	3.どちらともいえない	4.あまり熱心ではなかった	5.まったく熱心ではなかった	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	22.9	37.9	21.9	9.4	5.0	—	2.8	60.8	14.4
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	42.9	21.4	7.1	7.1	—	7.1	57.2	14.2
	文学部	(n= 53)	22.6	39.6	22.6	7.5	1.9	—	5.7	62.2	9.4
	歴史学部	(n= 41)	14.6	43.9	22.0	12.2	7.3	—	—	58.5	19.5
	教育学部	(n= 53)	37.7	30.2	20.8	1.9	3.8	—	5.7	67.9	5.7
	社会学部	(n= 70)	20.0	41.4	21.4	8.6	7.1	—	1.4	61.4	15.7
	社会福祉学部	(n= 56)	21.4	35.7	19.6	17.9	5.4	—	—	57.1	23.3
	保健医療技術学部	(n= 32)	21.9	34.4	28.1	9.4	3.1	—	3.1	56.3	12.5

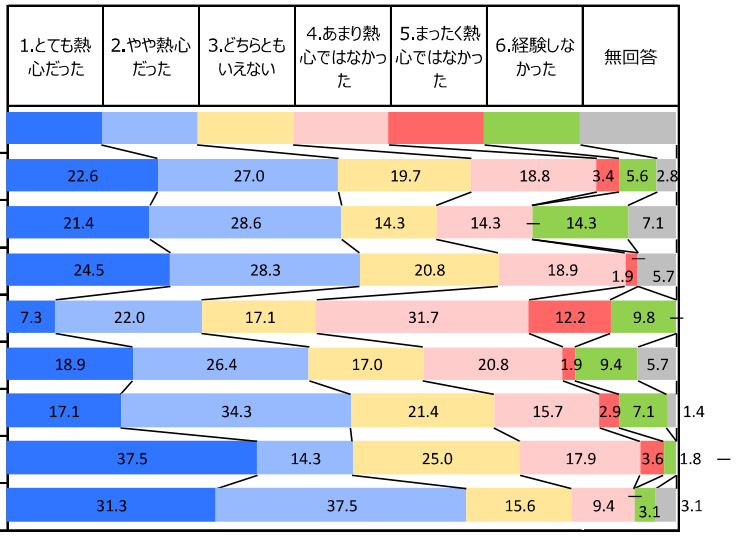
Q5-1【取組熱心度】5.部・サークル活動（全体／単一回答）

			1.とても熱心だった	2.やや熱心だった	3.どちらともいえない	4.あまり熱心ではなかった	5.まったく熱心ではなかった	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)									
全体		(n= 319)	22.6	20.4	13.2	11.0	4.7	25.4	2.8	43.0	15.7
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	21.4	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	35.7	21.4
	文学部	(n= 53)	28.3	18.9	7.5	13.2	1.9	24.5	5.7	47.2	15.1
	歴史学部	(n= 41)	34.1	19.5	12.2	7.3	9.8	17.1	—	53.6	17.1
	教育学部	(n= 53)	22.6	17.0	15.1	5.7	5.7	28.3	5.7	39.6	11.4
	社会学部	(n= 70)	18.6	22.9	14.3	15.7	1.4	25.7	1.4	41.5	17.1
	社会福祉学部	(n= 56)	25.0	23.2	16.1	14.3	—	21.4	—	48.2	14.3
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	18.8	12.5	6.3	12.5	40.6	3.1	25.1	18.8

Q5-1【取組熱心度】6.アルバイト（全体／単一回答）

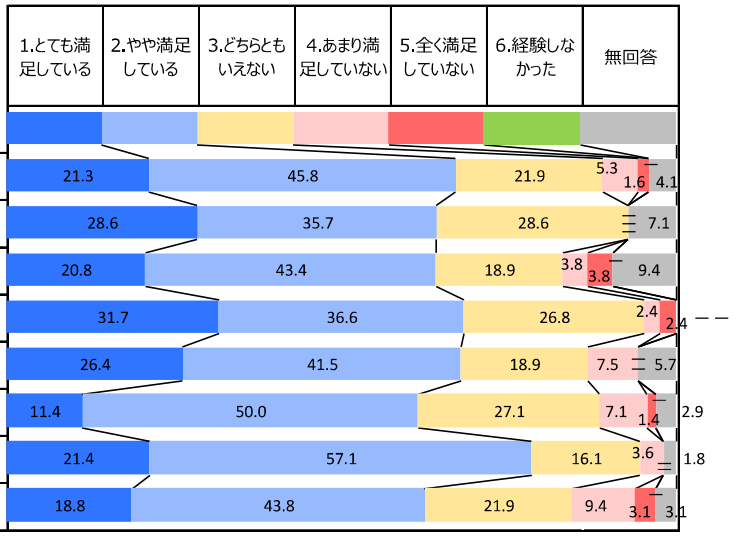
			1.とても熱心だった	2.やや熱心だった	3.どちらともいえない	4.あまり熱心ではなかった	5.まったく熱心ではなかった	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)									
全体		(n= 319)	28.2	37.3	14.7	10.0	4.1	2.8	2.8	65.5	14.1
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	28.6	28.6	7.1	7.1	—	7.1	50.0	14.2
	文学部	(n= 53)	28.3	41.5	11.3	11.3	1.9	—	5.7	69.8	13.2
	歴史学部	(n= 41)	26.8	29.3	14.6	14.6	7.3	7.3	—	56.1	21.9
	教育学部	(n= 53)	24.5	37.7	11.3	9.4	7.5	3.8	5.7	62.2	16.9
	社会学部	(n= 70)	32.9	38.6	14.3	10.0	2.9	—	1.4	71.5	12.9
	社会福祉学部	(n= 56)	33.9	33.9	12.5	10.7	3.6	5.4	—	67.8	14.3
	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	46.9	25.0	3.1	—	3.1	3.1	65.7	3.1

Q5-1【取組熱心度】7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)（全体／単一回答）



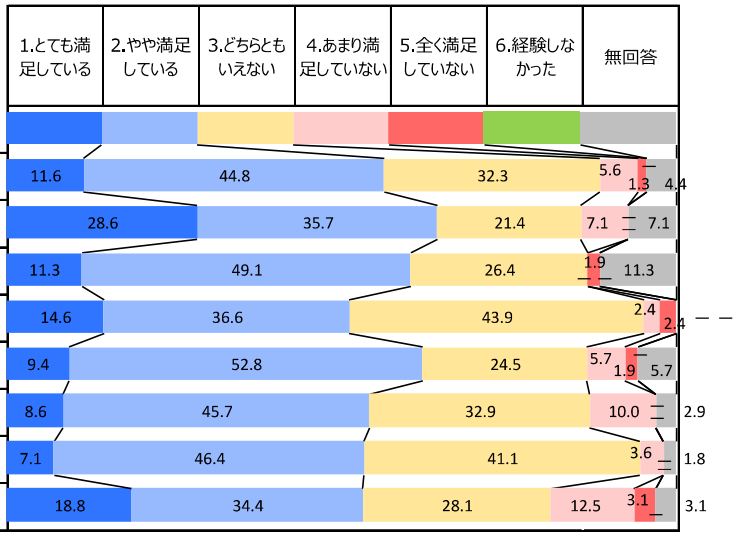
			1.とても熱心だった	2.やや熱心だった	3.どちらともいえない	4.あまり熱心ではなかった	5.まったく熱心ではなかった	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	22.6	27.0	19.7	18.8	3.4	5.6	2.8	49.6	22.2
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	28.6	14.3	14.3	—	14.3	7.1	50.0	14.3
	文学部	(n= 53)	24.5	28.3	20.8	18.9	1.9	—	5.7	52.8	20.8
	歴史学部	(n= 41)	7.3	22.0	17.1	31.7	12.2	9.8	—	29.3	43.9
	教育学部	(n= 53)	18.9	26.4	17.0	20.8	1.9	9.4	5.7	45.3	22.7
	社会学部	(n= 70)	17.1	34.3	21.4	15.7	2.9	7.1	1.4	51.4	18.6
	社会福祉学部	(n= 56)	37.5	14.3	25.0	17.9	3.6	1.8	—	51.8	21.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	31.3	37.5	15.6	9.4	—	3.1	3.1	68.8	9.4

Q5-2【満足度】1.専門科目の講義（全体／単一回答）



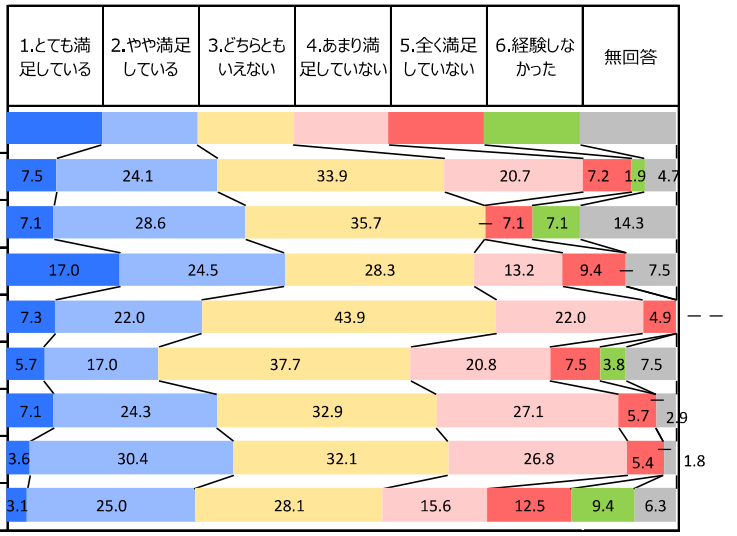
			1.とても満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.あまり満足していない	5.全く満足していない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	21.3	45.8	21.9	5.3	1.6	—	4.1	67.1	6.9
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	35.7	28.6	—	—	—	7.1	64.3	—
	文学部	(n= 53)	20.8	43.4	18.9	3.8	3.8	—	9.4	64.2	7.6
	歴史学部	(n= 41)	31.7	36.6	26.8	2.4	2.4	—	—	68.3	4.8
	教育学部	(n= 53)	26.4	41.5	18.9	7.5	—	5.7	—	67.9	7.5
	社会学部	(n= 70)	11.4	50.0	27.1	7.1	1.4	—	2.9	61.4	8.5
	社会福祉学部	(n= 56)	21.4	57.1	16.1	3.6	—	1.8	—	78.5	3.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	43.8	21.9	9.4	3.1	—	3.1	62.6	12.5

Q5-2【満足度】2.教養科目の講義（全体／単一回答）



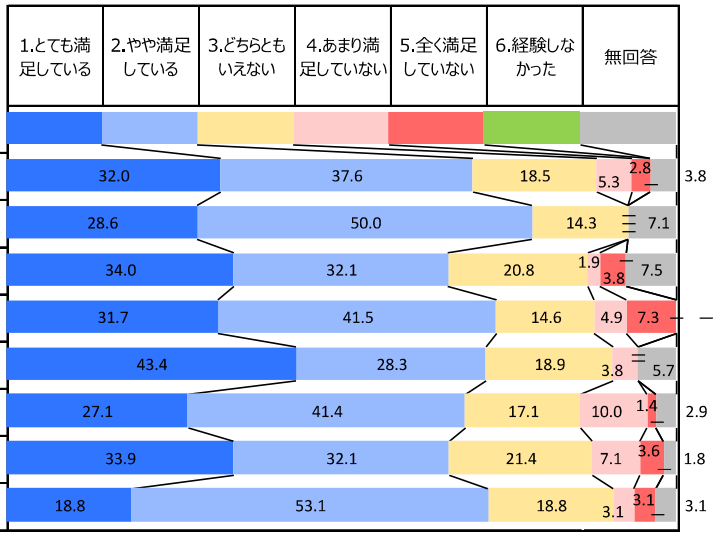
			1.とても満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.あまり満足していない	5.全く満足していない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	11.6	44.8	32.3	5.6	1.3	—	4.4	56.4	6.9
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	35.7	21.4	7.1	—	—	7.1	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	11.3	49.1	26.4	1.9	—	—	11.3	60.4	1.9
	歴史学部	(n= 41)	14.6	36.6	43.9	2.4	2.4	—	—	51.2	4.8
	教育学部	(n= 53)	9.4	52.8	24.5	5.7	1.9	—	5.7	62.2	7.6
	社会学部	(n= 70)	8.6	45.7	32.9	10.0	—	—	2.9	54.3	10.0
	社会福祉学部	(n= 56)	7.1	46.4	41.1	3.6	—	—	1.8	53.5	3.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	34.4	28.1	12.5	3.1	—	3.1	53.2	15.6

Q5-2【満足度】3.外国語の学修（全体／単一回答）



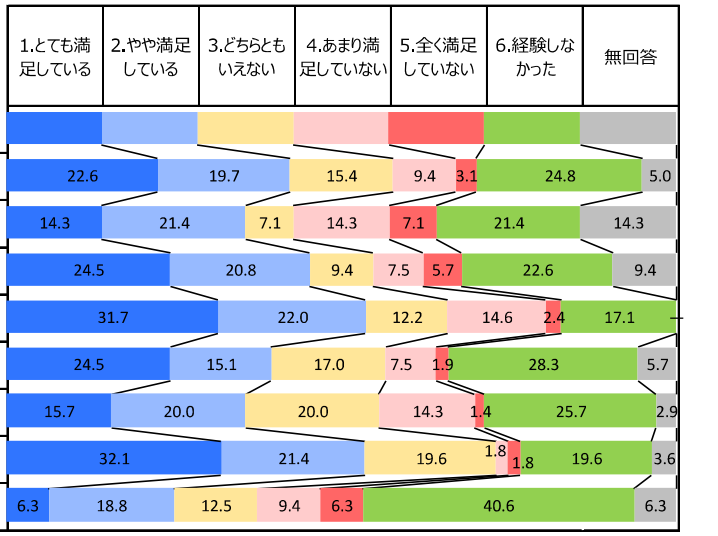
			1.とても満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.あまり満足していない	5.全く満足していない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	7.5	24.1	33.9	20.7	7.2	1.9	4.7	31.6	27.9
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	28.6	35.7	—	7.1	7.1	14.3	35.7	7.1
	文学部	(n= 53)	17.0	24.5	28.3	13.2	9.4	—	7.5	41.5	22.6
	歴史学部	(n= 41)	7.3	22.0	43.9	22.0	4.9	—	—	29.3	26.9
	教育学部	(n= 53)	5.7	17.0	37.7	20.8	7.5	3.8	7.5	22.7	28.3
	社会学部	(n= 70)	7.1	24.3	32.9	27.1	5.7	—	2.9	31.4	32.8
	社会福祉学部	(n= 56)	3.6	30.4	32.1	26.8	5.4	—	1.8	34.0	32.2
	保健医療技術学部	(n= 32)	3.1	25.0	28.1	15.6	12.5	9.4	6.3	28.1	28.1

Q5-2【満足度】4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ（全体／単一回答）



			1.とても満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.あまり満足していない	5.全く満足していない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	32.0	37.6	18.5	5.3	2.8	—	3.8	69.6	8.1
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	50.0	14.3	—	—	7.1		78.6	—
	文学部	(n= 53)	34.0	32.1	20.8	1.9	3.8	—	7.5	66.1	5.7
	歴史学部	(n= 41)	31.7	41.5	14.6	4.9	7.3	—	—	73.2	12.2
	教育学部	(n= 53)	43.4	28.3	18.9	3.8	—	5.7		71.7	3.8
	社会学部	(n= 70)	27.1	41.4	17.1	10.0	1.4	—	2.9	68.5	11.4
	社会福祉学部	(n= 56)	33.9	32.1	21.4	7.1	3.6	—	1.8	66.0	10.7
	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	53.1	18.8	3.1	3.1	—	3.1	71.9	6.2

Q5-2【満足度】5.部・サークル活動（全体／単一回答）



			1.とても満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.あまり満足していない	5.全く満足していない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	22.6	19.7	15.4	9.4	3.1	24.8	5.0	42.3	12.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	21.4	7.1	14.3	7.1	21.4	14.3	35.7	21.4
	文学部	(n= 53)	24.5	20.8	9.4	7.5	5.7	22.6	9.4	45.3	13.2
	歴史学部	(n= 41)	31.7	22.0	12.2	14.6	2.4	17.1	—	53.7	17.0
	教育学部	(n= 53)	24.5	15.1	17.0	7.5	1.9	28.3	5.7	39.6	9.4
	社会学部	(n= 70)	15.7	20.0	20.0	14.3	1.4	25.7	2.9	35.7	15.7
	社会福祉学部	(n= 56)	32.1	21.4	19.6	1.8	1.8	19.6	3.6	53.5	3.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	18.8	12.5	9.4	6.3	40.6	6.3	25.1	15.7

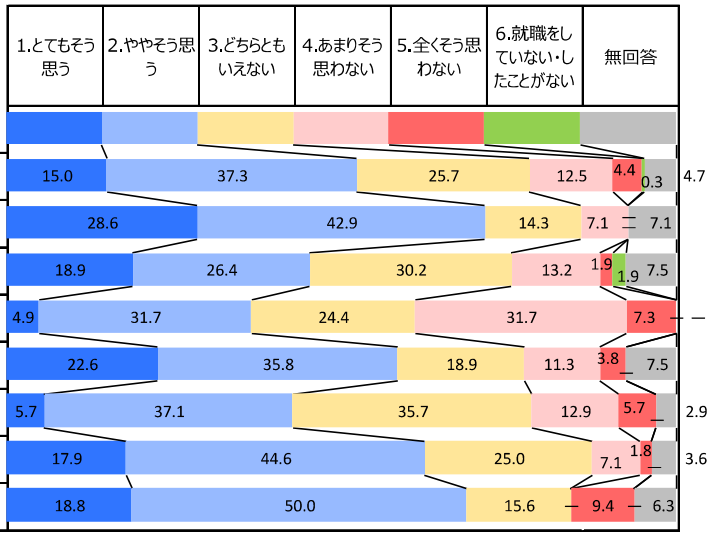
Q5-2【満足度】6.アルバイト（全体／単一回答）

			1.とても満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.あまり満足していない	5.全く満足していない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	34.8	28.8	17.9	8.5	3.1	2.8	4.1	63.6	11.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	35.7	14.3	14.3	7.1	—	7.1	57.1	21.4
	文学部	(n= 53)	35.8	30.2	20.8	3.8	1.9	—	7.5	66.0	5.7
	歴史学部	(n= 41)	34.1	22.0	17.1	9.8	9.8	7.3	—	56.1	19.6
	教育学部	(n= 53)	37.7	20.8	18.9	13.2	—	3.8	5.7	58.5	13.2
	社会学部	(n= 70)	35.7	31.4	17.1	8.6	2.9	—	4.3	67.1	11.5
	社会福祉学部	(n= 56)	37.5	33.9	14.3	5.4	1.8	5.4	1.8	71.4	7.2
	保健医療技術学部	(n= 32)	28.1	31.3	21.9	9.4	3.1	3.1	3.1	59.4	12.5

Q5-2【満足度】7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)（全体／単一回答）

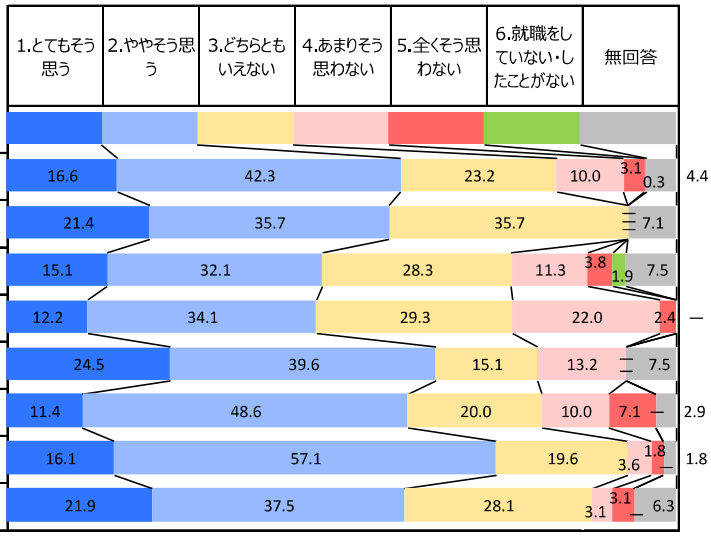
			1.とても満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.あまり満足していない	5.全く満足していない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	17.6	28.8	26.6	11.6	5.0	5.6	4.7	46.4	16.6
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	28.6	21.4	14.3	—	14.3	7.1	42.9	14.3
	文学部	(n= 53)	20.8	26.4	30.2	11.3	3.8	—	7.5	47.2	15.1
	歴史学部	(n= 41)	9.8	19.5	24.4	17.1	17.1	9.8	2.4	29.3	34.2
	教育学部	(n= 53)	17.0	24.5	24.5	15.1	1.9	9.4	7.5	41.5	17.0
	社会学部	(n= 70)	8.6	30.0	32.9	12.9	4.3	7.1	4.3	38.6	17.2
	社会福祉学部	(n= 56)	26.8	30.4	28.6	5.4	5.4	1.8	1.8	57.2	10.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	28.1	46.9	12.5	6.3	—	3.1	3.1	75.0	6.3

Q6【本学での経験】1.満足のいく就職をするのに役に立った（全体／単一回答）



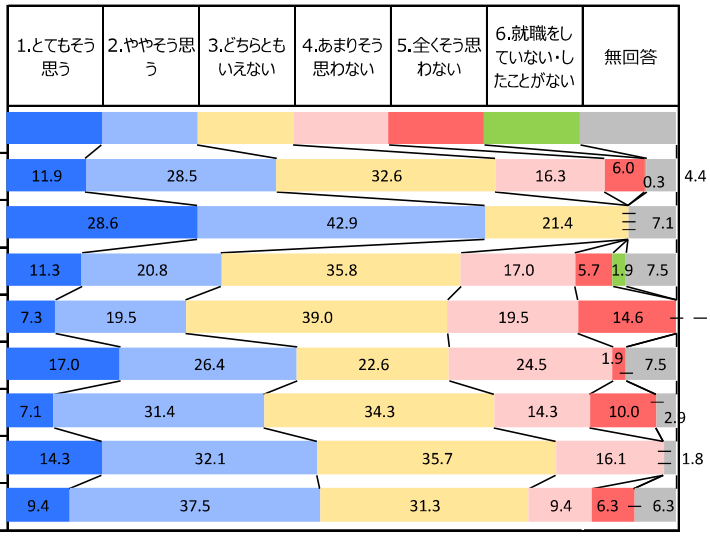
		(n=)	1.とてもそう思う	2.ややそう思う	3.どちらともいえない	4.あまりそう思わない	5.全くそう思わない	6.就職をしていない・したことがない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		319	15.0	37.3	25.7	12.5	4.4	0.3	4.7	52.3	16.9
学部別	仏教学部	14	28.6	42.9	14.3	7.1	—	—	7.1	71.5	7.1
	文学部	53	18.9	26.4	30.2	13.2	1.9	1.9	7.5	45.3	15.1
	歴史学部	41	4.9	31.7	24.4	31.7	7.3	—	—	36.6	39.0
	教育学部	53	22.6	35.8	18.9	11.3	3.8	—	7.5	58.4	15.1
	社会学部	70	5.7	37.1	35.7	12.9	5.7	—	2.9	42.8	18.6
	社会福祉学部	56	17.9	44.6	25.0	7.1	1.8	—	3.6	62.5	8.9
	保健医療技術学部	32	18.8	50.0	15.6	—	9.4	—	6.3	68.8	9.4

Q6【本学での経験】2.仕事で職務を遂行するのに役に立った・役に立っている（全体／単一回答）



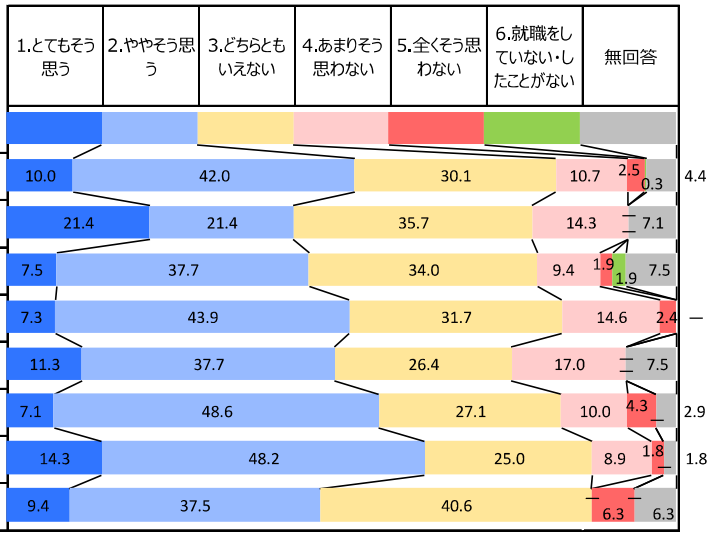
		(n=)	1.とてもそう思う	2.ややそう思う	3.どちらともいえない	4.あまりそう思わない	5.全くそう思わない	6.就職をしていない・したことがない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		319	16.6	42.3	23.2	10.0	3.1	0.3	4.4	58.9	13.1
学部別	仏教学部	14	21.4	35.7	35.7	—	—	—	7.1	57.1	—
	文学部	53	15.1	32.1	28.3	11.3	3.8	1.9	7.5	47.2	15.1
	歴史学部	41	12.2	34.1	29.3	22.0	2.4	—	—	46.3	24.4
	教育学部	53	24.5	39.6	15.1	13.2	—	—	7.5	64.1	13.2
	社会学部	70	11.4	48.6	20.0	10.0	7.1	—	2.9	60.0	17.1
	社会福祉学部	56	16.1	57.1	19.6	3.6	1.8	—	1.8	73.2	5.4
	保健医療技術学部	32	21.9	37.5	28.1	3.1	3.1	—	6.3	59.4	6.2

Q6【本学での経験】3.キャリアプランやライフプランを展望するのに役に立った・役に立っている（全体／単一回答）



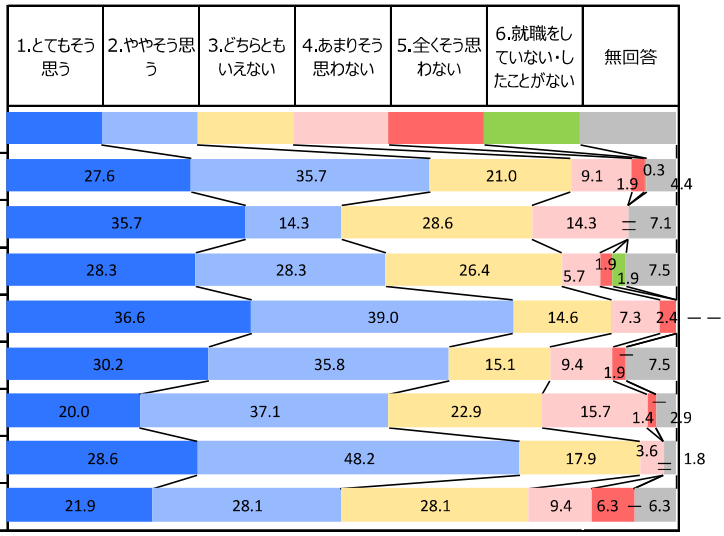
		1.とてもそう思う	2.ややそう思う	3.どちらともいえない	4.あまりそう思わない	5.全くそう思わない	6.就職をしていない・したことがない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	11.9	28.5	32.6	16.3	6.0	0.3	4.4	40.4	22.3
学部別 仏教学部	(n= 14)	28.6	42.9		21.4			7.1	71.5	—
文学部	(n= 53)	11.3	20.8	35.8	17.0	5.7	1.9	7.5	32.1	22.7
歴史学部	(n= 41)	7.3	19.5	39.0	19.5	14.6			26.8	34.1
教育学部	(n= 53)	17.0	26.4	22.6	24.5	1.9		7.5	43.4	26.4
社会学部	(n= 70)	7.1	31.4	34.3	14.3	10.0		2.9	38.5	24.3
社会福祉学部	(n= 56)	14.3	32.1	35.7	16.1			1.8	46.4	16.1
保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	37.5	31.3	9.4	6.3		6.3	46.9	15.7

Q6【本学での経験】4.社会の問題について考えたり、自分がそのような問題に直面した際に適切に対処したり、するのに役に立った・役に立っている（全体／単一回答）



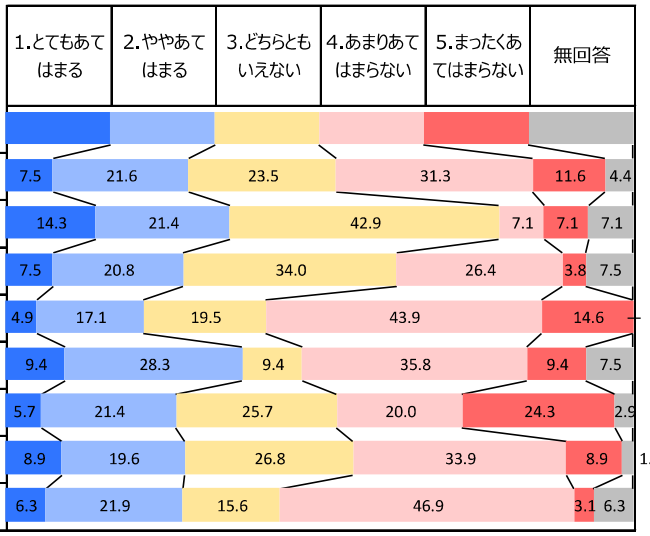
		1.とてもそう思う	2.ややそう思う	3.どちらともいえない	4.あまりそう思わない	5.全くそう思わない	6.就職をしていない・したことがない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	10.0	42.0	30.1	10.7	2.5	0.3	4.4	52.0	13.2
学部別 仏教学部	(n= 14)	21.4	21.4	35.7	14.3			7.1	42.8	14.3
文学部	(n= 53)	7.5	37.7	34.0	9.4	1.9	1.9	7.5	45.2	11.3
歴史学部	(n= 41)	7.3	43.9	31.7	14.6	2.4			51.2	17.0
教育学部	(n= 53)	11.3	37.7	26.4	17.0			7.5	49.0	17.0
社会学部	(n= 70)	7.1	48.6	27.1	10.0	4.3		2.9	55.7	14.3
社会福祉学部	(n= 56)	14.3	48.2	25.0	8.9	1.8		1.8	62.5	10.7
保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	37.5	40.6		6.3		6.3	46.9	6.3

Q6【本学での経験】5.私生活（家族や友人との交流、趣味、ボランティア、地域活動への参加等）の充実に役に立った・役に立っている（全体／単一回答）



			1.とてもそう思う	2.ややそう思う	3.どちらともいえない	4.あまりそう思わない	5.全くそう思わない	6.就職をしていない・したことがない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	27.6	35.7	21.0	9.1	1.9	0.3	4.4	63.3	11.0
学部別	仏教学部	(n= 14)	35.7	14.3	28.6	14.3	—	—	7.1	50.0	14.3
	文学部	(n= 53)	28.3	28.3	26.4	5.7	1.9	1.9	7.5	56.6	7.6
	歴史学部	(n= 41)	36.6	39.0	14.6	7.3	2.4	—	—	75.6	9.7
	教育学部	(n= 53)	30.2	35.8	15.1	9.4	—	1.9	7.5	66.0	11.3
	社会学部	(n= 70)	20.0	37.1	22.9	15.7	1.4	—	2.9	57.1	17.1
	社会福祉学部	(n= 56)	28.6	48.2	17.9	3.6	—	—	1.8	76.8	3.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	21.9	28.1	28.1	9.4	6.3	—	6.3	50.0	15.7

Q7-1【学修経験】1.授業中に自分から発言した（全体／単一回答）



			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	7.5	21.6	23.5	31.3	11.6	4.4	29.1	42.9
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	21.4	42.9	7.1	7.1	7.1	35.7	14.2
	文学部	(n= 53)	7.5	20.8	34.0	26.4	3.8	7.5	28.3	30.2
	歴史学部	(n= 41)	4.9	17.1	19.5	43.9	14.6	—	22.0	58.5
	教育学部	(n= 53)	9.4	28.3	9.4	35.8	9.4	7.5	37.7	45.2
	社会学部	(n= 70)	5.7	21.4	25.7	20.0	24.3	2.9	27.1	44.3
	社会福祉学部	(n= 56)	8.9	19.6	26.8	33.9	8.9	1.8	28.5	42.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	21.9	15.6	46.9	3.1	6.3	28.2	50.0

Q7-1【学修経験】2.授業の内容について他の学生と議論した（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	8.2	37.0	26.3	18.8	5.3	4.4	45.2	24.1
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	35.7	21.4	7.1	7.1	7.1	57.1	14.2
	文学部	(n= 53)	7.5	37.7	26.4	20.8	—	7.5	45.2	20.8
	歴史学部	(n= 41)	4.9	36.6	29.3	17.1	12.2	—	41.5	29.3
	教育学部	(n= 53)	11.3	41.5	15.1	18.9	5.7	7.5	52.8	24.6
	社会学部	(n= 70)	4.3	30.0	32.9	21.4	8.6	2.9	34.3	30.0
	社会福祉学部	(n= 56)	8.9	42.9	25.0	19.6	1.8	1.8	51.8	21.4
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	34.4	31.3	15.6	3.1	6.3	43.8	18.7

Q7-1【学修経験】3.自主的な勉強会や研究会に参加した（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	9.7	23.2	19.4	25.1	18.2	4.4	32.9	43.3
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	21.4	35.7	7.1	21.4	7.1	28.5	28.5
	文学部	(n= 53)	13.2	17.0	24.5	20.8	17.0	7.5	30.2	37.8
	歴史学部	(n= 41)	7.3	17.1	17.1	29.3	29.3	—	24.4	58.6
	教育学部	(n= 53)	11.3	26.4	18.9	17.0	18.9	7.5	37.7	35.9
	社会学部	(n= 70)	4.3	24.3	12.9	34.3	21.4	2.9	28.6	55.7
	社会福祉学部	(n= 56)	16.1	23.2	21.4	26.8	10.7	1.8	39.3	37.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	6.3	34.4	18.8	25.0	9.4	6.3	40.7	34.4

Q7-1【学修経験】4.大学の教職員に親近感を感じた（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	15.7	35.1	24.5	11.6	8.8	4.4	50.8	20.4
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	35.7	21.4	7.1	—	7.1	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	18.9	34.0	15.1	15.1	9.4	7.5	52.9	24.5
	歴史学部	(n= 41)	19.5	24.4	22.0	22.0	12.2	—	43.9	34.2
	教育学部	(n= 53)	17.0	43.4	24.5	3.8	3.8	7.5	60.4	7.6
	社会学部	(n= 70)	11.4	34.3	27.1	12.9	11.4	2.9	45.7	24.3
	社会福祉学部	(n= 56)	12.5	39.3	26.8	8.9	10.7	1.8	51.8	19.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	31.3	34.4	9.4	6.3	6.3	43.8	15.7

Q7-1【学修経験】5.大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	11.3	27.6	17.9	18.5	20.4	4.4	38.9	38.9
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	21.4	42.9	7.1	14.3	7.1	28.5	21.4
	文学部	(n= 53)	9.4	24.5	15.1	22.6	20.8	7.5	33.9	43.4
	歴史学部	(n= 41)	4.9	14.6	24.4	26.8	29.3	—	19.5	56.1
	教育学部	(n= 53)	17.0	32.1	15.1	13.2	15.1	7.5	49.1	28.3
	社会学部	(n= 70)	4.3	35.7	14.3	15.7	27.1	2.9	40.0	42.8
	社会福祉学部	(n= 56)	21.4	23.2	14.3	25.0	14.3	1.8	44.6	39.3
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	34.4	21.9	9.4	15.6	6.3	46.9	25.0

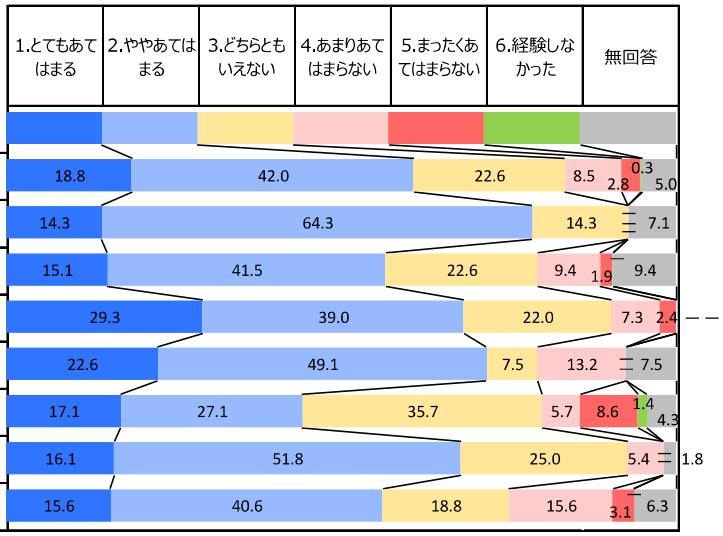
Q7-1【学修経験】6.在学中を通じて自分は成長できたと実感できる（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	18.8	48.0	21.6	5.6	1.6	4.4	66.8	7.2
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	64.3	21.4	—	7.1		71.4	—
	文学部	(n= 53)	20.8	39.6	28.3	3.8	—	7.5	60.4	3.8
	歴史学部	(n= 41)	19.5	41.5	24.4	9.8	4.9	—	61.0	14.7
	教育学部	(n= 53)	24.5	49.1	11.3	7.5	—	7.5	73.6	7.5
	社会学部	(n= 70)	12.9	54.3	21.4	5.7	2.9	2.9	67.2	8.6
	社会福祉学部	(n= 56)	26.8	48.2	19.6	3.6	—	1.8	75.0	3.6
	保健医療技術学部	(n= 32)	9.4	46.9	28.1	6.3	3.1	6.3	56.3	9.4

Q7-1【学修経験】7.授業についていけなかった（全体／単一回答）

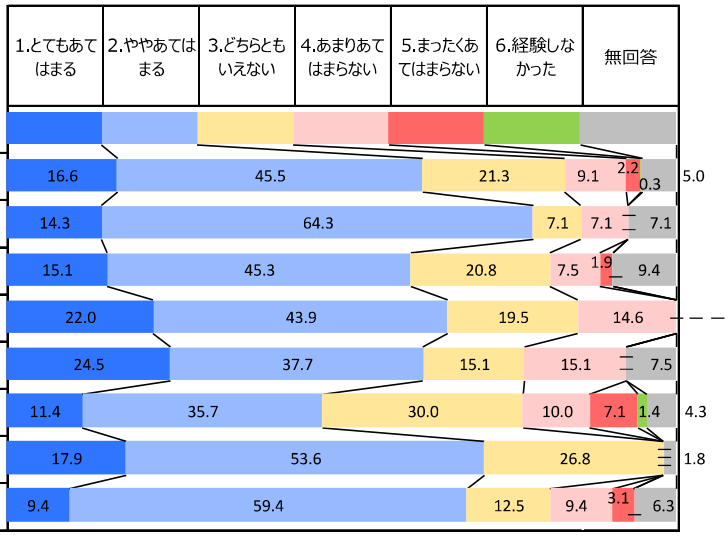
			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 319)	3.1	11.0	21.9	39.8	19.7	4.4	14.1	59.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	7.1	14.3	42.9	21.4	7.1	14.2	64.3
	文学部	(n= 53)	3.8	7.5	22.6	41.5	17.0	7.5	11.3	58.5
	歴史学部	(n= 41)	4.9	2.4	26.8	43.9	22.0	—	7.3	65.9
	教育学部	(n= 53)	1.9	18.9	15.1	34.0	22.6	7.5	20.8	56.6
	社会学部	(n= 70)	2.9	8.6	24.3	37.1	24.3	2.9	11.5	61.4
	社会福祉学部	(n= 56)	1.8	10.7	23.2	44.6	17.9	1.8	12.5	62.5
	保健医療技術学部	(n= 32)	3.1	21.9	21.9	37.5	9.4	6.3	25.0	46.9

Q7-2【ゼミの意義】1.専門教育の総仕上げ（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	60.8	11.3
仏教学部	(n= 14)	78.6	—
文学部	(n= 53)	56.6	11.3
歴史学部	(n= 41)	68.3	9.7
教育学部	(n= 53)	71.7	13.2
社会学部	(n= 70)	44.2	14.3
社会福祉学部	(n= 56)	67.9	5.4
保健医療技術学部	(n= 32)	56.2	18.7

Q7-2【ゼミの意義】2.教養的知識の必要性を知る経験（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	62.1	11.3
仏教学部	(n= 14)	78.6	7.1
文学部	(n= 53)	60.4	9.4
歴史学部	(n= 41)	65.9	14.6
教育学部	(n= 53)	62.2	15.1
社会学部	(n= 70)	47.1	17.1
社会福祉学部	(n= 56)	71.5	—
保健医療技術学部	(n= 32)	68.8	12.5

Q7-2【ゼミの意義】3.色々な人と議論する経験（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	20.7	44.5	18.8	8.5	1.9	0.3	5.3	65.2	10.4
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	35.7	21.4	21.4			7.1	50.0	21.4
	文学部	(n= 53)	17.0	50.9	11.3	11.3			9.4	67.9	11.3
	歴史学部	(n= 41)	14.6	43.9	22.0	17.1			2.4	58.5	17.1
	教育学部	(n= 53)	28.3	39.6	13.2	9.4	1.9		7.5	67.9	11.3
	社会学部	(n= 70)	25.7	45.7	14.3	2.9	5.7	1.4	4.3	71.4	8.6
	社会福祉学部	(n= 56)	17.9	44.6	28.6	7.1			1.8	62.5	7.1
	保健医療技術学部	(n= 32)	18.8	43.8	28.1		3.1		6.3	62.6	3.1

Q7-2【ゼミの意義】4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	18.8	45.1	23.2	5.6	1.9	0.3	5.0	63.9	7.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	50.0	21.4	7.1			7.1	64.3	7.1
	文学部	(n= 53)	15.1	47.2	18.9	7.5	1.9		9.4	62.3	9.4
	歴史学部	(n= 41)	24.4	41.5	24.4	9.8				65.9	9.8
	教育学部	(n= 53)	26.4	35.8	24.5	3.8	1.9		7.5	62.2	5.7
	社会学部	(n= 70)	18.6	48.6	18.6	4.3	4.3	1.4	4.3	67.2	8.6
	社会福祉学部	(n= 56)	14.3	44.6	33.9	5.4			1.8	58.9	5.4
	保健医療技術学部	(n= 32)	15.6	53.1	18.8	3.1	3.1		6.3	68.7	6.2

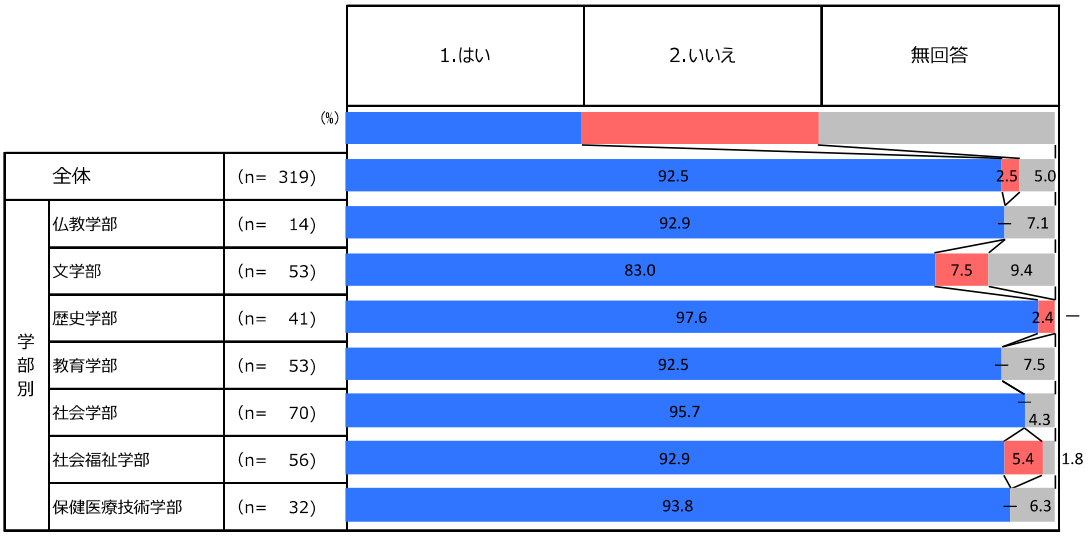
Q7-2【ゼミの意義】5.困難なことを最後までやり遂げる経験（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	19.7	45.5	21.3	6.6	1.6	0.3	5.0	65.2	8.2
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	64.3	14.3	—	—	—	7.1	78.6	—
	文学部	(n= 53)	18.9	43.4	18.9	9.4	—	—	9.4	62.3	9.4
	歴史学部	(n= 41)	29.3	29.3	34.1	4.9	2.4	—	—	58.6	7.3
	教育学部	(n= 53)	30.2	41.5	13.2	7.5	—	—	7.5	71.7	7.5
	社会学部	(n= 70)	18.6	47.1	18.6	5.7	4.3	1.4	4.3	65.7	10.0
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	50.0	28.6	8.9	—	—	1.8	60.7	8.9
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	56.3	18.8	3.1	3.1	—	6.3	68.8	6.2

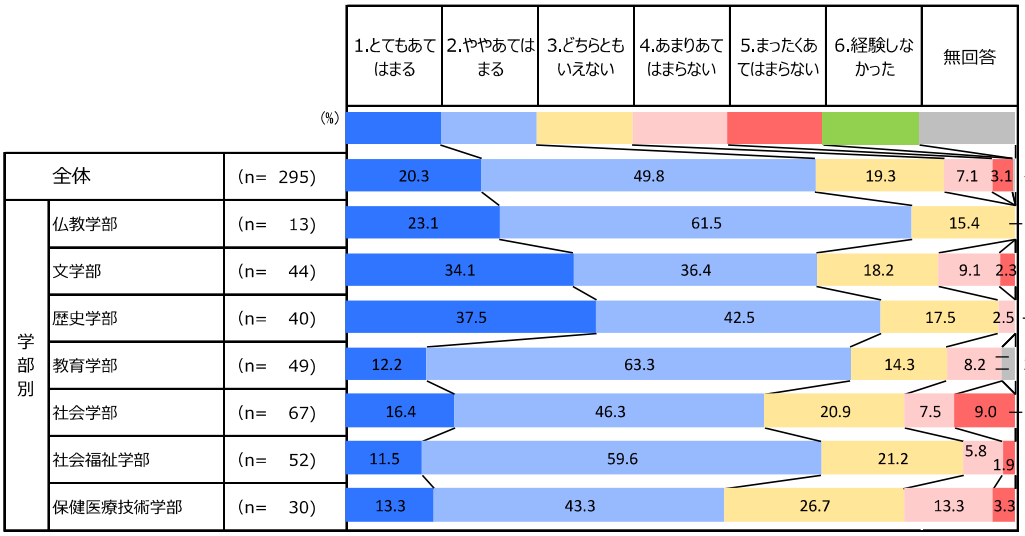
Q7-2【ゼミの意義】6.主体的な学習態度を養う経験（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 319)	19.1	42.9	24.8	5.0	2.8	0.3	5.0	62.0	7.8
学部別	仏教学部	(n= 14)	14.3	28.6	42.9	7.1	—	—	7.1	42.9	7.1
	文学部	(n= 53)	15.1	35.8	32.1	5.7	1.9	—	9.4	50.9	7.6
	歴史学部	(n= 41)	31.7	36.6	17.1	9.8	4.9	—	—	68.3	14.7
	教育学部	(n= 53)	28.3	43.4	13.2	7.5	—	—	7.5	71.7	7.5
	社会学部	(n= 70)	18.6	45.7	22.9	1.4	5.7	1.4	4.3	64.3	7.1
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	53.6	32.1	—	1.8	—	1.8	64.3	1.8
	保健医療技術学部	(n= 32)	12.5	43.8	25.0	6.3	6.3	—	6.3	56.3	12.6

Q7-3.あなたは、卒業論文・卒業研究・卒業レポートのいずれかを執筆しましたか？（全体／単一回答）



Q7-4【卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義】1.専門教育の総仕上げ（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 295)	70.1	10.2
仏教学部	(n= 13)	84.6	—
文学部	(n= 44)	70.5	11.4
歴史学部	(n= 40)	80.0	2.5
教育学部	(n= 49)	75.5	8.2
社会学部	(n= 67)	62.7	16.5
社会福祉学部	(n= 52)	71.1	7.7
保健医療技術学部	(n= 30)	56.6	16.6

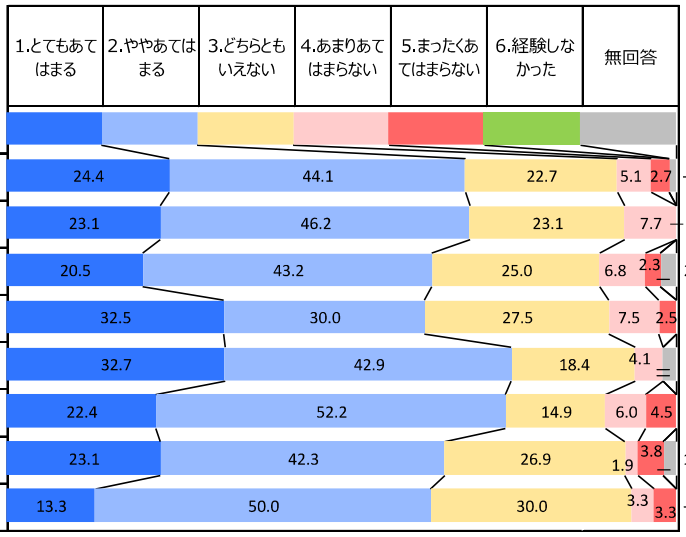
Q7-4【卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義】2.教養的知識の必要性を知る経験（全体／単一回答）

			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)									
全体		(n= 295)	19.7	47.8	22.0	7.1	3.1	—	0.3	67.5	10.2
学部別	仏教学部	(n= 13)	15.4	46.2	30.8	7.7	—	—	—	61.6	7.7
	文学部	(n= 44)	18.2	56.8	15.9	9.1	—	—	—	75.0	9.1
	歴史学部	(n= 40)	30.0	45.0	15.0	7.5	2.5	—	—	75.0	10.0
	教育学部	(n= 49)	18.4	49.0	18.4	10.2	2.0	—	2.0	67.4	12.2
	社会学部	(n= 67)	17.9	43.3	23.9	6.0	9.0	—	—	61.2	15.0
	社会福祉学部	(n= 52)	19.2	50.0	26.9	3.8	—	—	—	69.2	3.8
	保健医療技術学部	(n= 30)	16.7	43.3	30.0	6.7	3.3	—	—	60.0	10.0

Q7-4【卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義】3.色々な人と議論する経験（全体／単一回答）

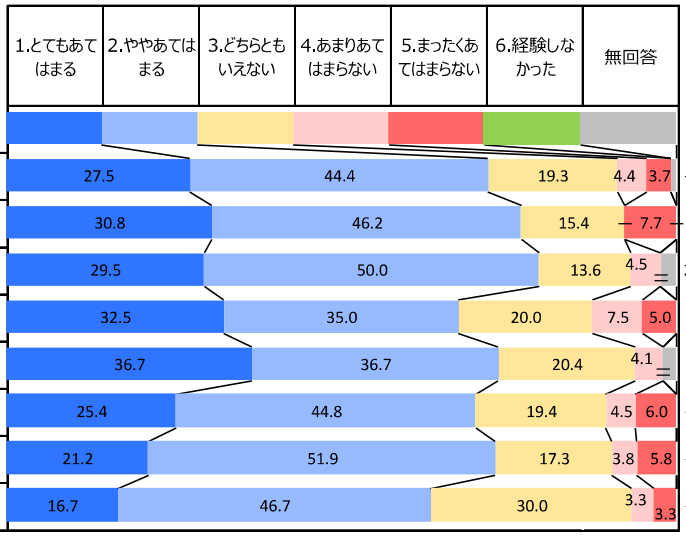
			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)									
全体		(n= 295)	18.0	39.7	24.1	13.2	4.1	—	1.0	57.7	17.3
学部別	仏教学部	(n= 13)	23.1	15.4	46.2	15.4	—	—	—	38.5	15.4
	文学部	(n= 44)	13.6	34.1	31.8	15.9	2.3	—	2.3	47.7	18.2
	歴史学部	(n= 40)	15.0	30.0	22.5	25.0	7.5	—	—	45.0	32.5
	教育学部	(n= 49)	20.4	55.1	14.3	8.2	—	—	2.0	75.5	8.2
	社会学部	(n= 67)	20.9	35.8	23.9	9.0	10.4	—	—	56.7	19.4
	社会福祉学部	(n= 52)	17.3	42.3	26.9	11.5	—	—	1.9	59.6	11.5
	保健医療技術学部	(n= 30)	16.7	50.0	16.7	13.3	3.3	—	—	66.7	16.6

Q7-4【卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義】4.自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験（全体／単一回答）



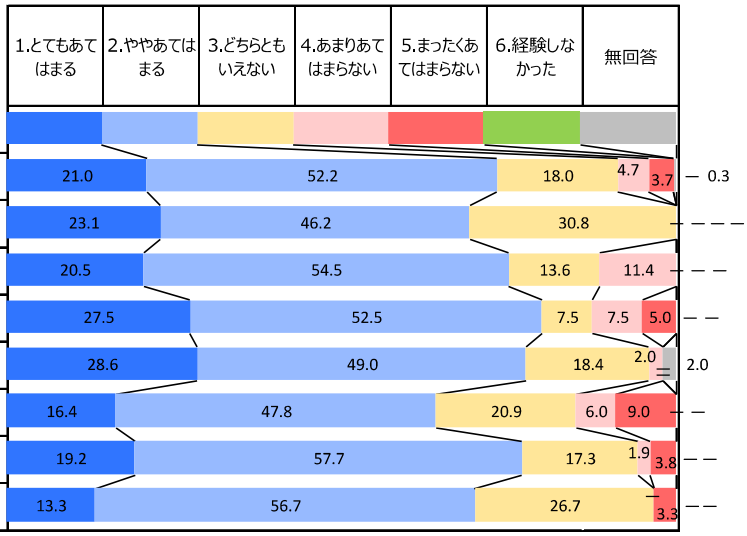
			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 295)	24.4	44.1	22.7	5.1	2.7	—	1.0	68.5	7.8
学部別	仏教学部	(n= 13)	23.1	46.2	23.1	7.7	—	—	—	69.3	7.7
	文学部	(n= 44)	20.5	43.2	25.0	6.8	2.3	—	2.3	63.7	9.1
	歴史学部	(n= 40)	32.5	30.0	27.5	7.5	2.5	—	—	62.5	10.0
	教育学部	(n= 49)	32.7	42.9	18.4	4.1	—	—	2.0	75.6	4.1
	社会学部	(n= 67)	22.4	52.2	14.9	6.0	4.5	—	—	74.6	10.5
	社会福祉学部	(n= 52)	23.1	42.3	26.9	1.9	3.8	—	1.9	65.4	5.7
	保健医療技術学部	(n= 30)	13.3	50.0	30.0	3.3	3.3	—	—	63.3	6.6

Q7-4【卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義】5.困難なことを最後までやり遂げる経験（全体／単一回答）



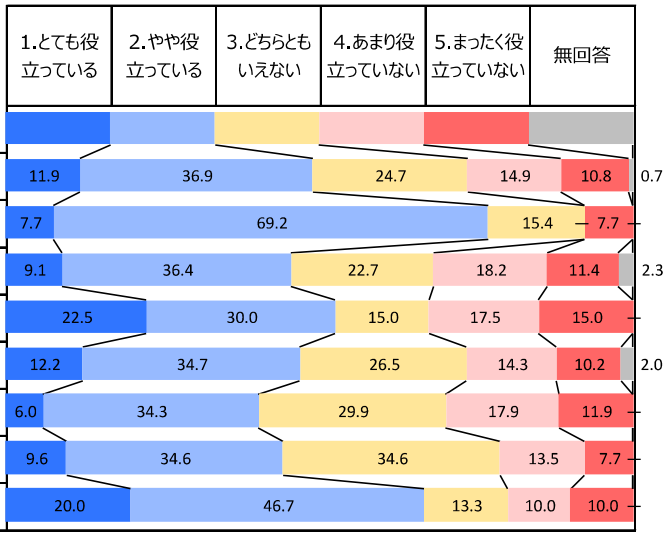
			1.とてもあてはまる	2.ややあてはまる	3.どちらともいえない	4.あまりあてはまらない	5.まったくあてはまらない	6.経験しなかった	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 295)	27.5	44.4	19.3	4.4	3.7	—	0.7	71.9	8.1
学部別	仏教学部	(n= 13)	30.8	46.2	15.4	—	7.7	—	—	77.0	7.7
	文学部	(n= 44)	29.5	50.0	13.6	4.5	—	—	2.3	79.5	4.5
	歴史学部	(n= 40)	32.5	35.0	20.0	7.5	5.0	—	—	67.5	12.5
	教育学部	(n= 49)	36.7	36.7	20.4	4.1	—	—	2.0	73.4	4.1
	社会学部	(n= 67)	25.4	44.8	19.4	4.5	6.0	—	—	70.2	10.5
	社会福祉学部	(n= 52)	21.2	51.9	17.3	3.8	5.8	—	—	73.1	9.6
	保健医療技術学部	(n= 30)	16.7	46.7	30.0	3.3	3.3	—	—	63.4	6.6

Q7-4【卒業論文・卒業研究・卒業レポートの意義】6.主体的な学習態度を養う経験（全体／単一回答）



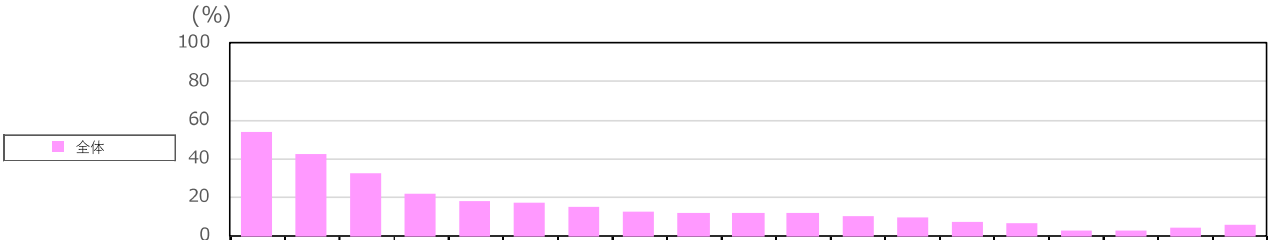
			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 295)	73.2	8.4
学部別	仏教学部	(n= 13)	69.3	—
	文学部	(n= 44)	75.0	11.4
	歴史学部	(n= 40)	80.0	12.5
	教育学部	(n= 49)	77.6	2.0
	社会学部	(n= 67)	64.2	15.0
	社会福祉学部	(n= 52)	76.9	5.7
	保健医療技術学部	(n= 30)	70.0	3.3

Q7-5.あなたにとって、卒業論文・卒業研究・卒業レポートの執筆経験は、社会で役立っていますか？（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 295)	48.8	25.7
学部別	仏教学部	(n= 13)	76.9	7.7
	文学部	(n= 44)	45.5	29.6
	歴史学部	(n= 40)	52.5	32.5
	教育学部	(n= 49)	46.9	24.5
	社会学部	(n= 67)	40.3	29.8
	社会福祉学部	(n= 52)	44.2	21.2
	保健医療技術学部	(n= 30)	66.7	20.0

Q8.本学のイメージ（複数回答）



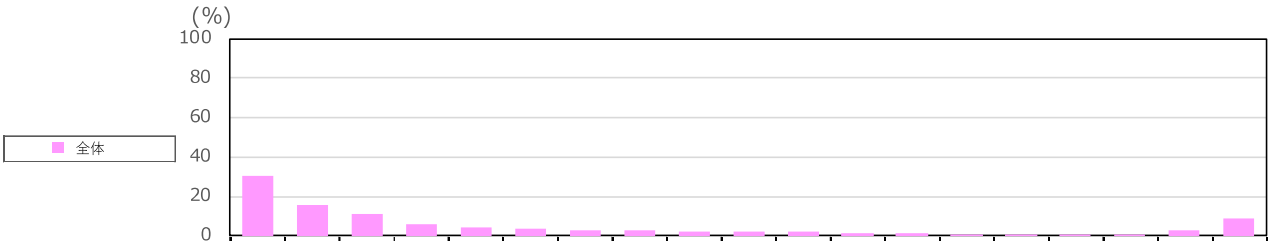
		n数	12. 幅広い免許・資格を取得できる	1. 伝統や実績がある	2. 教育内容が充実している	8. 地域連携に力を入れている	7. 学修設備や環境が充実している	11. スポーツに力を入れている	5. 社会で役立つ力が身につく	15. 各学部の教育方針が明確である	3. 教育内容のレベルが高い	10. 社会貢献活動に力を入れている	13. 建学の理念「仏教精神」を身に付けた人材を輩出している	16. 学生に活気がある	4. 研究内容に力を入れている	17. 就職支援が充実している	14. 大学全体の教育方針が明確である	6. グローバル教育が充実している	9. 産官学連携に力を入れている	18. その他	無回答
全体		319	53.9	42.6	32.3	21.9	18.2	17.6	14.7	12.9	11.9	11.9	11.6	10.7	9.7	7.2	6.9	2.5	2.5	4.4	5.6
学部別	仏教学部	14	50.0	57.1	50.0	28.6	28.6	21.4	35.7	14.3	14.3	21.4	35.7	21.4	35.7	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1
	文学部	53	54.7	32.1	30.2	18.9	20.8	17.0	5.7	5.7	1.9	9.4	11.3	7.5	1.9	7.5	7.5	7.5	1.9	－	11.3
	歴史学部	41	58.5	51.2	34.1	17.1	24.4	34.1	7.3	17.1	14.6	4.9	9.8	4.9	22.0	7.3	12.2	－	2.4	4.9	－
	教育学部	53	56.6	26.4	37.7	17.0	15.1	15.1	13.2	13.2	24.5	5.7	9.4	18.9	7.5	3.8	1.9	－	－	3.8	9.4
	社会学部	70	45.7	44.3	24.3	35.7	8.6	17.1	21.4	10.0	5.7	8.6	11.4	10.0	7.1	10.0	8.6	－	4.3	5.7	4.3
	社会福祉学部	56	73.2	57.1	37.5	19.6	14.3	12.5	16.1	21.4	14.3	30.4	10.7	10.7	12.5	3.6	3.6	3.6	3.6	5.4	1.8
	保健医療技術学部	32	28.1	40.6	25.0	12.5	34.4	9.4	15.6	9.4	12.5	6.3	9.4	6.3	－	9.4	6.3	－	－	6.3	6.3

※全体の多い順にソート（その他、無回答は除く）

159

アンケート集計

SQ8.Q8で回答頂いた中で最も強い印象

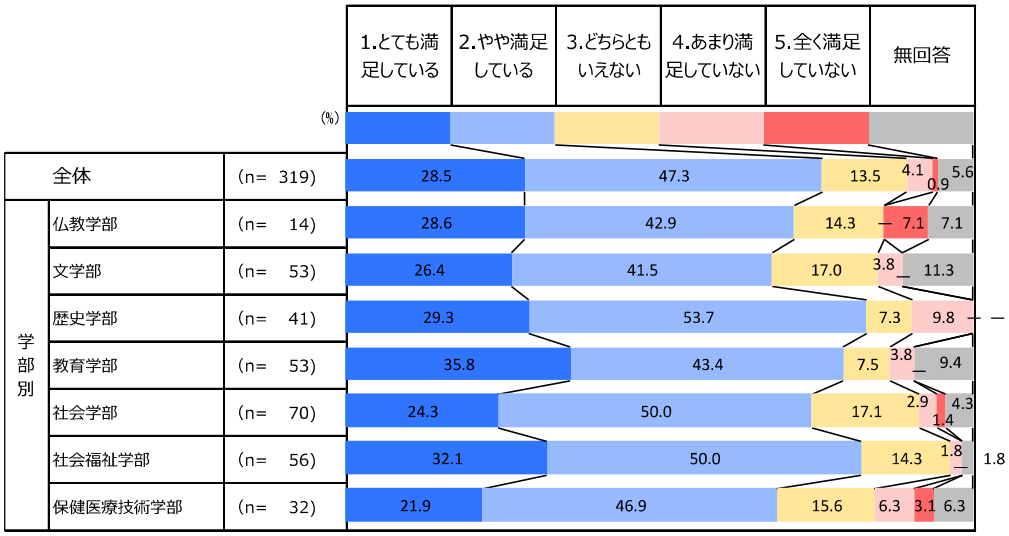


		n数	12. 幅広い免許・資格を取得できる	1. 伝統や実績がある	2. 教育内容が充実している	7. 学修設備や環境が充実している	8. 地域連携に力を入れている	11. スポーツに力を入れている	5. 社会で役立つ力が身につく	16. 学生に活気がある	3. 教育内容のレベルが高い	6. グローバル教育が充実している	13. 建学の理念「仏教精神」を身に付けた人材を輩出している	10. 社会貢献活動に力を入れている	14. 大学全体の教育方針が明確である	4. 研究内容に力を入れている	15. 各学部の教育方針が明確である	17. 就職支援が充実している	9. 産官学連携に力を入れている	18. その他	無回答
全体		319	30.4	15.4	11.0	5.6	4.1	3.8	3.1	2.8	2.2	1.9	1.9	1.6	1.6	0.9	0.9	0.6	0.3	2.8	9.1
学部別	仏教学部	14	14.3	14.3	14.3	7.1	－	7.1	14.3	－	7.1	7.1	7.1	－	－	－	－	－	－	－	7.1
	文学部	53	35.8	11.3	9.4	1.9	－	1.9	－	1.9	－	7.5	1.9	1.9	1.9	－	－	1.9	1.9	－	20.8
	歴史学部	41	36.6	14.6	2.4	7.3	2.4	12.2	－	－	2.4	－	－	－	4.9	7.3	4.9	－	－	2.4	2.4
	教育学部	53	26.4	9.4	22.6	7.5	－	3.8	3.8	5.7	5.7	－	－	－	－	－	－	－	－	3.8	11.3
	社会学部	70	25.7	24.3	8.6	1.4	10.0	2.9	4.3	4.3	－	－	－	4.3	2.9	－	1.4	－	－	2.9	7.1
	社会福祉学部	56	44.6	12.5	8.9	3.6	7.1	－	－	3.6	1.8	1.8	3.6	1.8	－	－	－	1.8	－	3.6	5.4
	保健医療技術学部	32	12.5	18.8	12.5	18.8	3.1	3.1	9.4	－	3.1	－	6.3	－	－	－	－	－	－	6.3	6.3

※全体の多い順にソート（その他、無回答は除く）

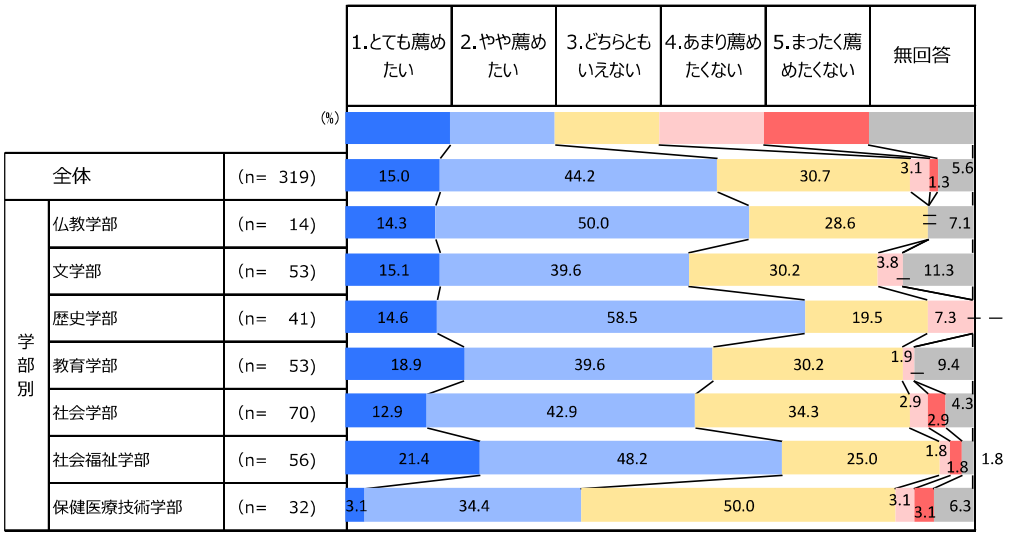
160

Q9.大学生活に対する総合的な満足度（全体／単一回答）



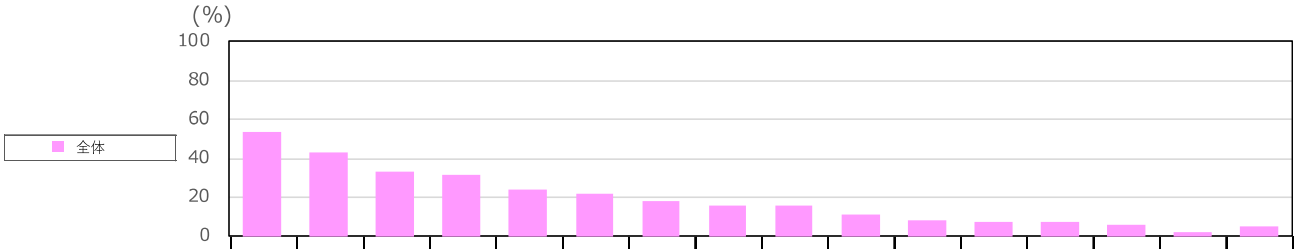
		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	75.8	5.0
学部別 仏教学部	(n= 14)	71.5	7.1
文学部	(n= 53)	67.9	3.8
歴史学部	(n= 41)	83.0	9.8
教育学部	(n= 53)	79.2	3.8
社会学部	(n= 70)	74.3	4.3
社会福祉学部	(n= 56)	82.1	1.8
保健医療技術学部	(n= 32)	68.8	9.4

Q10.後輩へ本学を薦めたいですか。（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	59.2	4.4
学部別 仏教学部	(n= 14)	64.3	—
文学部	(n= 53)	54.7	3.8
歴史学部	(n= 41)	73.1	7.3
教育学部	(n= 53)	58.5	1.9
社会学部	(n= 70)	55.8	5.8
社会福祉学部	(n= 56)	69.6	3.6
保健医療技術学部	(n= 32)	37.5	6.2

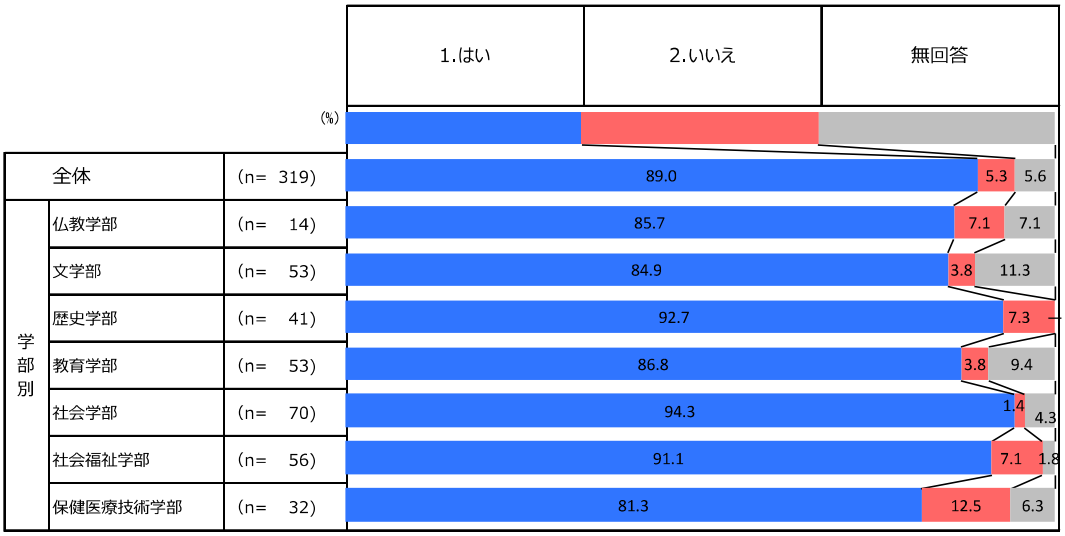
Q11.社会に出てから、在学中に学んでおいた方が良かったと思うこと（複数回答可）



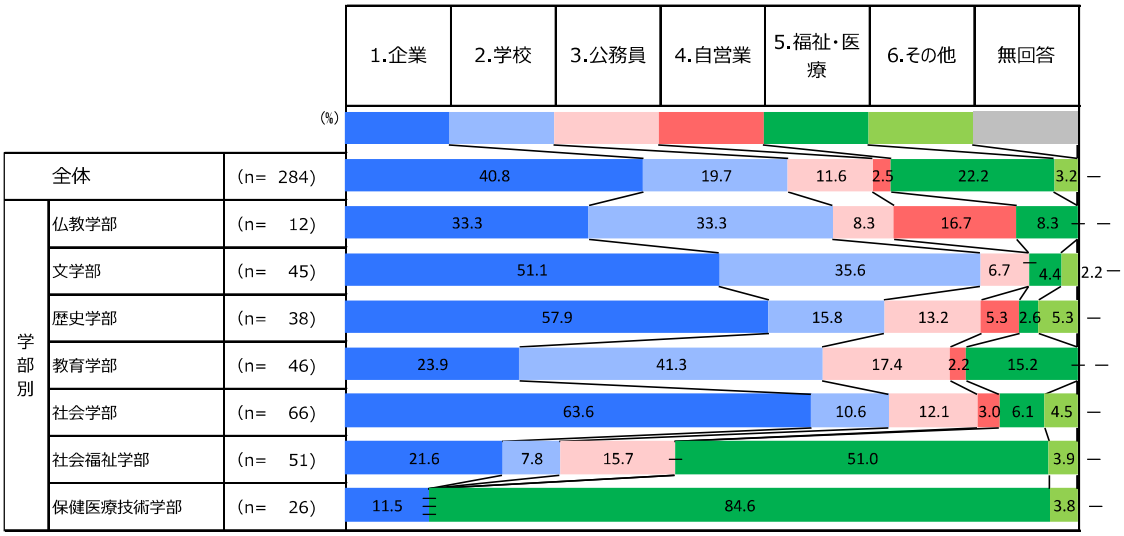
		n数	14.ビジネススキル（PC・マナー）	12.英語	6.心理学	9.情報・データサイエンス	10.経営・経済学	5.教育学	11.医療・衛生	8.福祉学	13.外国語（英語以外）	7.栄養学	2.文学	3.史学	4.文化学	1.宗教学	15.その他	無回答
全体		319	53.9	42.9	33.5	31.7	24.1	21.9	17.9	16.0	15.7	11.6	8.5	7.8	7.2	6.3	2.5	5.6
学部別	仏教学部	14	42.9	28.6	50.0	35.7	14.3	28.6	7.1	7.1	7.1	–	28.6	14.3	14.3	7.1	–	7.1
	文学部	53	49.1	37.7	30.2	26.4	30.2	30.2	**7.5**	**5.7**	15.1	7.5	13.2	7.5	7.5	11.3	1.9	11.3
	歴史学部	41	63.4	48.8	29.3	**51.2**	**36.6**	17.1	**7.3**	12.2	22.0	12.2	14.6	**26.8**	14.6	14.6	–	–
	教育学部	53	47.2	43.4	**52.8**	24.5	18.9	**32.1**	**7.5**	18.9	9.4	13.2	5.7	3.8	1.9	1.9	3.8	9.4
	社会学部	70	57.1	50.0	**21.4**	35.7	25.7	**10.0**	11.4	8.6	18.6	4.3	7.1	2.9	8.6	2.9	5.7	4.3
	社会福祉学部	56	57.1	35.7	39.3	26.8	23.2	28.6	**39.3**	**39.3**	17.9	21.4	3.6	5.4	7.1	1.8	–	1.8
	保健医療技術学部	32	53.1	46.9	**21.9**	25.0	**9.4**	**9.4**	**46.9**	12.5	12.5	18.8	–	3.1	–	9.4	3.1	6.3

※全体の多い順にソート（その他、無回答は除く）

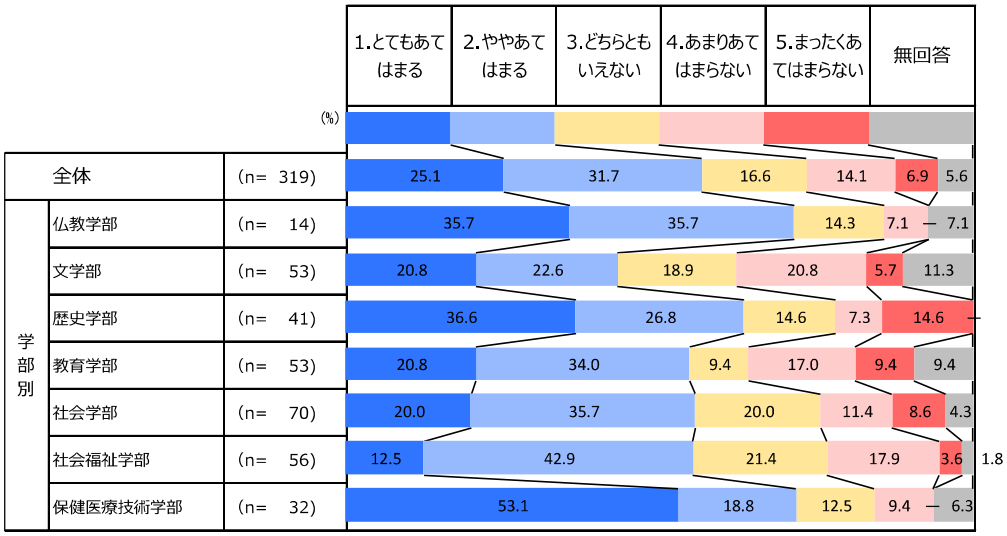
Q12.現在就業していますか（雇用形態は問いません）。（全体／単一回答）



Q12-1.現在の就業先をお答えください。（現在就業中の方）（全体／単一回答）

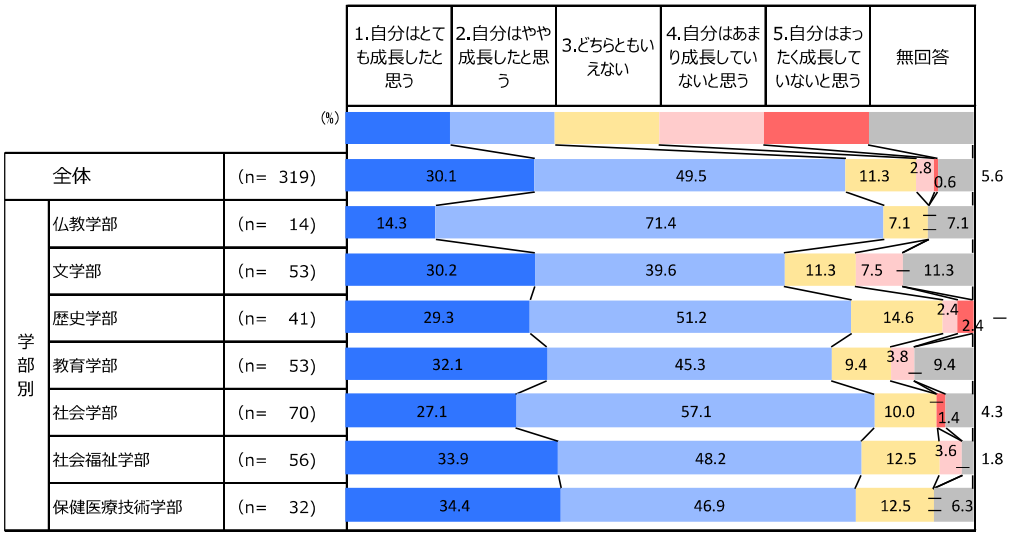


Q13-1.仕事に必要なスキルを、職場外で自主的に学んでいる（学んでいた）（全体／単一回答）



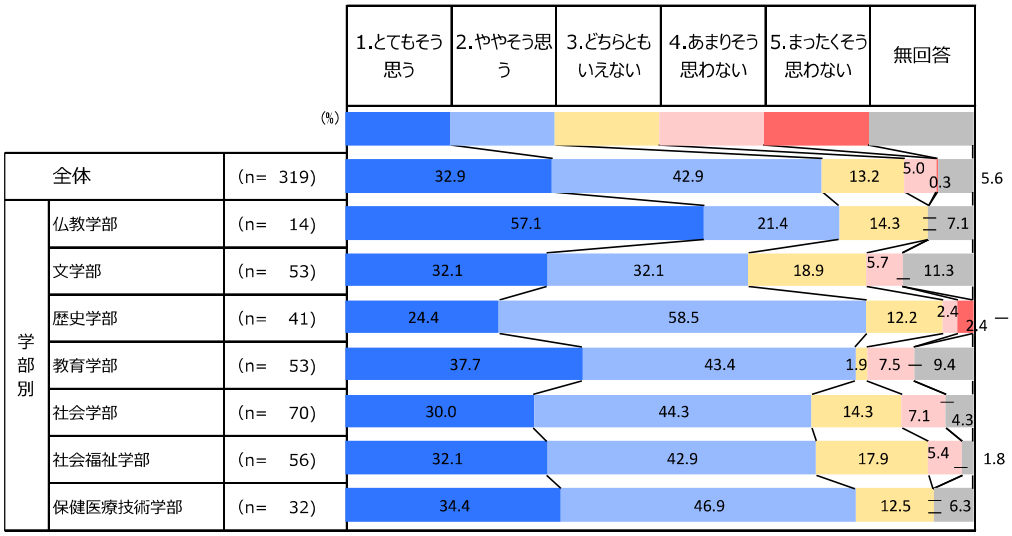
		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	56.8	21.0
学部別 仏教学部	(n= 14)	71.4	7.1
文学部	(n= 53)	43.4	26.5
歴史学部	(n= 41)	63.4	21.9
教育学部	(n= 53)	54.8	26.4
社会学部	(n= 70)	55.7	20.0
社会福祉学部	(n= 56)	55.4	21.5
保健医療技術学部	(n= 32)	71.9	9.4

Q13-2.職場での仕事を通じた成長実感を得ている（得ていた）（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	79.6	3.4
学部別 仏教学部	(n= 14)	85.7	—
文学部	(n= 53)	69.8	7.5
歴史学部	(n= 41)	80.5	4.8
教育学部	(n= 53)	77.4	3.8
社会学部	(n= 70)	84.2	1.4
社会福祉学部	(n= 56)	82.1	3.6
保健医療技術学部	(n= 32)	81.3	—

Q13-3.仕事には意欲的に取り組むことができる（できていた）（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 319)	75.8	5.3
学部別 仏教学部	(n= 14)	78.5	—
文学部	(n= 53)	64.2	5.7
歴史学部	(n= 41)	82.9	4.8
教育学部	(n= 53)	81.1	7.5
社会学部	(n= 70)	74.3	7.1
社会福祉学部	(n= 56)	75.0	5.4
保健医療技術学部	(n= 32)	81.3	—

Q13-4.キャリアや人生を自分で切り開いている（切り開いていた）（全体／単一回答）

			1.とてもそう思う	2.ややそう思う	3.どちらともいえない	4.あまりそう思わない	5.まったくそう思わない	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	21.0	34.5	25.4	9.7	3.8	5.6	55.5	13.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	35.7	28.6	7.1	—	7.1	57.1	7.1
	文学部	(n= 53)	18.9	32.1	30.2	7.5	—	11.3	51.0	7.5
	歴史学部	(n= 41)	29.3	36.6	14.6	12.2	7.3	—	65.9	19.5
	教育学部	(n= 53)	18.9	45.3	15.1	3.8	7.5	9.4	64.2	11.3
	社会学部	(n= 70)	21.4	27.1	30.0	12.9	4.3	4.3	48.5	17.2
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	35.7	35.7	14.3	1.8	1.8	46.4	16.1
	保健医療技術学部	(n= 32)	34.4	31.3	18.8	6.3	3.1	6.3	65.7	9.4

Q13-5.現在の職場で評価されている（評価されていた）（全体／単一回答）

			1.とてもそう思う	2.ややそう思う	3.どちらともいえない	4.あまりそう思わない	5.まったくそう思わない	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	21.3	47.3	19.7	4.7	1.3	5.6	68.6	6.0
学部別	仏教学部	(n= 14)	7.1	64.3	21.4	—	—	7.1	71.4	—
	文学部	(n= 53)	20.8	43.4	17.0	7.5	—	11.3	64.2	7.5
	歴史学部	(n= 41)	24.4	46.3	26.8	—	2.4	—	70.7	2.4
	教育学部	(n= 53)	26.4	47.2	13.2	3.8	—	9.4	73.6	3.8
	社会学部	(n= 70)	22.9	48.6	17.1	4.3	2.9	4.3	71.5	7.2
	社会福祉学部	(n= 56)	16.1	46.4	28.6	7.1	—	1.8	62.5	7.1
	保健医療技術学部	(n= 32)	21.9	46.9	15.6	6.3	3.1	6.3	68.8	9.4

Q13-6.職場での仕事に対して満足している（満足していた）（全体／単一回答）

			1.とてもそう思う	2.ややそう思う	3.どちらともいえない	4.あまりそう思わない	5.まったくそう思わない	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	16.3	44.8	20.7	7.5	5.0	5.6	61.1	12.5
学部別	仏教学部	(n= 14)	28.6	42.9	14.3	—	7.1	7.1	71.5	7.1
	文学部	(n= 53)	13.2	43.4	18.9	7.5	5.7	11.3	56.6	13.2
	歴史学部	(n= 41)	9.8	48.8	26.8	7.3	7.3	—	58.6	14.6
	教育学部	(n= 53)	20.8	49.1	15.1	3.8	1.9	9.4	69.9	5.7
	社会学部	(n= 70)	17.1	37.1	27.1	7.1	7.1	4.3	54.2	14.2
	社会福祉学部	(n= 56)	10.7	53.6	19.6	10.7	3.6	1.8	64.3	14.3
	保健医療技術学部	(n= 32)	25.0	37.5	15.6	12.5	3.1	6.3	62.5	15.6

Q14.大学の建学の理念（仏教精神）を、普段どれくらい意識していますか。（全体／単一回答）

			1.とても意識している	2.やや意識している	3.どちらともいえない	4.あまり意識していない	5.まったく意識していない	無回答	①＋②	④＋⑤
		(%)								
全体		(n= 319)	2.8	12.2	24.1	28.2	27.0	5.6	15.0	55.2
学部別	仏教学部	(n= 14)	21.4	14.3	42.9	7.1	7.1	7.1	35.7	14.2
	文学部	(n= 53)	3.8	15.1	28.3	20.8	20.8	11.3	18.9	41.6
	歴史学部	(n= 41)	2.4	14.6	22.0	29.3	31.7	—	17.0	61.0
	教育学部	(n= 53)	—	7.5	13.2	32.1	37.7	9.4	7.5	69.8
	社会学部	(n= 70)	4.3	12.9	27.1	30.0	21.4	4.3	17.2	51.4
	社会福祉学部	(n= 56)	—	10.7	26.8	37.5	23.2	1.8	10.7	60.7
	保健医療技術学部	(n= 32)	—	12.5	18.8	21.9	40.6	6.3	12.5	62.5

巻末付録②：設問一覧

設問一覧Q1～2

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q1	現在お住まいの都道府県を一つ選択してください。	1 … 47	北海道 沖縄県 その他（　　）
Q2-1	在学中、あなたは次の学修内容にどの程度熱心に取り組んできましたか？ 1）全学共通科目 2）専門基礎科目 3）学部基幹科目 4）学科基礎科目 5）コース科目 6）発展科目	 1 2 3 4 5 6	(各設問ごとに聞く) 熱心だった どちらかというと熱心だった どちらともいえない どちらかというと熱心ではなかった 熱心ではなかった 履修しなかった
Q2-2	学修内容は、あなたのこれまでの仕事に必要な知識・技術・態度にとって、どの程度役に立ちましたか？ 1）全学共通科目 2）専門基礎科目 3）学部基幹科目 4）学科基礎科目 5）コース科目 6）発展科目	 1 2 3 4 5 6	(各設問ごとに聞く) 役に立っている どちらかというと役に立っている どちらともいえない どちらかというと役に立っていない 役に立っていない 履修しなかった

設問一覧Q3

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q3	次の能力・スキルについて、社会(職場)での必要度と大学時代での修得度をお聞きします。 あなたはどの程度あてはまるかお答えください。 １）他者との豊かな関係を築く能力 ２）目標に向けて協力的に仕事を進める能力 ３）場を読み、組織を動かす能力 ４）ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力 ５）前向きな考え方、やる気を維持する能力 ６）主体的に動き、よい行動を習慣づける能力 ７）様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力 ８）課題解決のための適切な計画を立てる能力 ９）目標達成に向け、実践行動する能力 １０）大学の専門科目で学んだ知識・技能 １１）大学の教養科目で学んだ知識・技能 １２）英語を使う能力 １３）外国語（英語以外の言語）を使う能力 １４）PCスキル（ワード、エクセルなど） １５）数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など） １６）課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力 １７）収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力 １８）現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力 １９）さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力		
Q3-1	社会（職場）で必要とされている	1 2 3 4 5	絶対に必要 とても必要 必要 少しは必要 あまり必要ではない
Q3-2	大学時代の学修によって身についた	1 2 3 4 5	かなり身についた やや身についた どちらともいえない あまり身に付かなかった 身につかなかった

設問一覧Q4

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q4-1	学生生活を通して、全体的に成長した実感を得られましたか？	1 2 3 4 5	とても感じている やや感じている どちらともいえない あまり感じていない 全く感じていない
Q4-2	自分の強み開発を意識して、学生生活を過ごせましたか？	1 2 3 4 5	強く意識して過ごした やや意識して過ごした どちらともいえない あまり意識せず過ごした 全く意識せず過ごした
Q4-3	学生生活の中で、自分の強みを開発する機会がどれくらいありましたか？	1 2 3 4 5	よくあった あった どちらともいえない あまりなかった なかった

設問一覧Q5～6

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q5	あなたが学生時代に取り組んだことについて教えてください。 1）専門科目の講義 2）教養科目の講義 3）外国語の学修 4）卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ 5）部・サークル活動 6）アルバイト 7）就職活動(国家試験のための勉強も含む)		
Q5-1	学生時代に取り組んだ度合い		(各設問ごとに聞く)
		1	とても熱心だった
		2	やや熱心だった
		3	どちらともいえない
		4	あまり熱心ではなかった
		5	まったく熱心ではなかった
		6	経験しなった
Q5-2	満足度合い		(各設問ごとに聞く)
		1	とても満足している満足している
		2	やや満足している
		3	どちらともいえない
		4	あまり満足していない
		5	まったく満足していない
		6	経験しなった
Q6	本学での経験は、次の場面で役に立ちましたか・役に立っていますか。1 ～ 5 あるいは6のいずれかで回答してください。 1）満足のいく就職をするのに役に立った 2）仕事で職務を遂行するのに役に立った・役に立っている 3）キャリアプランやライフプランを展望するのに役に立った・役に立っている 4）社会の問題について考えたり、自分がそのような問題に直面した際に適切に対処したり、するのに役に立った・役に立ってい 5）私生活（家族や友人との交流、趣味、ボランティア、地域活動への参加等）の充実に役に立った・役に立っている		(各設問ごとに聞く)
		1	とてもそう思う
		2	ややそう思う
		3	どちらともいえない
		4	あまりそう思わない
		5	全くそう思わない
		6	就職をしていない・したことがない

設問一覧Q7

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q7-1	大学時代の学修経験や成長実感について大学在学中、次のことがらはどれくらいあてはまりますか。 1）授業中に自分から発言した 2）授業の内容について他の学生と議論した 3）自主的な勉強会や研究会に参加した 4）大学の教職員に親近感を感じた 5）大学の教職員に将来のキャリアの相談をした 6）在学中を通じて自分は成長できたと実感できる 7）授業についていけなかった		(各設問ごとに聞く)
		1	とてもあてはまる
		2	ややあてはまる
		3	どちらともいえない
		4	あまりあてはまらない
		5	まったくあてはまらない
Q7-2	あなたにとって、専門分野のゼミ活動はどのような意義をもっていたと思いますか。 1）専門教育の総仕上げ 2）教養的知識の必要性を知る経験 3）色々な人と議論する経験 4）自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験 5）困難なことを最後までやり遂げる経験 6）主体的な学習態度を養う経験		(各設問ごとに聞く)
		1	とてもあてはまる
		2	ややあてはまる
		3	どちらともいえない
		4	あまりあてはまらない
		5	まったくあてはまらない
		6	経験しなかった
Q7-3	あなたは、卒業論文・卒業研究・卒業レポートのいずれかを執筆しましたか？		
		1	はい
		2	いいえ
Q7-4	あなたにとって、卒業論文・卒業研究・卒業レポートの執筆はどのような意義をもっていたと思いますか。 1）専門教育の総仕上げ 2）教養的知識の必要性を知る経験 3）自分の主張をわかりやすく伝える方法を学ぶ経験 4）困難なことを最後までやり遂げる経験 5）主体的な学習態度を養う経験		(各設問ごとに聞く)
		1	とてもあてはまる
		2	ややあてはまる
		3	どちらともいえない
		4	あまりあてはまらない
		5	まったくあてはまらない
Q7-5	あなたにとって、卒業論文・卒業研究・卒業レポートの執筆経験は、社会で役立っていますか？		
		1	とても役立っている
		2	やや役立っている
		3	どちらともいえない
		4	あまり役立っていない
		5	まったく役立っていない
Q7-6	Q 7－5 の理由について、どのように役立っているのか、できるだけ具体的にご記入ください。		

設問一覧Q8～10

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q8	あなたが感じる、本学の印象について伺います。次の中からあてはまるもの全てをお選びください。(複数回答可)	□	当てはまる
		1	伝統や実績がある
		2	教育内容が充実している
		3	教育内容のレベルが高い
		4	研究内容に力を入れている
		5	社会で役立つ力が身につく
		6	グローバル教育が充実している
		7	学修設備や環境が充実している
		8	地域連携に力を入れている
		9	産官学連携に力を入れている
		10	社会貢献活動に力を入れている
		11	スポーツに力を入れている
		12	幅広い免許・資格を取得できる
		13	建学の理念「仏教精神」を身に付けた人材を輩出している
		14	大学全体の教育方針が明確である
		15	各学部の教育方針が明確である
		16	学生に活気がある
		18	その他(記述)
SQ8	回答頂いた中で最も強い印象を一つお答えください。		上記設問で回答した選択肢から一つだけ選択
Q9	大学生活に対する総合的な満足度として、最も近いものを1つお選びください。	1	とても満足している
		2	やや満足している
		3	どちらともいえない
		4	あまり満足していない
		5	まったく満足していない
SQ9	Q9の理由について、どのような点が満足／不満だったか、できるだけ具体的にご記入ください。		
Q10	後輩へ本学を薦めたいですか。	1	とても薦めたい
		2	やや薦めたい
		3	どちらともいえない
		4	あまり薦めたくない
		5	まったく薦めたくない
SQ10	Qの理由について、できるだけ具体的にご記入ください。		

設問一覧Q11～12

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q11	社会に出てから、在学中に学んでおいた方が良かったと思うことを選んでください。(複数回答可)	□	当てはまる
		1	宗教学
		2	文学
		3	史学
		4	文化学
		5	教育学
		6	心理学
		7	栄養学
		8	福祉学
		9	情報・データサイエンス
		10	経営・経済学
		11	医療・衛生
		12	英語
		13	外国語（英語以外）
		14	ビジネススキル（PC・マナー）
		15	その他 (具体的に)
【表頭】	卒業後の就業状況について現在の就業先の業種・職種に関してお答えください		
Q12	現在就業していますか（雇用形態は問いません）。	1	就業している
		2	就業していない
Q12-1	現在の就業先をお答えください。	1	企業
		2	学校
		3	公務員
		4	自営業
		5	福祉・医療
		6	その他

設問一覧Q13

設問番号	設問文	選択肢番号	選択肢ラベル
Q13-1	仕事に必要なスキルを、職場外で自主的に学んでいる（学んでいた）	1 2 3 4 5	とてもあてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない まったくあてはまらない
Q13-2	職場での仕事を通じた成長実感を得ている（得ていた）	1 2 3 4 5	自分はとても成長したと思う 自分はやや成長したと思う どちらともいえない 自分はあまり成長していないと思う 自分はまったく成長していないと思う
Q13-3	仕事には意欲的に取り組むことができる（できていた）	1 2 3 4 5	とてもそう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない まったくそう思わない
Q13-4	キャリアや人生を自分で切り開いている（切り開いていた）	1 2 3 4 5	とてもそう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない まったくそう思わない
Q13-5	職場で評価されている（評価されていた）	1 2 3 4 5	とてもそう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない まったくそう思わない
Q13-6	職場での仕事に対して満足している（満足していた）	1 2 3 4 5	とてもそう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない まったくそう思わない

設問一覧Q14

設問番号	設問文	選択肢番号	選択肢ラベル
Q14	大学の建学の理念を、普段どれくらい意識していますか。	1 2 3 4 5	とても意識している やや意識している どちらともいえない あまり意識していない まったく意識していない

佛教大学　御中

佛教大学
企業調査
結果報告書（2022年度）

2024/1
株式会社リアセック

目次

- 調査概要　3
- 1-1．必要度（Q5）業種別　5
  1-2．企業の必要度と卒業生の修得度との比較
  1．全体　6
  2．教育・公務と教育学部　7
  3．医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部　8
- 1-3．企業の必要度と卒業生の修得度　ポートフォリオ分析
  基本情報　9
  1．全体　10
  2．教育・公務と教育学部　11
  3．医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部　12
  ポートフォリオまとめ　13
- 2．採用意欲別分析
  Q11．本学卒業生の採用意欲　15
  1．Q10.カリキュラムと科目に対する期待や要望（複数回答）　16
  2．Q10-SQ1.カリキュラムと科目に対する期待や要望（単一回答）　17
  3．Q18. 在学時の経験重視（複数回答）　18
  4．SQ18-1. 在学時の経験重視（単一回答）　19
- 3．Q5・Q6必要度との相関分析
  1．Q5必要度と各設問との相関分析　21
  2．Q6必要度と各設問との相関分析　23
- まとめ　27
- 巻末付録①：アンケート集計（業種別）　32
- 巻末付録②：設問一覧　88

調査概要

- 調査目的：企業の採用ニーズの把握と大学への期待を確認並びに、今後の大学への期待とニーズの確認
- 調査対象：佛教大学に足して採用実績のある企業並びに、求人のある企業：713社
- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2023年2月13日～3月18日
- 発送数：713
- 集計対象数：206社（重複回答者、「Q5.大卒新規採用者に求める能力」を回答せず離脱した者は集計対象から除外）
- 有効回収率：28.8%（206社／713社中）

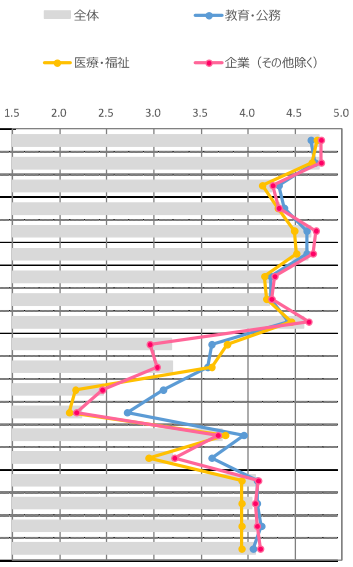
1-1.大卒新規採用者に求める能力（Q5）

1-1. 必要度（業種別）

- ✓ 19項目の能力・スキルの必要度を企業全体でみると、もっとも高いのは「1.他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）」、および「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）」、次いで「5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）」と続く。
- ✓ 業種別にみると、「 10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能（授業科目：専門知識）」は、医療・福祉、教育・公務ではいずれも3.50以上であるのに対し、企業（その他除く）では、2.96と低くその差が大きい。

＊教育・公務はN数が少ないため、あくまで参考値にとどめる

■ Q5.大卒新規採用者に求める能力（必要度）



上位3項目
下位3項目

				平均値 全体	業種別 教育・公務	医療・福祉	企業（その他除く）
				N=206	N=21	N=41	N=141
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	4.76	4.67	4.73	4.78
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	4.76	4.71	4.68	4.78
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力	4.25	4.33	4.15	4.26
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	4.34	4.38	4.32	4.33
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	4.67	4.62	4.49	4.72
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	4.64	4.62	4.51	4.69
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	4.25	4.24	4.17	4.28
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	4.23	4.24	4.20	4.25
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	4.59	4.43	4.46	4.65
授業科目		専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	3.19	3.62	3.78	2.96
		一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	3.20	3.57	3.61	3.03
		外国語能力	12. 英語を使う能力	2.46	3.10	2.17	2.45
		外国語能力	13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力	2.23	2.71	2.10	2.18
		PCスキル	14. PCスキル（ワード、エクセルなど）	3.72	3.95	3.76	3.68
		データサイエンス能力	15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	3.20	3.62	2.95	3.22
リテラシー		情報収集力	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	4.07	4.10	3.93	4.11
		情報分析力	17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	4.04	4.10	3.93	4.07
		課題発見力	18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	4.07	4.14	3.93	4.10
		構想力	19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	4.07	4.05	3.93	4.13

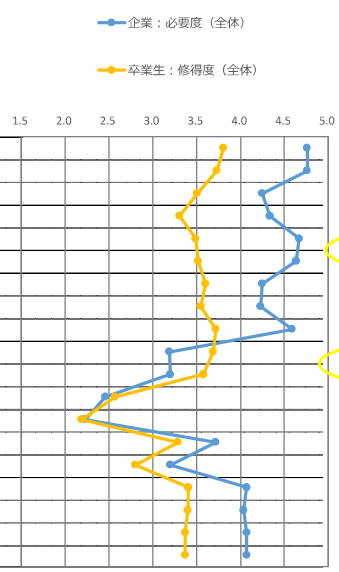
※絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

5

1-2-1. 企業の必要度と卒業生の修得度との比較（全体）

- ✓ 19項目の能力・スキルについて、企業の必要度と卒業生の修得度を全体で比較してみると、多くの項目で企業の必要度が卒業生の修得度を上回っている。特に「5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）」、「6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）」でその差が大きい。
- ✓ 「 10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能（授業科目：専門知識）」、「11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能（授業科目：一般教養）」については、企業の必要度を卒業生の修得度が上回っている。

■企業の必要度と卒業生の修得度との比較（全体）



上位3項目
下位3項目

				企業：必要度（全体）	卒業生：修得度（全体）	企業と卒業生との差（絶対値）
				N=206	N=319	
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	4.76	3.81	0.95
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	4.76	3.73	1.03
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力	4.25	3.51	0.74
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	4.34	3.31	1.03
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	4.67	3.49	1.18
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	4.64	3.52	1.12
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	4.25	3.60	0.65
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	4.23	3.55	0.68
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	4.59	3.72	0.87
授業科目		専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	3.19	3.69	0.50
		一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	3.20	3.58	0.38
		外国語能力	12. 英語を使う能力	2.46	2.57	0.11
		外国語能力	13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力	2.23	2.19	0.04
		PCスキル	14. PCスキル（ワード、エクセルなど）	3.72	3.29	0.43
		データサイエンス能力	15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	3.20	2.80	0.40
リテラシー		情報収集力	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	4.07	3.41	0.66
		情報分析力	17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	4.04	3.40	0.64
		課題発見力	18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	4.07	3.37	0.70
		構想力	19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	4.07	3.37	0.70

※必要度　絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

※修得度　かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

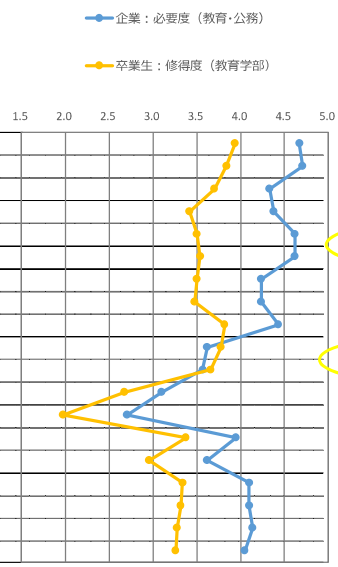
6

1-2-2. 企業の必要度と卒業生の修得度との比較（教育・公務と教育学部）

- ✓ 19項目の能力・スキルについて、企業の必要度と卒業生の修得度を比較してみると、多くの項目で企業の必要度が卒業生の修得度を上回っている。特に「5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）」、「6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）」でその差が大きい。
- ✓ 「10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能（授業科目：専門知識）」、「11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能（授業科目：一般教養）」については、企業の必要度を卒業生の修得度が上回っている。

＊教育・公務はN数が少ないため、あくまで参考値にとどめる

■ 企業の必要度と卒業生の修得度との比較（教育・公務と教育学部）



上位3項目
下位3項目

				企業：必要度（教育・公務）	卒業生：修得度（教育学部）	企業と卒業生との差（絶対値）
				N=21	N=53	
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	4.67	3.94	0.73
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	4.71	3.84	0.87
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力	4.33	3.70	0.63
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	4.38	3.42	0.96
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	4.62	3.50	1.12
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	4.62	3.54	1.08
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	4.24	3.50	0.74
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	4.24	3.48	0.76
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	4.43	3.82	0.61
授業科目		専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	3.62	3.78	0.16
		一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	3.57	3.66	0.09
		外国語能力	12. 英語を使う能力	3.10	2.68	0.42
		外国語能力	13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力	2.71	1.98	0.73
		PCスキル	14. PCスキル（ワード、エクセルなど）	3.95	3.38	0.57
		データサイエンス能力	15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	3.62	2.96	0.66
リテラシー		情報収集力	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	4.10	3.34	0.76
		情報分析力	17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	4.10	3.32	0.78
		課題発見力	18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	4.14	3.28	0.86
		構想力	19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	4.05	3.26	0.79

※必要度　絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

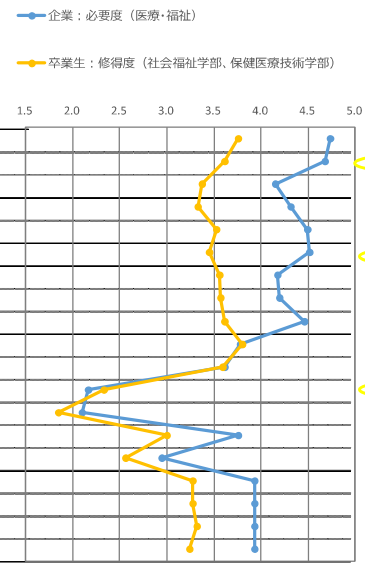
※修得度　かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

7

1-2-3. 業種の必要度と卒業生の修得度との比較（医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部）

- ✓ 19項目の能力・スキルについて、企業の必要度と卒業生の修得度を比較してみると、多くの項目で企業の必要度が卒業生の修得度を上回っている。特に「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）」、「6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）でその差が大きい。
- ✓ 「12. 英語を使う能力（授業科目：外国語能力」については、企業の必要度を卒業生の修得度が上回っている。

■ 企業の必要度と卒業生の修得度との比較（医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部）



上位3項目
下位3項目

				企業：必要度（医療・福祉）	卒業生：修得度（社会福祉学部、保健医療技術学部）	企業と卒業生との差（絶対値）
				N=41	N=88	
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	4.73	3.76	0.97
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	4.68	3.62	1.06
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力	4.15	3.37	0.78
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	4.32	3.33	0.99
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	4.49	3.53	0.96
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	4.51	3.45	1.06
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	4.17	3.56	0.61
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	4.20	3.57	0.63
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	4.46	3.62	0.84
授業科目		専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	3.78	3.80	0.02
		一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	3.61	3.59	0.02
		外国語能力	12. 英語を使う能力	2.17	2.33	0.16
		外国語能力	13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力	2.10	1.85	0.25
		PCスキル	14. PCスキル（ワード、エクセルなど）	3.76	3.00	0.76
		データサイエンス能力	15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	2.95	2.56	0.39
リテラシー		情報収集力	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	3.93	3.28	0.65
		情報分析力	17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	3.93	3.28	0.65
		課題発見力	18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	3.93	3.32	0.61
		構想力	19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	3.93	3.24	0.69

※必要度　絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

※修得度　かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

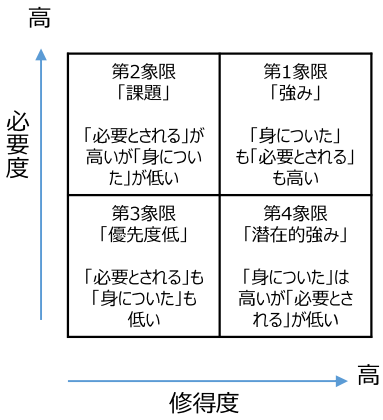
8

1-3. 企業の必要度と卒業生の修得度　ポートフォリオ分析　基本情報

各基礎力について、「企業の必要度」を縦軸、「卒業生の修得度」を横軸に設定して座標軸の図を作り、その中に平均点でプロットしてポートフォリオ分析を行った。各座標の交点は必要度、修得度それぞれ全項目の平均値としている。

■必要度：「大卒新規採用者に求める度合い」
絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、
少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

■修得度：「学生時代に身についた度合い」
かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、
あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点として加重平均値を算出。
（無回答は除く）



【各基礎力の凡例と項目名】

		ラベル		項目名
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	◆	1. 他者との豊かな関係を築く能力
		協働力		2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
		統率力		3. 場を読み、組織を動かす能力
	対自己基礎力	感情制御力	◆	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
		自信創出力		5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
		行動持続力		6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
	対課題基礎力	課題発見力	◆	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
		計画立案力		8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力
		実践力		9. 目標達成に向け、実践行動する能力

	ラベル		項目名
授業科目	専門知識・技能	◆	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能
	教養知識・技能		11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能
	外国語		12. 英語を使う能力
	外国語		13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力
	PCスキル		14. PCスキル（ワード、エクセルなど）
	数理的思考力		15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）
リテラシー	情報収集力	◆	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力
	情報分析力		17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力
	課題発見力		18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力
	構想力		19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力

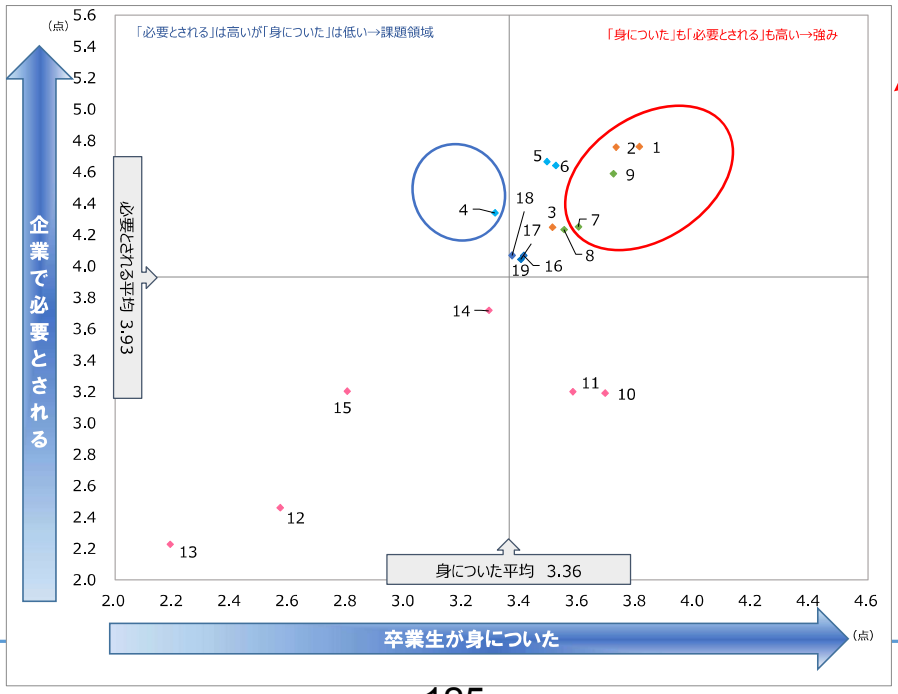
1-3-1. 企業の必要度と卒業生の修得度　ポートフォリオ分析　全体

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
✓ 4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（対自己基礎力：感情制御力）

【強みの項目】
✓ 1. 他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
✓ 2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
✓ 7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
✓ 9. 目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

■全体（全業種：N=206、卒業生：N ＝319）



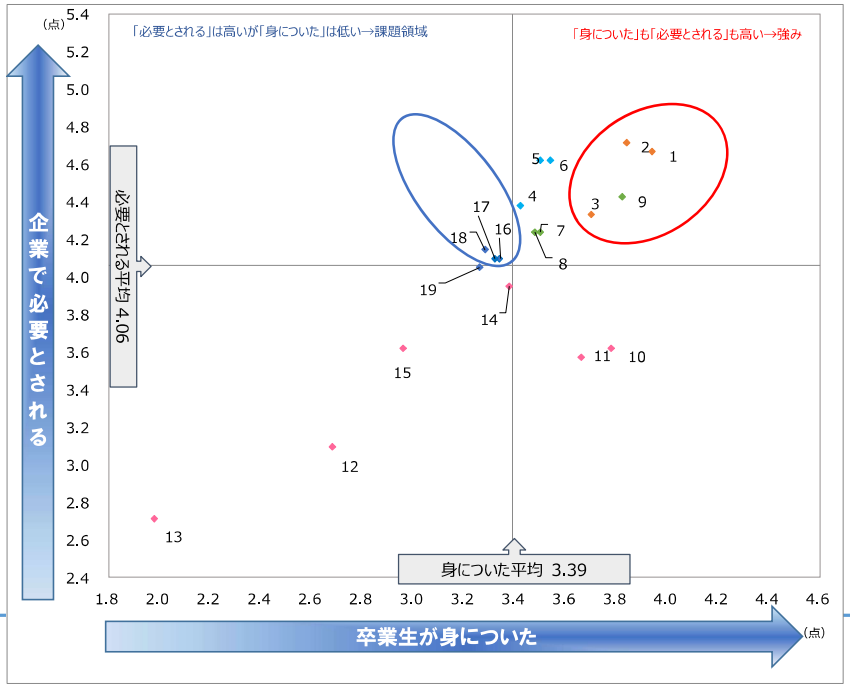
1-3-2. 企業の必要度と卒業生の修得度　ポートフォリオ分析　教育・公務と教育学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
- ✓ 16．課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力（リテラシー：情報収集力）
- ✓ 17．収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（リテラシー：情報分析力）
- ✓ 18．現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（リテラシー：課題発見力）

【強みの項目】
- ✓ 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- ✓ 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- ✓ 3．場を読み、組織を動かす能力（対人基礎力：統率力）
- ✓ 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

■教育（**業種**：教育・公務　N=21、卒業生：教育学部　N=53）　*教育・公務はN数が少ないためあくまで参考値にとどめる



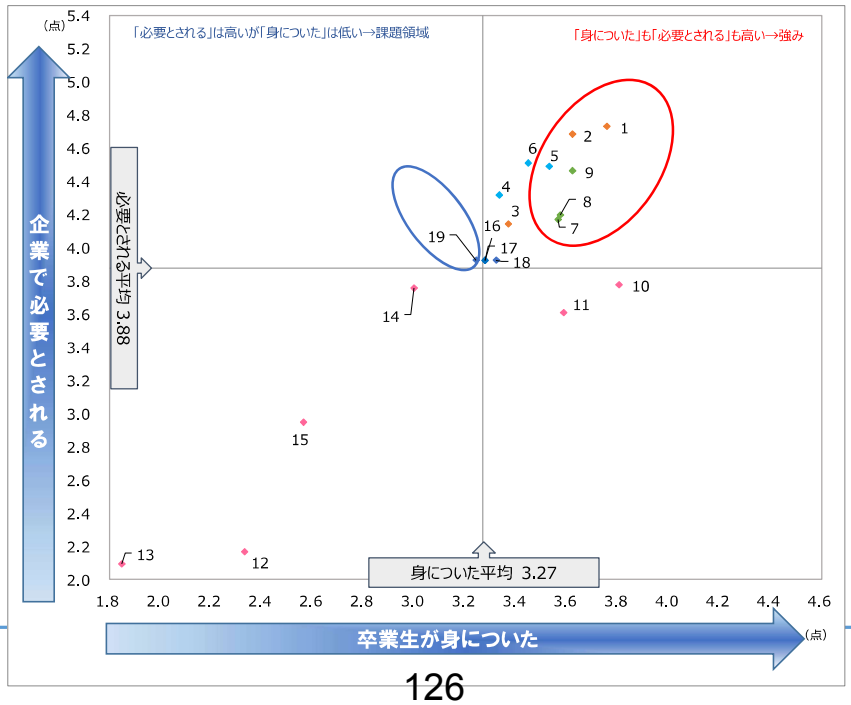
1-3-3. 企業の必要度と卒業生の修得度　ポートフォリオ分析　医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部

※強みの項目：「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出
※課題領域の項目：「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目抽出

【課題領域の項目】
- ✓ 19．さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力（リテラシー：構想力）

【強みの項目】
- ✓ 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- ✓ 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- ✓ 5．前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）
- ✓ 7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
- ✓ 8．課題解決のための適切な計画を立てる能力（対課題基礎力：計画立案力）
- ✓ 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

■医療・福祉（業種：医療・福祉　N=41、卒業生：社会福祉学部、保健医療技術学部　N=88）



1-3-4. 企業の必要度と卒業生の修得度　ポートフォリオ分析　まとめ

- ✓ ポートフォリオ分析の結果、「強み」および「課題」として抽出された項目を一覧にまとめた。
- ✓ 業種・学部共通で、「1. 他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）」、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）」、「9. 目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）」が強みとなっている。
- ✓ 医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部では、「8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力（対課題基礎力：計画立案力）」が強み、「19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力（リテラシー：構想力）」が課題となっている。
- ✓ 参考値だが、教育・公務と教育学部では、「3. 場を読み、組織を動かす能力（対人基礎力：統率力）」が強み、リテラシー領域が課題となっている。

●：「強み」の項目（「身についた」が平均+0.2以上、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出）
▲：「課題」の項目（「身についた」が平均より小さく、「必要とされる」が平均より大きい項目を抽出）

能力区分			項目名	全体	業種・学部	
					教育・公務と教育学部	医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	●	●	●
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	●	●	●
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力		●	
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	▲		
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力			●
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力			
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	●		●
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力			●
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	●	●	●
授業項目		専門知識・技能	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能			
		教養知識・技能	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能			
		外国語	12. 英語を使う能力			
		外国語	13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力			
		PCスキル	14. PCスキル（ワード、エクセルなど）			
		数理的思考力	15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）			
リテラシー		情報収集力	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力		▲	
		情報分析力	17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力		▲	
		課題発見力	18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力		▲	
		構想力	19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力			▲

＊教育・公務はN数が少ないためあくまで参考値にとどめる

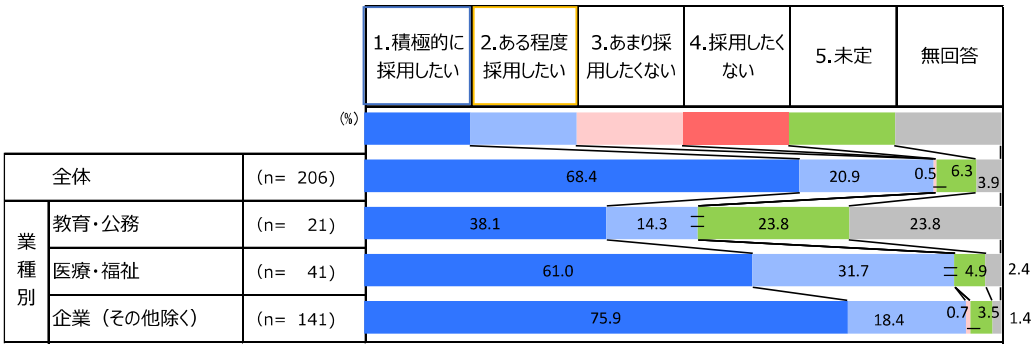
13

2.採用意欲別分析

2. Q11.本学卒業生の採用意欲

- ✓ 卒業生の採用意欲を全体でみると、およそ7割が「積極的に採用したい」、2割が「ある程度採用したい」であった。
- ✓ 業種別にみると、「積極的に採用したい」がもっとも高いのは、企業（76%）、次いで医療・福祉（61%）であり、教育・公務は38%にとどまる。なお、教育・福祉は「未定」が24%を占めている。
- ✓ 次項からは、「積極的に採用したい」というグループと、「ある程度採用したい」というグループについてみていく。

Q11.本学卒業生の採用意欲について、当てはまるものをひとつお選びください。（全体／単一回答）

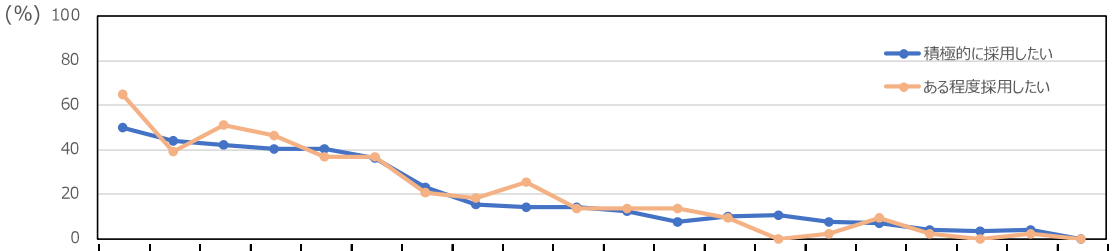


	①＋②	③＋④
全体	89.3	0.5
教育・公務	52.4	—
医療・福祉	92.7	—
企業（その他除く）	94.3	0.7

2-1. 採用意欲別 Q10.カリキュラムと科目に対する期待や要望（複数回答）

- ✓ 「ある程度採用したい」は「積極的に採用したい」と比べて、「課題解決型教育の推進」と「医療・健康に関する知識の醸成」への期待が10ポイント以上高い。

Q10.本学のカリキュラムと科目に対して、貴社が期待していること、要望したいこと等はどのようなものですか。（複数回答）



n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

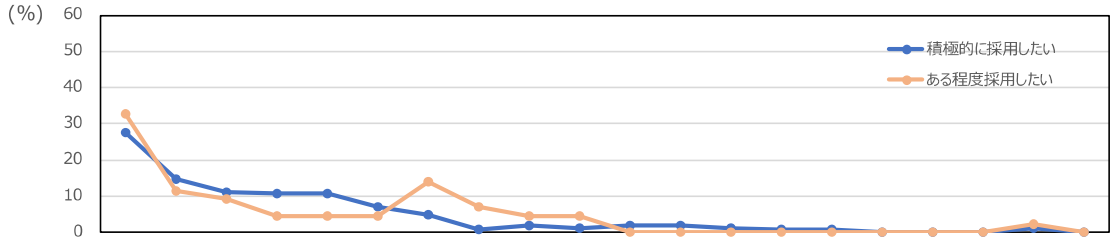
		n数	12.課題解決型教育の推進	6.幅広い教養教育	13.基礎(的)学力の育成	4.討議・討論・プレゼンテーション力の養成	17.PCスキル（ワード、エクセルなど）	15.規範・規律教育	5.企業と連携して課題を解決する授業(PBL)の推進	11.フィールドワーク授業の推進	9.医療・健康に関する知識の醸成	18.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンスなど）	10.企業経営に関する知識の醸成	14.双方向型授業の推進	7.高度な専門知識の教育	2.英語でのビジネス対応力	8.国内外のインターンシップ	16.次世代産業等に関する最新知識	1.諸外国の異文化教育	3.英語以外の語学教育	19.その他	無回答
全体		206	51.9	41.7	41.3	40.3	37.4	35.0	22.8	16.0	15.0	13.6	11.7	10.2	9.7	7.3	7.3	7.3	3.4	2.4	4.9	3.4
採用意欲別	積極的に採用したい	141	50.4	44.0	42.6	40.4	40.4	36.2	23.4	15.6	14.2	14.2	12.8	7.8	9.9	10.6	7.8	7.1	4.3	3.5	4.3	–
	ある程度採用したい	43	65.1	39.5	51.2	46.5	37.2	37.2	20.9	18.6	25.6	14.0	14.0	14.0	9.3	–	2.3	9.3	2.3	–	2.3	–

※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

2-2. 採用意向別 Q10-SQ1.カリキュラムと科目に対する期待や要望（単一回答）

✓ 複数回答と同様、単一回答においても「ある程度採用したい」は「積極的に採用したい」と比べて、「医療・健康に関する知識の醸成」への期待が高い。

Q10-SQ1．Q10で回答頂いた中で最も期待する事を一つお答えください。



n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

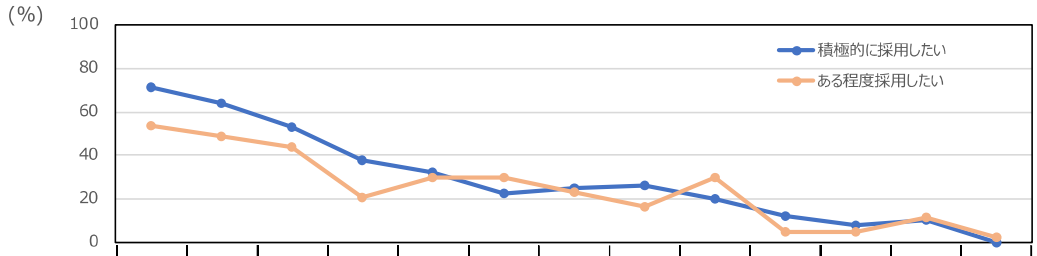
		n数	12.課題解決型教育の推進	6.幅広い教養教育	13.基礎(的)学力の育成	4.討議・討論・プレゼンテーション力の養成	15.規範・規律教育	5.企業と連携して課題を解決する授業(PBL)の推進	9.医療・健康に関する知識の醸成	11.フィールドワーク授業の推進	17.PCスキル（ワード、エクセルなど）	14.双方向型授業の推進	2.英語でのビジネス対応力	7.高度な専門知識の教育	10.企業経営に関する知識の醸成	1.諸外国の異文化教育	16.次世代産業等に関する最新知識	3.英語以外の語学教育	8.国内外のインターンシップ	18.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンスなど）	19.その他	無回答
全体		206	27.2	14.6	9.7	8.3	8.3	6.3	6.3	2.9	2.9	2.4	1.5	1.5	1.0	0.5	0.5	－	－	－	2.9	3.4
採用意欲別	積極的に採用したい	141	27.7	14.9	11.3	10.6	10.6	7.1	5.0	0.7	2.1	1.4	2.1	2.1	1.4	0.7	0.7	－	－	－	1.4	－
	ある程度採用したい	43	32.6	11.6	9.3	4.7	4.7	4.7	14.0	7.0	4.7	4.7	－	－	－	－	－	－	－	－	2.3	－

※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

2-3. 採用意向別 Q18. 在学時の経験重視（複数回答）

✓ 「積極的に採用したい」は「ある程度採用したい」と比べて、「部活動・サークル」、「アルバイト」、「ボランティア」が15ポイント以上高い。

Q18.大卒新規採用者を評価する場合、在学時のどの経験を重視しますか。（複数回答）



n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

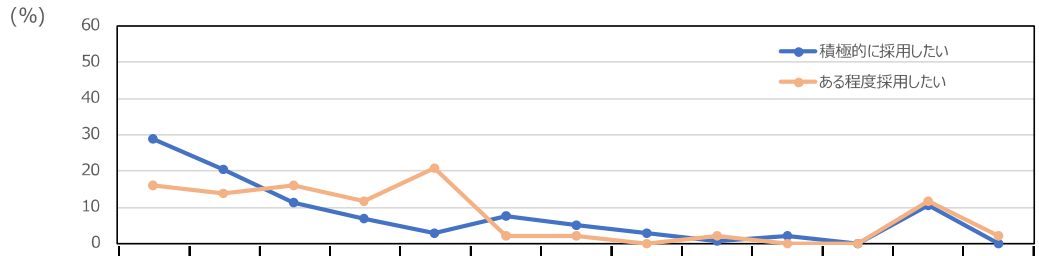
		n数	5.部活動・サークル	9.アルバイト	4.ゼミ・卒業研究	6.ボランティア	11.資格取得	2.専門科目の履修	1.教養科目の履修	10.インターンシップ	3.専門科目（演習・実験・実習）の履修	7.長期留学体験（1年以上程度）	8.短期留学経験（1ヶ月未満程度）	12.その他	無回答
全体		206	64.6	55.3	47.6	32.0	30.1	24.8	23.8	22.3	20.9	10.2	6.8	11.2	4.4
採用意欲別	積極的に採用したい	141	71.6	63.8	53.2	37.6	32.6	22.7	24.8	26.2	19.9	12.1	7.8	10.6	－
	ある程度採用したい	43	**53.5**	48.8	44.2	**20.9**	30.2	30.2	23.3	16.3	30.2	4.7	4.7	11.6	2.3

※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

2-4. 採用意向別 SQ18-1. 在学時の経験重視（単一回答）

✓ 在学時にもっとも重視する経験として、「積極的に採用したい」は「部活動・サークル」、次いで「アルバイト」であるが、「ある程度採用したい」では、「専門科目（演習・実験・実習）」がトップに挙がっている。

SQ18-1. Q18で回答頂いた中で最も重視する経験を一つお答えください。



n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

		n数	5.部活動・サークル	9.アルバイト	4.ゼミ・卒業研究	11.資格取得	3.専門科目（演習・実験・実習）の履修	1.教養科目の履修	2.専門科目の履修	10.インターンシップ	6.ボランティア	7.長期留学体験（1年以上程度）	8.短期留学経験（1ヶ月未満程度）	12.その他	無回答
全体		206	24.8	17.0	12.1	7.3	6.8	5.8	5.3	2.4	1.9	1.5	–	10.7	4.4
採用意欲別	積極的に採用したい	141	29.1	20.6	11.3	7.1	2.8	7.8	5.0	2.8	0.7	2.1	–	10.6	–
	ある程度採用したい	43	16.3	14.0	16.3	11.6	20.9	2.3	2.3	–	2.3	–	–	11.6	2.3

※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

3.Q5・Q6必要度との相関分析

3-1.Q5必要度と各設問との相関分析

0.2以上 0.3未満	0.3以上 0.4未満	0.4以上

相関係数

【全体】N=206 (ただし各設問無回答は除く)

** 相関係数は１%水準で有意
* 相関係数は5%水準で有意

能力区分			項目名	Q8.卒業生に対する総合的な印象	Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの						Q11.本学卒業生の採用意欲	Q17.選考時インターンシップ重視度
					1.入社の動機が明確である	2.仕事内容と本人の興味が一致している	3.働く事に対し意欲的である	4.当社の事業内容について理解している	5.企業理念に共感できている	6.将来のキャリアに対するビジョンがある		
コンピテンシー	基礎力 対人	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	0.04	0.11	0.08	0.19**	0.2**	0.21**	0.19**	0.12	0.02
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	-0.02	0.15*	0.08	0.22**	0.05	0.22**	0.01	0.03	0.01
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力	-0.13	0.17*	0.18*	0.02	0.16*	0.15*	0.27**	-0.02	-0.05
	基礎力 対自己	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	-0.11	0.23**	0.10	0.14	0.06	0.08	0.16*	0.03	0.01
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	0.07	0.07	0.16*	0.28**	0.03	0.03	0.12	0.12	-0.02
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	0.06	0.12	0.06	0.27**	0.03	0.01	0.19**	0.00	-0.02
	基礎力 対課題	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	-0.11	0.12	0.26**	0.15*	0.15*	0.04	0.26**	-0.02	-0.15
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	-0.02	0.2**	0.17*	0.2**	0.11	0.10	0.24**	-0.05	-0.09
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	0.07	0.05	0.09	0.29**	0.05	0.15*	0.26**	0.04	0.04
授業科目		専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	-0.06	0.11	0.05	-0.01	0.15*	0.04	0.19**	-0.04	0.05
		一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	-0.03	0.12	0.04	0.00	0.19**	0.09	0.24**	-0.02	0.03
		外国語能力	12. 英語を使う能力	-0.11	0.15*	0.13	0.06	0.11	0.12	0.17*	-0.02	-0.16
		外国語能力	13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力	-0.07	0.08	0.06	0.05	0.07	0.12	0.16*	-0.02	-0.21*
		PCスキル	14. PCスキル（ワード、エクセルなど）	-0.27**	0.07	0.04	-0.01	-0.09	-0.03	-0.07	-0.2**	0.03
		データサイエンス能力	15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	-0.23**	0.17*	0.08	0.10	0.04	0.04	0.16*	-0.14	-0.14
リテラシー		情報収集力	16. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	-0.17*	0.10	0.19**	0.10	0.07	0.08	0.2**	-0.06	-0.05
		情報分析力	17. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	-0.14*	0.08	0.12	0.13	0.14*	0.11	0.19**	-0.11	-0.2*
		課題発見力	18. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	-0.05	0.05	0.2**	0.12	0.18*	0.17*	0.26**	-0.03	-0.14
		構想力	19. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	-0.01	0.11	0.19**	0.13	0.12	0.23**	0.22**	0.00	-0.15

Q5・大卒新規採用者に求める能力

3-1.Q5必要度と各設問との相関分析

- ✓ 「Q5.大学新規採用者に求める能力の必要度」と、「Q8.卒業生に対する総合的な印象」、「Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの」、「Q11.本学卒業生の採用意欲」、「Q17.選考時インターンシップ重視度」との相関分析をおこなった。
- ✓ 「14. PCスキル（ワード、エクセルなど）」、「15. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）」と「 Q8.卒業生に対する総合的な印象」との間には、-0.2以下の有意な負の相関関係がみられる。卒業生の印象評価が高い企業ほど、これらスキル・能力の必要度が低い傾向がみられる。
- ✓ 「13. 外国語（英語以外の言語）を使う能力」と「Q17.選考時インターンシップ重視度」との間には、-0.2以下の有意な負の相関関係がみられる。選考時のインターンシップ重視度が高い企業ほど、これらスキル・能力の必要度が低い傾向がみられる。
- ✓ 対課題基礎力領域の能力である、「7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力」、「8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力」、「9. 目標達成に向け、実践行動する能力」と「Q9-6.将来のキャリアに対するビジョンがある」との間には、+0.2以上の有意な正の相関関係がみられる。新卒者に将来のキャリアに対するビジョンを求める企業は、特に対課題基礎力領域の能力の必要度が高い。

3-2.Q6必要度と各設問との相関分析

0.2以上 0.3未満 | 0.3以上 0.4未満 | 0.4以上

相関係数

【全体】N＝206 (ただし各設問無回答は除く)

** 相関係数は１%水準で有意
* 相関係数は5%水準で有意

項目名		Q8.卒業生に対する総合的な印象	Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの						Q11.本学卒業生の採用意欲	Q17.選考時インターンシップ重視度
			1.入社の動機が明確である	2.仕事内容と本人の興味が一致している	3.働く事に対し意欲的である	4.当社の事業内容について理解している	5.企業理念に共感できている	6.将来のキャリアに対するビジョンがある		
Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力	1.人と協力しながらものごとを進める能力	0.04	0.21**	-0.01	0.17*	0.06	0.15*	0.07	0.04	-0.07
	2.グループの中で責任をもって行動する能力	0.10	0.21**	0.06	0.21**	0.10	0.17*	0.10	0.02	0.02
	3.社会や文化の多様性を理解し、尊重する能力	-0.03	0.12	0.13	0.10	0.17*	0.18*	0.10	0.09	-0.03
	4.学び続ける姿勢	0.00	0.14*	0.13	0.18*	0.10	0.2**	0.16*	-0.11	0.03
	5.自分で目標を設定し、計画的に行動する能力	0.07	0.19**	0.13	0.19**	0.14	0.12	0.16*	0.01	0.04
	6.なにごとにも粘り強く取り組む姿勢	0.06	0.12	0.18**	0.21**	0.13	0.03	0.2**	0.12	-0.11
	7.異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる能力	-0.02	0.22**	0.18*	0.14*	0.15*	0.23**	0.22**	-0.13	-0.05
	8.国際的な視野を身に付けている	-0.16*	0.19**	0.19**	0.06	0.09	0.08	0.23**	-0.02	-0.06
	9.外国語でコミュニケーションする能力	-0.10	0.18*	0.17*	0.06	0.12	0.19**	0.23**	0.04	0.00
	10.現状を分析し、問題点や課題を発見する能力	0.01	0.15*	0.26**	0.16*	0.13	0.2**	0.25**	-0.02	-0.04
	11.筋道を立てて論理的に問題を解決する能力	0.04	0.17*	0.3**	0.22**	0.13	0.19**	0.22**	-0.04	-0.14
	12.ものごとを批判的・多面的に考える能力	-0.04	0.25**	0.18*	0.09	0.14	0.19**	0.22**	0.00	-0.14
	13.自分の知識や考えを文章で論理的に書く能力	-0.13	0.24**	0.12	0.12	0.05	0.09	0.24**	-0.13	0.01
	14.図や数表を用いて問題を理解し、表現することができる能力	-0.10	0.24**	0.21**	0.07	0.03	0.11	0.22**	-0.15*	-0.11
	15.必要な情報を収集、整理する能力	-0.04	0.13	0.15*	0.04	0.11	0.10	0.21**	-0.07	-0.10

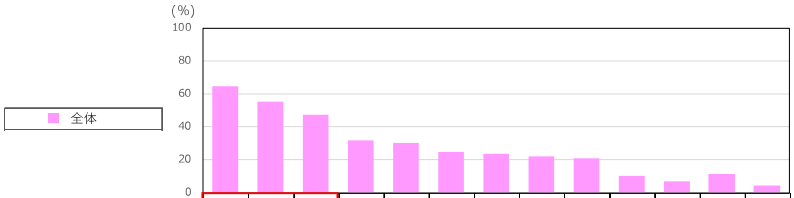
3-2.Q6必要度と各設問との相関分析

- ✓ 「Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力」と、「Q8.卒業生に対する総合的な印象」、「Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの」、「Q11.本学卒業生の採用意欲」、「Q17.選考時インターンシップ重視度」との相関分析をおこなった。
- ✓ 「Q8.卒業生に対する総合的な印象」、「Q11.本学卒業生の採用意欲」、「Q17.選考時インターンシップ重視度」との間に、+0.2以上または-0.2以下の有意な相関関係はみとめられなかった。
- ✓ 「11.筋道を立てて論理的に問題を解決する能力」と「Q9-2.仕事内容と本人の興味が一致している」との間には、+0.3以上の有意な相関関係がみられる。新卒者に仕事内容と本人の興味の一致を求める企業は、これら能力の必要度が高い。
- ✓ 「Q9-6.将来のキャリアに対するビジョンがある」とQ6-7以降Q6-15までのすべての能力との間には、+0.2以上の有意な正の相関関係がみられる。新卒者に将来のキャリアに対するビジョンを求める企業は、これらの能力の必要度が高い。

参考：採用時に重視される経験と大学時代の取り組み姿勢・熱心度

- ✓ 大卒新規採用者を評価する場合に、企業が重視する在学時の経験TOP３は、「部活動・サークル」、「アルバイト」、「ゼミ・卒業研究」である。
- ✓ 卒業生アンケート調査結果報告書によると、上記TOP3項目である「部・サークル活動」、「アルバイト」、「卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ」の熱心度において、貴学は13大学をいずれも上回っている。

Q18.大卒新規採用者を評価する場合、在学時のどの経験を重視しますか。（複数回答）



	n数	5.部活動・サークル	9.アルバイト	4.ゼミ・卒業研究	6.ボランティア	11.資格取得	2.専門科目の履修	1.教養科目の履修	10.インターンシップ	3.専門科目（演習・実験・実習）の履修	7.長期留学体験（1年以上程度）	8.短期留学経験（1ヶ月未満程度）	12.その他	無回答
全体	206	64.6	55.3	47.6	32.0	30.1	24.8	23.8	22.3	20.9	10.2	6.8	11.2	4.4

■ 大学時代の取り組み姿勢・熱心度

上位2項目
下位2項目

平均値	貴学全体 N=319	13大学全体 N=1548	13大学全体と貴学全体との差
1. 専門科目の講義	3.68	3.73	-0.05
2. 教養科目の講義	3.45	3.43	0.02
3. 外国語の学習	2.81	3.19	-0.38
4. 卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ	3.66	3.50	0.16
5. 部・サークル活動	2.68	2.40	0.28
6. アルバイト	3.69	3.41	0.28
7. 就職活動（国家試験のための勉強を含む）	3.30	3.40	-0.10

※佛教大学卒業生アンケート調査結果報告書（2022年度）より

まとめ

まとめ

- **19項目の能力・スキルの必要度（大卒新規採用者に求める度合い）TOP３（企業全体）**
  - 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
  - 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
  - 5．前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）

- **19項目の能力・スキルの企業の必要度と卒業生の修得度との比較**

企業のニーズと卒業生の能力にギャップがある項目：全体

企業の必要度が卒業生の修得度を上回る項目TOP2
  - 5．前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）
  - 6．主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）

卒業生の修得度が企業の必要度を0.1以上上回る項目
  - 10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能（授業科目：専門知識）
  - 11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能（授業科目：一般教養）
  - 12．英語を使う能力

企業のニーズと卒業生の能力にギャップがある項目： 教育・公務と教育学部（*教育・公務はN数が少ないため、あくまで参考値にとどめる）

企業の必要度が卒業生の修得度を上回る項目TOP2
  - 5．前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）
  - 6．主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）

卒業生の修得度が企業の必要度を0.1以上上回る項目
  - 10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能（授業科目：専門知識）

まとめ

- **19項目の能力・スキルの企業の必要度と卒業生の修得度との比較**

企業のニーズと卒業生の能力にギャップがある項目：医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部

企業の必要度が卒業生の修得度を上回る項目TOP2
  - 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
  - 6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（対自己基礎力：行動持続力）

卒業生の修得度が企業の必要度を0.1以上上回る項目
  - 12．英語を使う能力（授業科目：外国語能力）

- **19項目の能力・スキルの企業の必要度と卒業生の修得度　ポートフォリオ分析**

【全体】

強みの項目
  - 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
  - 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
  - 7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
  - 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

課題領域の項目
  - 4．ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（対自己基礎力：感情制御力）

まとめ

- **19項目の能力・スキルの企業の必要度と卒業生の修得度　ポートフォリオ分析**

【教育・公務と教育学部】（*教育・公務はN数が少ないため、あくまで参考値にとどめる）

強みの項目

- 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- 3．場を読み、組織を動かす能力（対人基礎力：統率力）
- 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

課題領域の項目

- 16．課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力（リテラシー：情報収集力）
- 17．収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力（リテラシー：情報分析力）
- 18．現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（リテラシー：課題発見力）

【医療・福祉と社会福祉学部・保健医療技術学部】

強みの項目

- 1．他者との豊かな関係を築く能力（対人基礎力：親和力）
- 2．目標に向けて協力的に仕事を進める能力（対人基礎力：協働力）
- 5．前向きな考え方、やる気を維持する能力（対自己基礎力：自信創出力）
- 7．様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（対課題基礎力：課題発見力）
- 8．課題解決のための適切な計画を立てる能力（対課題基礎力：計画立案力）
- 9．目標達成に向け、実践行動する能力（対課題基礎力：実践力）

課題領域の項目

- 19．さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力（リテラシー：構想力）

まとめ

- **採用意欲別分析**

卒業生の採用意欲（全体）

- 積極的に採用したい⇒約７割
- ある程度採用したい⇒約２割

「積極的に採用したい」グループと「ある程度採用したい」グループとの比較

【カリキュラムと科目に対する期待や要望】

- 「ある程度採用したい」は**「課題解決型教育の推進」**と**「医療・健康に関する知識の醸成」**への期待・要望が高い。
  →企業の採用意欲をさらに高めるために重視すべき科目・カリキュラム

【在学中の経験重視】

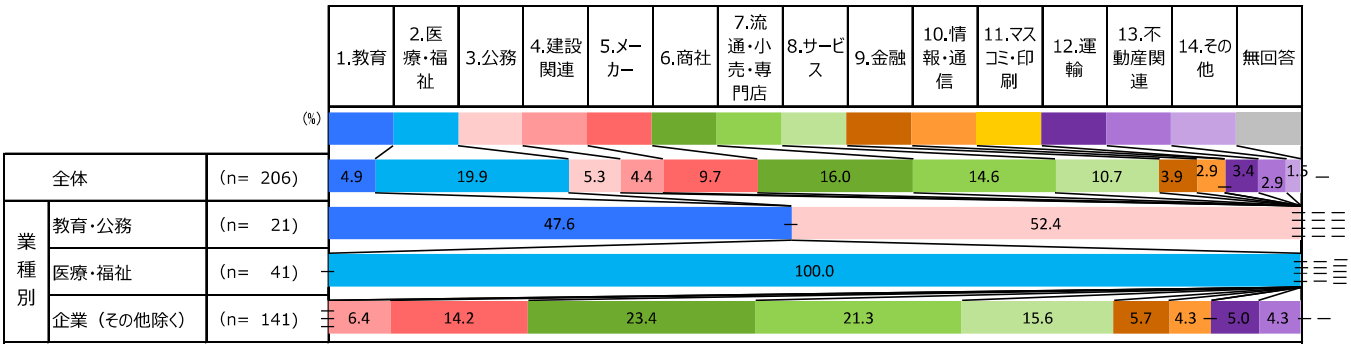
- 在学時にもっとも重視する経験として、「積極的に採用したい」は「部活動・サークル」、次いで「アルバイト」であるが、「ある程度採用したい」では、**「専門科目（演習・実験・実習）」**がトップに挙がっている。
  →企業の採用意欲をさらに高めるために重視すべき経験

- **Q5．19項目の能力・スキルの必要度、Q6．15項目の社会人基礎力の必要度との相関分析**
- 卒業生の印象評価が高い企業ほど、これらスキル・能力の必要度が低い
  - 14．PCスキル（ワード、エクセルなど）
  - 15．数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）
- 選考時のインターンシップ重視度が高い企業ほど、これらスキル・能力の必要度が低い
  - 13．外国語（英語以外の言語）を使う能力

巻末付録①：アンケート集計（業種別）

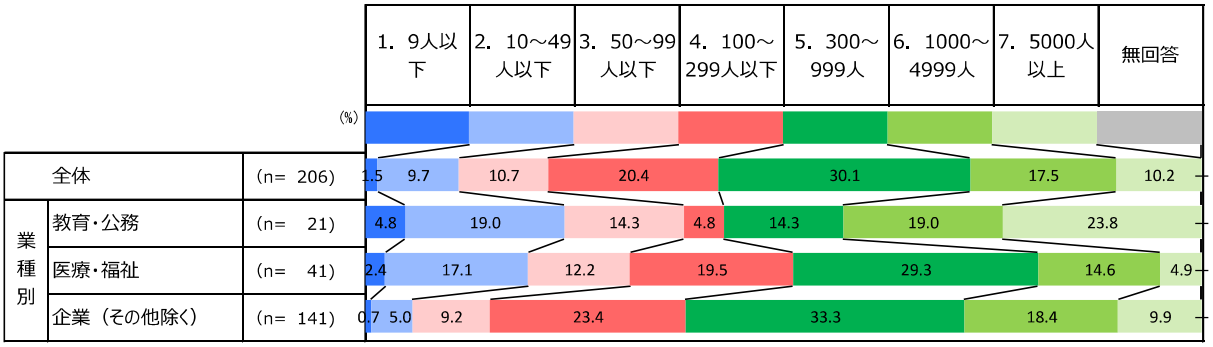
アンケート集計

Q2.業種（全体／単一回答）



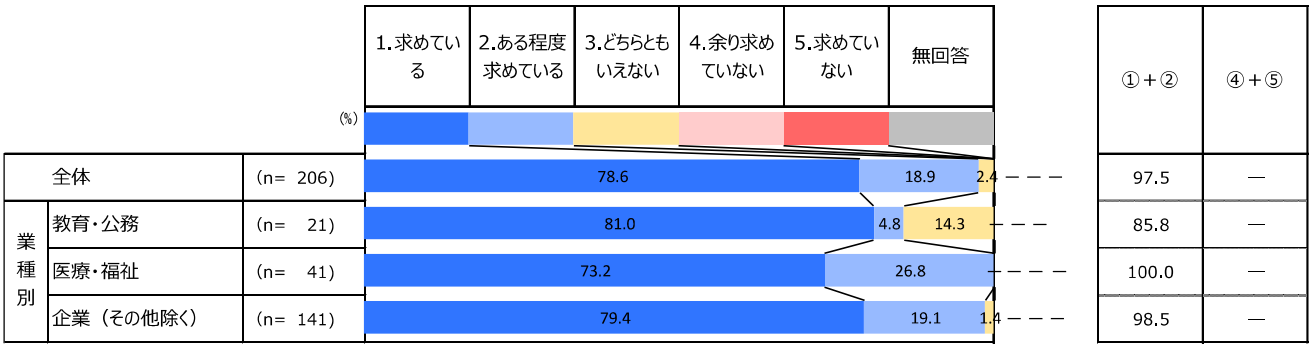
※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

Q4.従業員規模（全体／単一回答）



※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

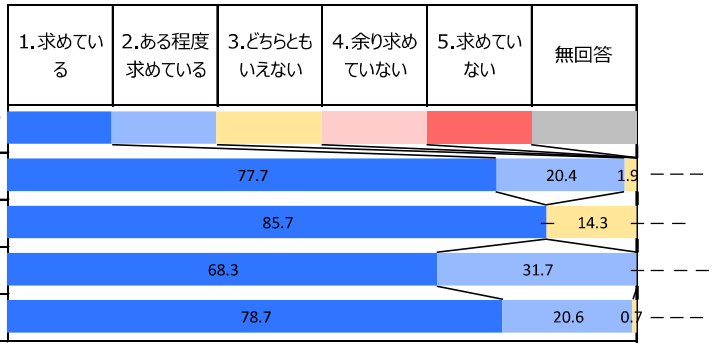
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
1.他者との豊かな関係を築く能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	97.5	—
業種別	教育・公務	(n= 21)	85.8	—
	医療・福祉	(n= 41)	100.0	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	98.5	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

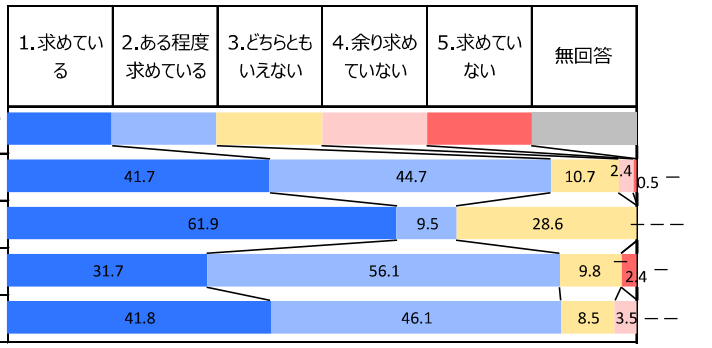
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
2.目標に向けて協力的に仕事を進める能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	98.1	—
業種別	教育・公務	(n= 21)	85.7	—
	医療・福祉	(n= 41)	100.0	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	99.3	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

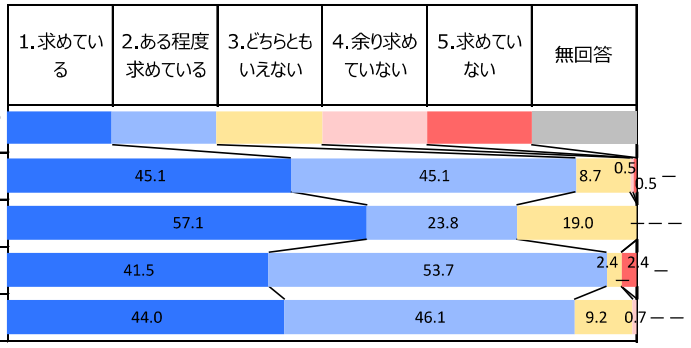
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
3.場を読み、組織を動かす能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	86.4	2.9
業種別	教育・公務	(n= 21)	71.4	—
	医療・福祉	(n= 41)	87.8	2.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	87.9	3.5

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

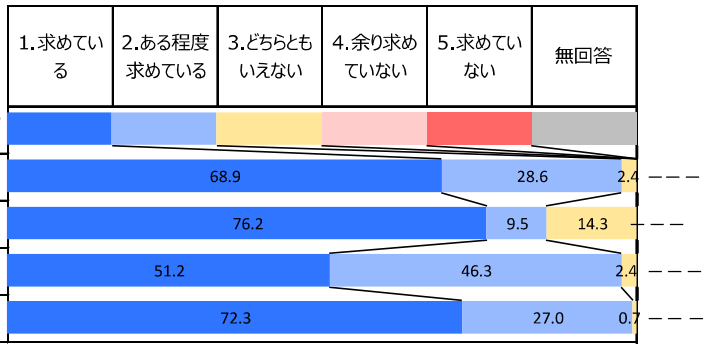
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
4.ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	90.2	1.0
業種別	教育・公務	(n= 21)	80.9	—
	医療・福祉	(n= 41)	95.2	2.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	90.1	0.7

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

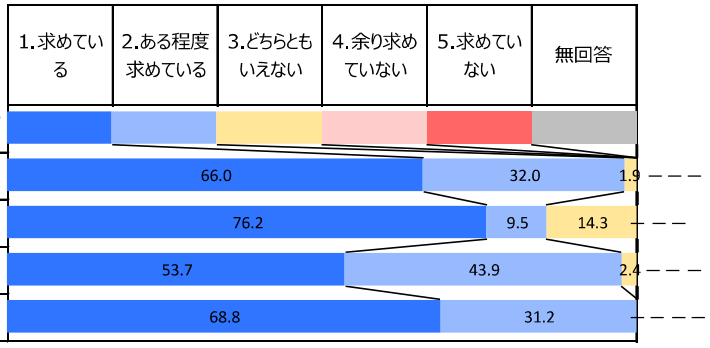
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
5.前向きな考え方、やる気を維持する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	97.5	—
業種別	教育・公務	(n= 21)	85.7	—
	医療・福祉	(n= 41)	97.5	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	99.3	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

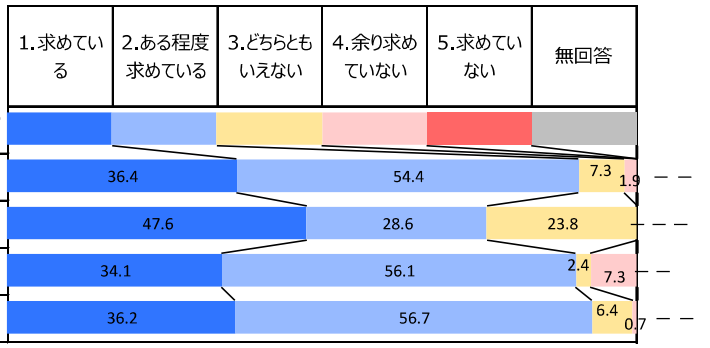
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	98.0	—
業種別	教育・公務	(n= 21)	85.7	—
	医療・福祉	(n= 41)	97.6	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	100.0	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

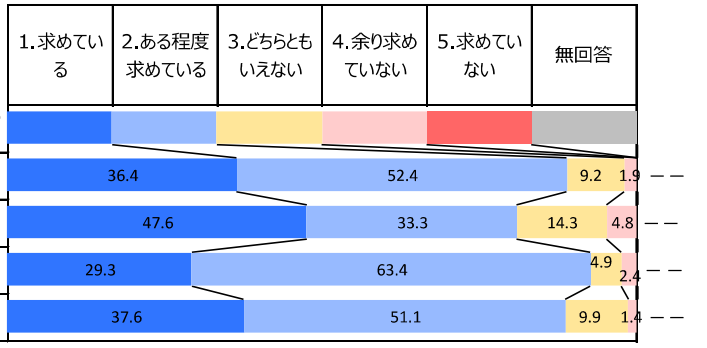
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
7.様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	90.8	1.9
業種別	教育・公務	(n= 21)	76.2	—
	医療・福祉	(n= 41)	90.2	7.3
	企業（その他除く）	(n= 141)	92.9	0.7

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

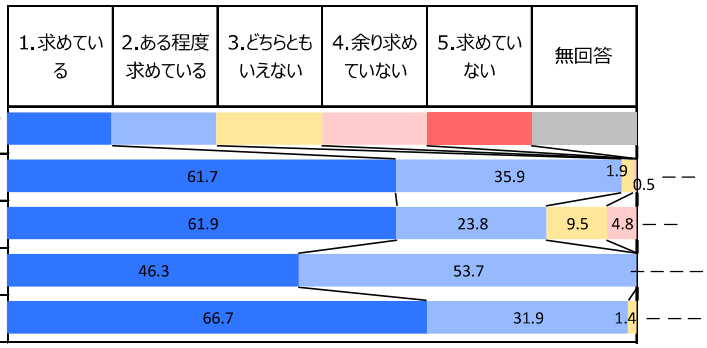
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
8.課題解決のための適切な計画を立てる能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	88.8	1.9
業種別	教育・公務	(n= 21)	80.9	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	92.7	2.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	88.7	1.4

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

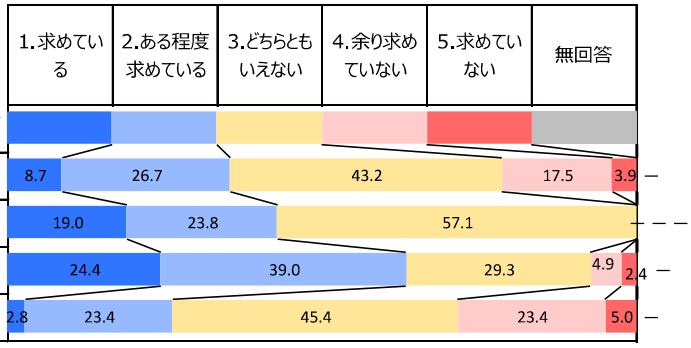
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
9.目標達成に向け、実践行動する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	97.6	0.5
業種別	教育・公務	(n= 21)	85.7	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	100.0	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	98.6	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

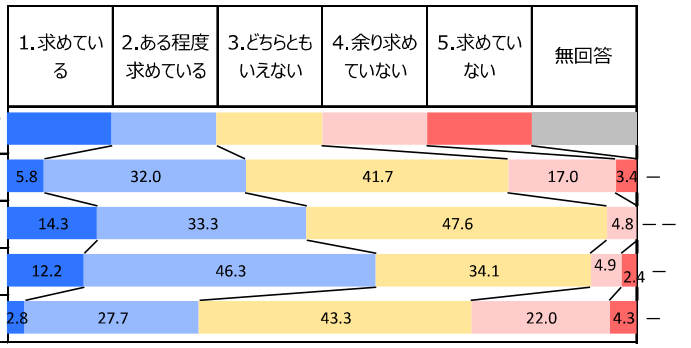
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
10.大学の専門科目で学んだ知識・技能（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	35.4	21.4
業種別	教育・公務	(n= 21)	42.8	—
	医療・福祉	(n= 41)	63.4	7.3
	企業（その他除く）	(n= 141)	26.2	28.4

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

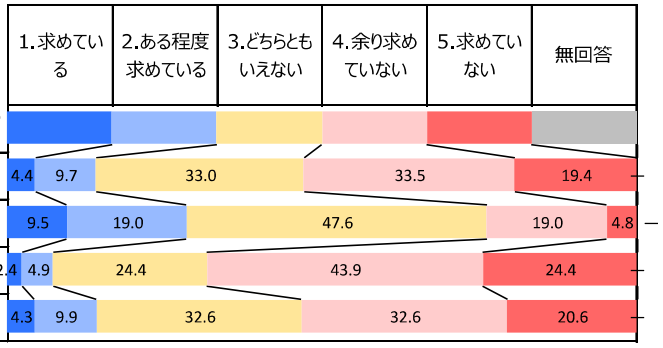
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
11.大学の教養科目で学んだ知識・技能（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	37.8	20.4
業種別	教育・公務	(n= 21)	47.6	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	58.5	7.3
	企業（その他除く）	(n= 141)	30.5	26.3

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

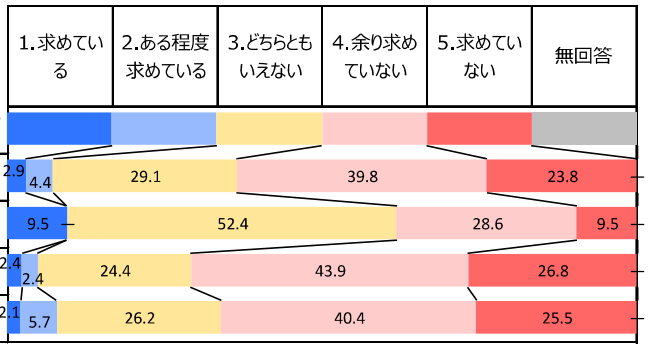
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
12.英語を使う能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	14.1	52.9
業種別	教育・公務	(n= 21)	28.5	23.8
	医療・福祉	(n= 41)	7.3	68.3
	企業（その他除く）	(n= 141)	14.2	53.2

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
13.外国語（英語以外の言語）を使う能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	7.3	63.6
業種別	教育・公務	(n= 21)	9.5	38.1
	医療・福祉	(n= 41)	4.8	70.7
	企業（その他除く）	(n= 141)	7.8	65.9

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
14.PCスキル（ワード、エクセルなど）（全体／単一回答）

			1.求めている	2.ある程度求めている	3.どちらともいえない	4.余り求めていない	5.求めていない	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 206)	15.0	53.4	21.4	8.7	1.5	—	68.4	10.2
業種別	教育・公務	(n= 21)	23.8	52.4	19.0	4.8	—	—	76.2	4.8
業種別	医療・福祉	(n= 41)	24.4	41.5	22.0	9.8	2.4	—	65.9	12.2
業種別	企業（その他除く）	(n= 141)	10.6	57.4	22.0	9.2	0.7	—	68.0	9.9

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

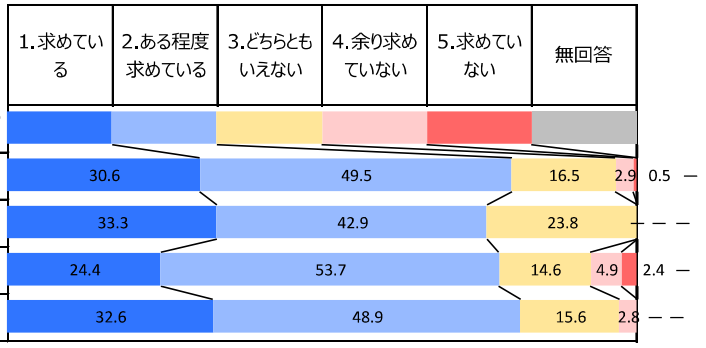
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
15.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンスなど）（全体／単一回答）

			1.求めている	2.ある程度求めている	3.どちらともいえない	4.余り求めていない	5.求めていない	無回答	①＋②	④＋⑤
	全体	(n= 206)	7.3	35.0	33.5	19.4	4.9	—	42.3	24.3
業種別	教育・公務	(n= 21)	19.0	33.3	38.1	9.5	—	—	52.3	9.5
業種別	医療・福祉	(n= 41)	7.3	29.3	24.4	29.3	9.8	—	36.6	39.1
業種別	企業（その他除く）	(n= 141)	5.7	36.9	35.5	17.7	4.3	—	42.6	22.0

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

【Q5.大卒新規採用者に求める能力】

16.課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力（全体／単一回答）



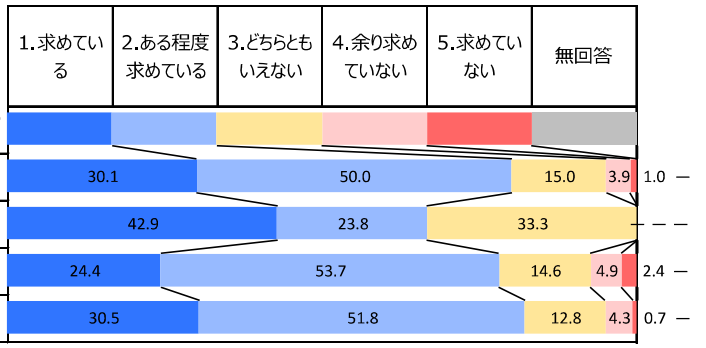
			1.求めている	2.ある程度求めている	3.どちらともいえない	4.余り求めていない	5.求めていない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	30.6	49.5	16.5	2.9	0.5	—	80.1	3.4
業種別	教育・公務	(n= 21)	33.3	42.9	23.8	—	—	—	76.2	—
	医療・福祉	(n= 41)	24.4	53.7	14.6	4.9	2.4	—	78.1	7.3
	企業（その他除く）	(n= 141)	32.6	48.9	15.6	2.8	—	—	81.5	2.8

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

アンケート集計

【Q5.大卒新規採用者に求める能力】

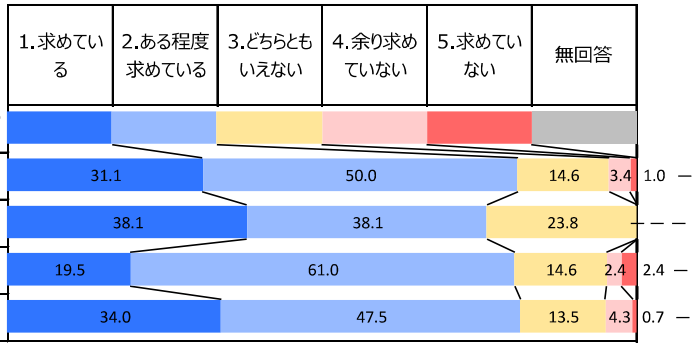
17.収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力整理する能力（全体／単一回答）



			1.求めている	2.ある程度求めている	3.どちらともいえない	4.余り求めていない	5.求めていない	無回答	①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	30.1	50.0	15.0	3.9	1.0	—	80.1	4.9
業種別	教育・公務	(n= 21)	42.9	23.8	33.3	—	—	—	66.7	—
	医療・福祉	(n= 41)	24.4	53.7	14.6	4.9	2.4	—	78.1	7.3
	企業（その他除く）	(n= 141)	30.5	51.8	12.8	4.3	0.7	—	82.3	5.0

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

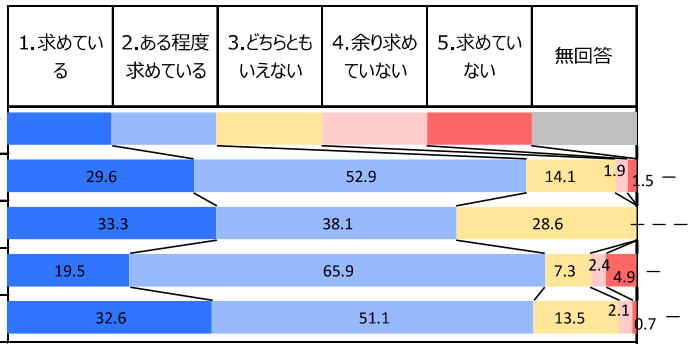
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
18.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	81.1	4.4
業種別	教育・公務	(n= 21)	76.2	—
	医療・福祉	(n= 41)	80.5	4.8
	企業（その他除く）	(n= 141)	81.5	5.0

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

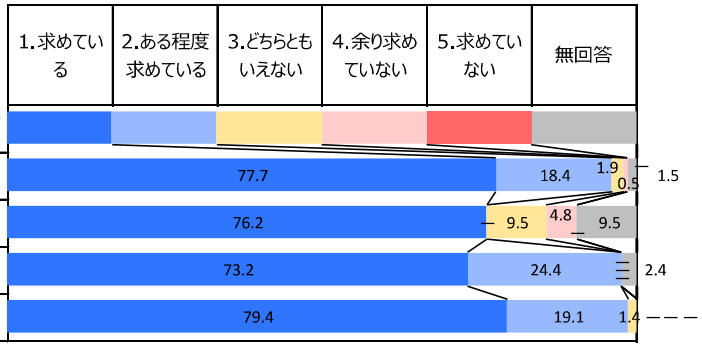
【Q5.大卒新規採用者に求める能力】
19.さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	82.5	3.4
業種別	教育・公務	(n= 21)	71.4	—
	医療・福祉	(n= 41)	85.4	7.3
	企業（その他除く）	(n= 141)	83.7	2.8

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

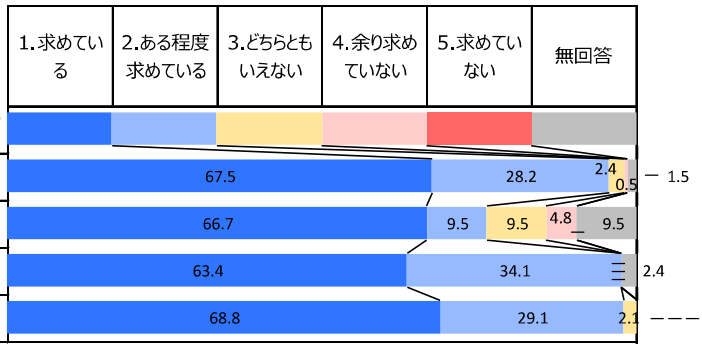
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
1.人と協力しながらものごとを進める能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	96.1	0.5
業種別	教育・公務	(n= 21)	76.2	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	97.6	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	98.5	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

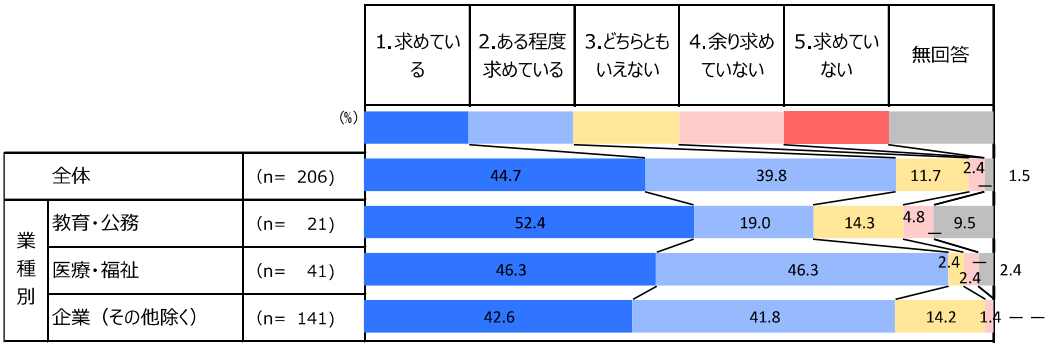
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
2.グループの中で責任をもって行動する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	95.7	0.5
業種別	教育・公務	(n= 21)	76.2	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	97.5	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	97.9	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

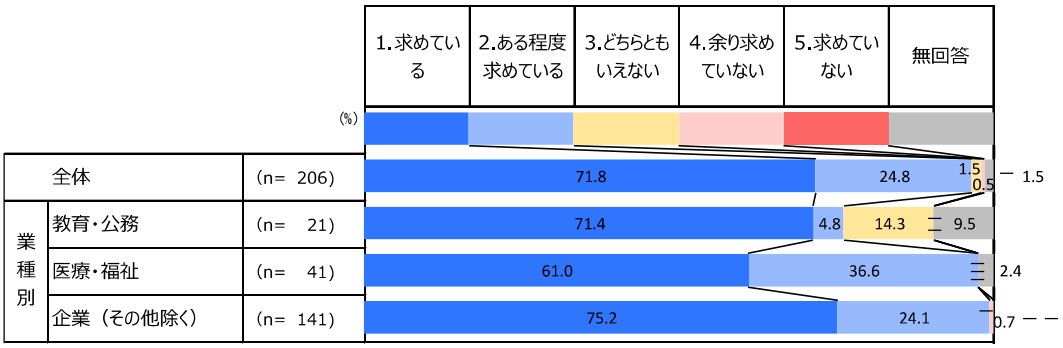
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
3.社会や文化の多様性を理解し、尊重する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	84.5	2.4
業種別	教育・公務	(n= 21)	71.4	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	92.6	2.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	84.4	1.4

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

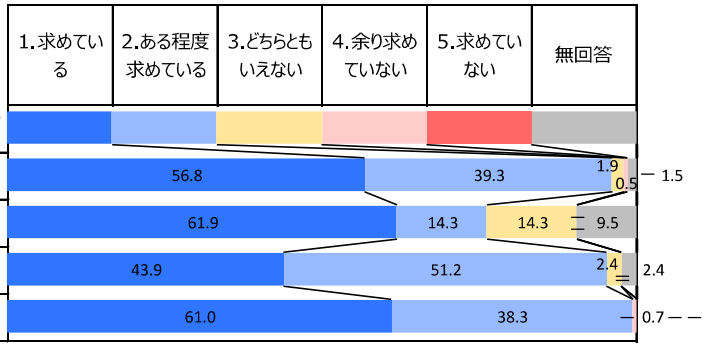
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
4.学び続ける姿勢（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	96.6	0.5
業種別	教育・公務	(n= 21)	76.2	—
	医療・福祉	(n= 41)	97.6	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	99.3	0.7

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

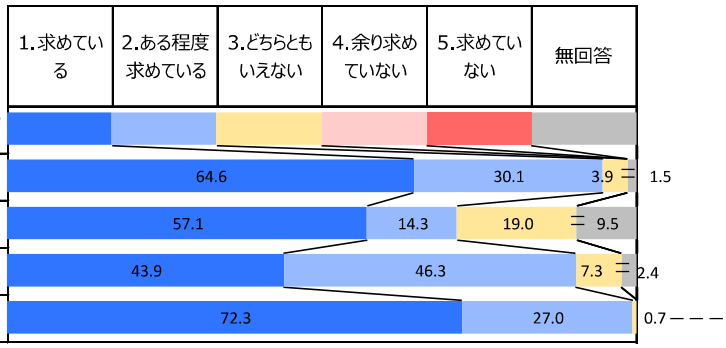
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
5.自分で目標を設定し、計画的に行動する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	96.1	0.5
業種別	教育・公務	(n= 21)	76.2	—
	医療・福祉	(n= 41)	95.1	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	99.3	0.7

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

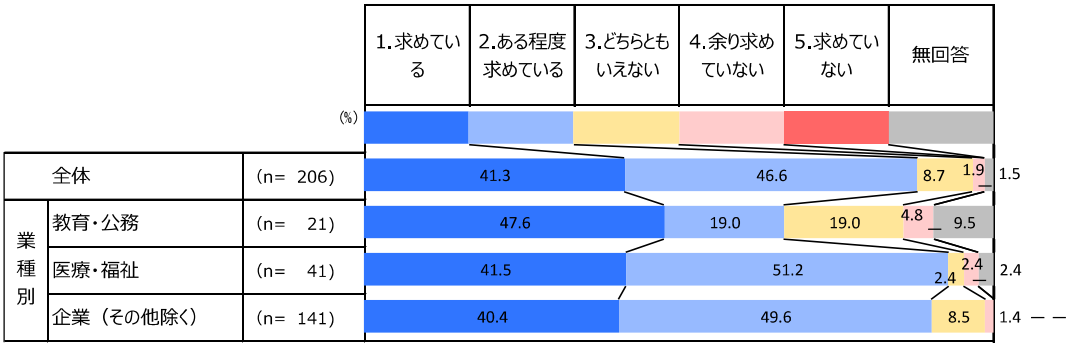
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
6.なにごとにも粘り強く取り組む姿勢（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	94.7	—
業種別	教育・公務	(n= 21)	71.4	—
	医療・福祉	(n= 41)	90.2	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	99.3	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
7.異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる能力（全体／単一回答）

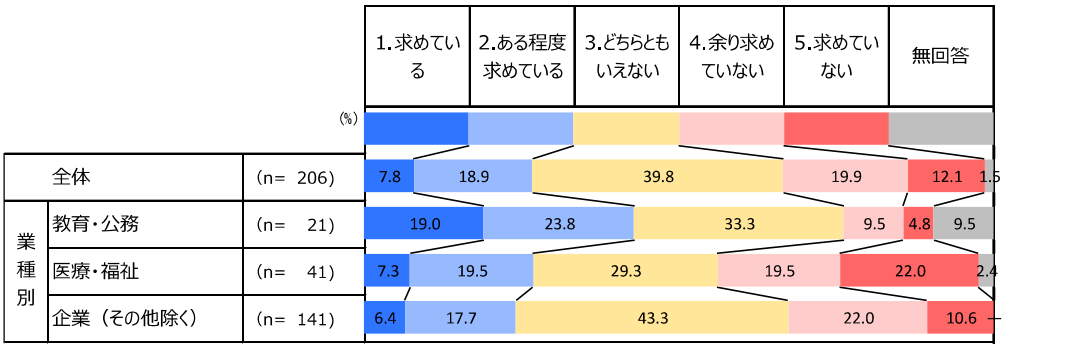


			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	87.9	1.9
業種別	教育・公務	(n= 21)	66.6	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	92.7	2.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	90.0	1.4

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

アンケート集計

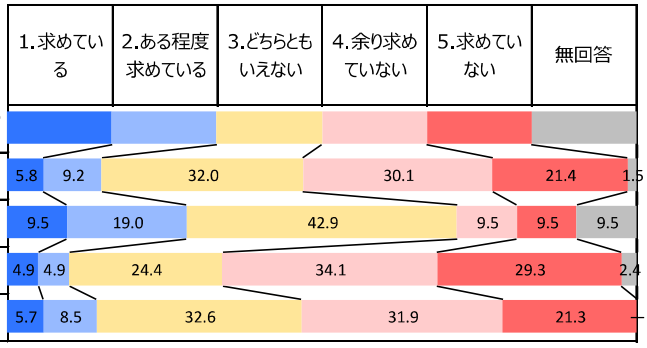
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
8.国際的な視野を身に付けている（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	26.7	32.0
業種別	教育・公務	(n= 21)	42.8	14.3
	医療・福祉	(n= 41)	26.8	41.5
	企業（その他除く）	(n= 141)	24.1	32.6

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

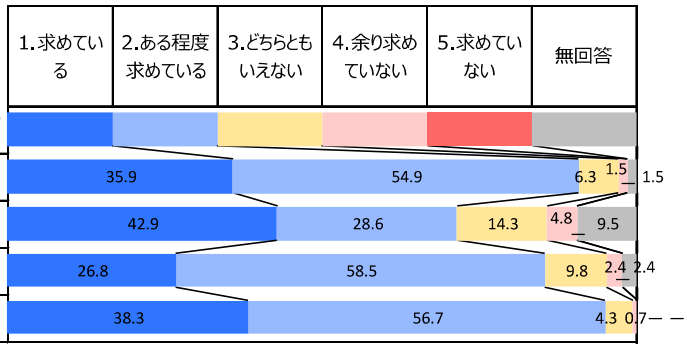
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
9.外国語でコミュニケーションする能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	15.0	51.5
業種別	教育・公務	(n= 21)	28.5	19.0
	医療・福祉	(n= 41)	9.8	63.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	14.2	53.2

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

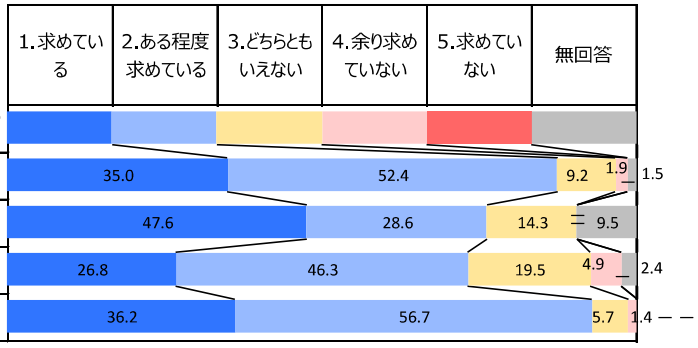
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
10.現状を分析し、問題点や課題を発見する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	90.8	1.5
業種別	教育・公務	(n= 21)	71.5	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	85.3	2.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	95.0	0.7

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

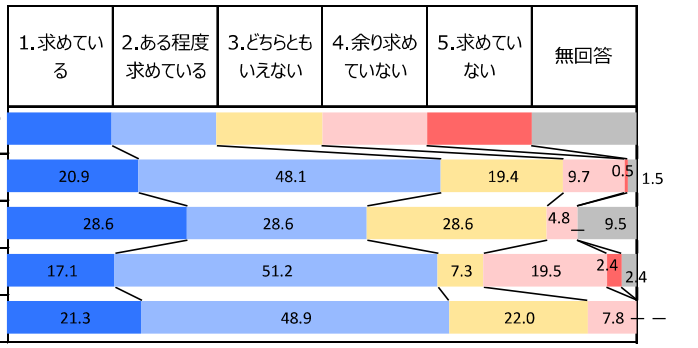
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
11.筋道を立てて論理的に問題を解決する能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	87.4	1.9
業種別	教育・公務	(n= 21)	76.2	—
	医療・福祉	(n= 41)	73.1	4.9
	企業（その他除く）	(n= 141)	92.9	1.4

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

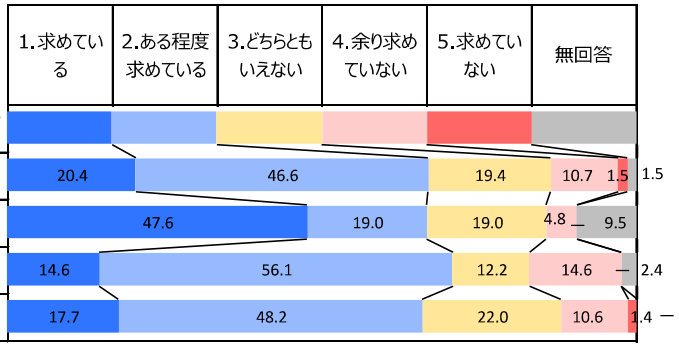
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
12.ものごとを批判的・多面的に考える能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	69.0	10.2
業種別	教育・公務	(n= 21)	57.2	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	68.3	21.9
	企業（その他除く）	(n= 141)	70.2	7.8

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

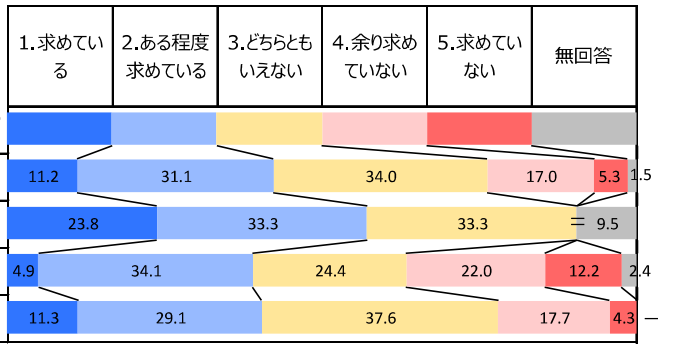
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
13.自分の知識や考えを文章で論理的に書く能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	67.0	12.2
業種別	教育・公務	(n= 21)	66.6	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	70.7	14.6
	企業（その他除く）	(n= 141)	65.9	12.0

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

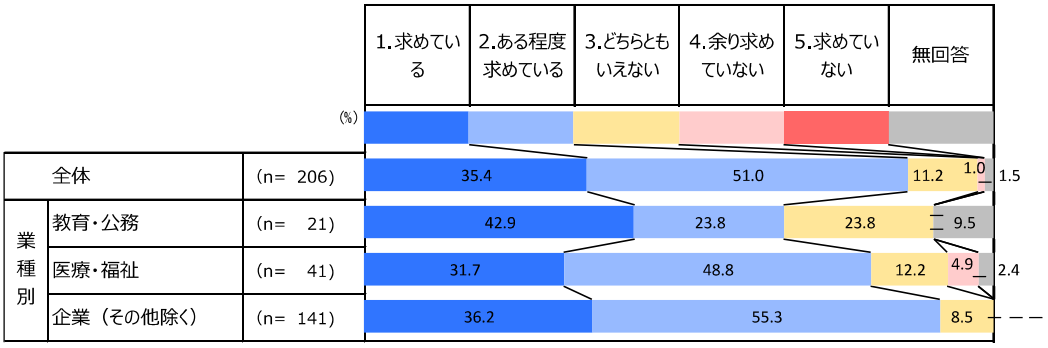
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
14.図や数表を用いて問題を理解し、表現することができる能力（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	42.3	22.3
業種別	教育・公務	(n= 21)	57.1	—
	医療・福祉	(n= 41)	39.0	34.2
	企業（その他除く）	(n= 141)	40.4	22.0

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

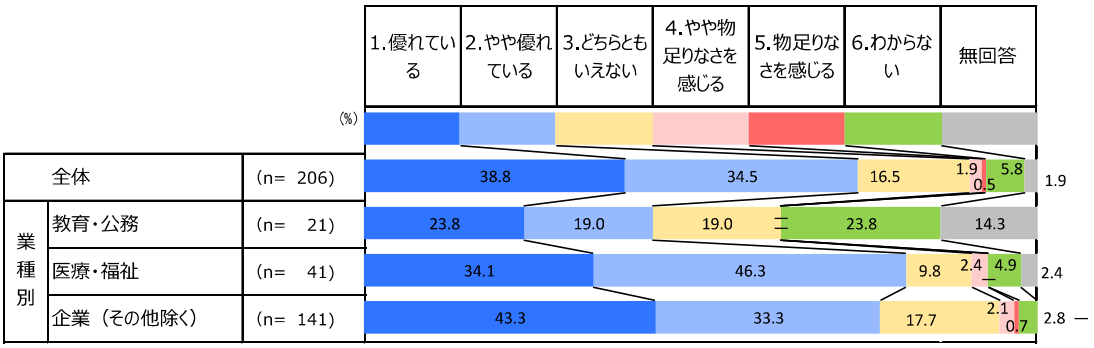
【Q6.大卒新規採用者に求める社会人基礎力】
15.必要な情報を収集、整理する能力（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 206)	86.4	1.0
業種別 教育・公務	(n= 21)	66.7	—
業種別 医療・福祉	(n= 41)	80.5	4.9
業種別 企業（その他除く）	(n= 141)	91.5	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

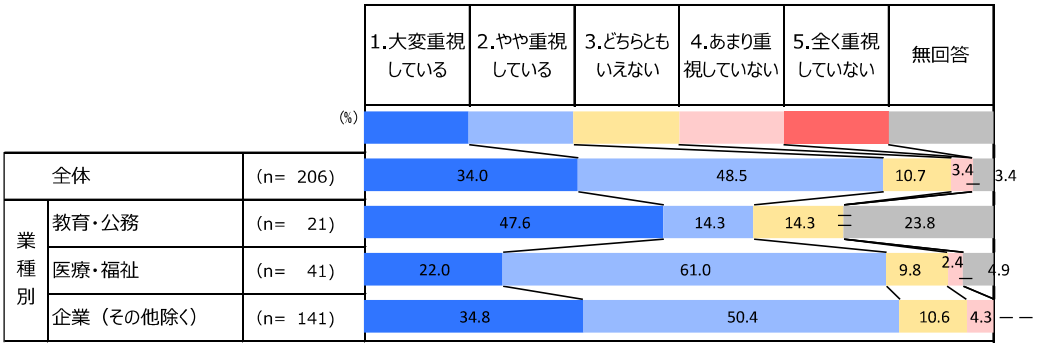
Q8.本学の卒業生に対する総合的な印象についてお伺いします。（全体／単一回答）



		①＋②	④＋⑤
全体	(n= 206)	73.3	2.4
業種別 教育・公務	(n= 21)	42.8	—
業種別 医療・福祉	(n= 41)	80.4	2.4
業種別 企業（その他除く）	(n= 141)	76.6	2.8

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

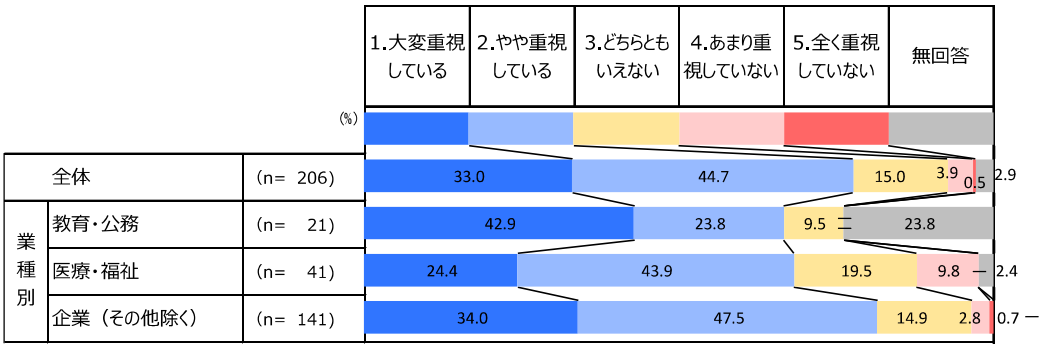
【Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの】
1.入社の動機が明確である（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	82.5	3.4
業種別	教育・公務	(n= 21)	61.9	—
	医療・福祉	(n= 41)	83.0	2.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	85.2	4.3

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

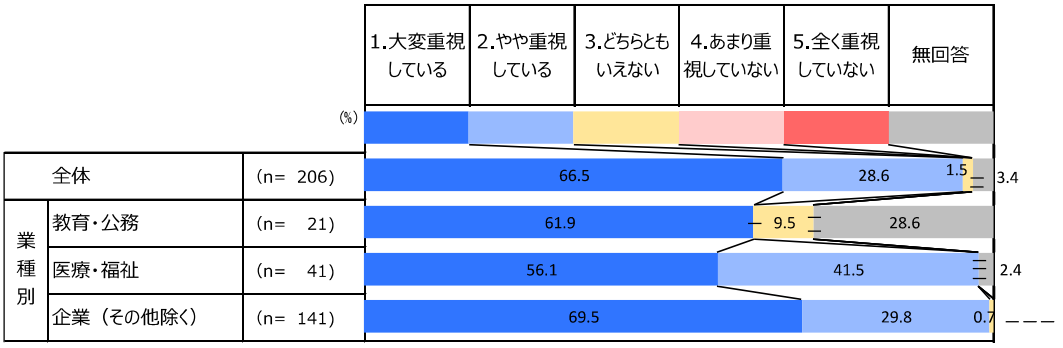
【Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの】
2.仕事内容と本人の興味が一致している（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	77.7	4.4
業種別	教育・公務	(n= 21)	66.7	—
	医療・福祉	(n= 41)	68.3	9.8
	企業（その他除く）	(n= 141)	81.5	3.5

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

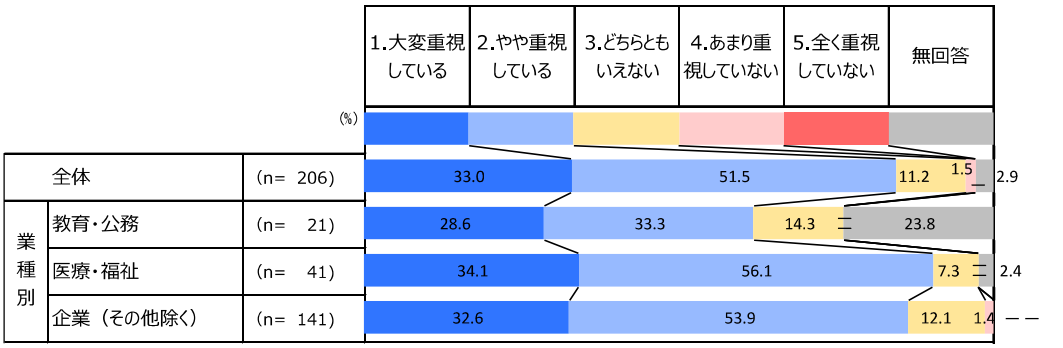
【Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの】
3.働く事に対し意欲的である（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	95.1	—
業種別	教育・公務	(n= 21)	61.9	—
	医療・福祉	(n= 41)	97.6	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	99.3	—

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

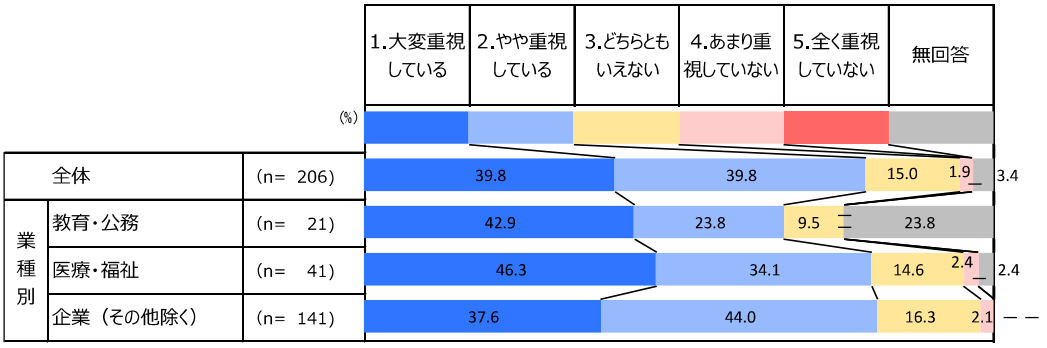
【Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの】
4.当社の事業内容について理解している（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	84.5	1.5
業種別	教育・公務	(n= 21)	61.9	—
	医療・福祉	(n= 41)	90.2	—
	企業（その他除く）	(n= 141)	86.5	1.4

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

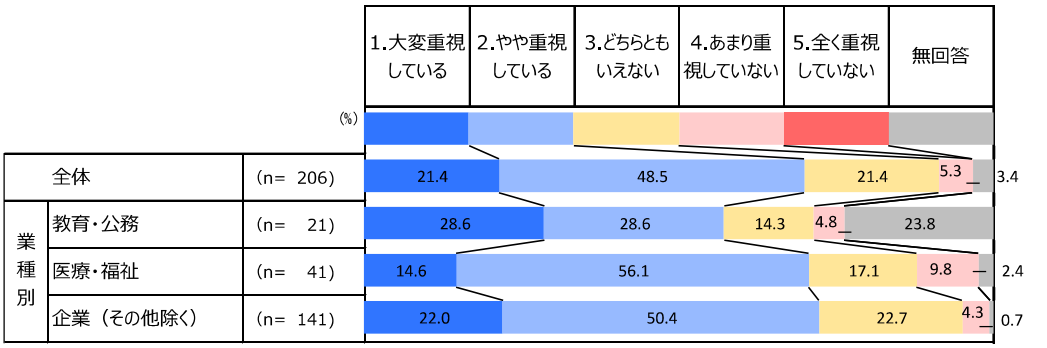
【Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの】
5.企業理念に共感できている（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	79.6	1.9
業種別	教育・公務	(n= 21)	66.7	—
	医療・福祉	(n= 41)	80.4	2.4
	企業（その他除く）	(n= 141)	81.6	2.1

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

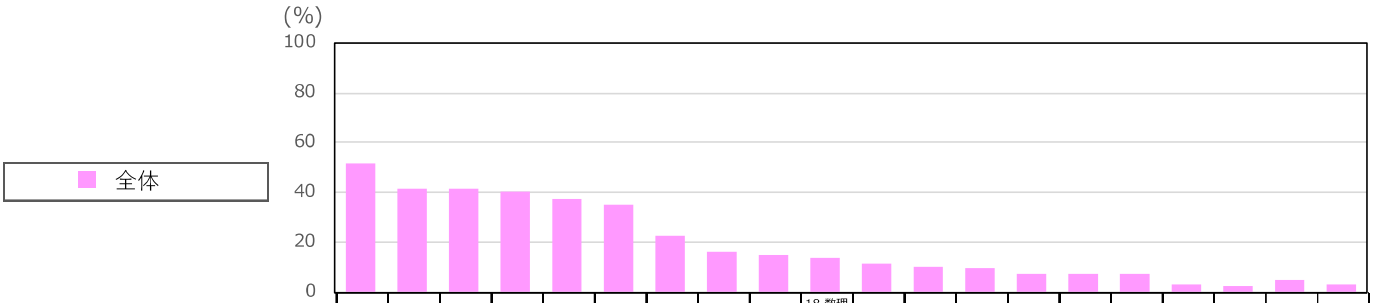
【Q9.大卒新卒者に求める就業観で重視するもの】
6.将来のキャリアに対するビジョンがある（全体／単一回答）



			①＋②	④＋⑤
全体		(n= 206)	69.9	5.3
業種別	教育・公務	(n= 21)	57.2	4.8
	医療・福祉	(n= 41)	70.7	9.8
	企業（その他除く）	(n= 141)	72.4	4.3

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

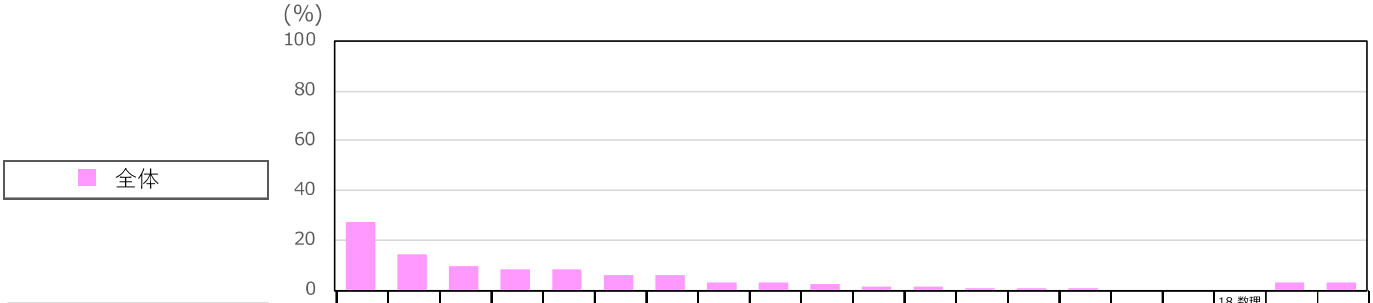
Q10.本学のカリキュラムと科目に対して、貴社が期待していること、要望したいこと等はどのようなものですか。（複数回答）



		n数	12.課題解決型教育の推進	6.幅広い教養教育	13.基礎（的）学力の育成	4.討議・討論・プレゼンテーション力の養成	17.PCスキル（ワード、エクセルなど）	15.規範・規律教育	5.企業と連携して課題を解決する授業(PBL)の推進	11.フィールドワーク授業の推進	9.医療・健康に関する知識の醸成	18.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンスなど）	10.企業経営に関する知識の醸成	14.双方向型授業の推進	7.高度な専門知識の教育	2.英語でのビジネス対応力	8.国内外のインターンシップ	16.次世代産業等に関する最新知識	1.諸外国の異文化教育	3.英語以外の語学教育	19.その他	無回答
全体		206	51.9	41.7	41.3	40.3	37.4	35.0	22.8	16.0	15.0	13.6	11.7	10.2	9.7	7.3	7.3	7.3	3.4	2.4	4.9	3.4
業種別	教育・公務	21	42.9	42.9	38.1	42.9	47.6	33.3	9.5	14.3	－	14.3	4.8	23.8	9.5	4.8	－	4.8	－	9.5	14.3	23.8
	医療・福祉	41	48.8	53.7	41.5	39.0	31.7	26.8	14.6	19.5	58.5	12.2	7.3	9.8	26.8	－	－	2.4	－	－	9.8	2.4
	企業（その他除く）	141	53.9	36.9	41.1	40.4	37.6	36.9	27.0	15.6	5.0	14.2	14.2	7.8	4.3	9.9	9.9	9.2	5.0	2.1	1.4	0.7

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示
※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

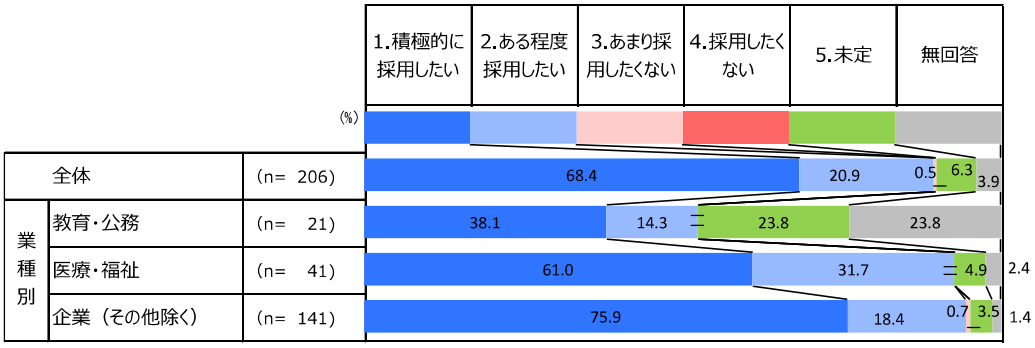
Q10-SQ1. Q10で回答頂いた中で最も期待する事を一つお答えください。



		n数	12.課題解決型教育の推進	6.幅広い教養教育	13.基礎（的）学力の育成	4.討議・討論・プレゼンテーション力の養成	15.規範・規律教育	5.企業と連携して課題を解決する授業(PBL)の推進	9.医療・健康に関する知識の醸成	11.フィールドワーク授業の推進	17.PCスキル（ワード、エクセルなど）	14.双方向型授業の推進	2.英語でのビジネス対応力	7.高度な専門知識の教育	10.企業経営に関する知識の醸成	1.諸外国の異文化教育	16.次世代産業等に関する最新知識	3.英語以外の語学教育	8.国内外のインターンシップ	18.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンスなど）	19.その他	無回答
全体		206	27.2	14.6	9.7	8.3	8.3	6.3	6.3	2.9	2.9	2.4	1.5	1.5	1.0	0.5	0.5	－	－	－	2.9	3.4
業種別	教育・公務	21	23.8	23.8	－	－	9.5	－	－	－	－	9.5	－	－	－	－	－	－	－	－	9.5	23.8
	医療・福祉	41	17.1	14.6	4.9	7.3	7.3	－	26.8	7.3	－	2.4	－	4.9	－	－	－	－	－	－	4.9	2.4
	企業（その他除く）	141	31.2	12.8	12.8	9.9	8.5	9.2	1.4	2.1	4.3	0.7	2.1	0.7	1.4	0.7	0.7	－	－	－	0.7	0.7

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示
※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

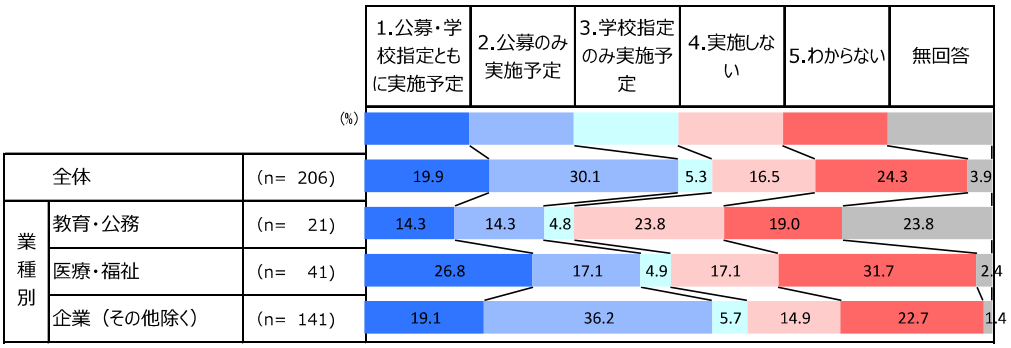
Q11.本学卒業生の採用意欲について、当てはまるものをひとつお選びください。（全体／単一回答）



		①＋②	③＋④
全体	(n= 206)	89.3	0.5
業種別 教育・公務	(n= 21)	52.4	—
業種別 医療・福祉	(n= 41)	92.7	—
業種別 企業（その他除く）	(n= 141)	94.3	0.7

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

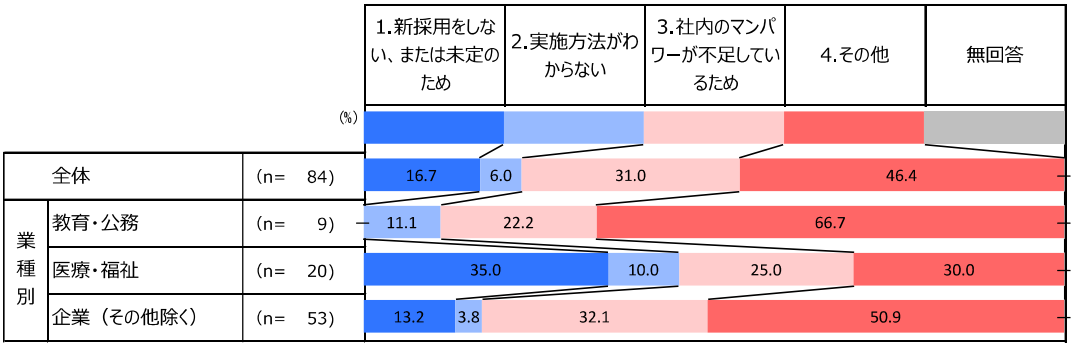
Q12.インターンシップ実施について、当てはまるものをご回答ください（全体／単一回答）



		①＋②＋③
全体	(n= 206)	55.3
業種別 教育・公務	(n= 21)	33.4
業種別 医療・福祉	(n= 41)	48.8
業種別 企業（その他除く）	(n= 141)	61.0

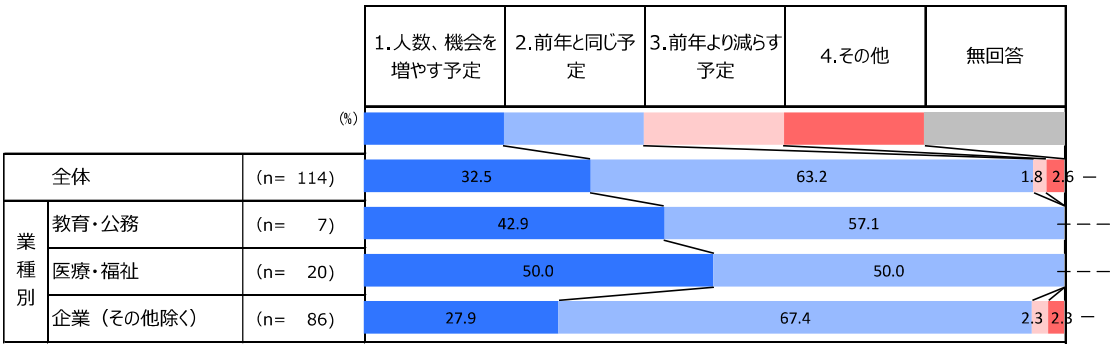
※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

Q13.Q12で「4.実施しない」又は「5.わからない」と回答された理由について当てはまるものを回答ください。（全体／単一回答）



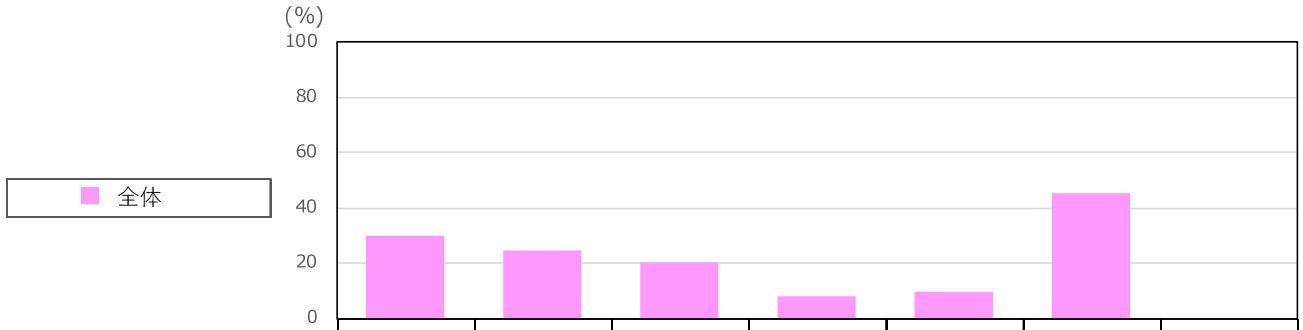
※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

Q14. 今後のインターンシップ実施計画について当てはまるものをひとつご回答ください（インターンシップ実施予定ありと回答した企業）（全体／単一回答）



※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

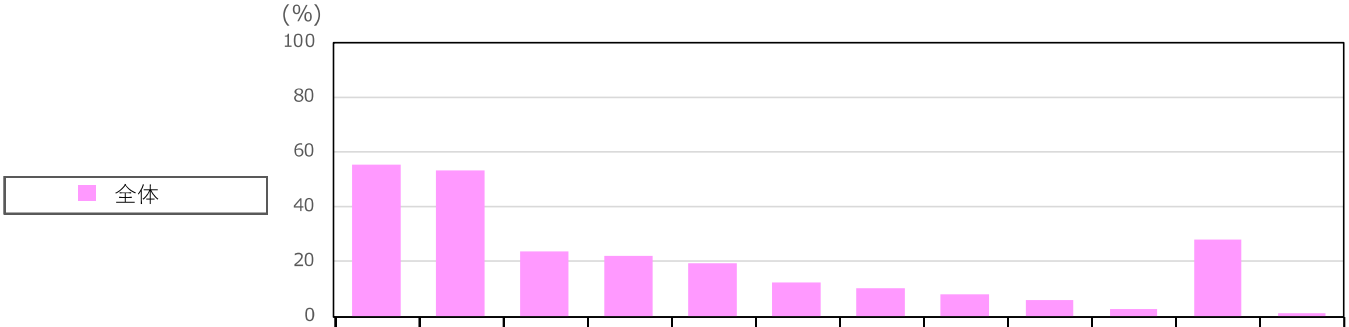
Q15.インターンシップの選考方法において、実施されるものについてご回答ください。（複数回答）
（インターンシップ実施予定ありと回答した企業）



		n 数	1.エントリーシート	2.履歴書	3.個人面接	4.グループ面接	5.能力または性格検査	6.その他	無回答
全体		114	29.8	24.6	20.2	7.9	9.6	45.6	－
業種別	教育・公務	7	28.6	28.6	28.6	－	－	57.1	－
	医療・福祉	20	50.0	30.0	30.0	5.0	10.0	20.0	－
	企業（その他除く）	86	25.6	23.3	16.3	9.3	9.3	51.2	－

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

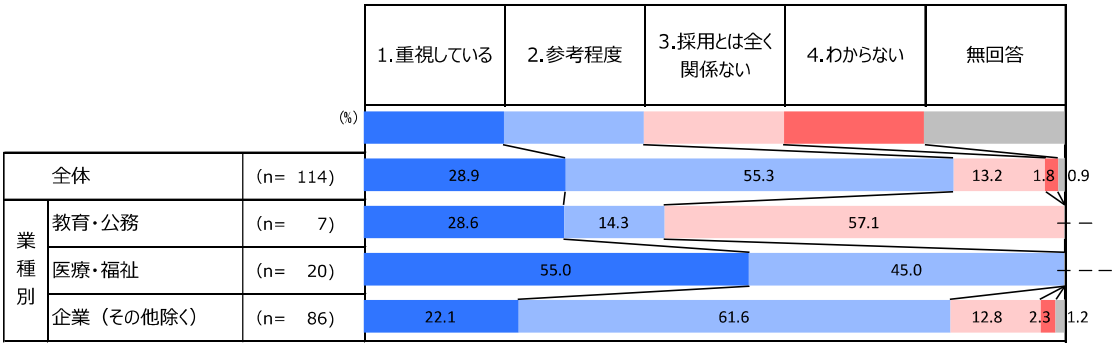
Q16.インターンシップの選考で重視する項目について、当てはまるものをご回答ください（複数回答）
（インターンシップ実施予定ありと回答した企業）



		n 数	1.コミュニケーション能力の高さ	2.主体的に動こうとする姿勢	8.働く事に対し意欲的で、様々な業界を研究している	6.当社の事業内容について良く理解している	7.企業理念に共感できている	3.論理的な思考力	9.将来の自分のキャリアに対して具体的なビジョンがある	5.業界研究がしっかりできている	4.学生が学んでいる内容との合致度	10.資格取得状況	11.その他	無回答
全体		114	55.3	53.5	23.7	21.9	19.3	12.3	10.5	7.9	6.1	2.6	28.1	0.9
業種別	教育・公務	7	57.1	57.1	－	－	14.3	－	14.3	－	14.3	－	42.9	－
	医療・福祉	20	60.0	35.0	30.0	25.0	15.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	－
	企業（その他除く）	86	53.5	57.0	24.4	23.3	20.9	14.0	9.3	8.1	4.7	1.2	30.2	1.2

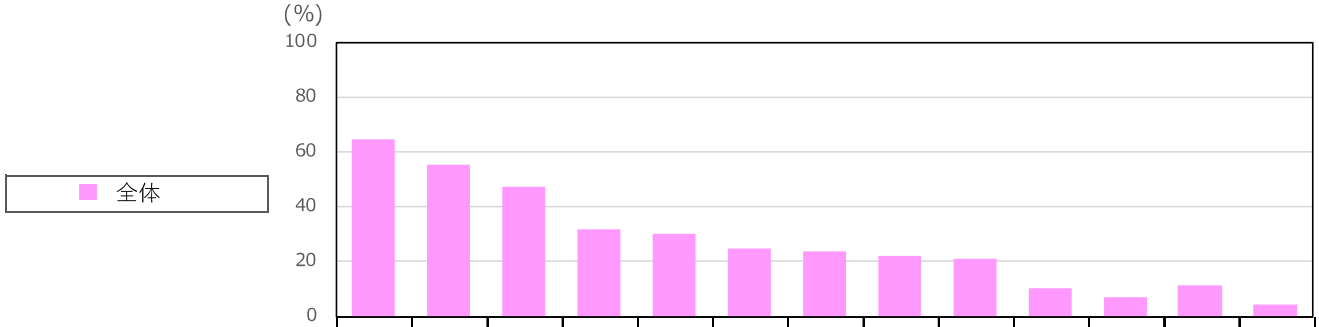
※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示
※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

Q17.インターンシップでの取り組み姿勢や相性は、御社の選考においてどの程度重視されますか。（インターンシップ実施予定ありと回答した企業）（全体／単一回答）



※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示

Q18.大卒新規採用者を評価する場合、在学時のどの経験を重視しますか。（複数回答）

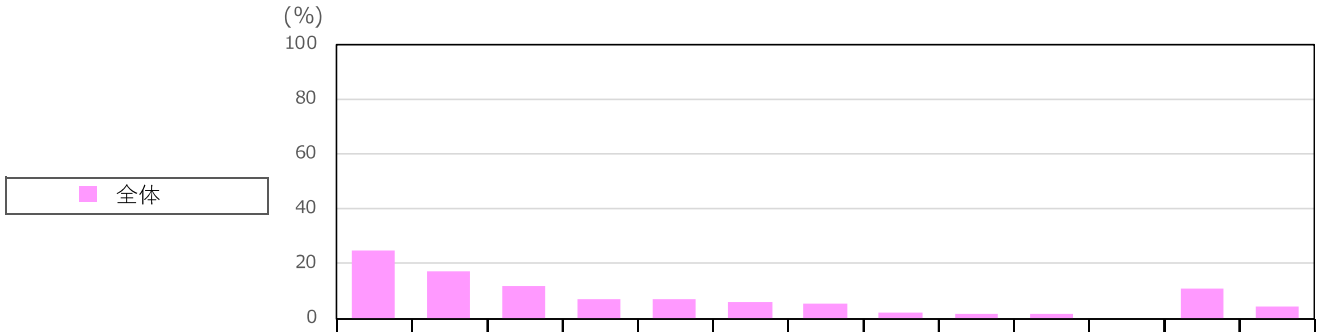


n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

		n数	5.部活動・サークル	9.アルバイト	4.ゼミ・卒業研究	6.ボランティア	11.資格取得	2.専門科目の履修	1.教養科目の履修	10.インターンシップ	3.専門科目（演習・実験・実習）の履修	7.長期留学体験（1年以上程度）	8.短期留学経験（1ヶ月未満程度）	12.その他	無回答
全体		206	64.6	55.3	47.6	32.0	30.1	24.8	23.8	22.3	20.9	10.2	6.8	11.2	4.4
業種別	教育・公務	21	42.9	28.6	23.8	33.3	33.3	23.8	23.8	14.3	19.0	9.5	4.8	14.3	23.8
	医療・福祉	41	**43.9**	**29.3**	39.0	41.5	**58.5**	**41.5**	24.4	31.7	**46.3**	2.4	–	4.9	2.4
	企業（その他除く）	141	74.5	**67.4**	53.9	29.8	21.3	19.9	23.4	20.6	13.5	12.8	9.2	12.1	2.1

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示
※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

SQ18-1. Q18で回答頂いた中で最も重視する経験を一つお答えください。

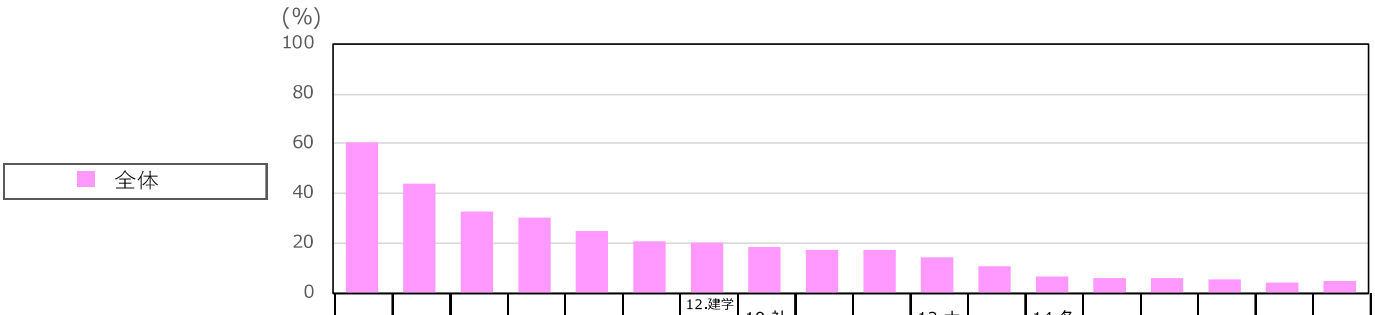


n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

		n数	5.部活動・サークル	9.アルバイト	4.ゼミ・卒業研究	11.資格取得	3.専門科目（演習・実験・実習）の履修	1.教養科目の履修	2.専門科目の履修	10.インターンシップ	6.ボランティア	7.長期留学体験（1年以上程度）	8.短期留学経験（1ヶ月未満程度）	12.その他	無回答
全体		206	24.8	17.0	12.1	7.3	6.8	5.8	5.3	2.4	1.9	1.5	－	10.7	4.4
業種別	教育・公務	21	14.3	9.5	4.8	－	9.5	4.8	9.5	4.8	4.8	－	－	14.3	23.8
	医療・福祉	41	**14.6**	**2.4**	7.3	**31.7**	**22.0**	2.4	4.9	2.4	4.9	－	－	4.9	2.4
	企業（その他除く）	141	29.8	22.7	14.9	0.7	2.1	7.1	4.3	1.4	0.7	2.1	－	12.1	2.1

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示
※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

Q19.本学の印象について伺います。次の中からあてはまるもの全てをお選びください。(複数回答)

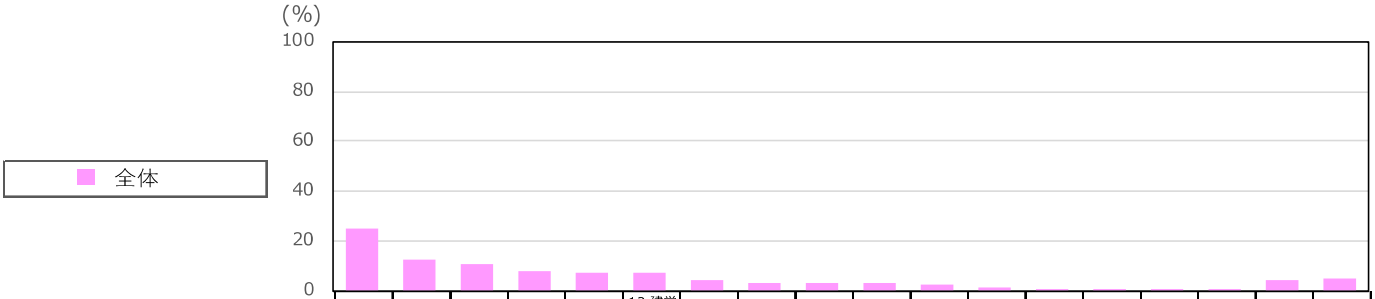


n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

		n数	1.伝統や実績がある	2.教育内容が充実している	16.就職支援が充実している	5.社会で役立つ力が身につく	15.学生に活気がある	3.教育内容のレベルが高い	12.建学の精神「仏教精神」を体現した有為な人材を輩出している	10.社会貢献活動に力を入れている	8.地域連携に力を入れている	11.スポーツに力を入れている	13.大学全体の教育方針が明確である	7.学修設備や環境が充実している	14.各学部の教育方針が明確である	4.研究内容に力を入れている	6.グローバル教育が充実している	9.産官学連携に力を入れている	17.その他	無回答
全体		206	60.7	44.2	33.0	30.6	25.2	20.9	20.4	18.4	17.5	17.5	14.1	10.7	6.8	6.3	6.3	5.8	4.4	4.9
業種別	教育・公務	21	33.3	33.3	14.3	14.3	23.8	19.0	14.3	9.5	9.5	19.0	9.5	－	9.5	4.8	4.8	4.8	14.3	23.8
	医療・福祉	41	51.2	**56.1**	24.4	31.7	24.4	26.8	**7.3**	**34.1**	19.5	9.8	9.8	7.3	2.4	4.9	7.3	7.3	4.9	4.9
	企業（その他除く）	141	66.7	43.3	38.3	33.3	26.2	19.9	25.5	15.6	18.4	18.4	16.3	13.5	7.8	7.1	6.4	5.7	2.1	2.1

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示
※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

SQ19-1. Q19で回答頂いた中で最も印象の強いものをお答えください。



n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

		n数	1.伝統や実績がある	2.教育内容が充実している	16.就職支援が充実している	15.学生に活気がある	5.社会で役立つ力が身につく	12.建学の精神「仏教精神」を体現した有為な人材を輩出している	11.スポーツに力を入れている	10.社会貢献活動に力を入れている	8.地域連携に力を入れている	13.大学全体の教育方針が明確である	3.教育内容のレベルが高い	9.産官学連携に力を入れている	6.グローバル教育が充実している	7.学修設備や環境が充実している	4.研究内容に力を入れている	14.各学部の教育方針が明確である	17.その他	無回答
全体		206	24.8	12.6	10.7	7.8	7.3	7.3	4.4	3.4	2.9	2.9	2.4	1.5	1.0	1.0	0.5	0.5	4.4	4.9
業種別	教育・公務	21	14.3	4.8	4.8	4.8	9.5	–	9.5	–	–	–	9.5	–	–	–	–	4.8	14.3	23.8
	医療・福祉	41	22.0	24.4	9.8	4.9	4.9	4.9	2.4	4.9	2.4	–	2.4	4.9	2.4	–	–	–	4.9	4.9
	企業（その他除く）	141	27.0	10.6	12.1	9.2	7.8	9.2	3.5	3.5	3.5	4.3	1.4	0.7	0.7	1.4	0.7	–	2.1	2.1

※業種「その他（n=3）」は全体値に含まれているが、グラフは非表示
※全体の多い順にソート（その他・無回答除く）

巻末付録②：設問一覧

設問一覧 Q1~4

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q1	貴社名をご記入ください ※必須項目		(社名記入)
Q2	業種をご回答ください。(産業別) ※必須項目	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	教育 医療・福祉 公務 建設関連 メーカー 商社 流通・小売・専門店 サービス 金融 情報・通信 マスコミ・印刷 運輸 不動産関連 その他(記述)
Q3	部署名をご記入ください ※必須項目		記述
Q4	従業員規模をご回答ください。 ※必須項目	1 2 3 4 5 6 7	9人以下 10～49人以下 50～99人以下 100～299人以下 300～999人 1000～4999人 5000人以上

設問一覧 Q5

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q5	大卒新規採用者に求める能力について当てはまるものをひとつ選んでください。 1 他者との豊かな関係を築く能力 2 目標に向けて協力的に仕事を進める能力 3 場を読み、組織を動かす能力 4 ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力 5 前向きな考え方、やる気を維持する能力 6 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力 7 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力 8 課題解決のための適切な計画を立てる能力 9 目標達成に向け、実践行動する能力 10 大学の専門科目で学んだ知識・技能 11 大学の教養科目で学んだ知識・技能 12 英語を使う能力 13 外国語（英語以外の言語）を使う能力 14 PCスキル（ワード、エクセルなど） 15 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンスなど） 16 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力 17 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力 18 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力 19 さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力		

設問一覧　Q6~8

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q6	大卒新規採用者に求める「社会人基礎力」について、当てはまるものをひとつ選んでください。		
1	人と協力しながらものごとを進める能力		
2	グループの中で責任をもって行動する能力		
3	社会や文化の多様性を理解し、尊重する能力		
4	学び続ける姿勢		
5	自分で目標を設定し、計画的に行動する能力		
6	なにごとにも粘り強く取り組む姿勢		
7	異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる能力		
8	国際的な視野を身に付けている		
9	外国語でコミュニケーションする能力		
10	現状を分析し、問題点や課題を発見する能力		
11	筋道を立てて論理的に問題を解決する能力		
12	ものごとを批判的・多面的に考える能力		
13	自分の知識や考えを文章で論理的に書く能力		
14	図や数表を用いて問題を理解し、表現することができる能力		
15	必要な情報を収集、整理する能力		
【表頭】	SQ－1　新卒段階で必要としている ※Q5:19項目　Q6:15項目それぞれについて	1 2 3 4 5	求めている ある程度求めている どちらともいえない 余り求めていない 求めていない
Q7	大卒新規採用者に求める能力として、Q5・Q６の項目以外にございましたらご自由にご記入ください		
Q8	本学の卒業生に対する総合的な印象についてお伺いします。	1 2 3 4 5 6	優れている やや優れている どちらともいえない やや物足りなさを感じる 物足りなさを感じる わからない

設問一覧　Q9

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q9	大卒新卒者に求める就業観で重視するものはどのようなものですか。 下記のそれぞれ全てについて、当てはまる選択肢を一つずつお選びください。		
1	入社の動機が明確である		
2	仕事内容と本人の興味が一致している		
3	働く事に対し意欲的である		
4	当社の事業内容について理解している		
5	企業理念に共感できている		
6	将来のキャリアに対するビジョンがある		
【表頭】	SQ－1　新卒段階で必要としている ※項目それぞれについて	1 2 3 4 5	大変重視している やや重視している どちらともいえない あまり重視していない 全く重視していない

設問一覧 Q10

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q10 【表側】 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19	本学のカリキュラムと科目に対して、貴社が期待していること、要望したいこと等はどのようなものですか。次の中からあてはまるもの全てをお選びください。(複数選択可) 諸外国の異文化教育 英語でのビジネス対応力 英語以外の語学教育 討議・討論・プレゼンテーション力の養成 企業と連携して課題を解決する授業(PBL)の推進 幅広い教養教育 高度な専門知識の教育 国内外のインターンシップ 医療・健康に関する知識の醸成 企業経営に関する知識の醸成 フィールドワーク授業の推進 課題解決型教育の推進 基礎（的）学力の育成 双方向型授業の推進 規範・規律教育 次世代産業等に関する最新知識 PCスキル（ワード、エクセルなど） 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンスなど） その他(記述)	当てはまる	←チェック形式
SQ10-1	回答頂いた中で最も期待する事を一つお答えください。		上記設問で回答した選択肢から一つだけ選択

設問一覧 Q11~14

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q11	本学卒業生の採用意欲について、当てはまるものをひとつお選びください。 ※必須項目	1 2 3 4 5	積極的に採用したい ある程度採用したい あまり採用したくない 採用したくない 未定
Q12	インターンシップ実施について、当てはまるものをご回答ください ※必須項目	1 2 3 4 5	公募・学校指定ともに実施予定 公募のみ実施予定 学校指定のみ実施予定 実施しない わからない
Q13	Q12で「4.実施しない」又は「5.わからない」と回答された理由について当てはまるものを回答ください。 ※必須項目	1 2 3 4	新採用をしない、または未定のため 実施方法がわからない 社内のマンパワーが不足しているため その他(記述)
Q14	（Q12で実施予定とご回答された方にお聞きします）今後のインターンシップ実施計画について当てはまるものをひとつご回答ください ※必須項目	1 2 3 4	人数、機会を増やす予定 前年と同じ予定 前年より減らす予定 その他(記述)

設問一覧 Q15~17

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q15	インターンシップの選考方法において、実施されるものについてご回答ください。（複数回答可） ※必須項目	1 2 3 4 5 6	エントリーシート 履歴書 個人面接 グループ面接 能力または性格検査 その他(記述)
Q16	インターンシップの選考で重視する項目について、当てはまるものをご回答ください（複数回答可） ※必須項目	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	コミュニケーション能力の高さ 主体的にで自ら動こうとする姿勢 論理的な思考力 学んでいる内容との合致度 業界研究がしっかりできている 当社の事業内容について良く理解している 企業理念に共感できている 働く事に対し意欲的で、様々な業界を研究している 将来の自分のキャリアに対して具体的なビジョンがある 資格取得状況 その他(記述)
Q17	インターンシップでの取り組み姿勢や相性は、御社の選考においてどの程度重視されますか、当てはまるものをひとつご回答ください ※必須項目	1 2 3 4	重視している 参考程度 採用とは全く関係ない わからない

設問一覧 Q18

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q18	大卒新規採用者を評価する場合、在学時のどの経験を重視しますか。次の中からあてはまるもの全てをお選びください。（選択肢以外に重視するものがあれば、その他にその内容をご記入ください。）（複数回答可）。	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	教養科目の履修 専門科目の履修 専門科目（演習・実験・実習）の履修 ゼミ・卒業研究 部活動・サークル ボランティア 長期留学体験（1年以上程度） 短期留学経験（１ヶ月未満程度） アルバイト インターンシップ 起業体験 資格取得 その他(記述)
SQ18-1	回答頂いた中で最も重視する経験を一つお答えください。		上記設問で回答した選択肢から一つだけ選択

設問一覧 Q19~20

設問番号	設問文	選択肢	選択肢ラベル
Q19 【表側】 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	本学の印象について伺います。 次の中からあてはまるもの全てをお選びください。(複数回答可) 伝統や実績がある 教育内容が充実している 教育内容のレベルが高い 研究内容に力を入れている 社会で役立つ力が身につく グローバル教育が充実している 学修設備や環境が充実している 地域連携に力を入れている 産官学連携に力を入れている 社会貢献活動に力を入れている スポーツに力を入れている 建学の精神「仏教精神」を体現した有為な人材を輩出している 大学全体の教育方針が明確である 各学部の教育方針が明確である 学生に活気がある 就職支援が充実している その他(記述)	当てはまる	←チェックボックス
SQ19-1	回答頂いた中で最も重視する経験を一つお答えください。		上記設問で回答した選択肢から一つだけ選択
Q20	本学の人材育成に期待する事がございましたら、ご自由にお書きください。		(自由記述)

2023 年度その他活動

FD 関連研修会　参加報告書

主催	北陸大学孔子学院事務局
企画名称・テーマ	北陸大学第 7 回中国語教授法研修会
開催日 ・ 会場	2023 年 7 月 29 日(土)　Zoom（同時双方向）
参加者所属	文学部　中国学科

参　加　報　告

【研修会の趣旨】

この研修会は 2016 年から、北陸大学孔子学院により主催され、日本の高等教育機関などで中国語を教えている教員を対象とする研修会である。今年度は第 7 回目を迎えた。コロナ禍の影響で、従来の対面研修会から対面とオンライン、ハイブリット型研修会に切り替えた。そのため、多くの教育者が気軽に参加できるようになった。

日本で日本人学習に中国語を教えることは、中国国内で外国人に中国語を教えることと全く違っている。今回の研修では、在日中国語教育について、三人の専門家を招き、文法の教授法を中心に講演と模擬講義をしていただいた。

【研修会の概要】

a. 大阪大学古川裕教授による「中国語教育文法の課題_日本人学習者の誤用例から考える」との講演では、日本語学習者の具体的な誤用例を紹介しながら、中国語教育文法における課題と対策を紹介した。それは：1）難しい文法、学習者の間違いやすい文法だけに力を入れる。2）教師はテキストより内容を補充する必要がある。3）中国語の文法をそのまま日本語の文法に応用してはいけない実例は多い。4）日本語、英語と比較しながら、中国語との違いを学習者に気づかせる。

b. 北京語言大学蘇英霞先生による「漢語教育原則と教育体現」との講演では、発音、語彙、文法、コミュニケーションにおける中国語教育の原則を紹介し、どのように良い教育効果を得られる方法も丁寧説明した。中国語教育を階段上りのように例えることができる。教師は道案内人であると同時に、階段と次の階段の間に、架け橋の役割を果たすべきだと指摘した。

c. 北京語言大学蔡建永先生により「中国語初中級」との模擬講義をしていただいた。講義においては、動画を多く使用していて、質の高い講義であった。

【研修会の内容で特に印象に残ったことや、今後に活かせると思われたことについて】

今回の研究会では、中国語教育者である私が、大変良い勉強になった。これまで自分も気づかない問題は多く解決できた。具体的には：

1） 中国語漢字と日本語漢字は共通部分があって、異なる部分もある。異なる部分、間違いやすい部分だけに力を入れた方が、効率的に教えることができる。

2） 中国語を日本語に訳す際に、語彙レベルだけの対訳ならば、学生が間違って理解して、誤用現象も多発している。対訳する際に、文法において、またコミュニケーションにおいて、日本語と中国語の違いを注意すべきである。

3） 教師一方的な教え込むより、日本語、英語と比較しながら、これらの言葉が中国語との違いを学生自らに発見してもらった方が効果的な教育方法である。

今後の教育活動においては、今回の研修で得られた知識とノウハウを生かし、より良い中国語教育活動に携わっていきたいと思っています。

FD 関連研修会　参加報告書

主催	ビズアップ総研
企画名称・テーマ	2 時間でマスター！ChatGPT の始め方・使い方研修～様々な業種での活用術を伝授～
開催日 ・ 会場	2023 年 12 月 8 日(金)　Zoom（オンライン受講）
参加者所属	教育学部　幼児教育学科

参　加　報　告

【研修会の趣旨】

一般企業、士業、金融、教育、医療福祉、自治体など様々な業種に合わせた ChatGPT 活用事例も豊富に紹介し、演習を通して活用方法を学ぶ。

【セミナーのポイント】

POINT1：ChatGPT の基本（その背景・現状・魅力・特徴・プラン・機能など）

POINT2：講師が実演付きで、ChatGPT の使い方について

POINT3：メール作成、ブレスト活用、広告コピー制作など応用技

POINT4：ChatGPT と SNS（ブログ、YouTube、FB、Instagram）の連携方法

POINT5：ビジネスシーンで利用するためのプロンプト集

POINT6：一般企業、士業、金融、教育、医療福祉、自治体等の業種での活用事例

POINT7：ChatGPT の始め方・使い方を確実にマスターする

【研修会の概要】

ChatGPT の活用事例が多く示され、特にプロンプトの入力の方法について、具体的に解説・説明があった。プロンプトの設計の仕方が大切であること、回答形式を指定すること、また出てきた回答をチェックすることがポイントであり、さらに必要な回答を求めるための具体的なプロンプトの出し方の実例が多く示され、理解を深めることができた。

◆導入：ChatGPT とは？研修の目的と流れ

◆第 1 部：ChatGPT の基本・ChatGPT の背景と現状、ChatGPT の特徴、ChatGPT の機能

◆第 2 部：実際に ChatGPT を使ってみよう・文章の作成と推敲、翻訳機能の利用

◆第 3 部：ChatGPT の応用技・プロンプトの設計、ブレインストーミングの活用

◆第 4 部：ChatGPT と SNS の連携・SNS 戦略と ChatGPT の活用、各 SNS との連携方法

◆第 5 部：ビジネス現場での活用・会議のサポート、プライバシーとセキュリティ

◆第 6 部：様々な業種での具体的な活用例

【研修会の内容で特に印象に残ったことや、今後に活かせると思われたことについて】

授業における ChatGPT の活用の仕方については、科目の内容によって適切な活用方法を検討して学生に周知する必要があると感じる。また、ChatGPT の活用に長けた学生もいることが考えられるため、ChatGPT を利用してレポートや論文などを作成する可能性があることも想定できる。到達目標に向けて学びが深まるような活用ができれば良いが、単に楽をするような活用方法では学生自身の学びにはマイナスになる。これらのことも想定して授業や課題を作っていく必要性と難しさを同時に感じた。

研究の面では、資料の構成や論文の作成にも効果的な使い方があることを勉強できたため活用したい。プライバシーとセキュリティについて注意点についても確認できた。

先日の学内 FD をベースに ChatGPT の活用についてさらに学ぶことができた。

FD 関連研修会　参加報告書

主催	外国語教育メディア学会（LET）中部支部
企画名称・テーマ	外国語教育とデジタル・トランスフォーメーション ～先進的な取り組みから～
開催日 ・ 会場	2023 年 12 月 16 日(土)10：00～17：00
参加者所属	教職支援センター

参　加　報　告
【研修会の趣旨】 インターネットの急速な普及やデジタル技術を教育に活かしてＤＸを推進することの趣旨や考え方等について理解を深めるとともに、DX の推進を意識した外国語教育の先進的な実践を交流し、有効な取り組みを実現していく。 【研修会の概要】 DX の考え方に関する講義、外国語メディア学会会員の研究発表・実践報告、ＩＣＴ活用の実践例をもとにしたシンポジウムの三部構成の研修会。 まず、講義では「いまとこれからの教育ＤＸ」と題して、ＤＸ推進の意義や考え方について、奈良教育大学准教授から説明があった。実践報告で私が出席した部会においては、特別支援学校における外国語活動の取り組み、生成系ＡＩの支援による学習ログデータ分析の試み、小学校外国語科の音読指導における主体的に学習に取り組む態度の育成という三つの報告があった。そして、シンポジウムでは、英語教育における日本の子どもたちの課題とされる「話すこと（即興）」を念頭に置き、ビデオ通話を活用してインドネシアの生徒たちと協働学習をしたプロジェクトを通して、シンポジストからこれからの教育 DX の進め方について話が展開された。 【研修会の内容で特に印象に残ったことや、今後に活かせると思われることについて】 DX とは、IT 活用により効率化を進めた上で、デジタル技術を活用して誰もがいきいきとワクワクしながら充実した人生を送るという質的な変化をめざすものであり、そうした DX 推進の趣旨を確認しつつ、外国語教育の具体的な進め方について学ぶことができたことが本研修での収穫である。 外国語教育において「話すこと（即興）」は課題であり、生徒たちが主体的に学びながら真のコミュニケーション力をつける、ビデオ通話での海外の生徒との交流は有効な手立てである。 英語授業におけるコミュニケーション活動は、わかりきったことを尋ね合うようなものになりがちで「本物の交流」になっていないことが多い。そうした中、日常のコミュニケーションに近づけて「気づき機能」を高めるよう場の設定を工夫してコミュニケーション活動を行うことは意義深く、研修会で紹介された実践は教育 DX 推進の一つのモデルとなるものだと感じた。また、外国の生徒との交流をイベント的に終わらせることなく、生徒に付けたい力を明確にして継続的に取り組むことや、外国の生徒との交流を通しての生徒の振り返り等をもとにその後の日常の授業のあり方を見直したりすることの大切さを確認できた。 こうした具体的な取り組みや生徒の課題を踏まえた授業の進め方については、今後の大学での指導に活かしたい。

2023 年度

FD 関連研修会　活動報告書

発　行　日：2024 年 4 月 1 日
発　行　者：佛教大学教育推進部教育推進課
〒603-8301　京都市北区紫野北花ノ坊町 96
ＴＥＬ　（075）491-2141（代）
ＵＲＬ　http://www.bukkyo-u.ac.jp/

BUKKYO UNIVERSITY